

神戸市
子ども・子育て支援事業に係る基礎調査
報告書

令和6年6月

神戸市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
1 未就学児童保護者	3
(1) 回答者の世帯の状況について	3
(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	5
(3) 宛名のお子さんのふだんの子育ての状況について	15
(4) 宛名のお子さんの平日の「定期的な」教育・保育事業の利用状況について	20
(5) 宛名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育事業、また長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	82
(6) 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について	89
(7) 宛名のお子さんの病気やケガの際の対応について (平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ)	101
(8) 宛名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況について	108
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方について (宛名のお子さんが来年4月に小学校に入学する方のみ)	119
(10) 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	132
2 小学生低学年保護者・小学生高学年保護者	142
(1) 回答者の世帯の状況について	142
(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	145
(3) 宛名のお子さんのふだんの子育ての状況について	165
(4) 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	176
(5) 宛名のお子さんの不規則の一時預かり(宿泊を伴うものを含む)等の利用状況について	198
(6) 宛名のお子さんの病気やケガの際の対応について	216

3	小学生高学年本人.....	227
	(1) あなたや家族のことについて.....	227
	(2) あなたの放課後の過ごし方について.....	228
	(3) あなたの休みの日の過ごし方について.....	236
Ⅲ	自由回答.....	241
1	就学前児童保護者.....	241
2	小学校低学年保護者.....	248
3	小学校高学年保護者.....	253
4	小学校高学年の本人.....	257

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、神戸市の次期「子ども・子育て支援事業計画」（2025～2029年度）を策定するにあたり、子ども・子育て支援事業の利用希望見込みを算出するために実施。

2 調査対象

就学前児童保護者

小学生低学年保護者

小学生高学年保護者及び本人

3 調査期間

令和5年12月20日から令和6年1月10日

4 調査方法

郵送による配布

郵送もしくはインターネットによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児童保護者	20,000通	7,026通	35.1%
小学生低学年保護者	10,000通	3,299通	33.0%
小学生高学年保護者	10,000通	2,861通	28.6%
小学生高学年本人	10,000通	2,278通	22.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

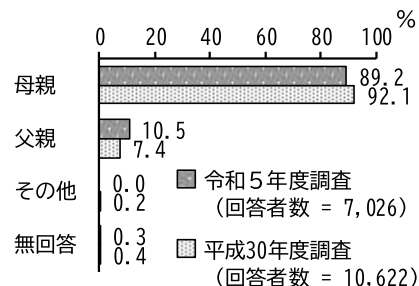
1 未就学児童保護者

(1) 回答者の世帯の状況について

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください（○は1つ）。

「母親」の割合が 89.2%、「父親」の割合が 10.5%となっています。

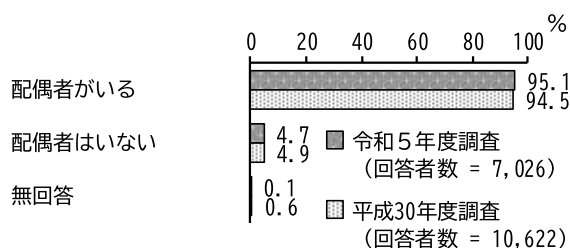
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください（○は1つ）。

「配偶者がいる」の割合が 95.1%、「配偶者がいない」の割合が 4.7%となっています。

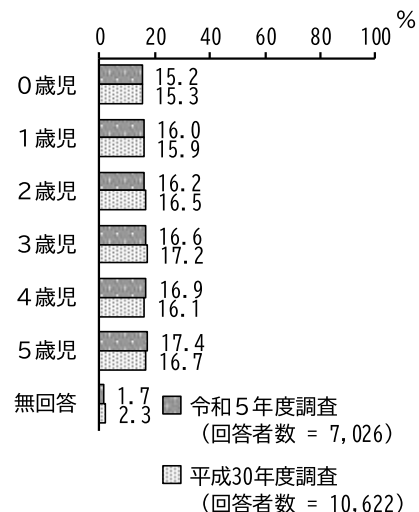
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください（（ ）内に数字でご記入ください）。

「5歳児」の割合が 17.4%と最も高く、次いで「4歳児」の割合が 16.9%、「3歳児」の割合が 16.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

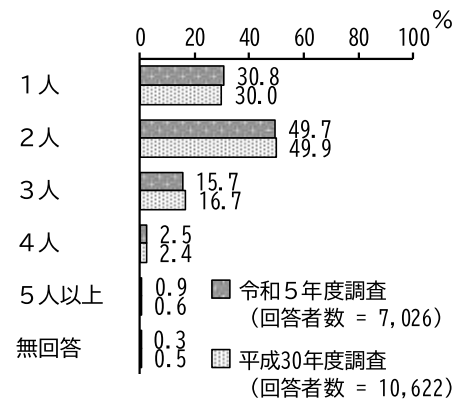


問5 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。人数を（ ）内に数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、1番下のお子さんの生年月をご記入ください。

お子さんの数

「2人」の割合が49.7%と最も高く、次いで「1人」の割合が30.8%、「3人」の割合が15.7%となっています。

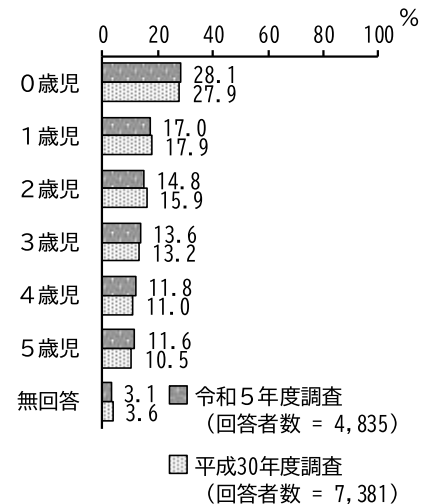
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



末子の年齢

「0歳児」の割合が28.1%と最も高く、次いで「1歳児」の割合が17.0%、「2歳児」の割合が14.8%となっています。

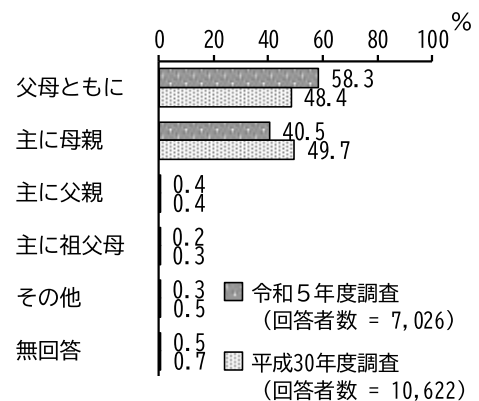
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください（○は1つ）。

「父母ともに」の割合が58.3%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が40.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が9.9ポイント増加しています。一方、「主に母親」の割合が9.2ポイント減少しています。



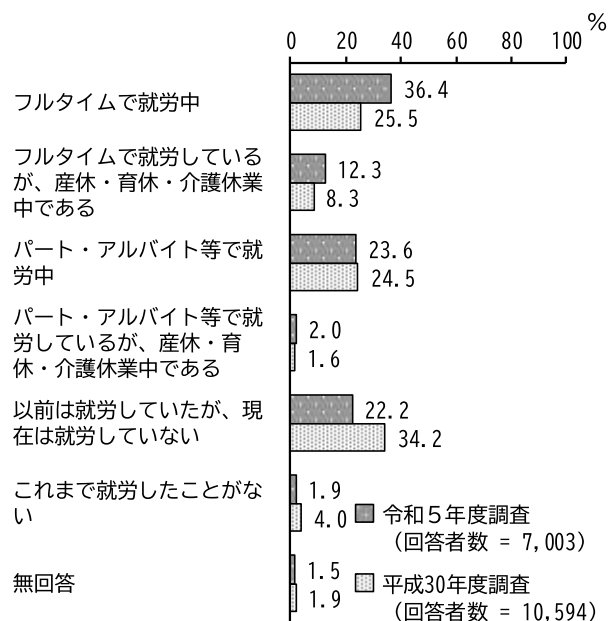
(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問7 宛名のお子さんの保護者について、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問7-1 母親の就労状況について、お答えください（○は1つ）。

「フルタイムで就労中」の割合が36.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」の割合が23.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が10.9ポイント増加しています。



問7-2 問7-1で「1.」～「4.」(就労している)と答えた方にうかがいます。

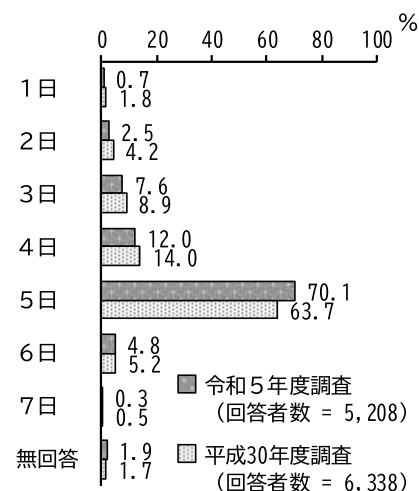
① 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

1週あたりの就労日数

「5日」の割合が70.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が12.0%となっています。

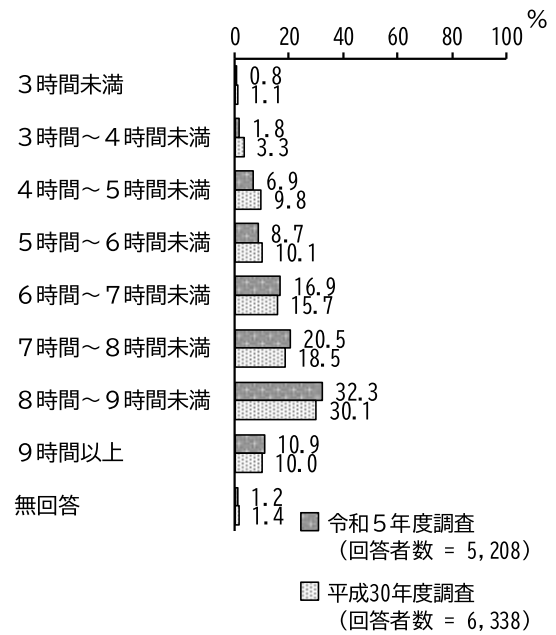
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.4ポイント増加しています。



1日あたりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が20.5%、「6時間～7時間未満」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



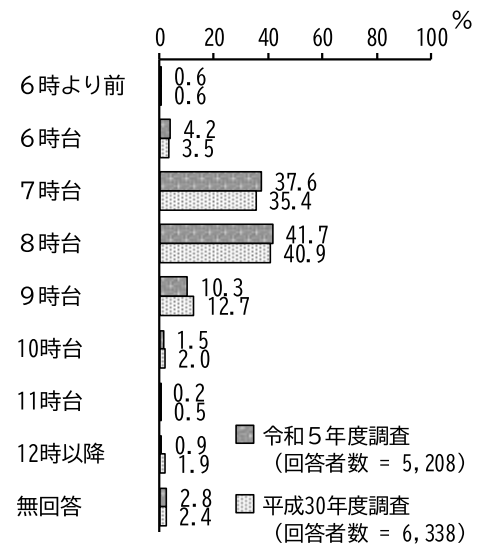
②家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

家を出る時間

「8時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が37.6%、「9時台」の割合が10.3%となっています。

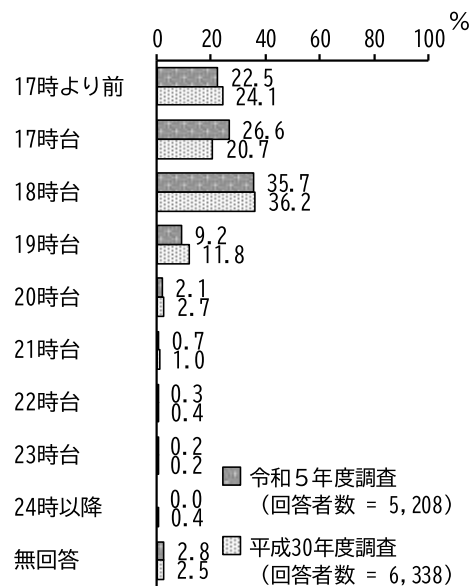
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

「18 時台」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.6%、「17 時より前」の割合が 22.5%となっています。

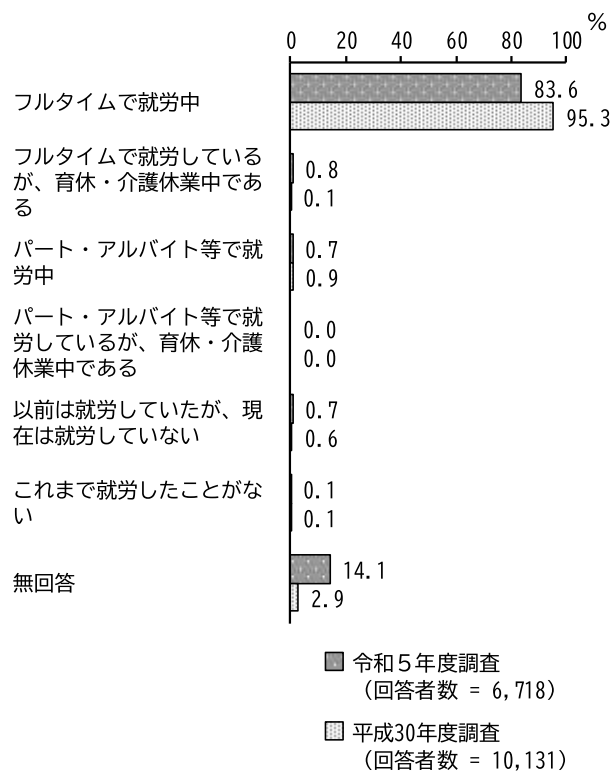
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 5.9 ポイント増加しています。



問7-3 父親の就労状況について、お答えください (○は1つ)。

「フルタイムで就労中」の割合が 83.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が 11.7 ポイント減少しています。



問7-4 問7-3で「1.」～「4.」(就労している)と答えた方にかがいます。

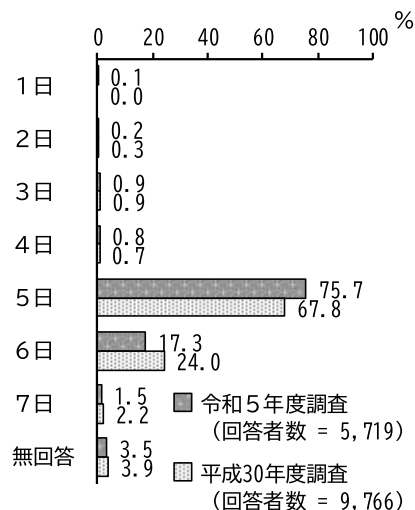
①1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

1週あたりの就労日数

「5日」の割合が75.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.3%となっています。

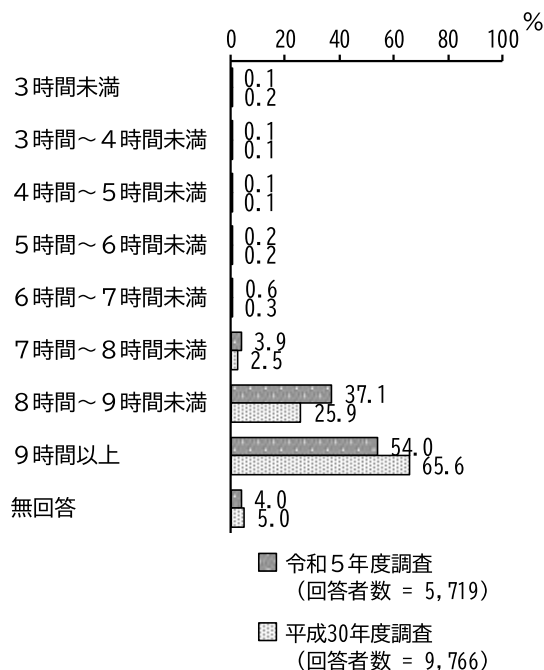
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.9ポイント増加しています。一方、「6日」の割合が6.7ポイント減少しています。



1日あたりの就労時間

「9時間以上」の割合が54.0%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が37.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が11.2ポイント増加しています。一方、「9時間以上」の割合が11.6ポイント減少しています。



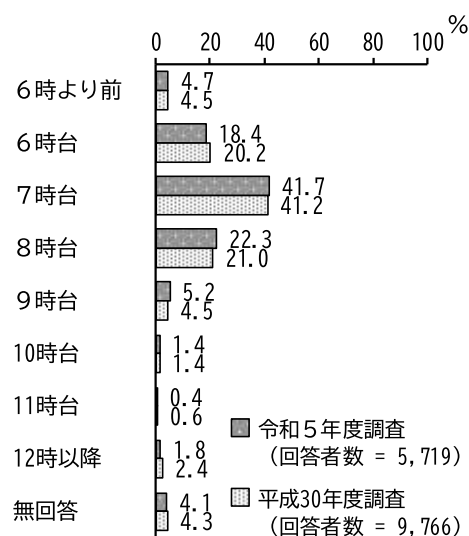
②家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

家を出る時間

「7時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.3%、「6時台」の割合が18.4%となっています。

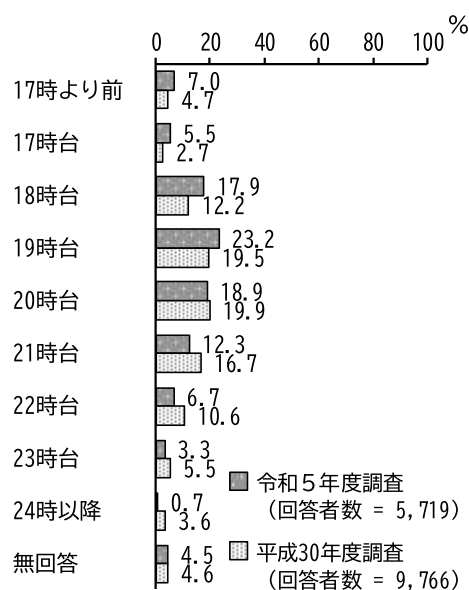
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

「19時台」の割合が23.2%と最も高く、次いで「20時台」の割合が18.9%、「18時台」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が5.7ポイント増加しています。

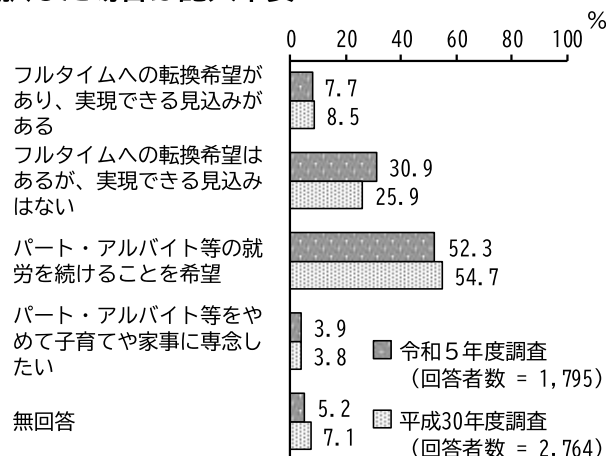


問8 問7-1または問7-3で父母のどちらかが「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にうかがいます。該当しない方は問9へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか（○は1つ）。

①母親※問7-1で「3.」または「4.」以外を選択した場合は記入不要

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が52.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が30.9%となっています。

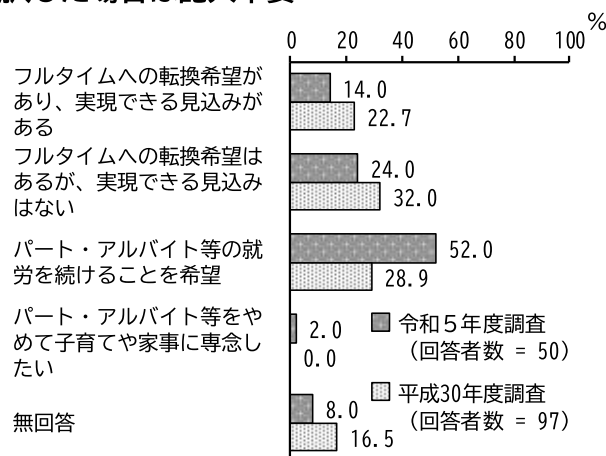
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②父親※問7-3で「3.」または「4.」以外を選択した場合は記入不要

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が52.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が23.1ポイント増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が8.7ポイント、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が8ポイント減少しています。

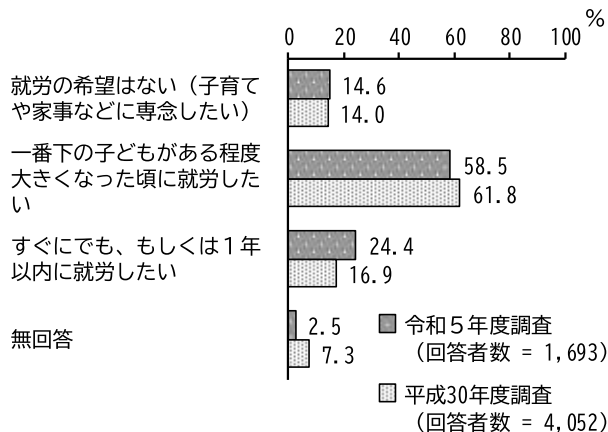


問9 問7-1または問7-3で父母のどちらかが「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」と答えた方にうかがいます。該当しない方は問10へお進みください。就労の希望はありますか。ある場合は、希望する就労形態もお答えください(○はそれぞれ1つ)。また、「2.一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」と答えた方は、一番下のお子さんが何歳になった頃に就労を希望されますか。

①母親※問7-1で「5.」または「6.」以外を選択した場合は記入不要

「一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」の割合が58.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.4%、「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したい)」の割合が14.6%となっています。

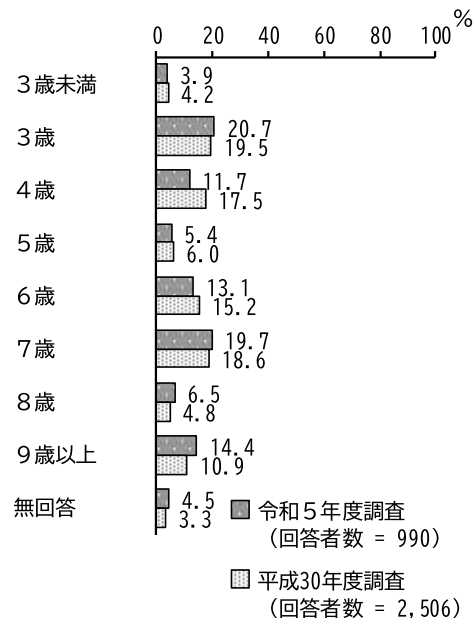
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が7.5ポイント増加しています。



就労を希望する末子の年齢

「3歳」の割合が20.7%と最も高く、次いで「7歳」の割合が19.7%、「9歳以上」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4歳」の割合が5.8ポイント減少しています。



希望する就労形態

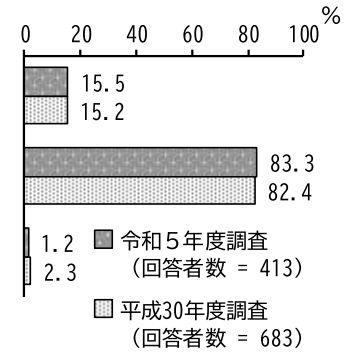
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が15.5%、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が83.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）

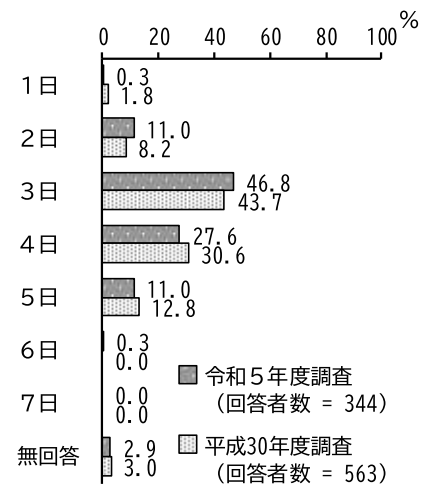
無回答



1週あたりの就労日数

「3日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が27.6%、「2日」、「5日」の割合が11.0%となっています。

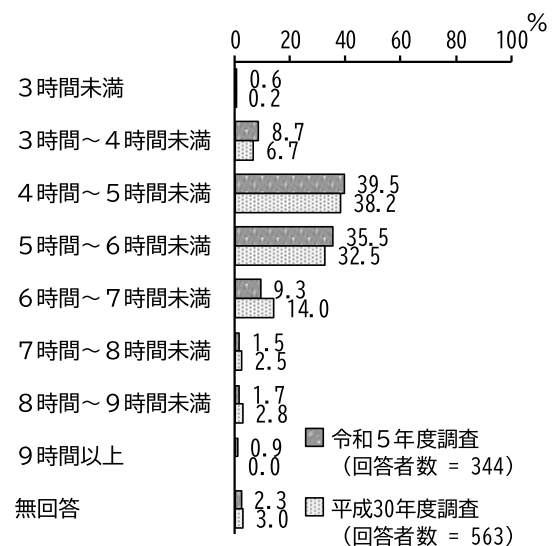
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日あたりの就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が39.5%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が35.5%となっています。

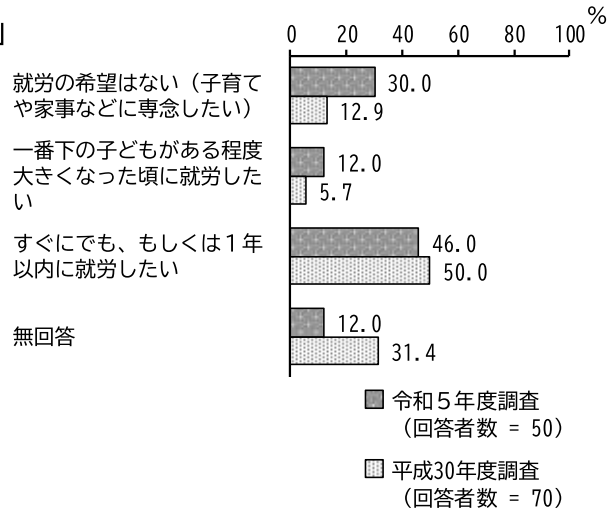
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②父親※問7-3で「5.」または「6.」以外を選択した場合は記入不要

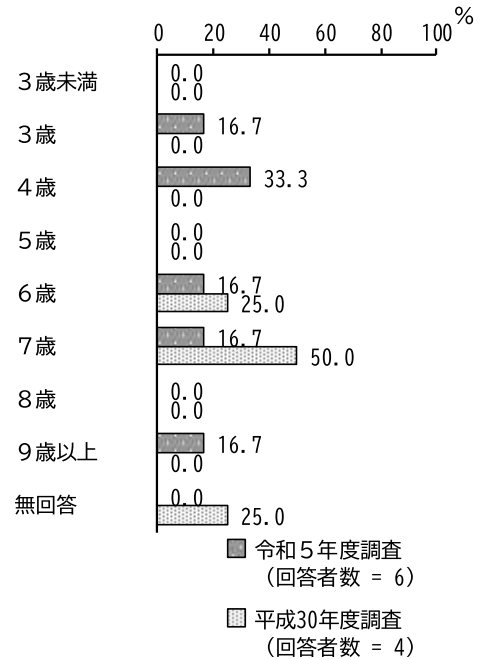
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が46.0%と最も高く、次いで「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が30.0%、「一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が17.1ポイント、「一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」の割合が6.3ポイント増加しています。



就労を希望する末子の年齢

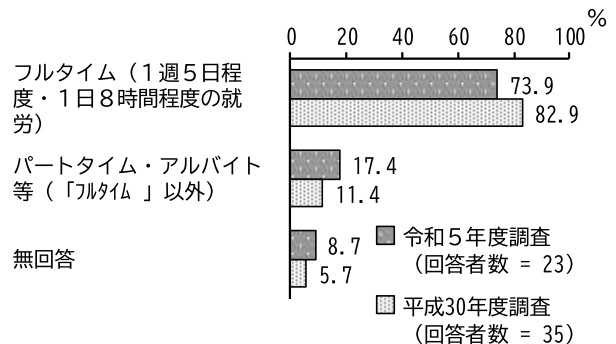
「4歳」が2件となっています。「3歳」、「6歳」、「7歳」「9歳以上」が1件となっています。



希望する就労形態

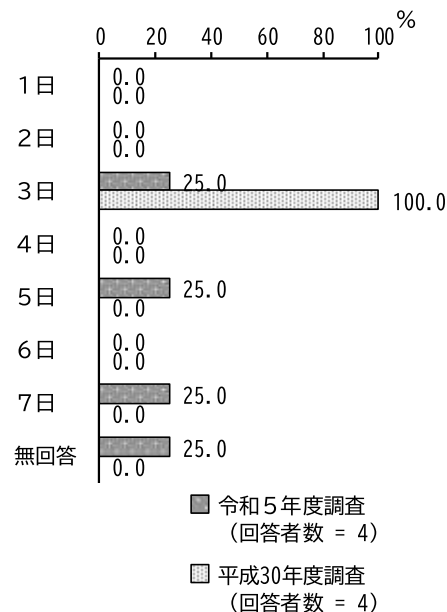
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が73.9%、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が6ポイント増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が9ポイント減少しています。



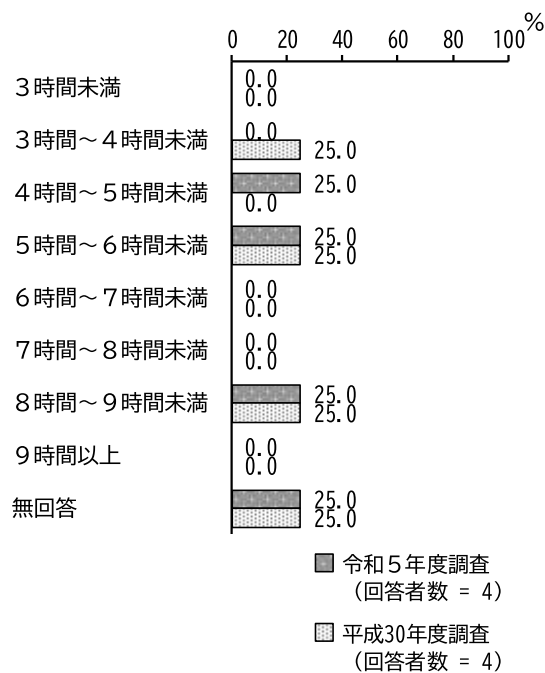
1週あたりの就労日数

「3日」、「5日」、「7日」が1件となっています。



1日あたりの就労時間

「4時間～5時間未満」、「5時間～6時間未満」、「8時間～9時間未満」が1件となっています。

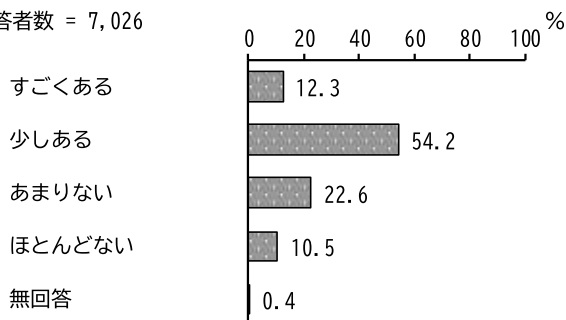


(3) 宛名のお子さんのふだんの子育ての状況について

問10 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどがありますか（○は1つ）。

「少しある」の割合が54.2%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が22.6%、「すごくある」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 7,026



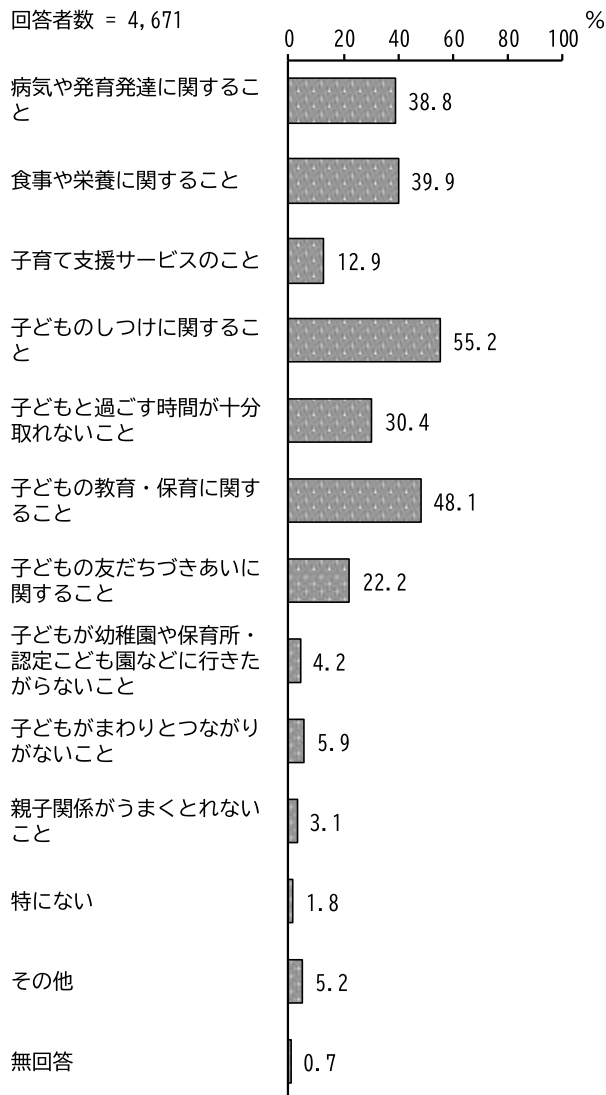
問10-1 問10で「1. すごくある」「2. 少しある」を選ばれた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) (2) それぞれについてお答えください
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

(1) 子どもに関すること

「子どものしつけに関すること」の割合が55.2%と最も高く、次いで「子どもの教育・保育に関すること」の割合が48.1%、「食事や栄養に関すること」の割合が39.9%となっています。

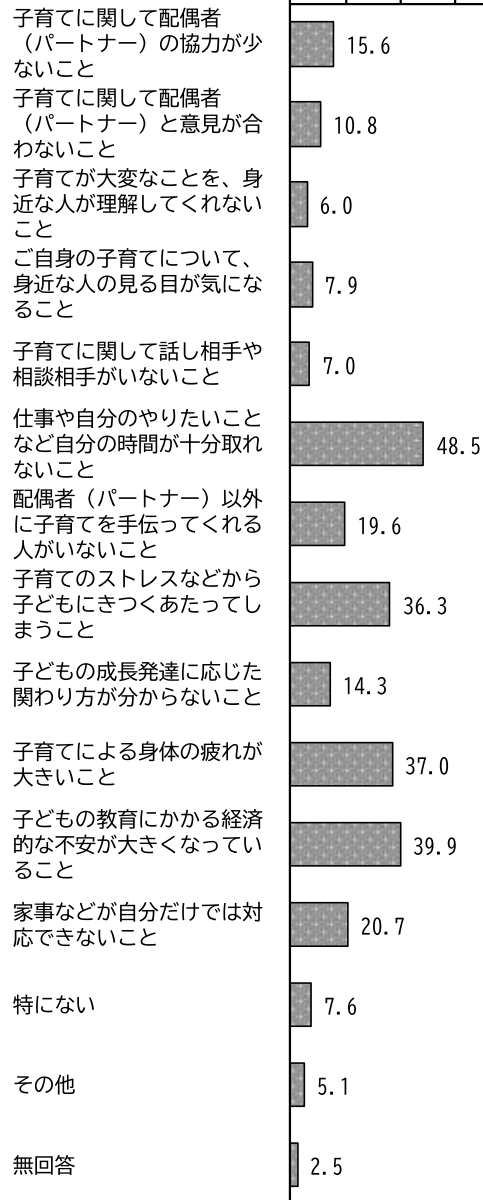
回答者数 = 4,671



(2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が 39.9%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 37.0%となっています。

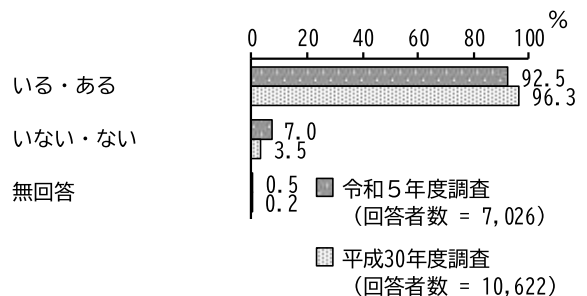
回答者数 = 4,671



問 11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか (○は1つ)。

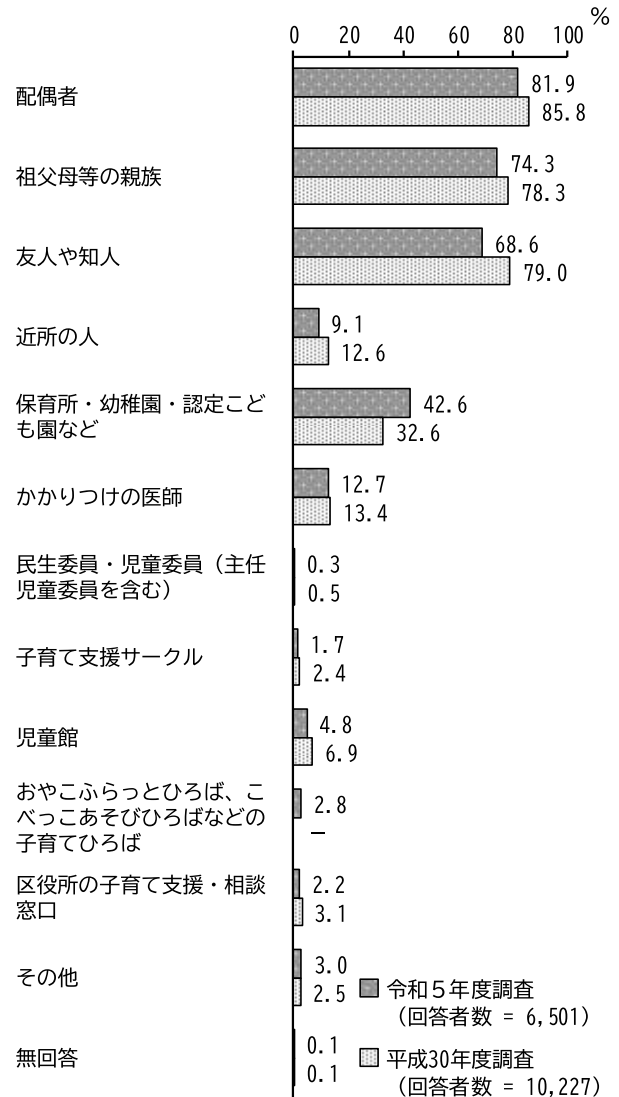
「いる・ある」の割合が 92.5%、「いない・ない」の割合が 7.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「いる・ある」の割合が 3.8 ポイント減少しています。



問11-1 問11で「1. いる・ある」と答えた方にうかがいます。
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか
 （あてはまるものすべてに○をつけてください）。

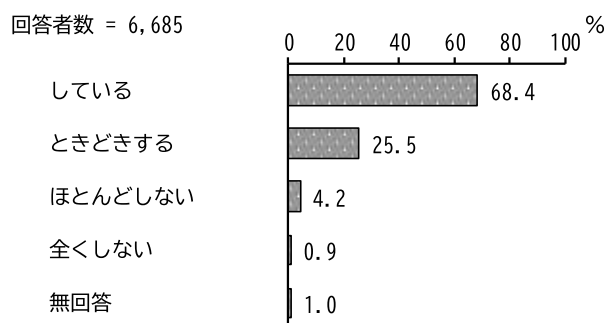
「配偶者」の割合が81.9%と最も高く、次いで
 「祖父母等の親族」の割合が74.3%、「友人や知
 人」の割合が68.6%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」
 の割合が10.4ポイント減少しています。



※前回調査では、「保育所・幼稚園・認定こども園など」の選択肢は「保育所・園・保育士」でした。
 ※前回調査では、「児童館」の選択肢は「児童館、地域子育て支援センター（応援プラザ）」でした。
 ※前回調査では、「おやこふらっとひろば、こべっこあそびひろばなどの子育てひろば」の選択肢はありませんでした。

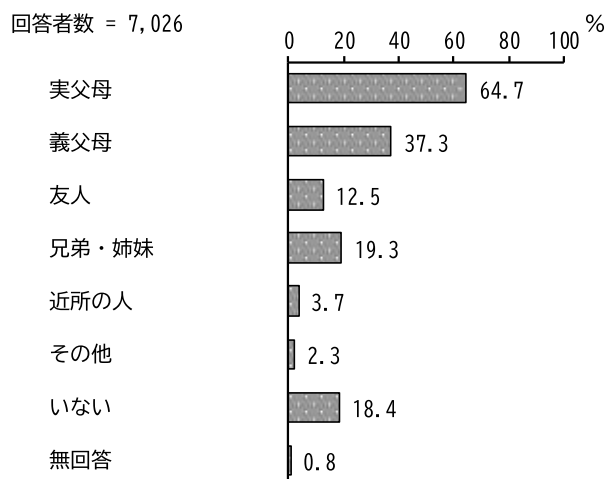
問12 配偶者も子育てをしていますか
(問2で「2. 配偶者はいない」と回答された方は回答不要です)。

「している」の割合が68.4%と最も高く、次いで「ときどきする」の割合が25.5%となっています。



問13 配偶者以外で、子育てに協力してくれる人はいますか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

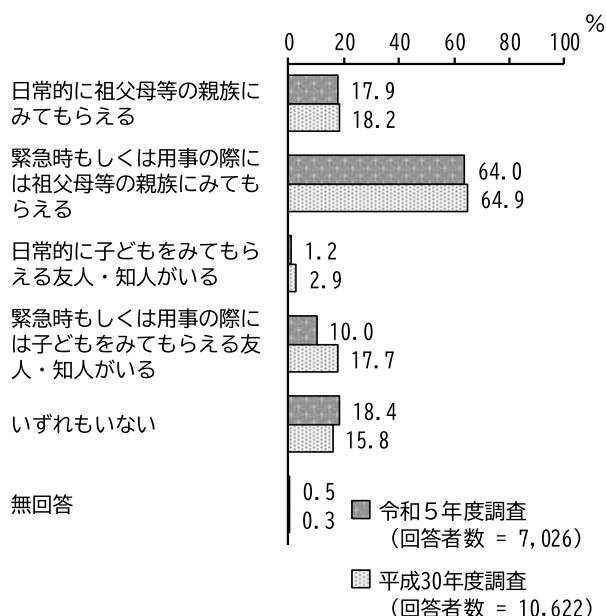
「実父母」の割合が64.7%と最も高く、次いで「義父母」の割合が37.3%、「兄弟・姉妹」の割合が19.3%となっています。



問14 日頃、自分に代わって宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が64.0%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が18.4%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が17.9%となっています。

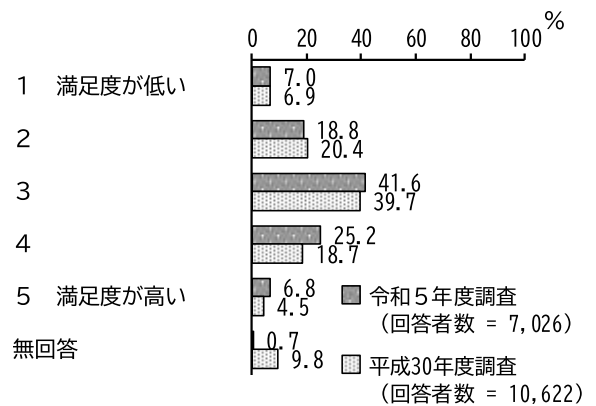
平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が7.7ポイント減少しています。一方、「いずれもない」の割合が2.6ポイント増加しています。



問15 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について5段階から1つお選びください。

「3」の割合が41.6%と最も高く、次いで「4」の割合が25.2%、「2」の割合が18.8%となっています。

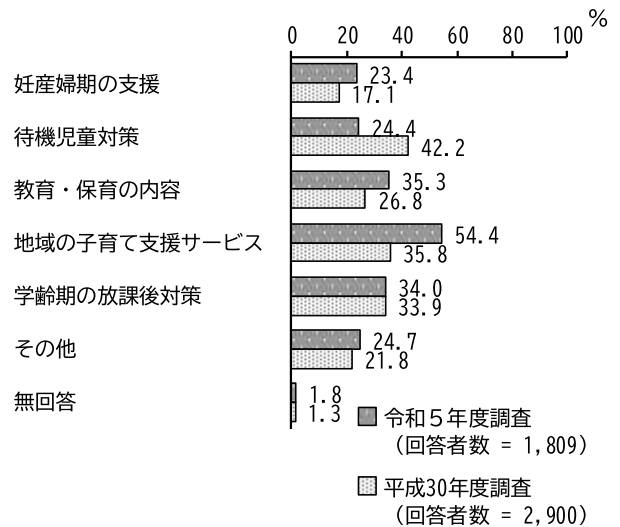
平成30年度調査と比較すると、「4」の割合が6.5ポイント増加しています。



問15-1 問15で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。
満足度が低い分野をお答えください
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

「地域の子育て支援サービス」の割合が54.4%と最も高く、次いで「教育・保育の内容」の割合が35.3%、「学齢期の放課後対策」の割合が34.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「妊産婦期の支援」の割合が6.3ポイント、「教育・保育の内容」の割合が8.5ポイント、「地域の子育て支援サービス」の割合が18.6ポイント増加しています。一方、「待機児童対策」の割合が17.8ポイント減少しています。

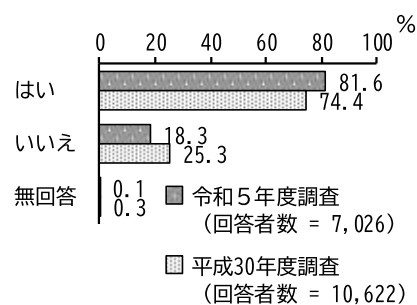


(4) 宛名のお子さんの平日の「定期的な」教育・保育事業の利用状況について

問 16 宛名のお子さんは、現在、平日の「定期的な」教育・保育事業を利用していますか（○は1つ）。

「はい」の割合が81.6%、「いいえ」の割合が18.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が7.2ポイント増加しています。



問 16-1 問 16 で「1. はい」と答えた方にうかがいます。

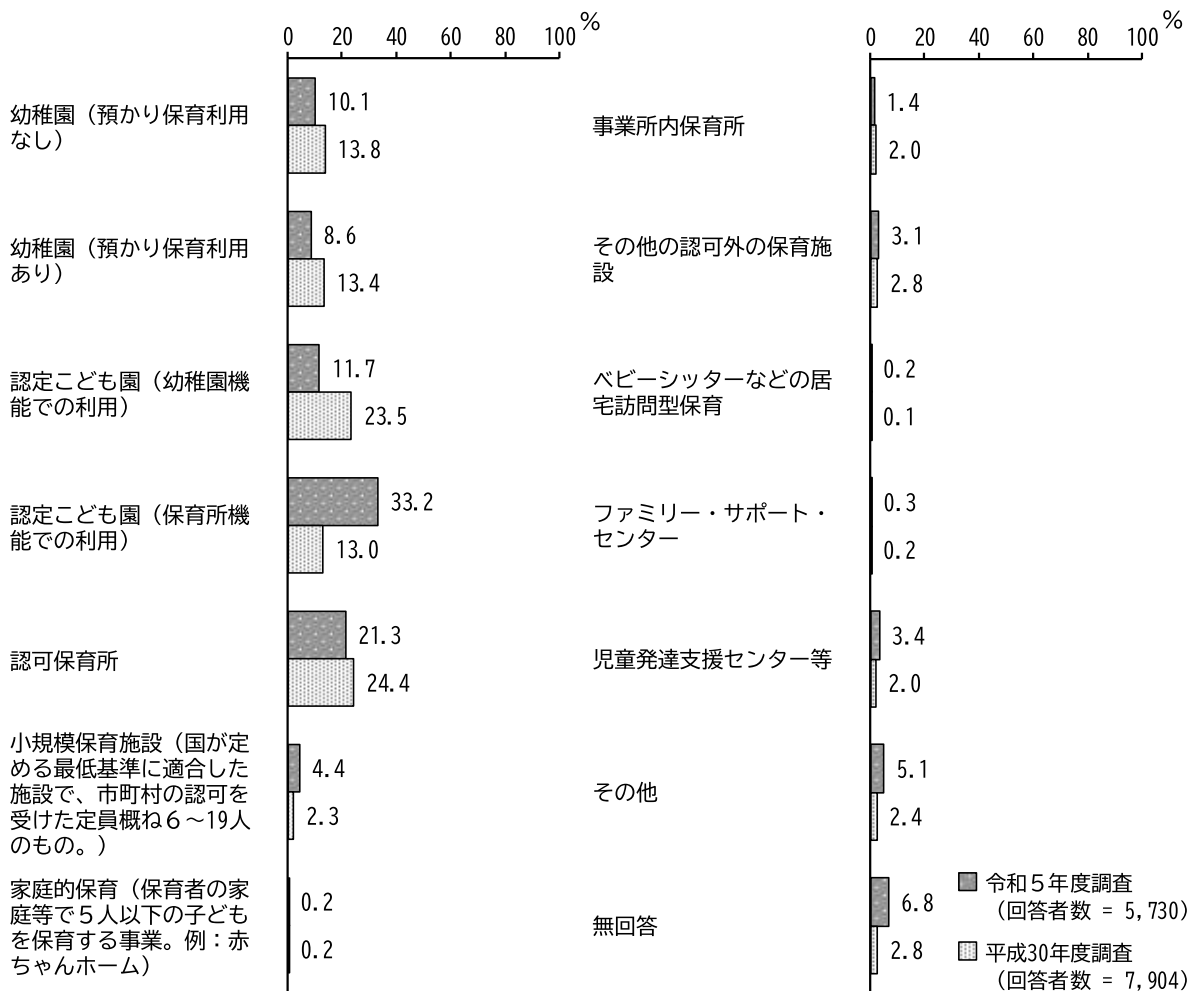
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。

①年間を通じて「定期的に」利用している事業を選択し、②その事業をどのくらい利用しているか、() 内に具体的な数字でご記入いただき、③利用している事業の実施場所を選択してください。

①利用している事業

「認定こども園（保育所機能での利用）」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 21.3%、「認定こども園（幼稚園機能での利用）」の割合が 11.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園（保育所機能での利用）」の割合が 20.2 ポイント増加しています。



※前回調査では、「家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）」の選択肢は「赤ちゃんホーム、家庭託児所」でした。

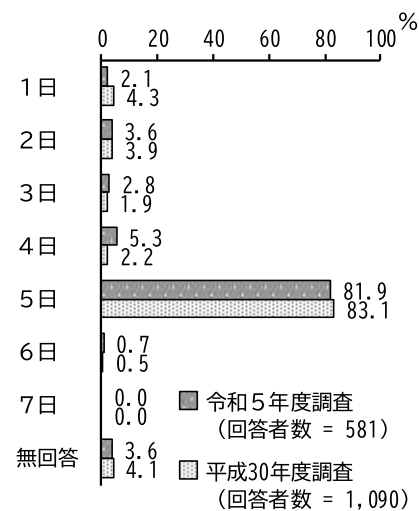
②利用時間

1週間当たりの利用日数

幼稚園

「5日」の割合が81.9%と最も高くなっています。

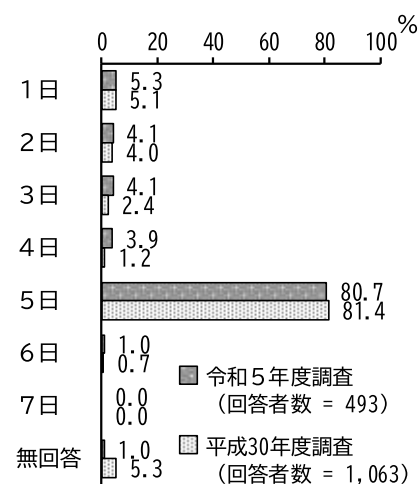
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「5日」の割合が80.7%と最も高くなっています。

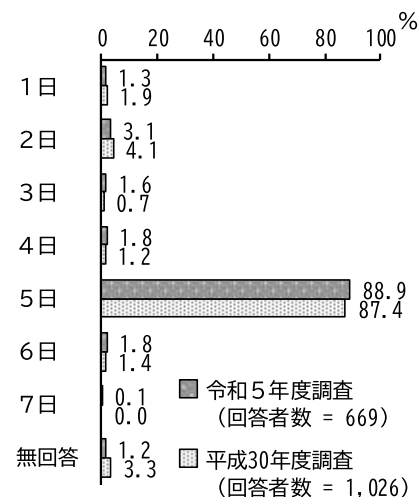
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「5日」の割合が88.9%と最も高くなっています。

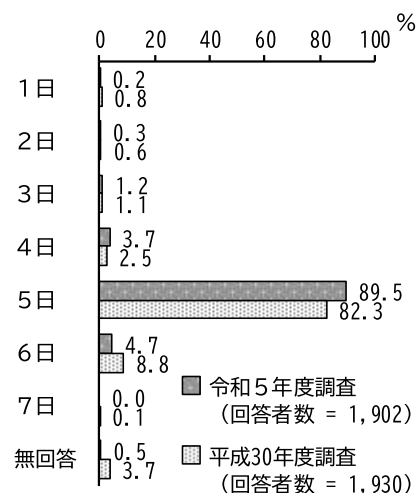
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認定こども園（保育所機能での利用）

「5日」の割合が89.5%と最も高くなっています。

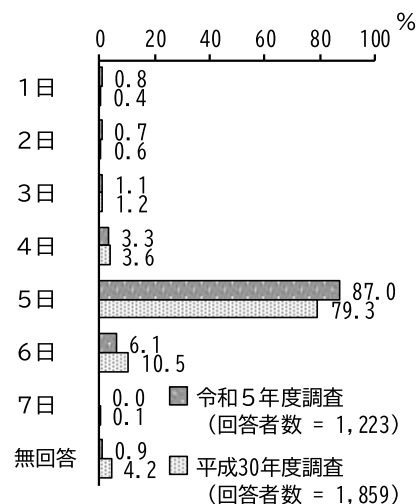
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.2ポイント増加しています。



認可保育所

「5日」の割合が87.0%と最も高くなっています。

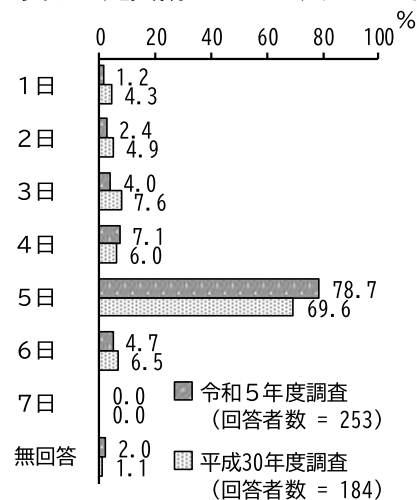
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.7ポイント増加しています。



小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「5日」の割合が78.7%と最も高くなっています。

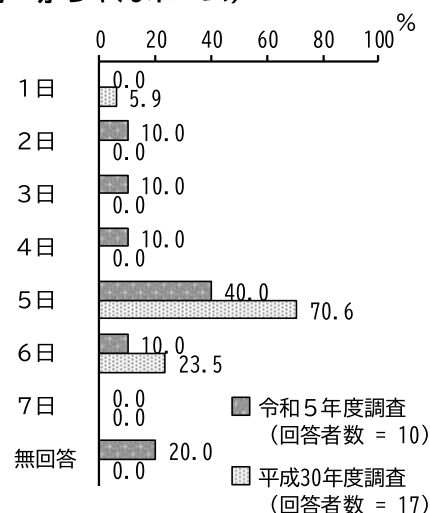
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が9.1ポイント増加しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「5日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」、「4日」の割合が10.0%となっています。

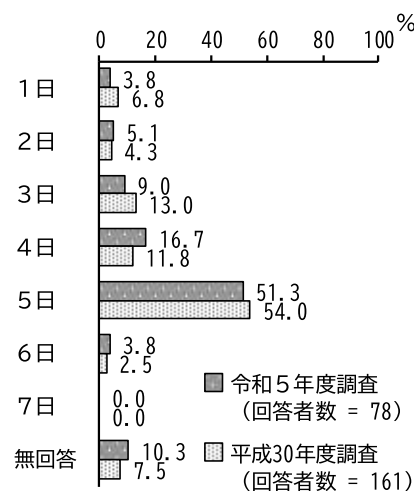
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「4日」の割合が10ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が5.9ポイント、「5日」の割合が30.6ポイント、「6日」の割合が13.5ポイント減少しています。



事業所内保育所

「5日」の割合が51.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が16.7%となっています。

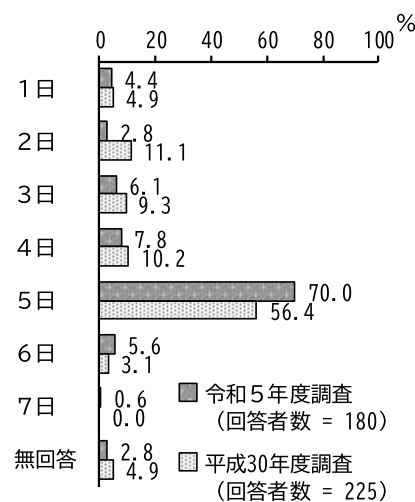
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その他の認可外の保育施設

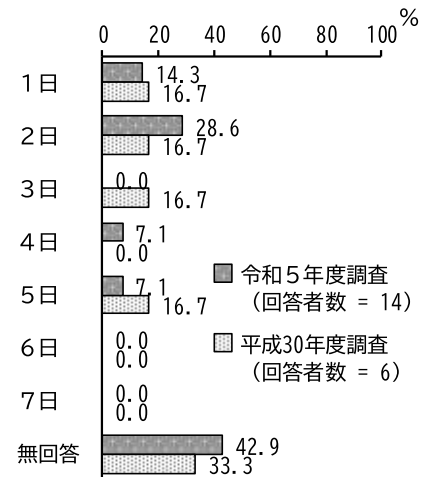
「5日」の割合が70.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が13.6ポイント増加しています。一方、「2日」の割合が8.3ポイント減少しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

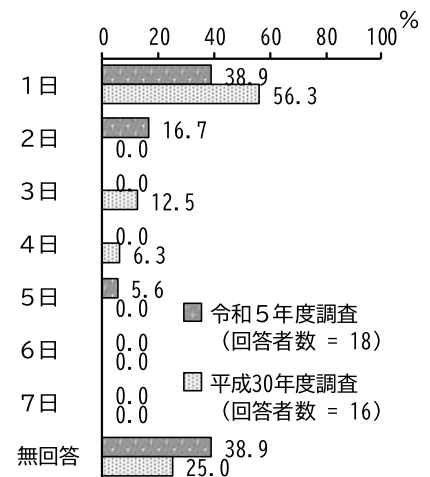
「2日」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が 14.3%となっています。



ファミリー・サポート・センター

「1日」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 16.7%となっています。

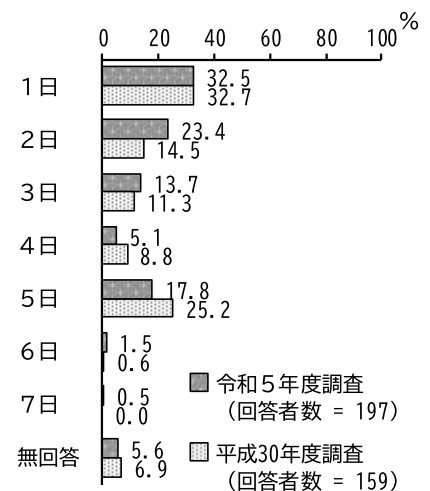
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が 16.7 ポイント、「5日」の割合が 5.6 ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が 17.4 ポイント、「3日」の割合が 12.5 ポイント、「4日」の割合が 6.3 ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「1日」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が 23.4%、「5日」の割合が 17.8%となっています。

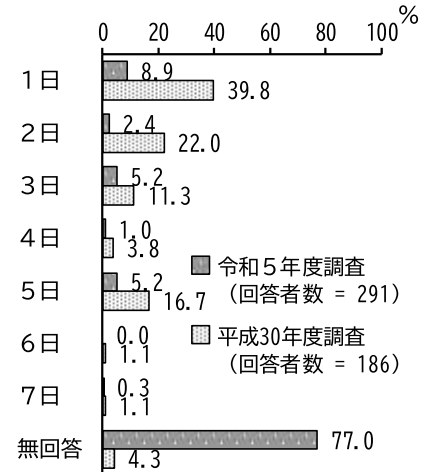
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が 8.9 ポイント増加しています。一方、「5日」の割合が 7.4 ポイント減少しています。



その他

「1日」の割合が8.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が30.9ポイント、「2日」の割合が19.6ポイント、「3日」の割合が6.1ポイント、「5日」の割合が11.5ポイント減少しています。

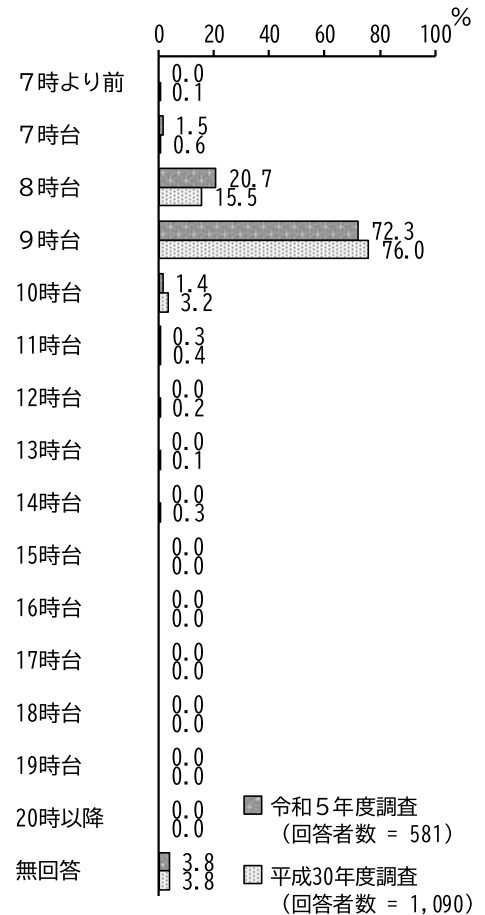


利用開始時間

幼稚園

「9時台」の割合が72.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が20.7%となっています。

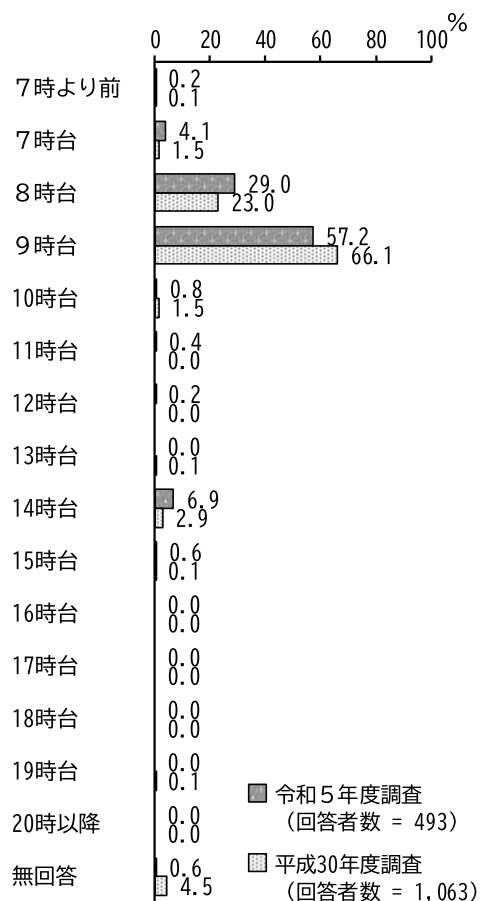
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が5.2ポイント増加しています。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「9時台」の割合が57.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.0%となっています。

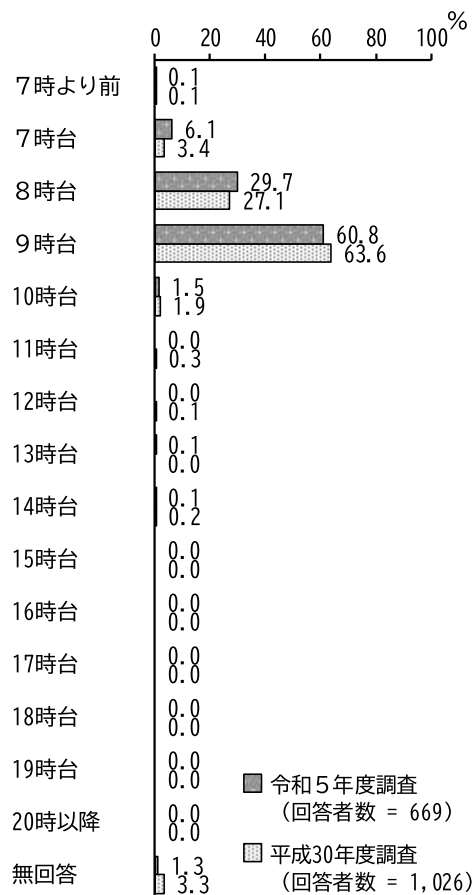
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が6ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が8.9ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「9時台」の割合が60.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.7%となっています。

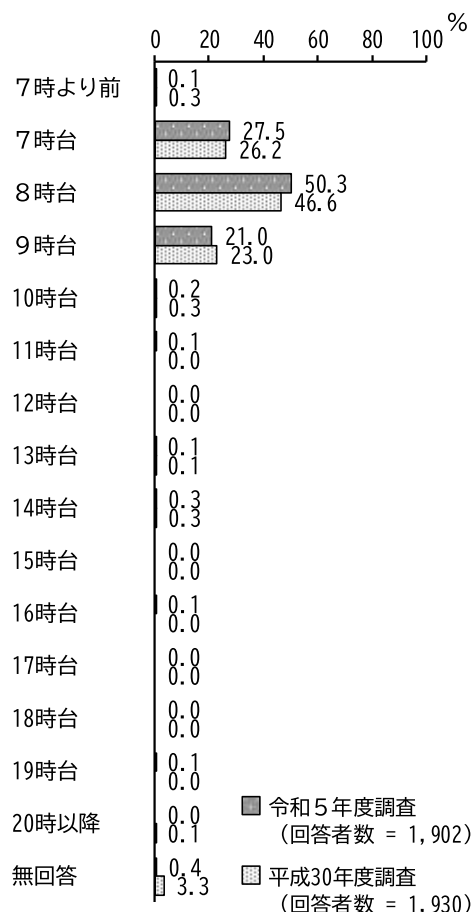
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認定こども園（保育所機能での利用）

「8時台」の割合が50.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が27.5%、「9時台」の割合が21.0%となっています。

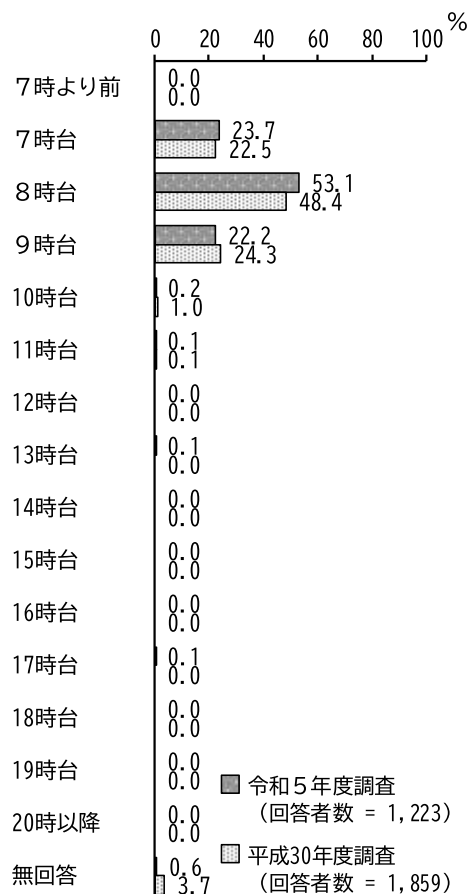
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「8時台」の割合が53.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が23.7%、「9時台」の割合が22.2%となっています。

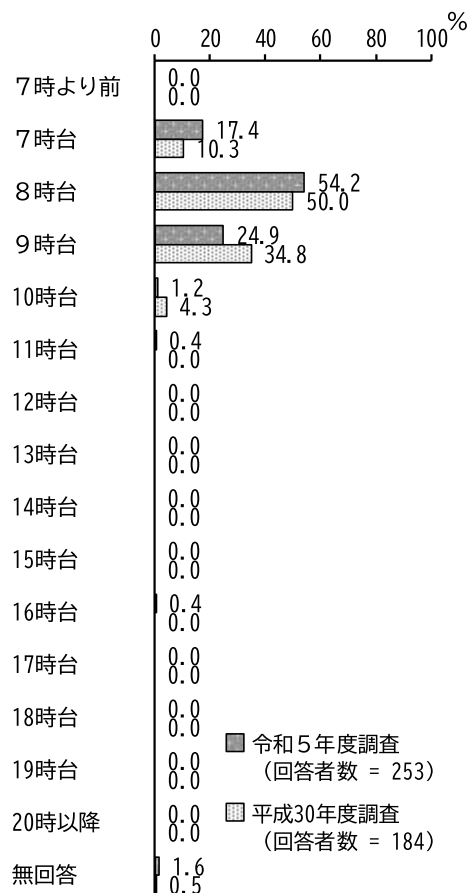
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「8時台」の割合が54.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が24.9%、「7時台」の割合が17.4%となっています。

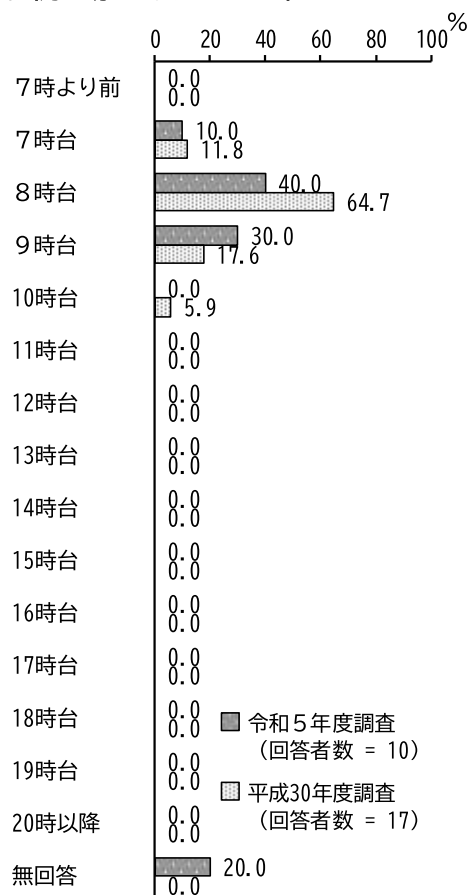
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が7.1ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が9.9ポイント減少しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「8時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.0%、「7時台」の割合が10.0%となっています。

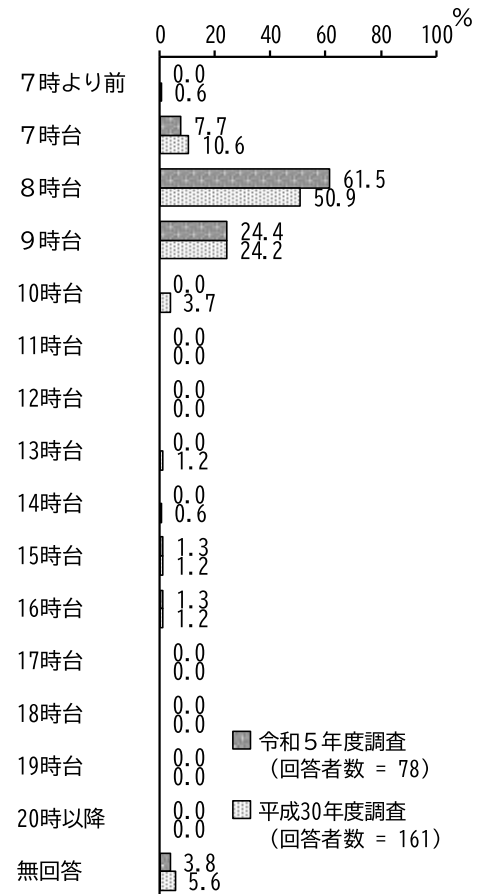
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が12.4ポイント増加しています。一方、「8時台」の割合が24.7ポイント、「10時台」の割合が5.9ポイント減少しています。



事業所内保育所

「8時台」の割合が61.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が24.4%となっています。

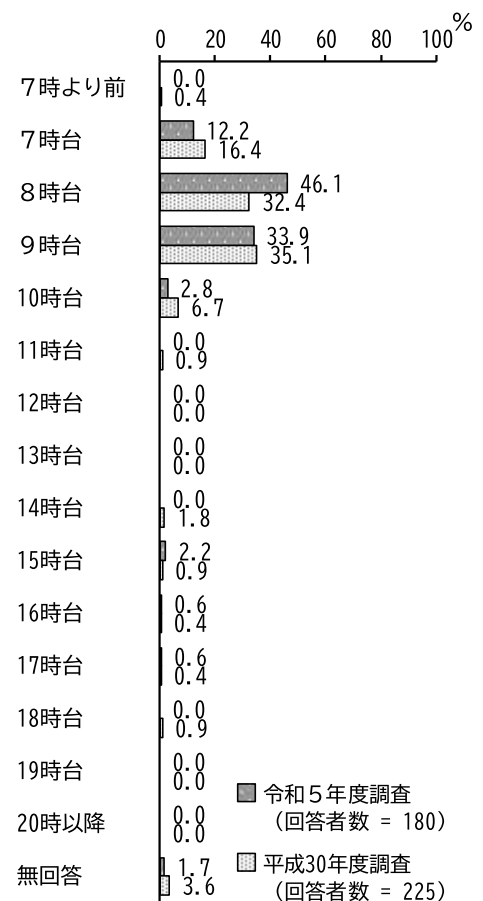
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が10.6ポイント増加しています。



その他の認可外の保育施設

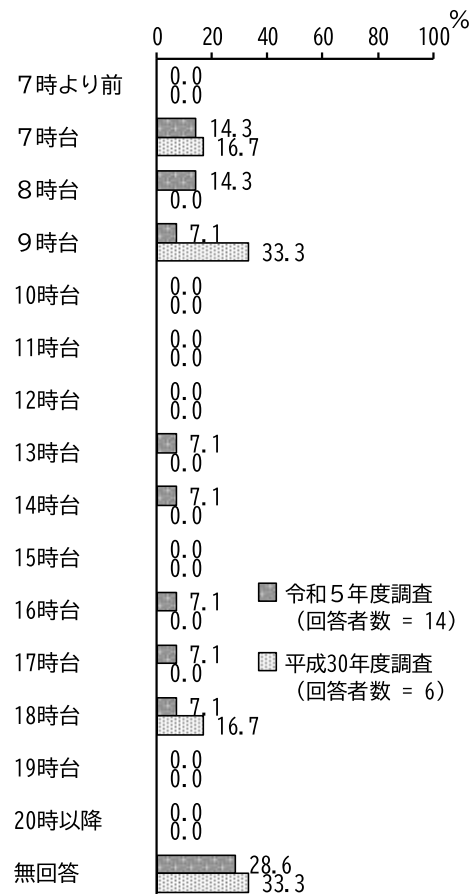
「8時台」の割合が46.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.9%、「7時台」の割合が12.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が13.7ポイント増加しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

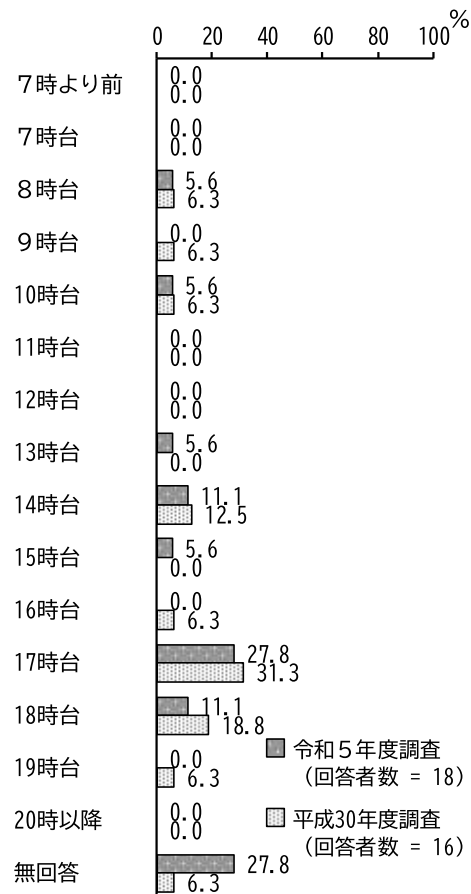
「7時台」、「8時台」の割合が14.3%と最も高くなっています。



ファミリー・サポート・センター

「17時台」の割合が27.8%と最も高く、次いで「14時台」、「18時台」の割合が11.1%となっています。

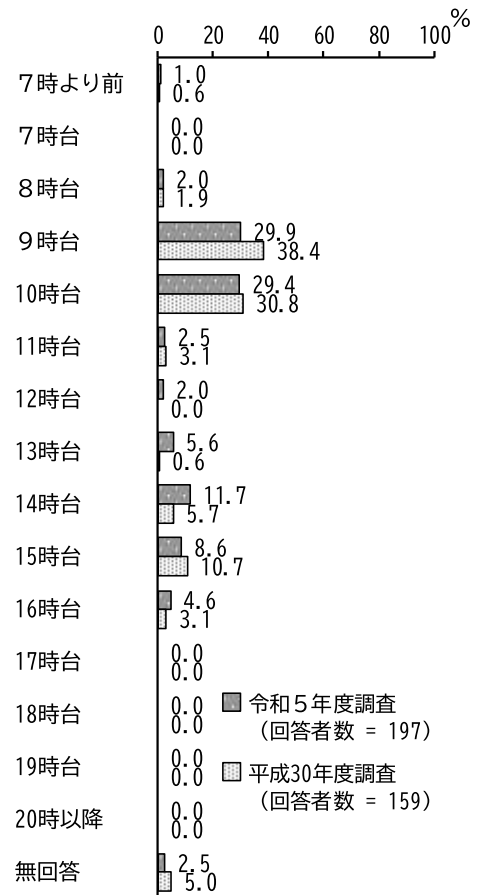
平成30年度調査と比較すると、「13時台」「15時台」の割合が5.6ポイント増加しています。一方、「9時台」「16時台」「19時台」の割合が6.3ポイント、「18時台」の割合が7.7ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「9時台」の割合が29.9%と最も高く、次いで「10時台」の割合が29.4%、「14時台」の割合が11.7%となっています。

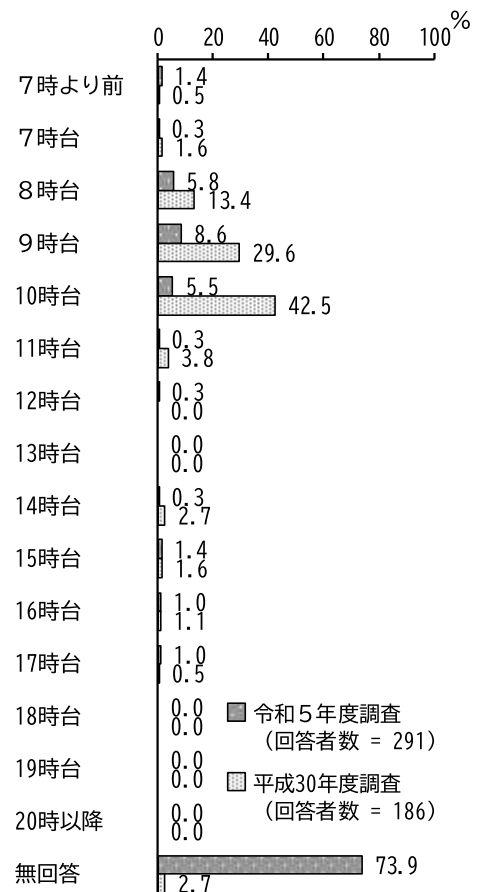
平成30年度調査と比較すると、「14時台」の割合が6ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が8.5ポイント減少しています。



その他

「9時台」の割合が8.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が7.6ポイント、「9時台」の割合が21ポイント、「10時台」の割合が37ポイント減少しています。

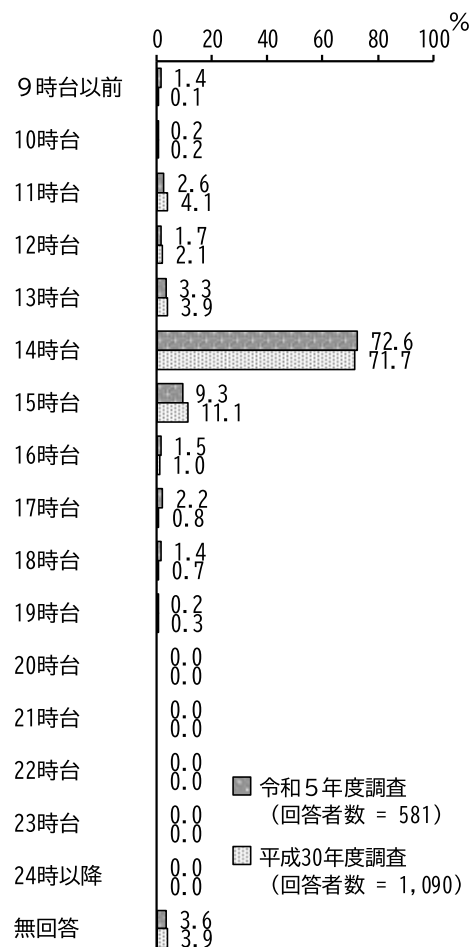


利用終了時間

幼稚園（預かり保育利用なし）

「14 時台」の割合が 72.6%と最も高くなっています。

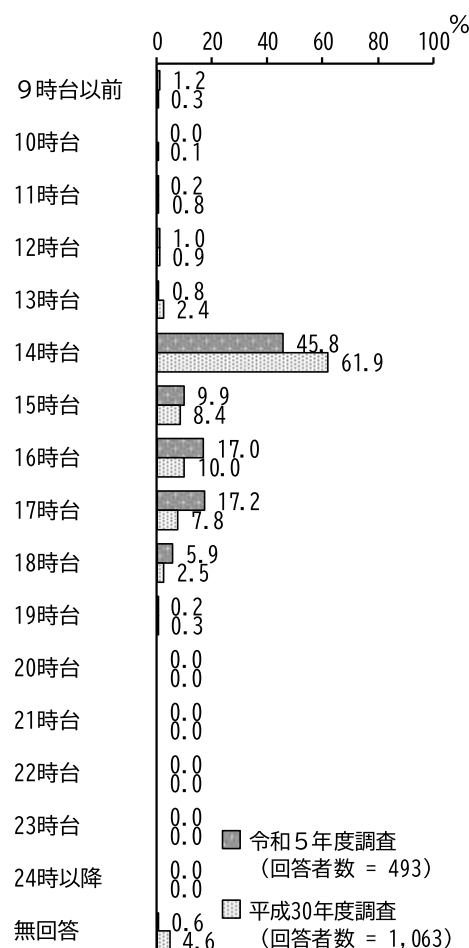
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「14 時台」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 17.2%、「16 時台」の割合が 17.0%となっています。

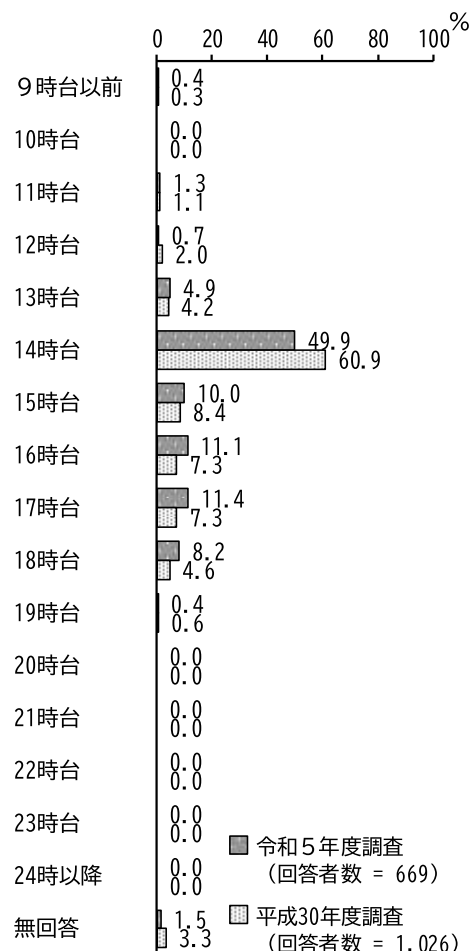
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 7 ポイント、「17 時台」の割合が 9.4 ポイント増加しています。一方、「14 時台」の割合が 16.1 ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「14 時台」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 11.4%、「16 時台」の割合が 11.1%となっています。

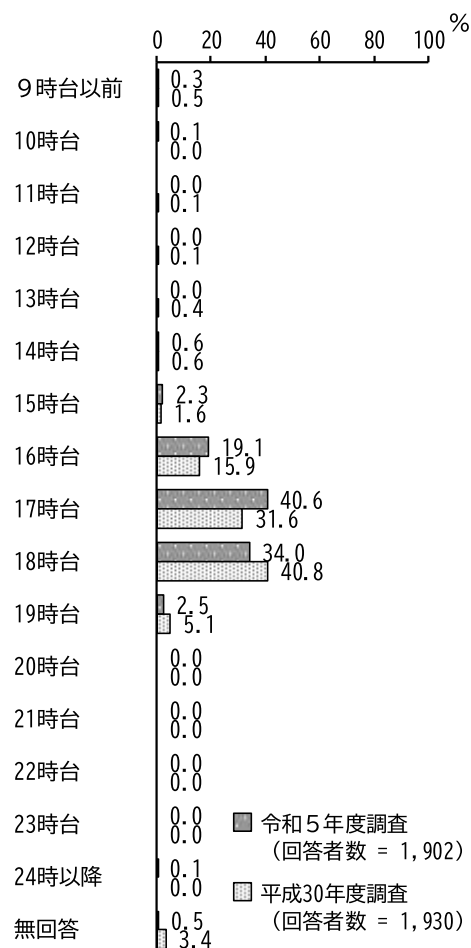
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が 11 ポイント減少しています。



認定こども園（保育所機能での利用）

「17 時台」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 34.0%、「16 時台」の割合が 19.1%となっています。

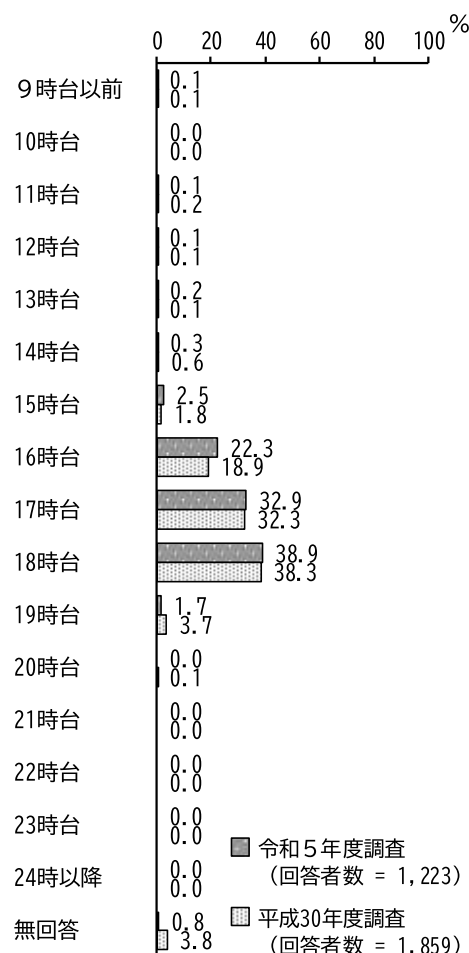
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 9 ポイント増加しています。一方、「18 時台」の割合が 6.8 ポイント減少しています。



認可保育所

「18 時台」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 32.9%、「16 時台」の割合が 22.3%となっています。

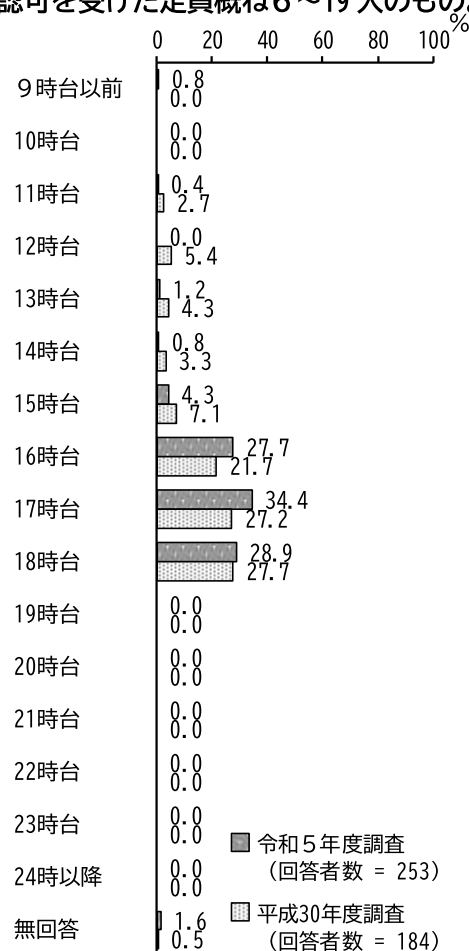
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの。)

「17 時台」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.9%、「16 時台」の割合が 27.7%となっています。

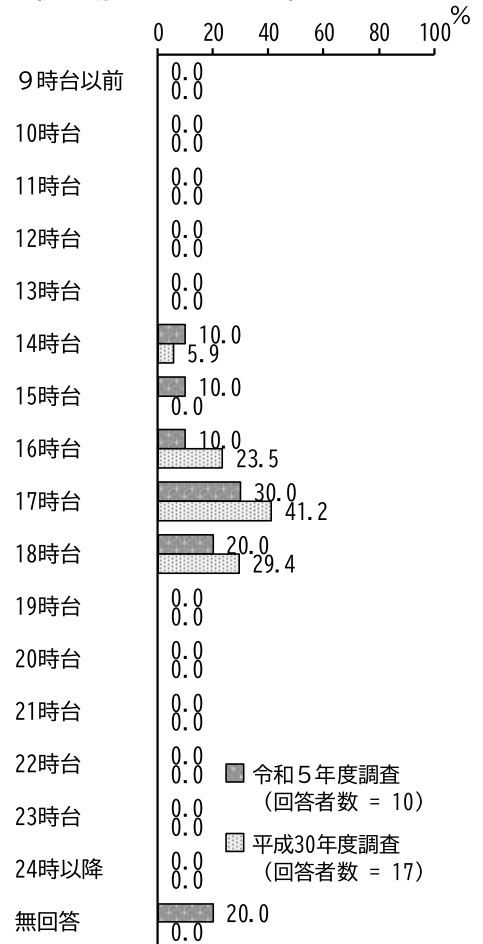
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 6 ポイント、「17 時台」の割合が 7.2 ポイント増加しています。一方、「12 時台」の割合が 5.4 ポイント減少しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「17 時台」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 20.0%、「14 時台」、「15 時台」の割合が 10.0%となっています。

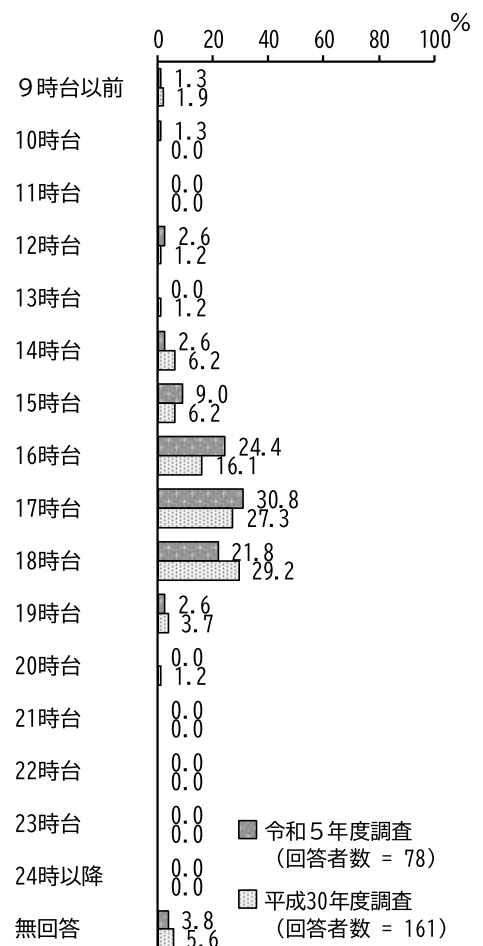
平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が 10 ポイント増加しています。一方、「16 時台」の割合が 13.5 ポイント、「17 時台」の割合が 11.2 ポイント、「18 時台」の割合が 9.4 ポイント減少しています。



事業所内保育所

「17 時台」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 24.4%、「18 時台」の割合が 21.8%となっています。

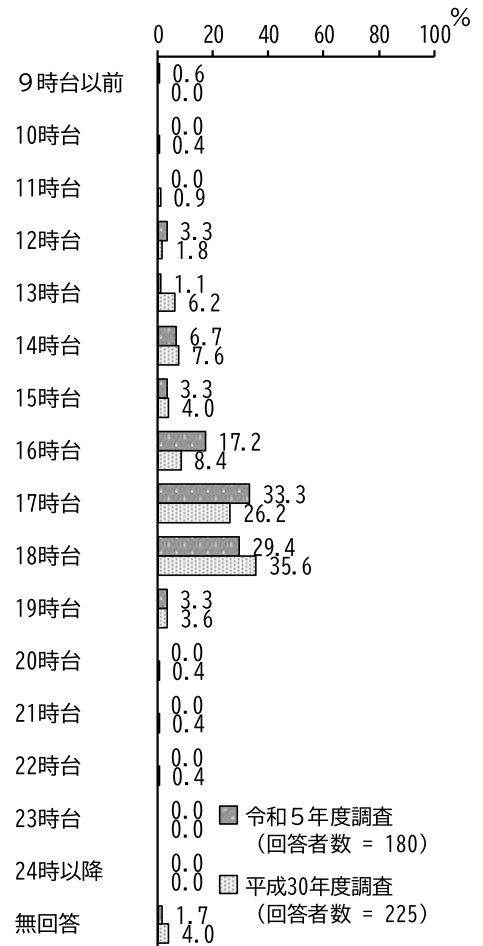
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 8.3 ポイント増加しています。一方、「18 時台」の割合が 7.4 ポイント減少しています。



その他の認可外の保育施設

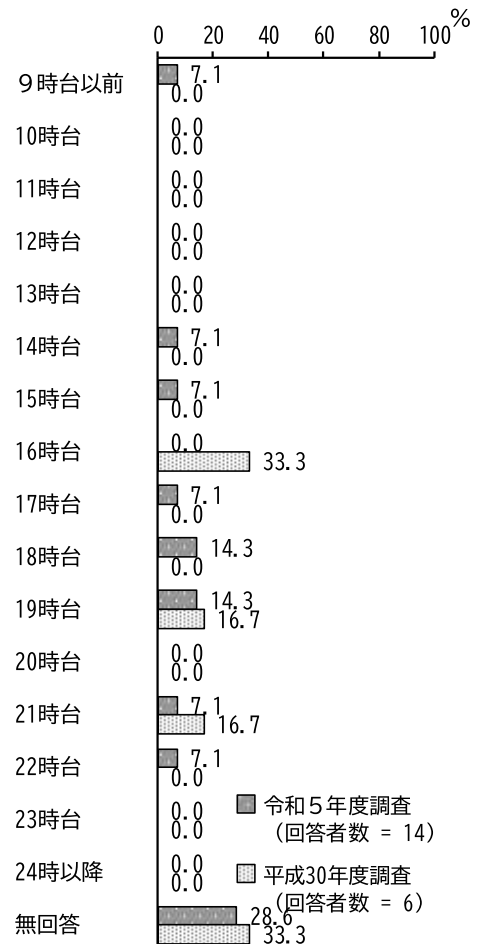
「17 時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 29.4%、「16 時台」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 8.8 ポイント、「17 時台」の割合が 7.1 ポイント増加しています。一方、「13 時台」の割合が 5.1 ポイント、「18 時台」の割合が 6.2 ポイント減少しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

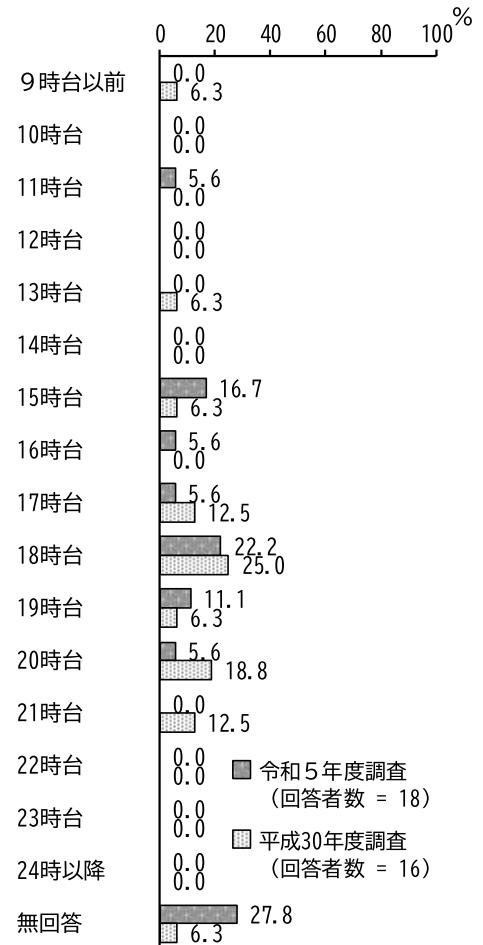
「18 時台」、「19 時台」の割合が 14.3%と最も高くなっています。



ファミリー・サポート・センター

「18 時台」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 16.7%、「19 時台」の割合が 11.1%となっています。

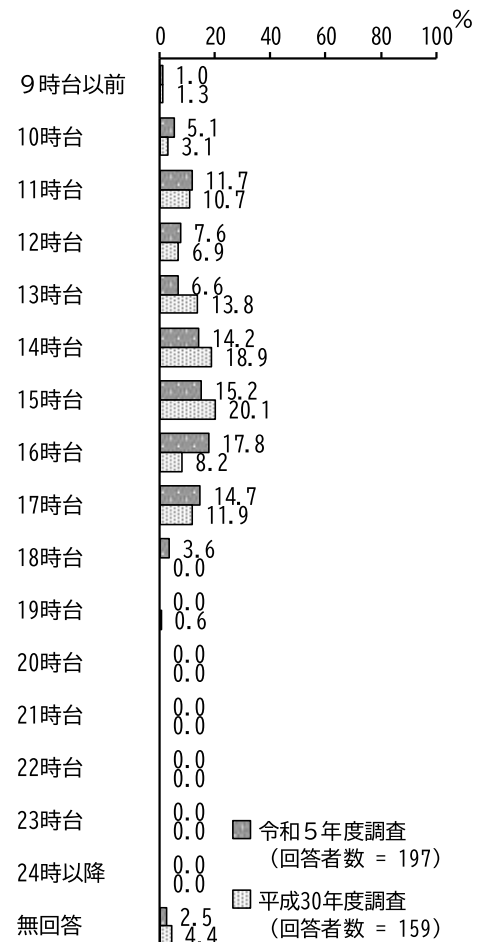
平成 30 年度調査と比較すると、「11 時台」「16 時台」の割合が 5.6 ポイント、「15 時台」の割合が 10.4 ポイント増加しています。一方、「9 時台以前」「13 時台」の割合が 6.3 ポイント、「17 時台」の割合が 6.9 ポイント、「20 時台」の割合が 13.2 ポイント、「21 時台」の割合が 12.5 ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「16 時台」の割合が 17.8%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 15.2%、「17 時台」の割合が 14.7%となっています。

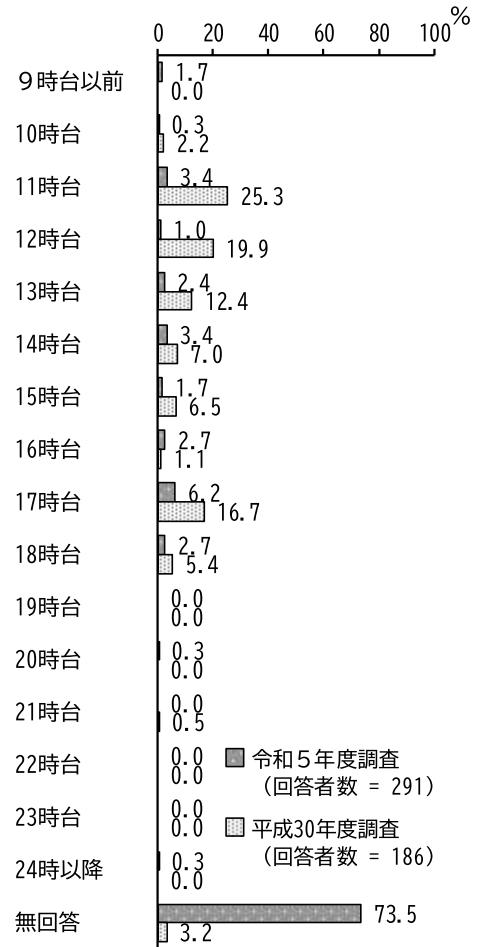
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 9.6 ポイント増加しています。一方、「13 時台」の割合が 7.2 ポイント減少しています。



その他

「17時台」の割合が6.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「11時台」の割合が21.9ポイント、「12時台」の割合が18.9ポイント、「13時台」の割合が10ポイント、「17時台」の割合が10.5ポイント減少しています。

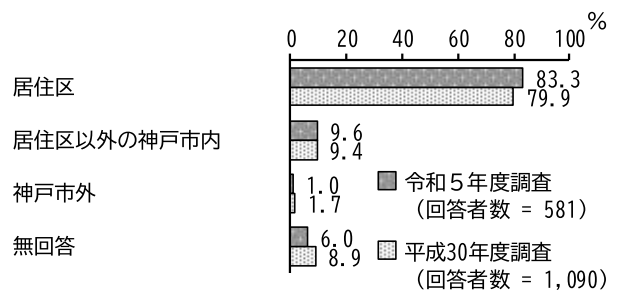


③実施場所(○は1つ)

幼稚園(預かり保育利用なし)

「居住区」の割合が83.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

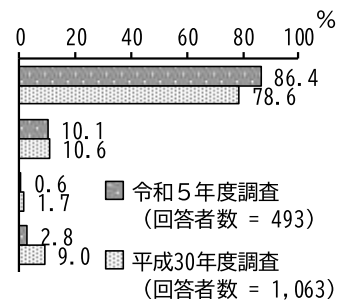


幼稚園（預かり保育利用あり）

「居住区」の割合が86.4%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が7.8ポイント増加しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
無回答

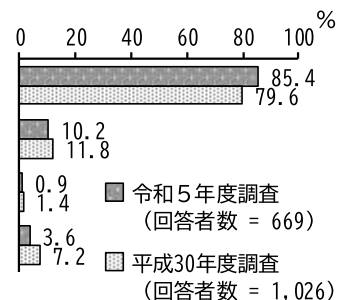


認定こども園（幼稚園機能での利用）

「居住区」の割合が85.4%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が5.8ポイント増加しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
無回答

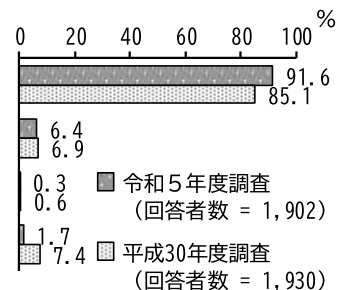


認定こども園（保育所機能での利用）

「居住区」の割合が91.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が6.5ポイント増加しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
無回答

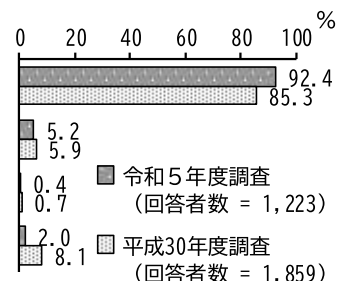


認可保育所

「居住区」の割合が92.4%と最も高くなっています。

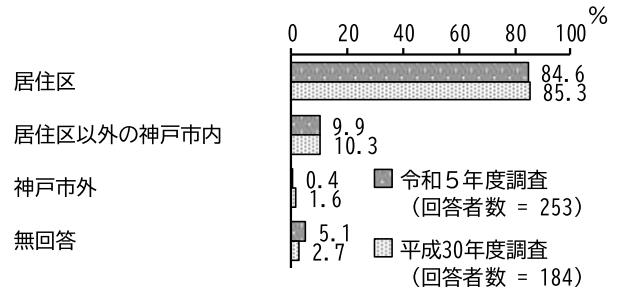
平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が7.1ポイント増加しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
無回答



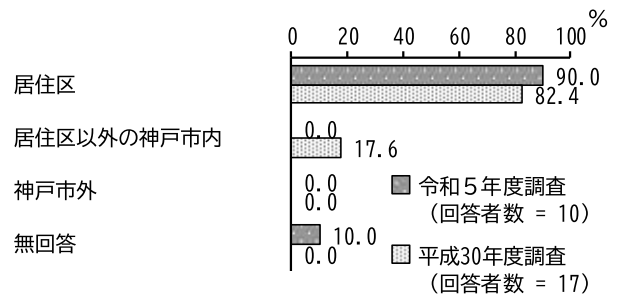
小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「居住区」の割合が84.6%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



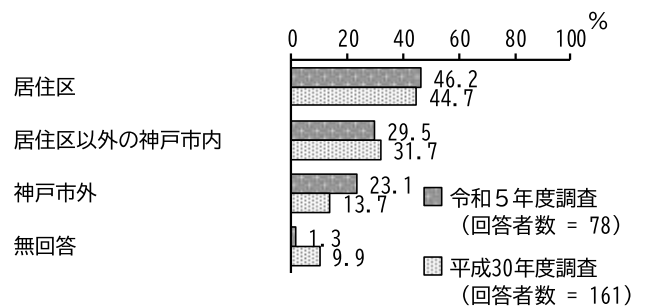
家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「居住区」の割合が90.0%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が7.6ポイント増加しています。一方、「居住区以外の神戸市内」の割合が17.6ポイント減少しています。



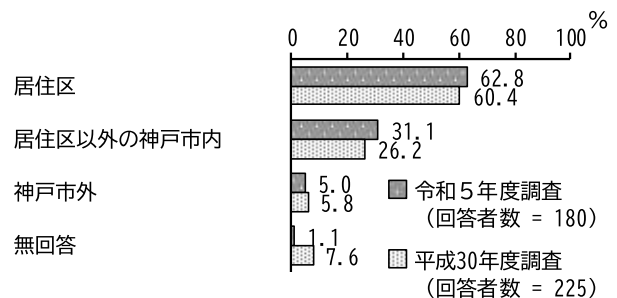
事業所内保育所

「居住区」の割合が46.2%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が29.5%、「神戸市外」の割合が23.1%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「神戸市外」の割合が9.4ポイント増加しています。



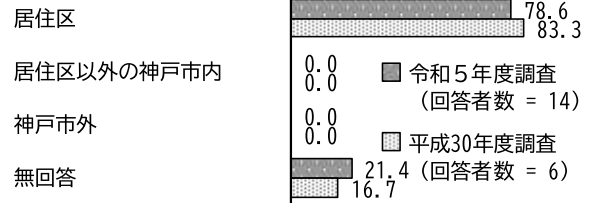
その他の認可外の保育施設

「居住区」の割合が62.8%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が31.1%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

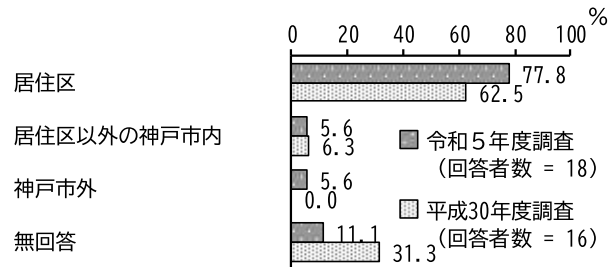
「居住区」の割合が78.6%と最も高くなっています。



ファミリー・サポート・センター

「居住区」の割合が77.8%と最も高くなっています。

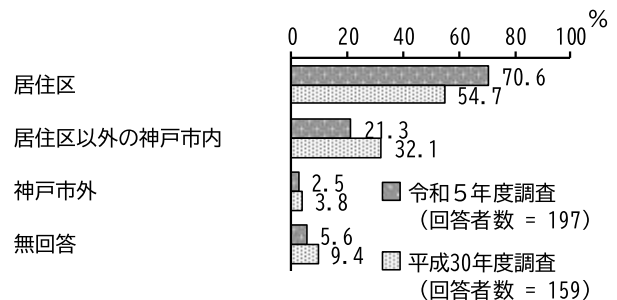
平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が15.3ポイント、「神戸市外」の割合が5.6ポイント増加しています。



児童発達支援センター等

「居住区」の割合が70.6%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が21.3%となっています。

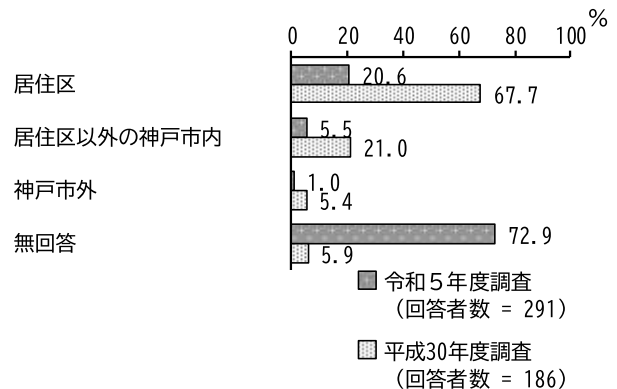
平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が15.9ポイント増加しています。一方、「居住区以外の神戸市内」の割合が10.8ポイント減少しています。



その他

「居住区」の割合が20.6%と最も高くなっています。

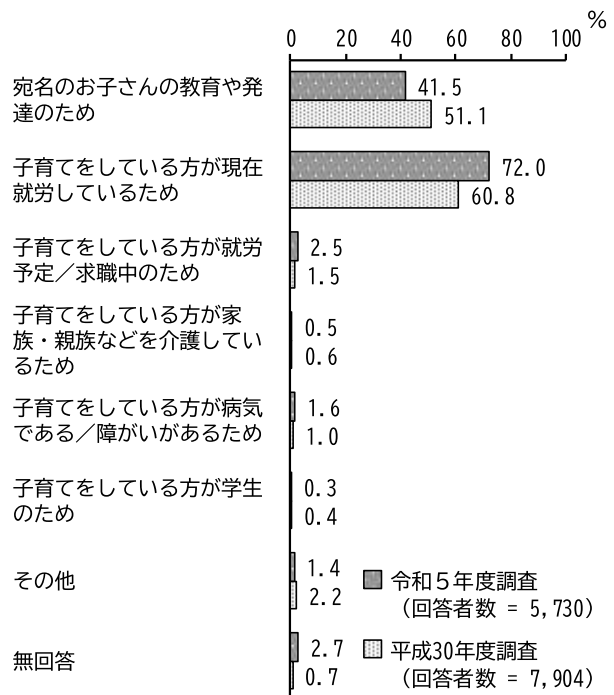
平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が47.1ポイント、「居住区以外の神戸市内」の割合が15.5ポイント減少しています。



問 16-2 平日に定期的な教育・保育事業を利用されている理由は何ですか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

「子育てをしている方が現在就労しているため」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「宛名のお子さんの教育や発達のため」の割合が 41.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労しているため」の割合が 11.2ポイント増加しています。一方、「宛名のお子さんの教育や発達のため」の割合が 9.6ポイント減少しています。

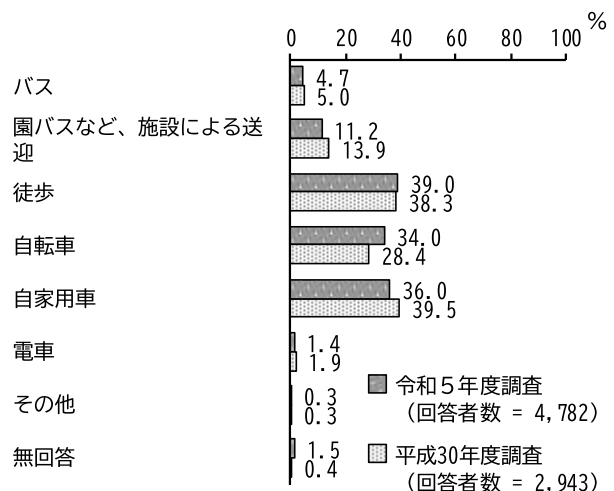


問 16-3 現在、幼稚園(問 16-1 ①の「1.」「2.」)、認定こども園(問 16-1 ①の「3.」「4.」)認可保育所(問 16-1 ①の「5.」)を平日、定期的にご利用されている方にうかがいます。該当しない方は問 17 へお進みください。
家から施設までの交通手段と所要時間(片道)を教えてください。

利用交通手段 (○はあてはまるものすべて)

「徒歩」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「自家用車」の割合が 36.0%、「自転車」の割合が 34.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自転車」の割合が 5.6ポイント増加しています。

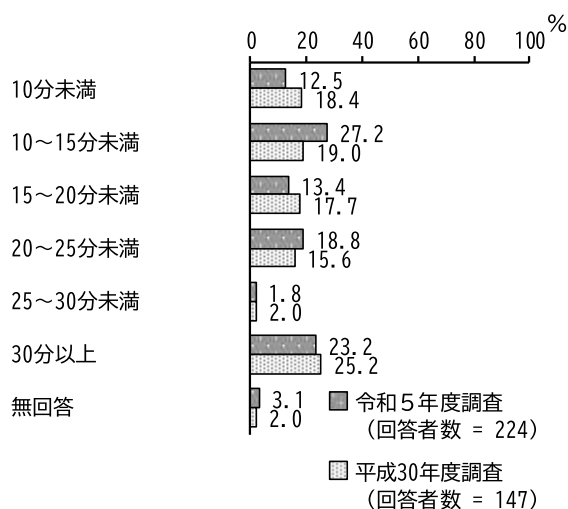


所要時間（おおよその時間を数字で記入）

バス

「10～15分未満」の割合が27.2%と最も高く、次いで「30分以上」の割合が23.2%、「20～25分未満」の割合が18.8%となっています。

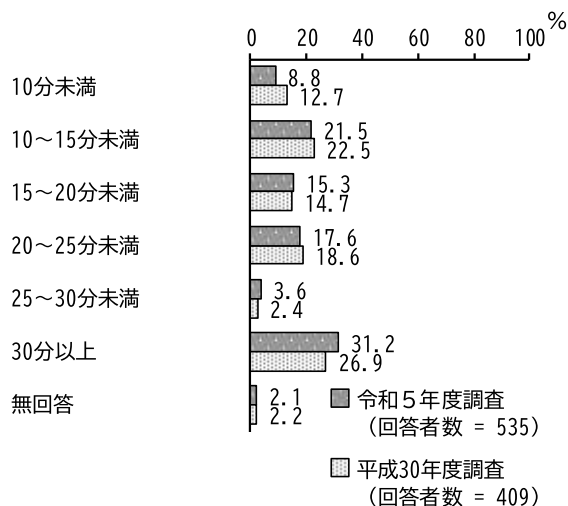
平成30年度調査と比較すると、「10～15分未満」の割合が8.2ポイント増加しています。一方、「10分未満」の割合が5.9ポイント減少しています。



園バスなど、施設による送迎

「30分以上」の割合が31.2%と最も高く、次いで「10～15分未満」の割合が21.5%、「20～25分未満」の割合が17.6%となっています。

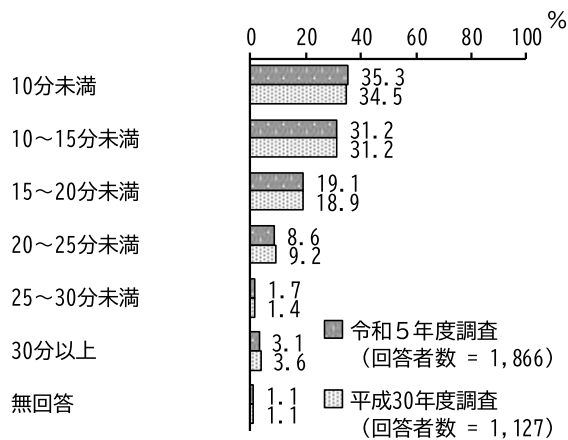
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



徒歩

「10分未満」の割合が35.3%と最も高く、次いで「10～15分未満」の割合が31.2%、「15～20分未満」の割合が19.1%となっています。

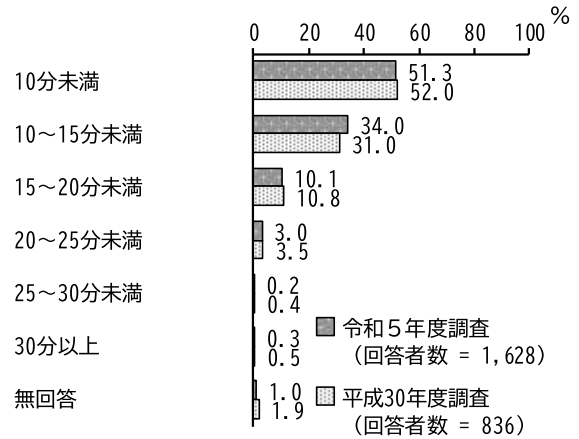
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



自転車

「10分未満」の割合が51.3%と最も高く、次いで「10～15分未満」の割合が34.0%、「15～20分未満」の割合が10.1%となっています。

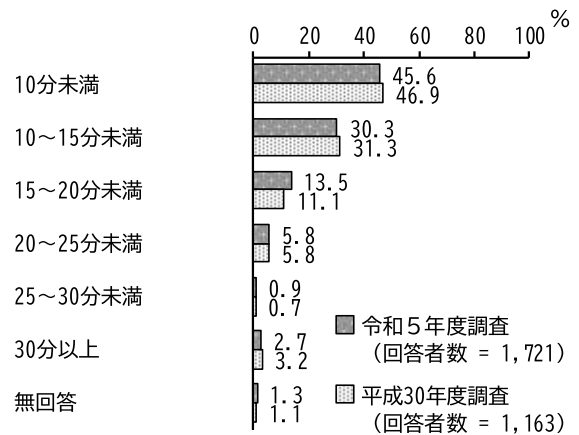
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



自家用車の所要時間

「10分未満」の割合が45.6%と最も高く、次いで「10～15分未満」の割合が30.3%、「15～20分未満」の割合が13.5%となっています。

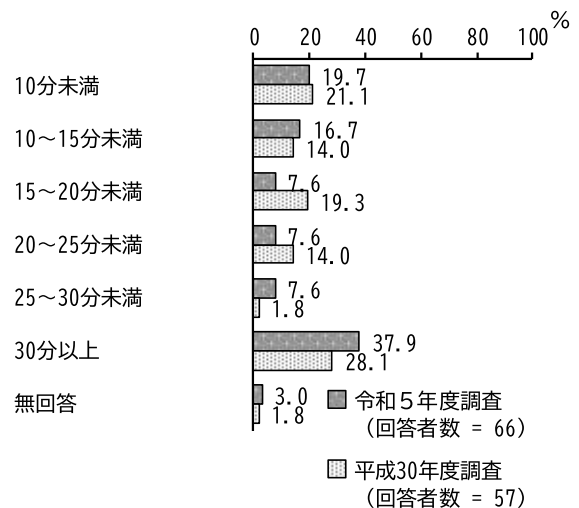
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



電車

「30分以上」の割合が37.9%と最も高く、次いで「10分未満」の割合が19.7%、「10～15分未満」の割合が16.7%となっています。

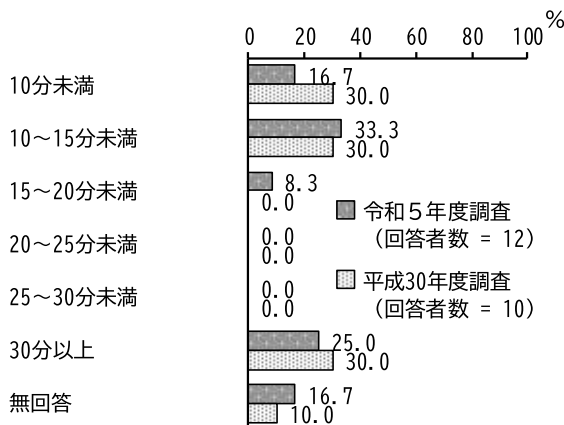
平成30年度調査と比較すると、「25～30分未満」の割合が5.8ポイント、「30分以上」の割合が9.8ポイント増加しています。一方、「15～20分未満」の割合が11.7ポイント、「20～25分未満」の割合が11.7ポイント、「20～25分未満」の割合が6.4ポイント減少しています。



その他

「10～15分未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「30分以上」の割合が25.0%、「10分未満」の割合が16.7%となっています。

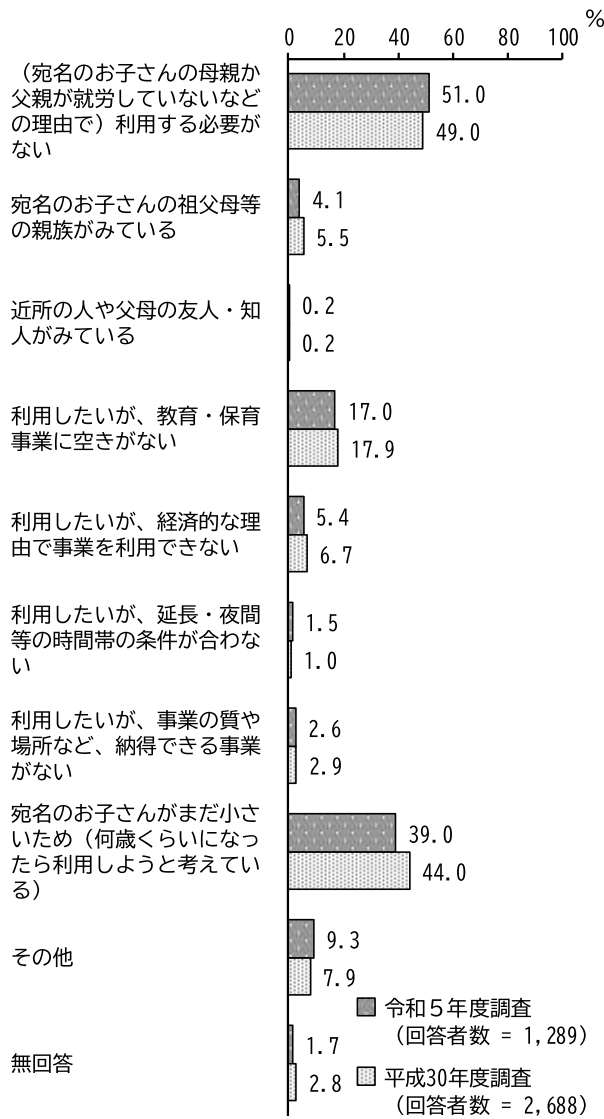
平成30年度調査と比較すると、「15～20分未満」の割合が8.3ポイント増加しています。一方、「10分未満」の割合が13.3ポイント減少しています。



問16-4 問16で「2. いいえ」と答えた方にうかがいます。定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。また、「8.」に○をつけた方は何歳になったら利用したいかを数字でご記入ください。

「(宛名のお子さんの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が51.0%と最も高く、次いで「宛名のお子さんがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が39.0%、「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」の割合が17.0%となっています。

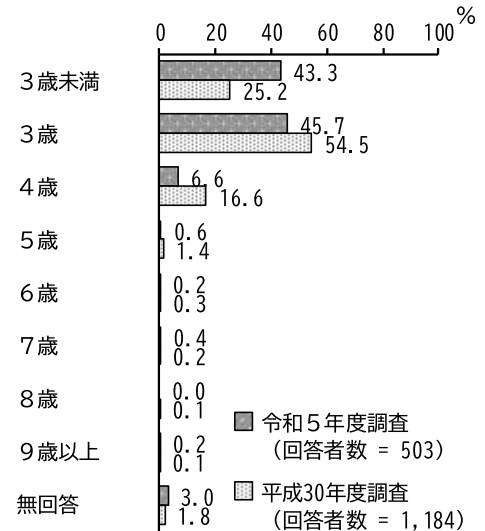
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望開始年齢

「3歳」の割合が45.7%と最も高く、次いで「3歳未満」の割合が43.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳未満」の割合が18.1ポイント増加しています。一方、「3歳」の割合が8.8ポイント、「4歳」の割合が10ポイント減少しています。

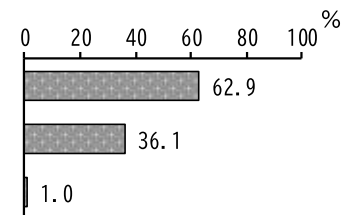


問16-5 宛名のお子さんについて、現在、国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいですか。

「利用したい」の割合が62.9%、「利用する必要はない」の割合が36.1%となっています。

回答者数 = 1,289

利用したい
利用する必要はない
無回答

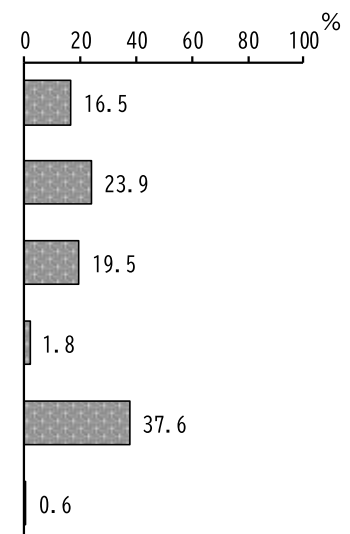


問16-6 問16-5で「利用したい」と答えた方にうかがいます。
どのくらいの頻度で利用したいですか（○は1つ）。
（ ）内に時間数、時間帯も記入してください。

「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい。」の割合が37.6%と最も高く、次いで「毎週1回定期利用（1回あたり2.5時間程度）」の割合が23.9%、「毎月2回定期利用（1回あたり5時間程度）」の割合が19.5%となっています。

回答者数 = 811

毎週2回定期利用（1回あたり1時間程度）
毎週1回定期利用（1回あたり2.5時間程度）
毎月2回定期利用（1回あたり5時間程度）
毎月1回利用（1回あたり10時間以内）
曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい。
無回答

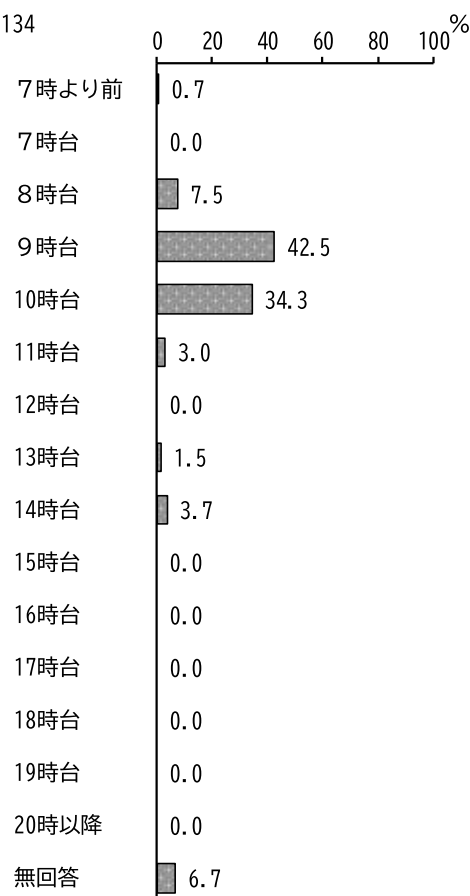


毎週2回

利用希望開始時間

「9時台」の割合が42.5%と最も高く、次いで「10時台」の割合が34.3%となっています。

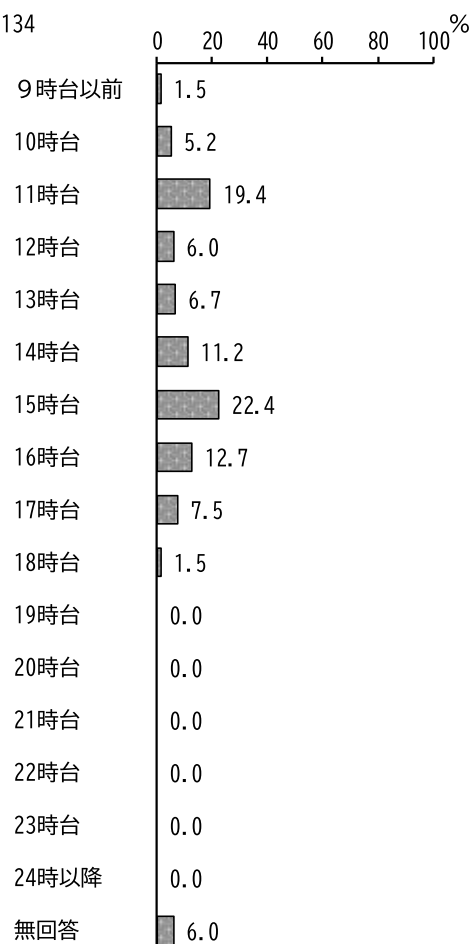
回答者数 = 134



利用希望終了時間

「15時台」の割合が22.4%と最も高く、次いで「11時台」の割合が19.4%、「16時台」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 134

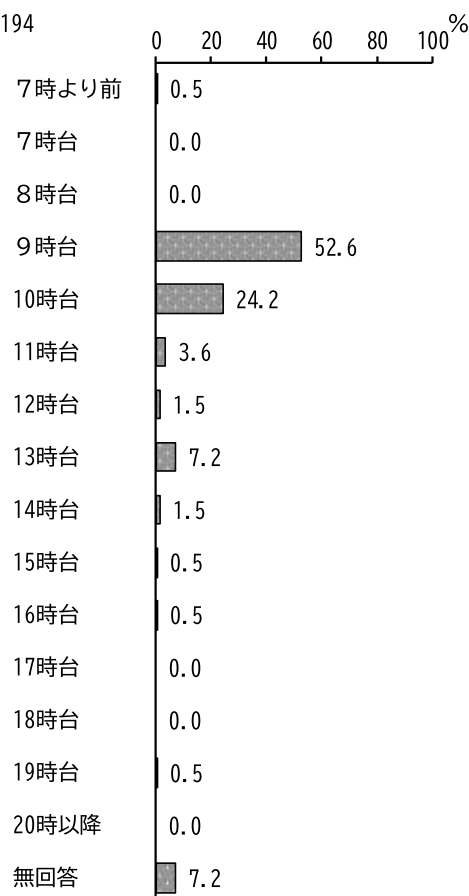


毎週1回

利用希望開始時間

「9時台」の割合が52.6%と最も高く、次いで「10時台」の割合が24.2%となっています。

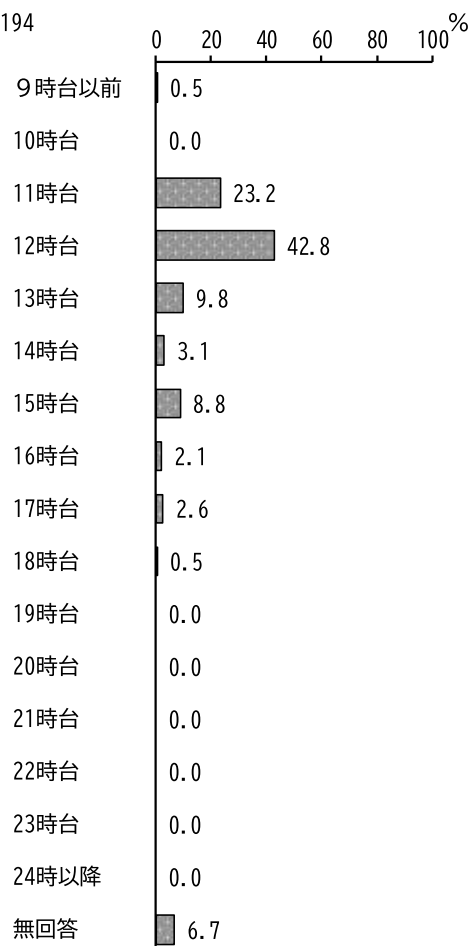
回答者数 = 194



利用希望終了時間

「12時台」の割合が42.8%と最も高く、次いで「11時台」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 194

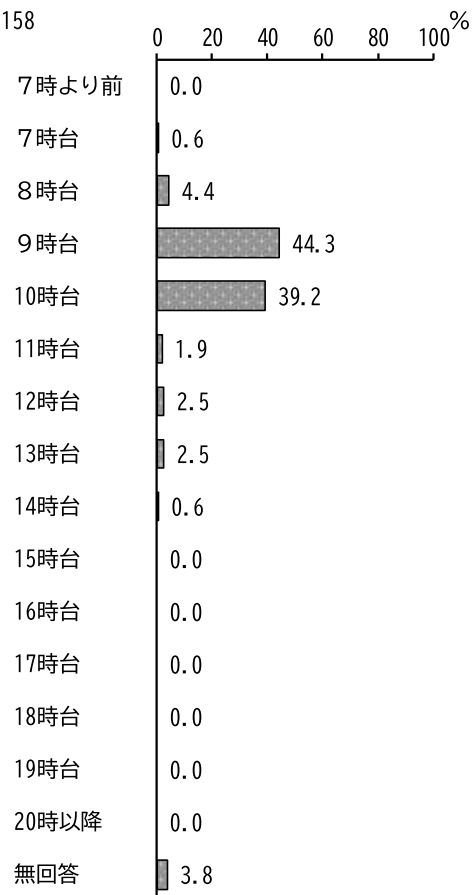


毎月2回

利用希望開始時間

「9時台」の割合が44.3%と最も高く、次いで「10時台」の割合が39.2%となっています。

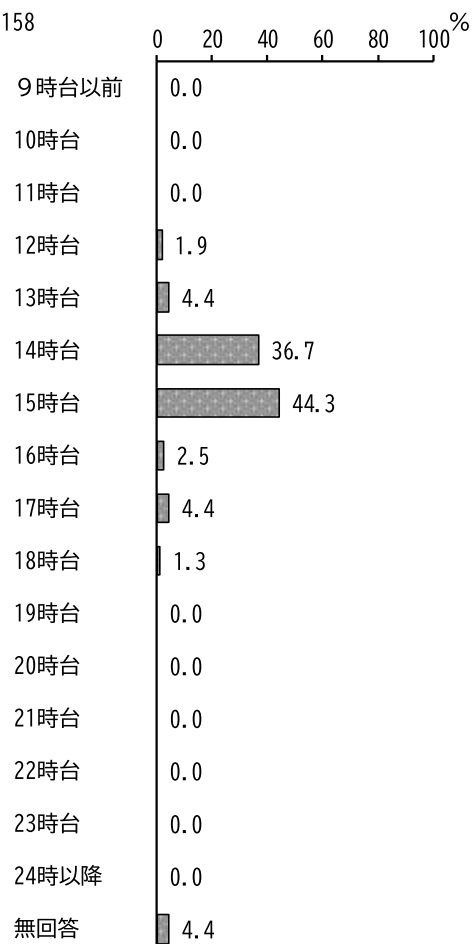
回答者数 = 158



利用希望終了時間

「15時台」の割合が44.3%と最も高く、次いで「14時台」の割合が36.7%となっています。

回答者数 = 158

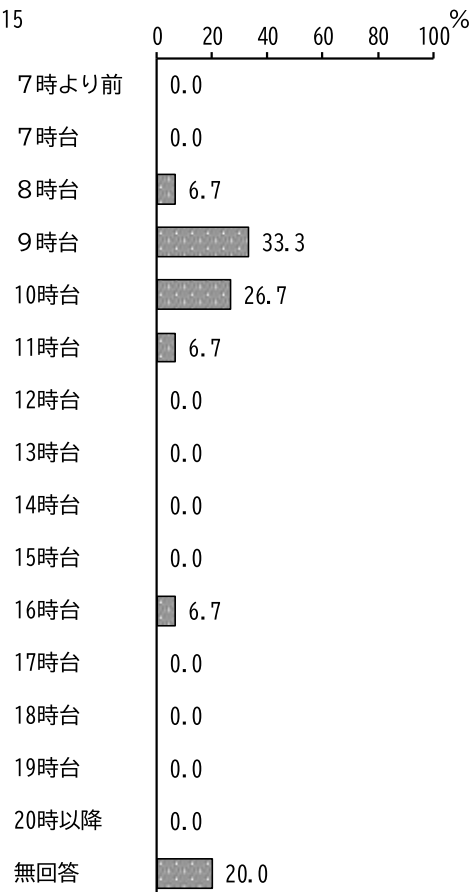


毎月1回

利用希望開始時間

「9時台」の割合が33.3%と最も高く、次いで「10時台」の割合が26.7%となっています。

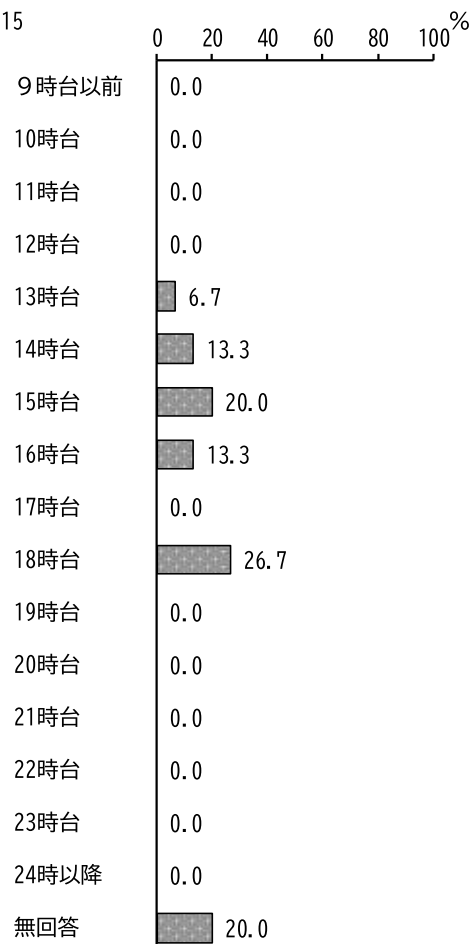
回答者数 = 15



利用希望終了時間

「18時台」の割合が26.7%と最も高く、次いで「15時台」の割合が20.0%、「14時台」、「16時台」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 15



問 16-7 利用したい理由は何ですか（1つに○）。

「子どもの育ちのため（同じ年頃の子どもの
 触れ合いや家庭とは異なる経験等）」の割合が
 41.1%と最も高く、次いで「育児のリフレッシュ、
 自由な時間をつくるため」の割合が 36.6%となっ
 ています。

回答者数 = 811

子どもの育ちのため（同じ
 年頃の子どもの触れ合い
 や家庭とは異なる経験等）

今後の定期的な教育・保育
 事業の利用に向けた検討の
 ため（親子一緒での利用
 等）

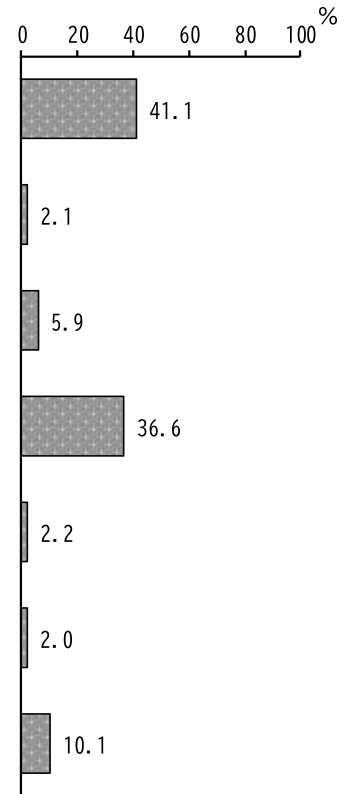
パート就労のため

育児のリフレッシュ、自由
 な時間をつくるため

ご自身の病気や同居家族・
 親族の介護や看護などの一
 時的な利用のため

その他

無回答



問 16-8 現在、国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用要件等について、どのように思いますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

「月 10 時間よりも多く利用できるようにして
 ほしい」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「3
 歳以上も利用できるようにしてほしい」の割合が
 30.0%、「特に意見はない」の割合が 24.9%とな
 っています。

回答者数 = 7,026

3歳以上も利用できるよ
 うにほしい

月10時間よりも多く利用で
 けるようにしてほしい

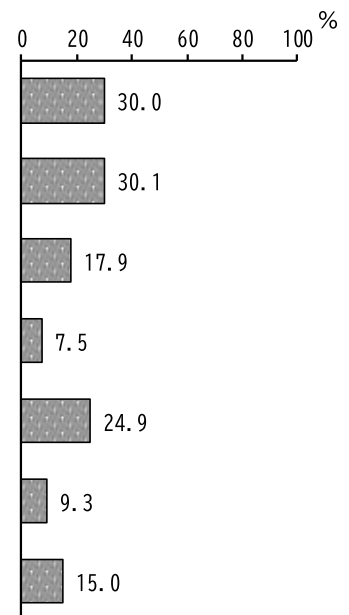
10時間利用で2,000円（1
 時間200円）までなら利用
 する

10時間利用で3,000円（1
 時間300円）までなら利用
 する

特に意見はない

その他

無回答



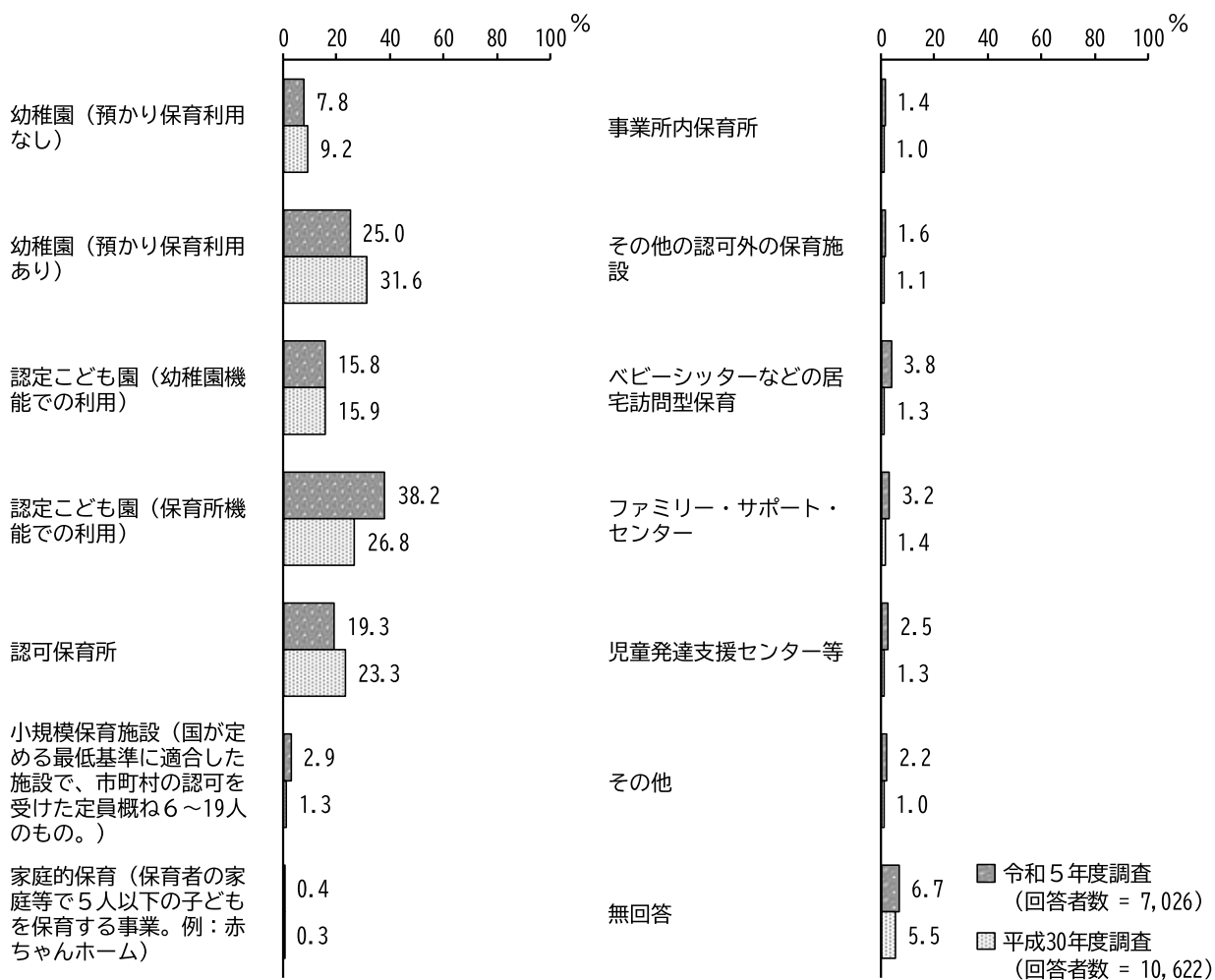
すべての方にうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、現在、利用している、していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として、今後どの事業を「定期的に」利用したいですか。
 ①利用したい事業、②希望する利用時間、③実施場所の希望、④その事業を利用したい理由についてお答えください。

①利用したい事業

「認定こども園（保育所機能での利用）」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育利用あり）」の割合が 25.0%、「認可保育所」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園（保育所機能での利用）」の割合が 11.4 ポイント増加しています。



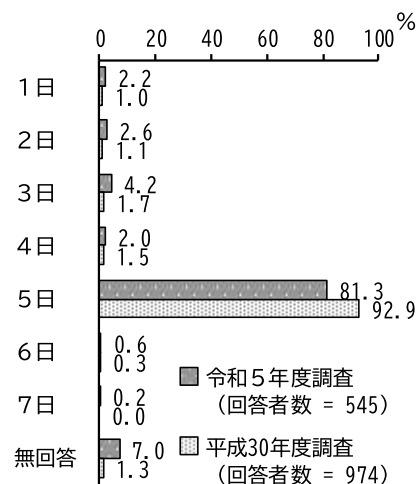
②希望する利用時間

利用日数（1週間当たり）

幼稚園

「5日」の割合が81.3%と最も高くなっています。

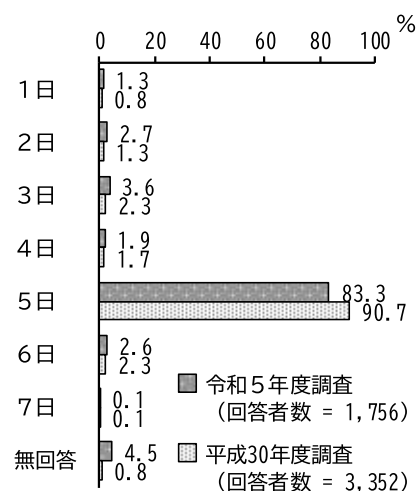
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が11.6ポイント減少しています。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「5日」の割合が83.3%と最も高くなっています。

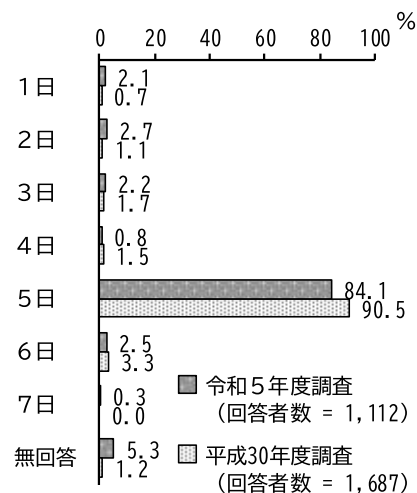
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.4ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「5日」の割合が84.1%と最も高くなっています。

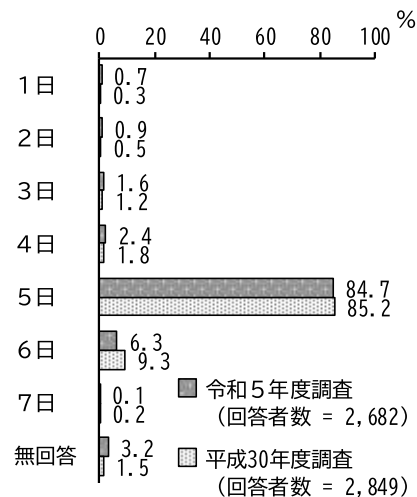
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.4ポイント減少しています。



認定こども園（保育所機能での利用）

「5日」の割合が84.7%と最も高くなっています。

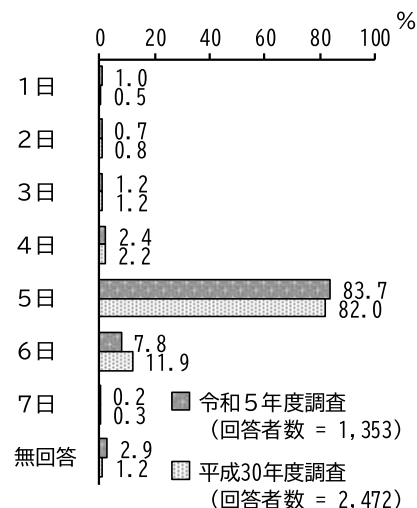
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「5日」の割合が83.7%と最も高くなっています。

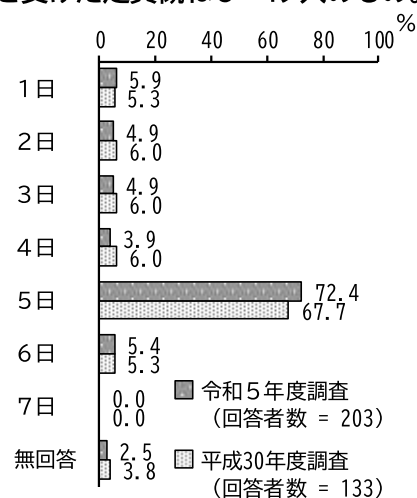
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「5日」の割合が72.4%と最も高くなっています。

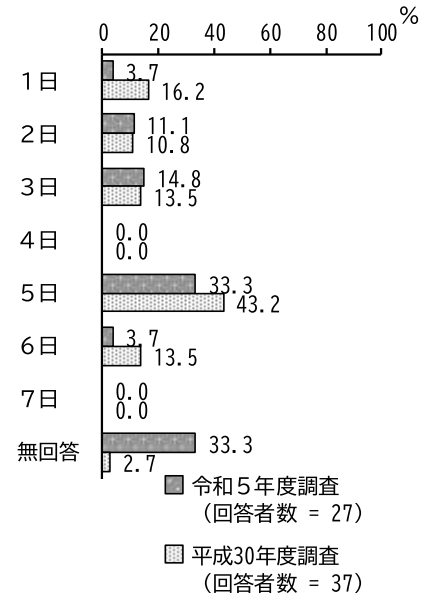
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「5日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.8%、「2日」の割合が11.1%となっています。

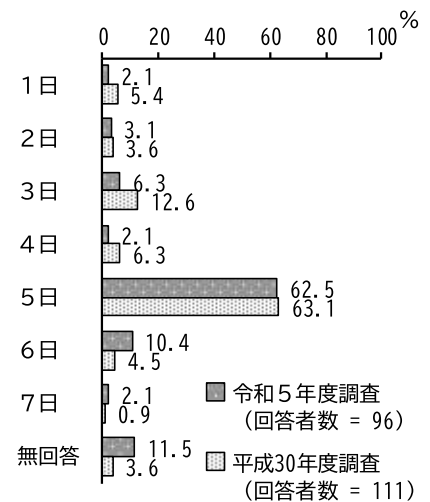
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が12.5ポイント、「5日」の割合が9.9ポイント、「6日」の割合が9.8ポイント減少しています。



事業所内保育所

「5日」の割合が62.5%と最も高く、次いで「6日」の割合が10.4%となっています。

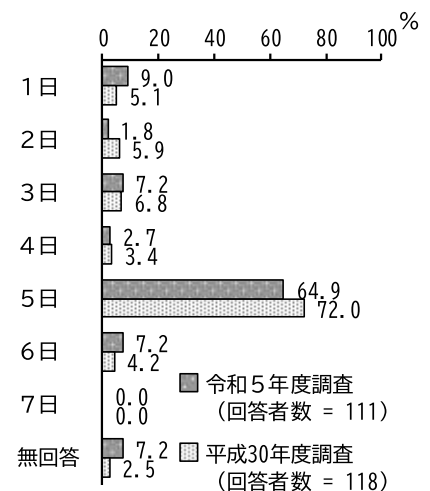
平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が5.9ポイント増加しています。一方、「3日」の割合が6.3ポイント減少しています。



その他の認可外の保育施設

「5日」の割合が64.9%と最も高くなっています。

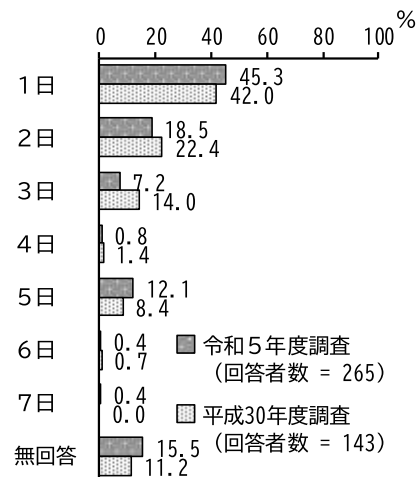
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.1ポイント減少しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

「1日」の割合が45.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.5%、「5日」の割合が12.1%となっています。

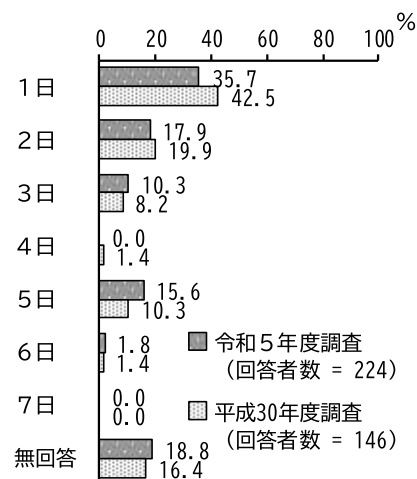
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が6.8ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センター

「1日」の割合が35.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.9%、「5日」の割合が15.6%となっています。

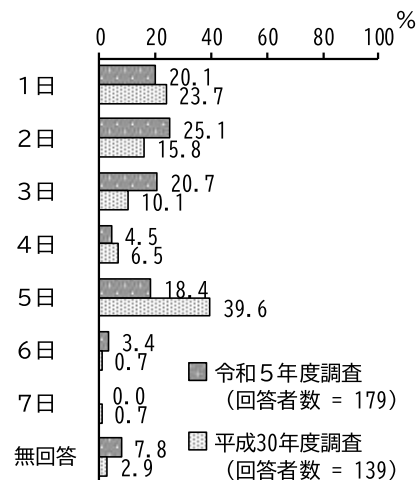
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が5.3ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が6.8ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「2日」の割合が25.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.7%、「1日」の割合が20.1%となっています。

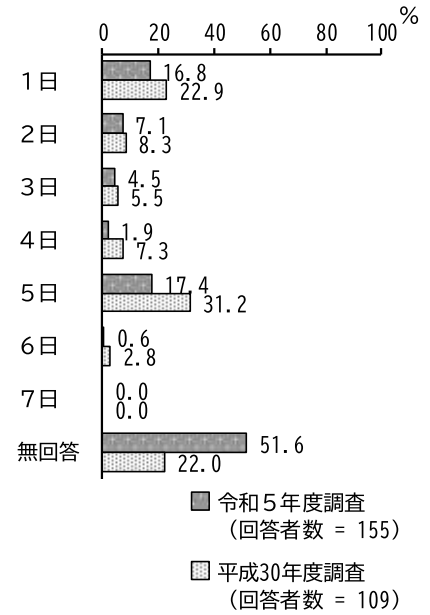
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が9.3ポイント、「3日」の割合が10.6ポイント増加しています。一方、「5日」の割合が21.2ポイント減少しています。



その他

「5日」の割合が17.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が16.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が6.1ポイント、「4日」の割合が5.4ポイント、「5日」の割合が13.8ポイント減少しています。

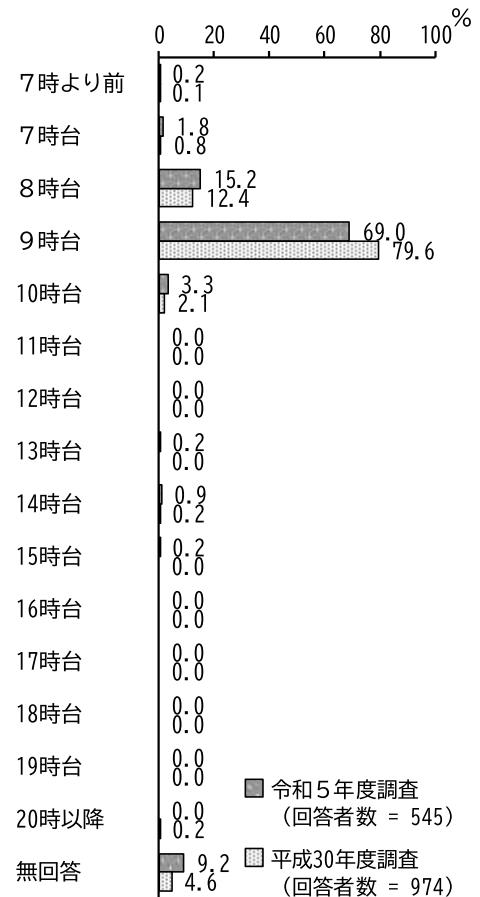


希望する利用開始時間

幼稚園（預かり保育利用なし）

「9時台」の割合が69.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が15.2%となっています。

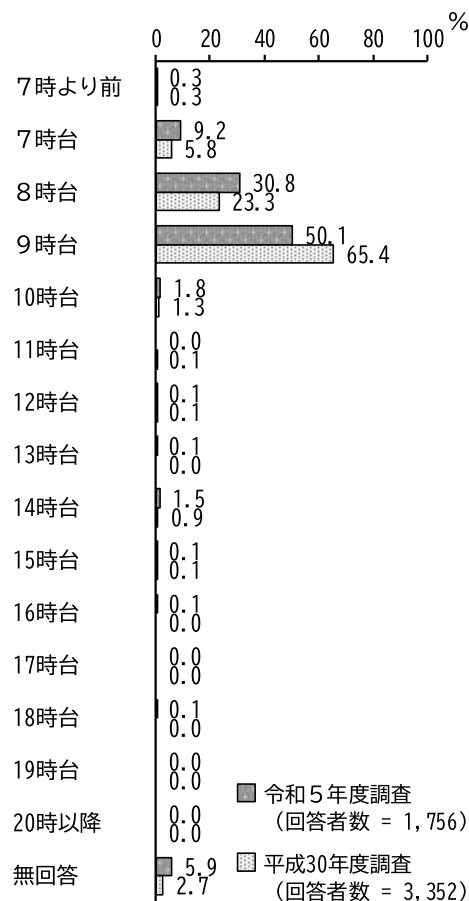
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が10.6ポイント減少しています。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「9時台」の割合が50.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.8%となっています。

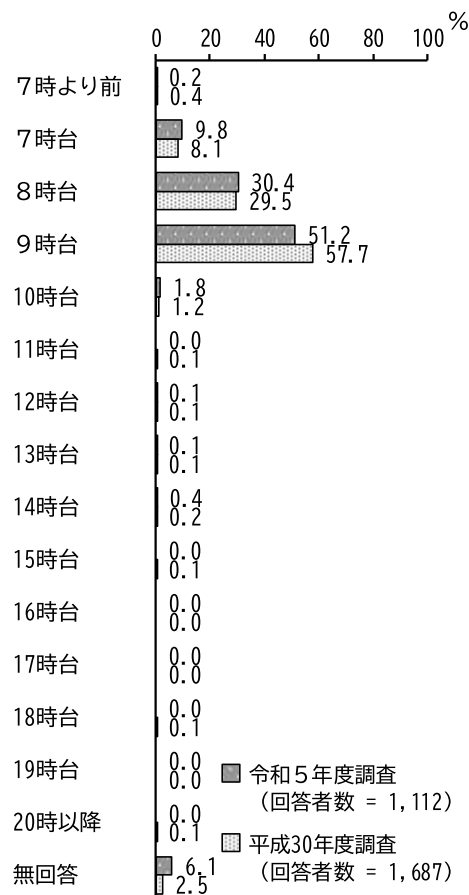
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が7.5ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が15.3ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「9時台」の割合が51.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.4%となっています。

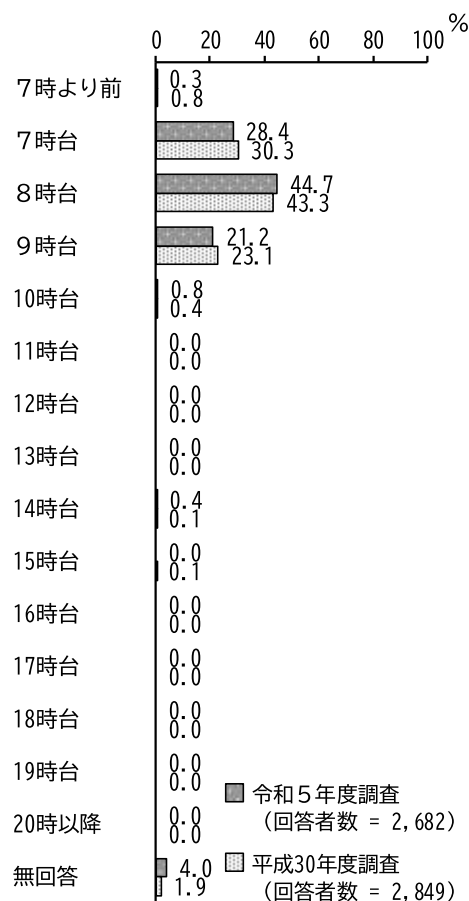
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が6.5ポイント減少しています。



認定こども園（保育所機能での利用）

「8時台」の割合が44.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.4%、「9時台」の割合が21.2%となっています。

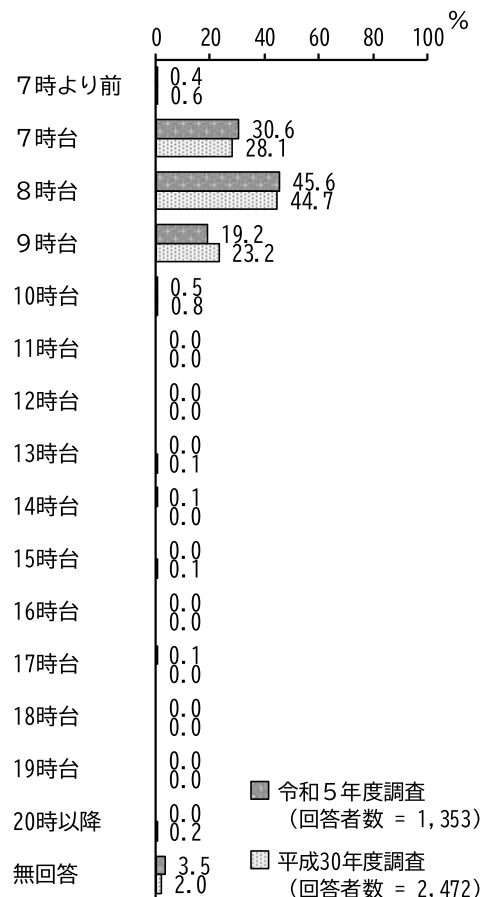
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「8時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が30.6%、「9時台」の割合が19.2%となっています。

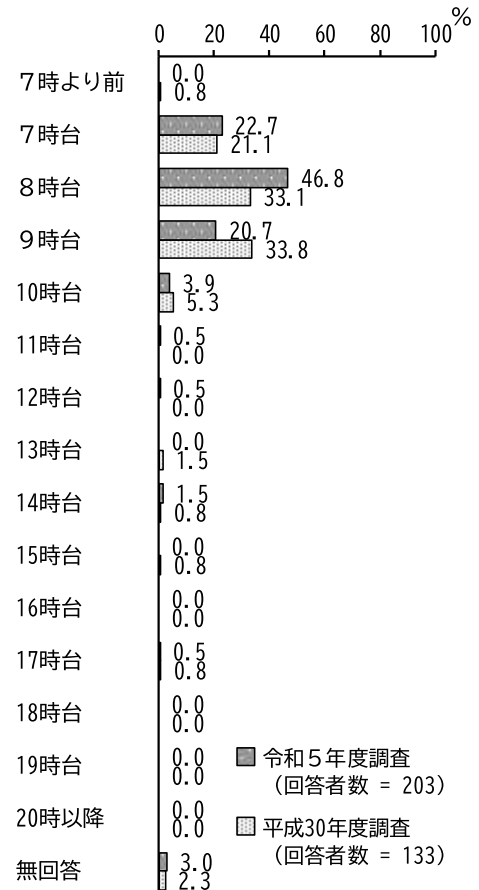
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「8時台」の割合が46.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.7%、「9時台」の割合が20.7%となっています。

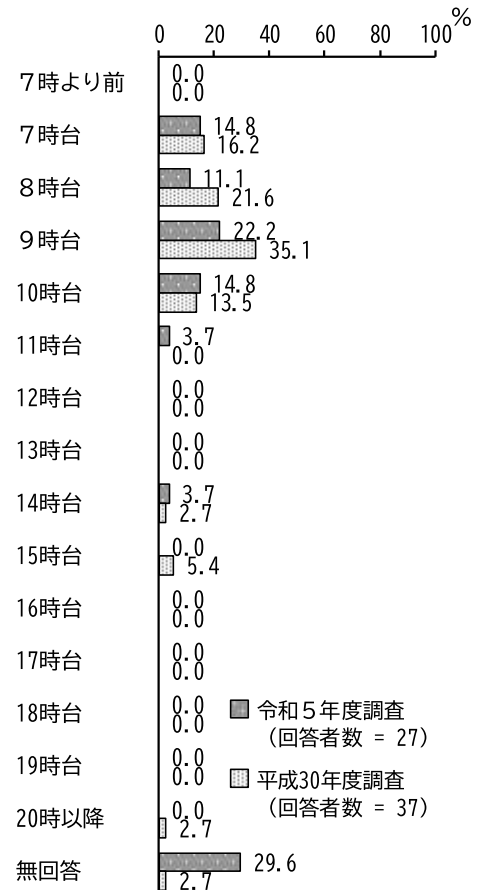
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が13.7ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が13.1ポイント減少しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「9時台」の割合が22.2%と最も高く、次いで「7時台」、「10時台」の割合が14.8%となっています。

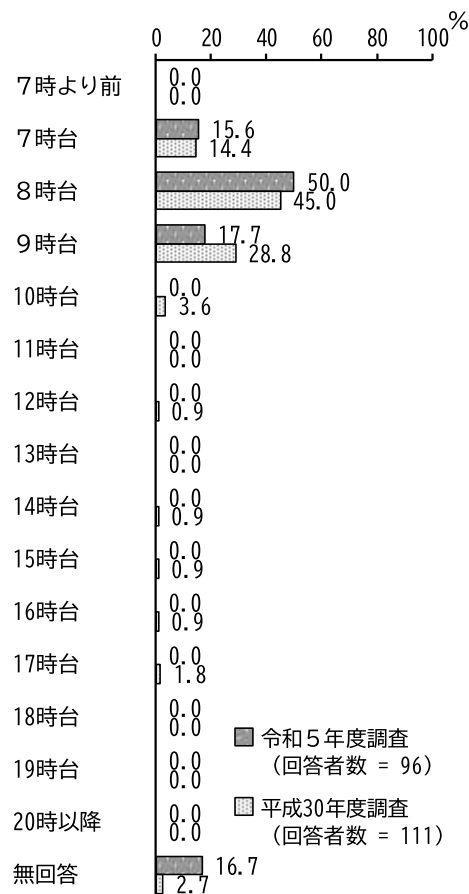
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が10.5ポイント、「9時台」の割合が12.9ポイント、「15時台」の割合が5.4ポイント減少しています。



事業所内保育所

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が17.7%、「7時台」の割合が15.6%となっています。

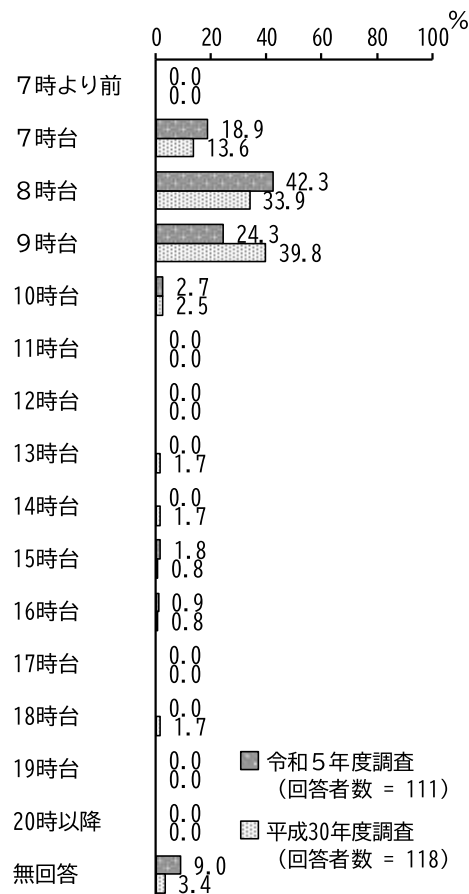
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が11.1ポイント減少しています。



その他の認可外の保育施設

「8時台」の割合が42.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が24.3%、「7時台」の割合が18.9%となっています。

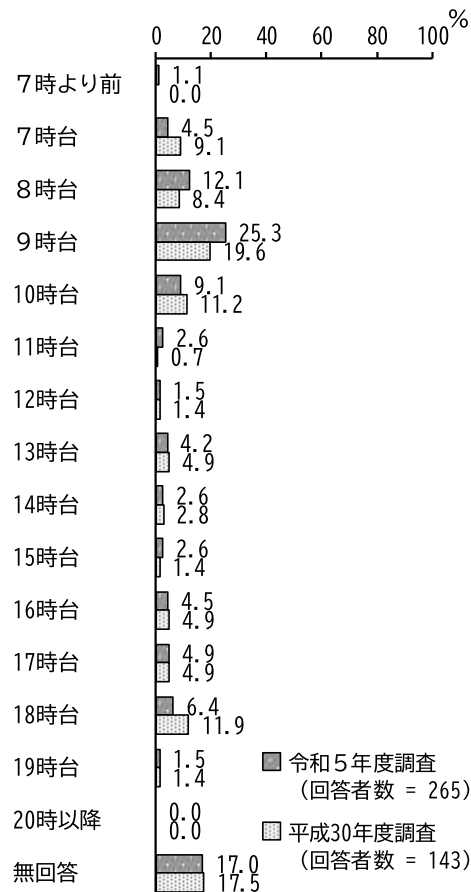
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が5.3ポイント、「8時台」の割合が8.4ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が15.5ポイント減少しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

「9時台」の割合が25.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が12.1%となっています。

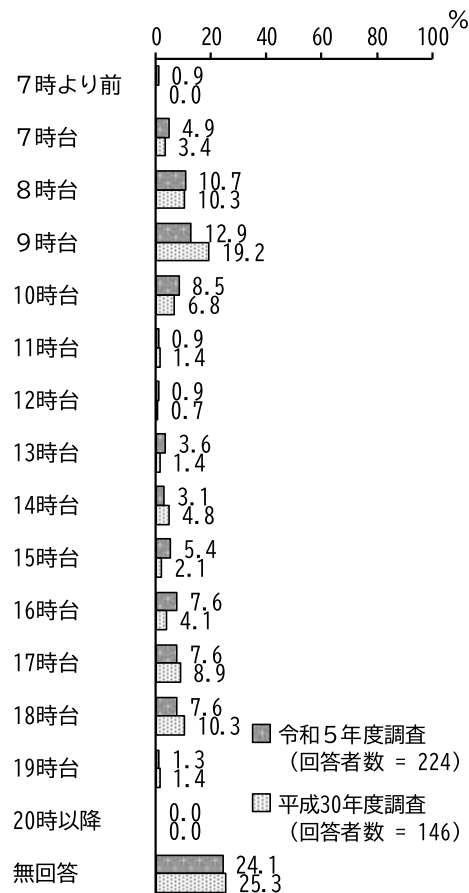
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が5.7ポイント増加しています。一方、「18時台」の割合が5.5ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センター

「9時台」の割合が12.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が10.7%となっています。

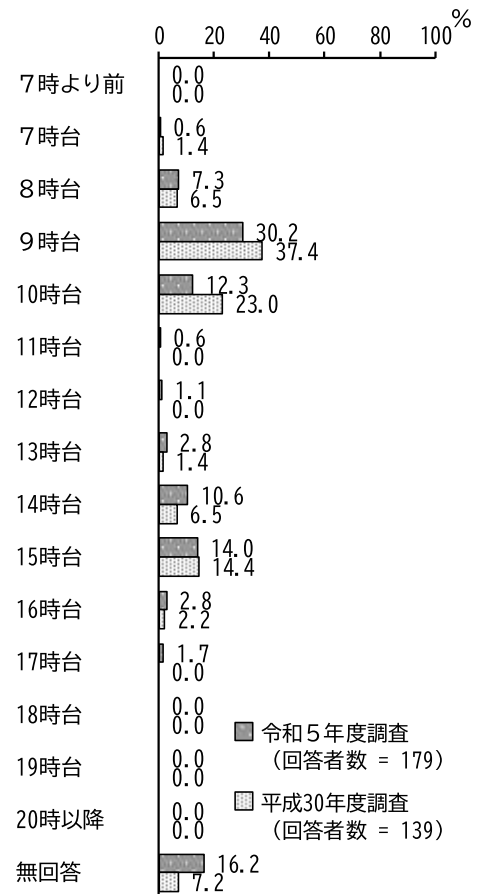
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が6.3ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「9時台」の割合が30.2%と最も高く、次いで「15時台」の割合が14.0%、「10時台」の割合が12.3%となっています。

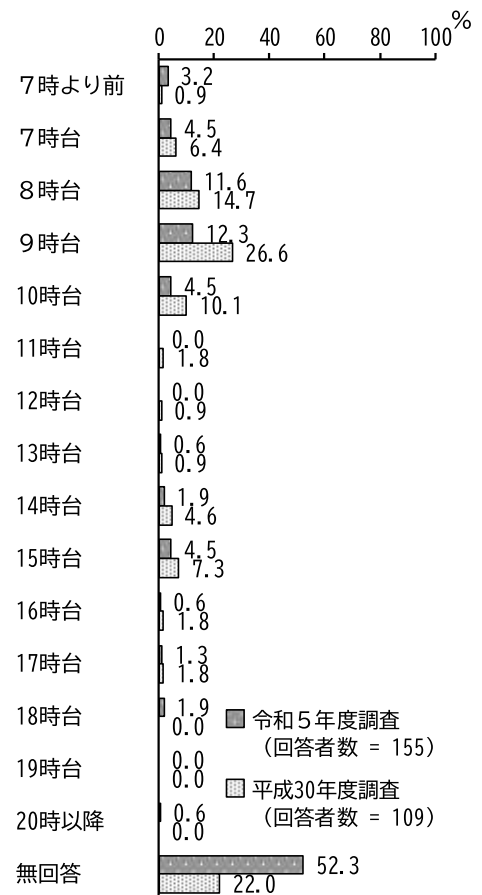
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が7.2ポイント、「10時台」の割合が10.7ポイント減少しています。



その他

「9時台」の割合が12.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が11.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が14.3ポイント、「10時台」の割合が5.6ポイント減少しています。

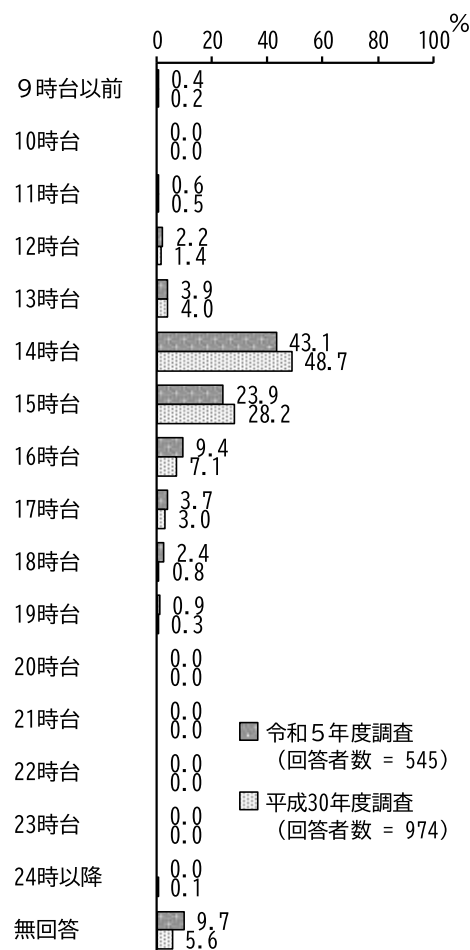


希望する利用終了時間

幼稚園（預かり保育利用なし）

「14 時台」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 23.9%となっています。

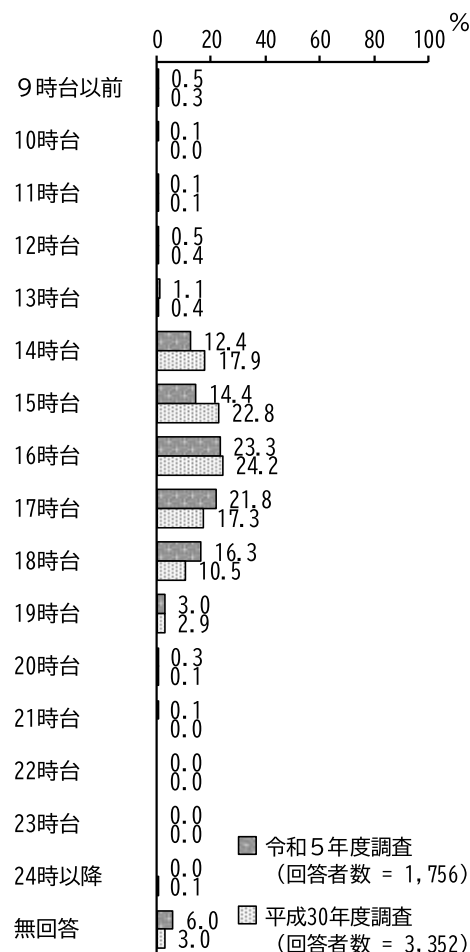
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が 5.6 ポイント減少しています。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「16 時台」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.8%、「18 時台」の割合が 16.3%となっています。

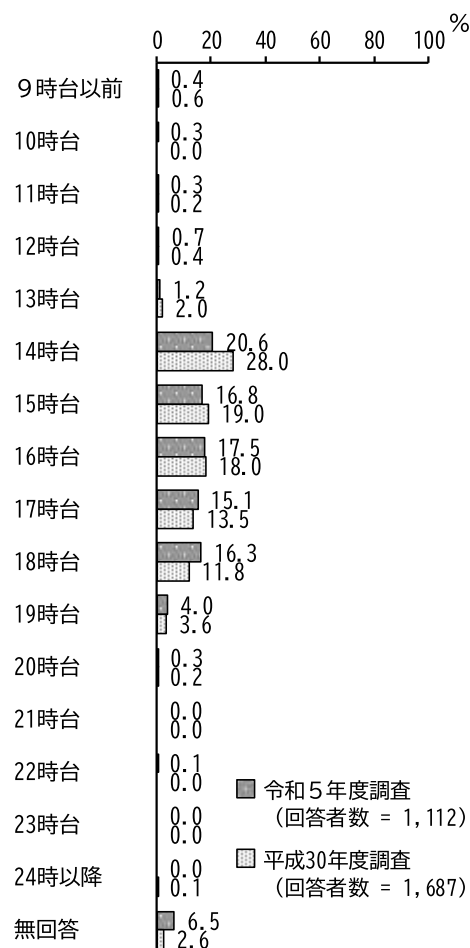
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が 5.8 ポイント増加しています。一方、「14 時台」の割合が 5.5 ポイント、「15 時台」の割合が 8.4 ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「14 時台」の割合が 20.6%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 17.5%、「15 時台」の割合が 16.8%となっています。

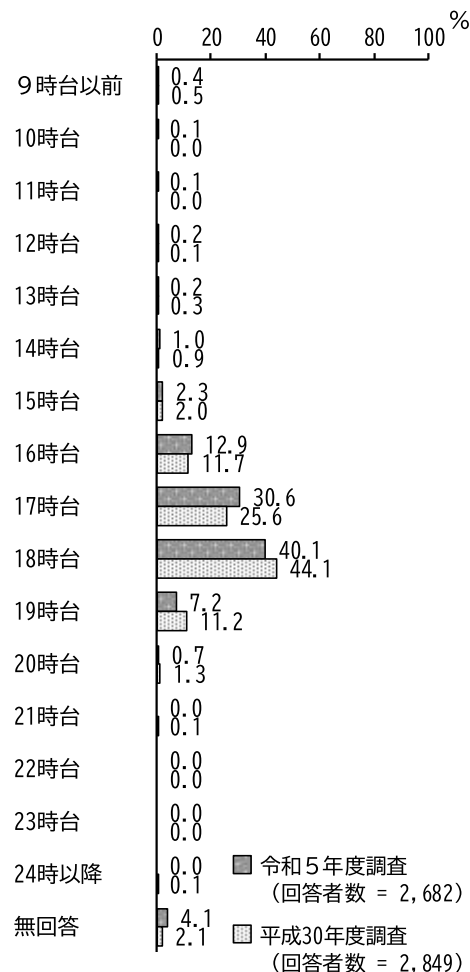
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が 7.4 ポイント減少しています。



認定こども園（保育所機能での利用）

「18 時台」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 30.6%、「16 時台」の割合が 12.9%となっています。

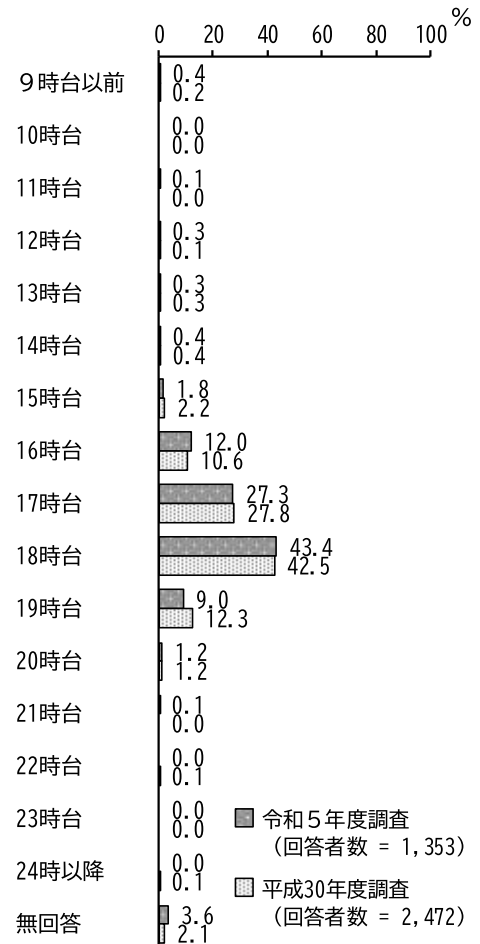
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「18 時台」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.3%、「16 時台」の割合が 12.0%となっています。

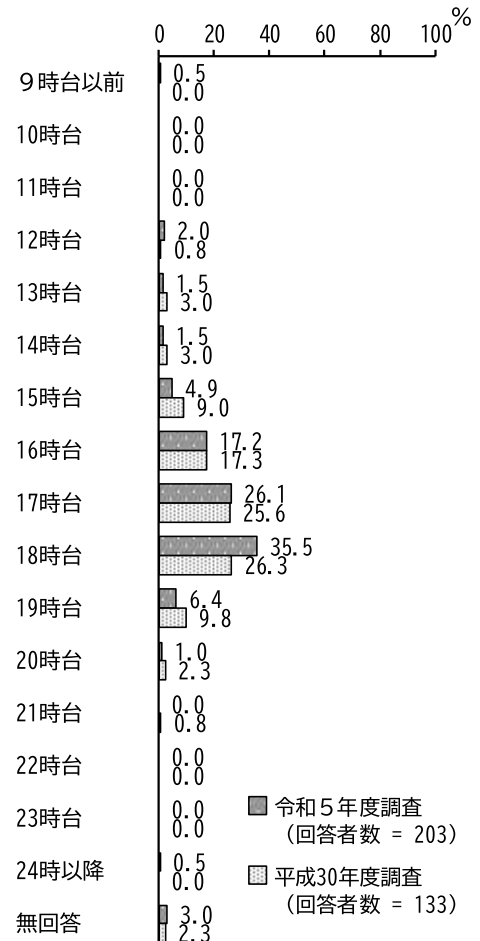
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの。)

「18 時台」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.1%、「16 時台」の割合が 17.2%となっています。

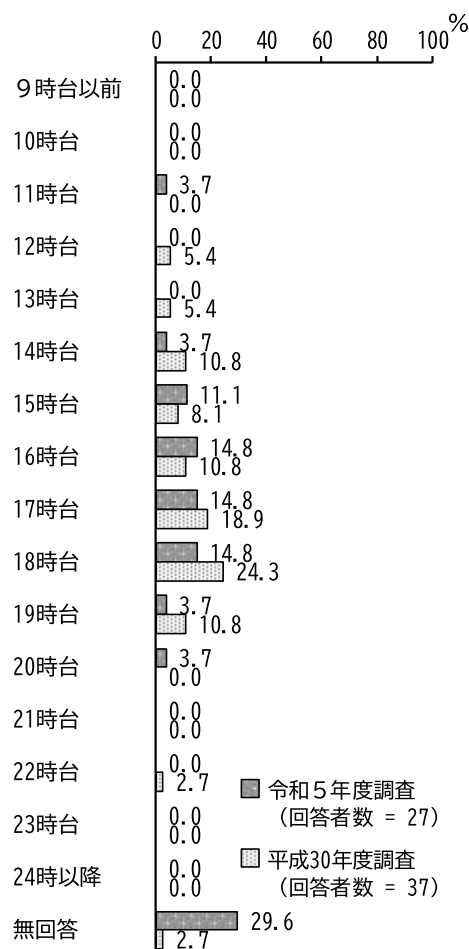
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が 9.2 ポイント増加しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「16 時台」、「17 時台」、「18 時台」の割合が14.8%と最も高くなっています。

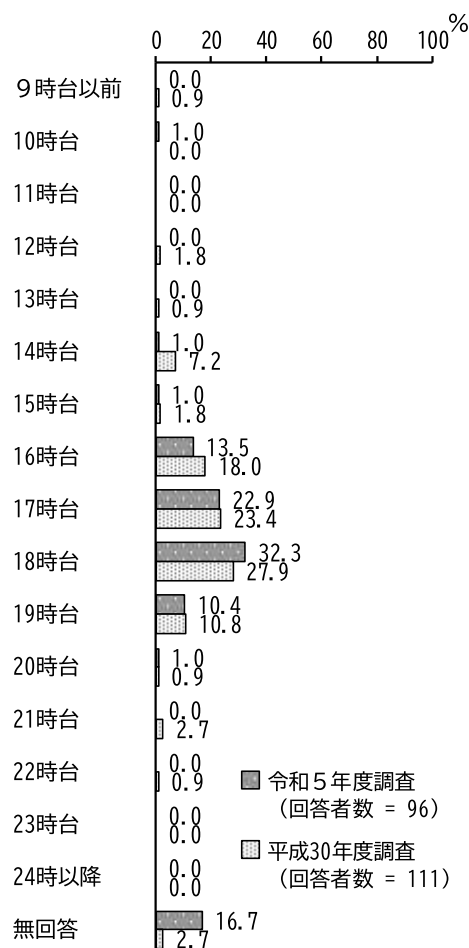
平成 30 年度調査と比較すると、「12 時台」「13 時台」の割合が 5.4 ポイント、「14 時台」「19 時台」の割合が 7.1 ポイント、「18 時台」の割合が 9.5 ポイント減少しています。



事業所内保育所

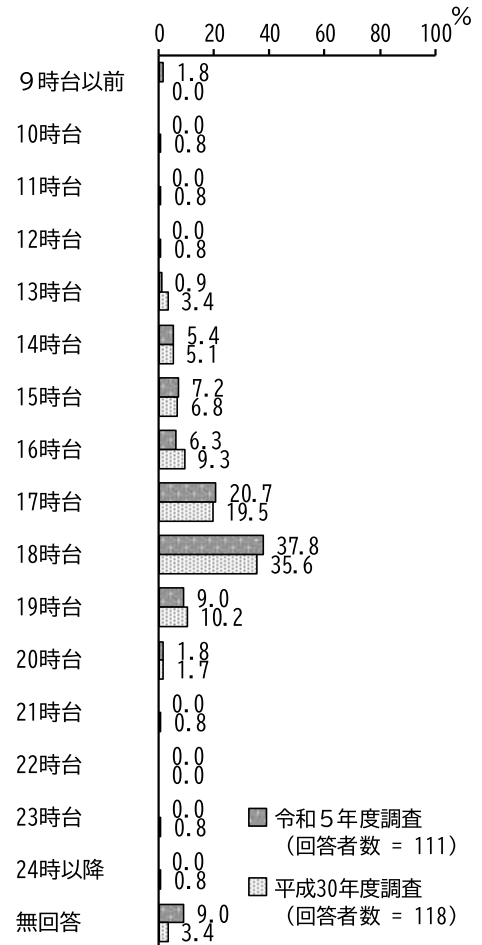
「18 時台」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.9%、「16 時台」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が 6.2 ポイント減少しています。



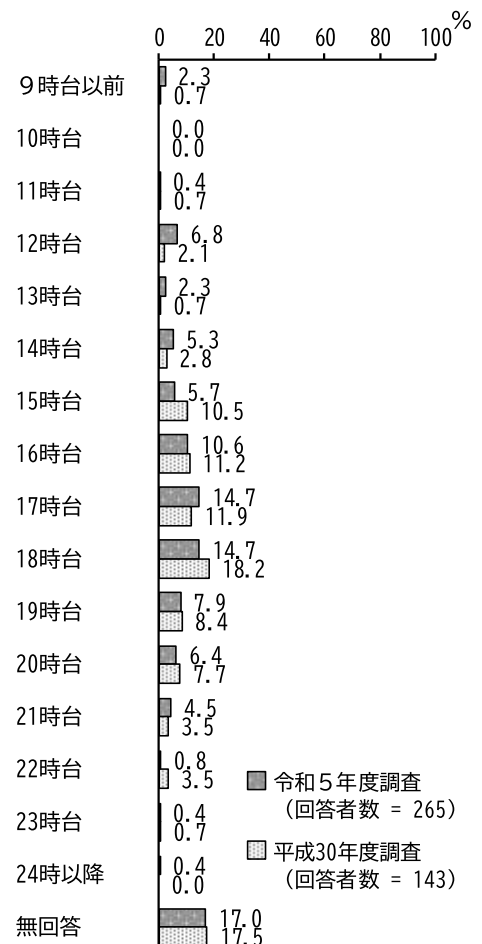
その他の認可外の保育施設

「18 時台」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.7%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

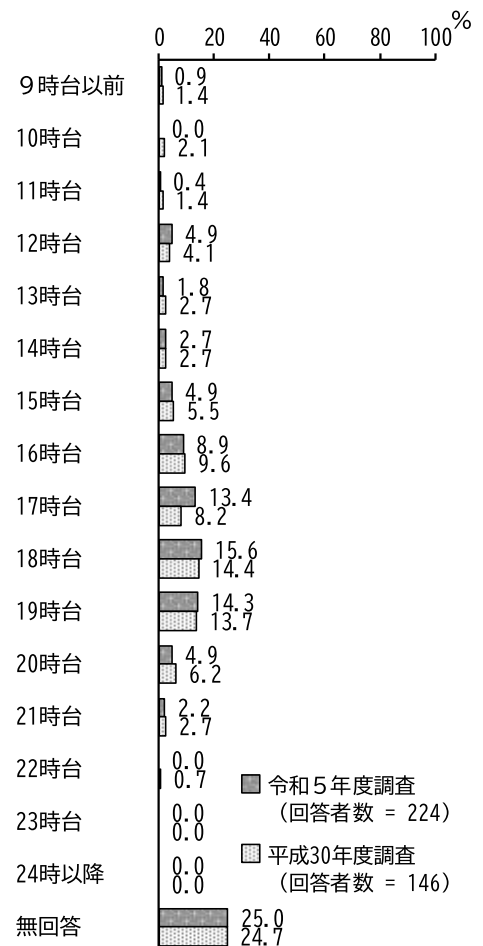
「17 時台」、「18 時台」の割合が 14.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 10.6%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ファミリー・サポート・センター

「18 時台」の割合が 15.6%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 14.3%、「17 時台」の割合が 13.4%となっています。

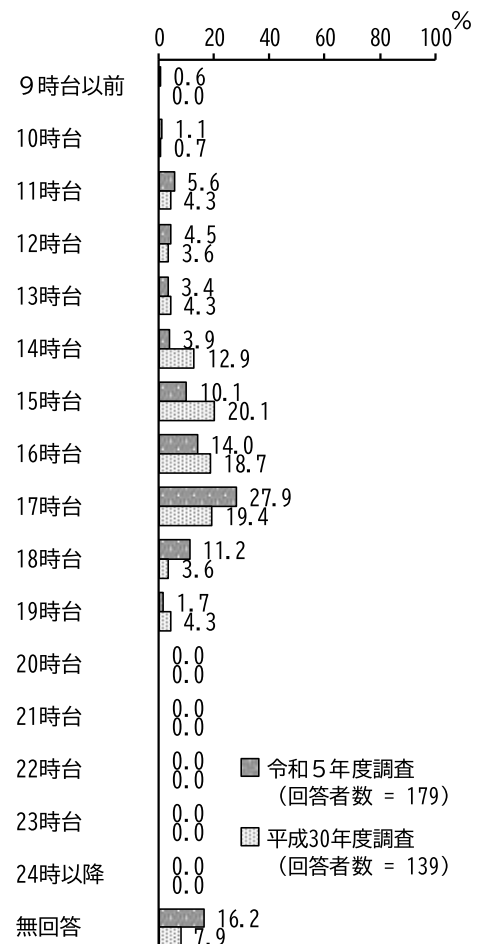
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 5.2 ポイント増加しています。



児童発達支援センター等

「17 時台」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 14.0%、「18 時台」の割合が 11.2%となっています。

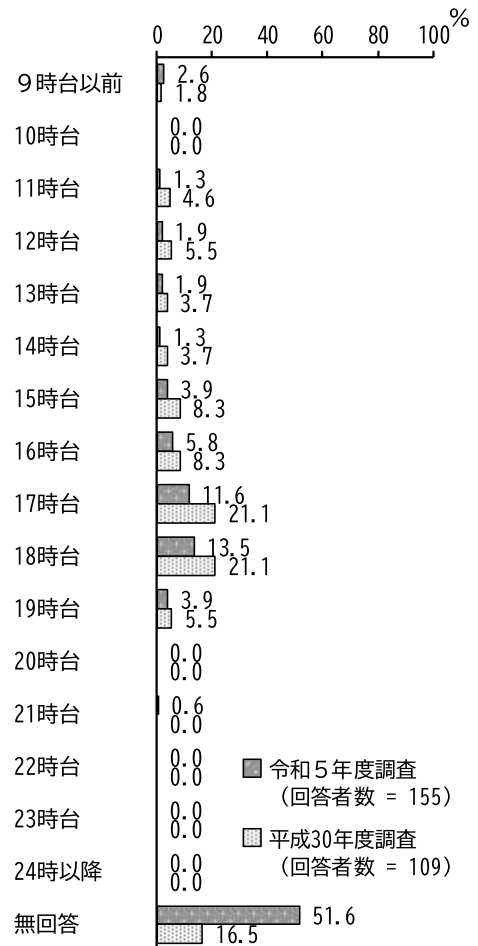
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 8.5 ポイント、「18 時台」の割合が 7.6 ポイント増加しています。一方、「14 時台」の割合が 9 ポイント、「15 時台」の割合が 10 ポイント減少しています。



その他

「18 時台」の割合が 13.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 11.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 9.5 ポイント、「18 時台」の割合が 7.6 ポイント減少しています。



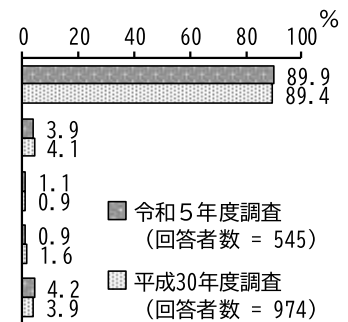
③実施場所の希望

幼稚園

「居住区」の割合が 89.9%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 居住区
- 居住区以外の神戸市内
- 神戸市外
- わからない
- 無回答

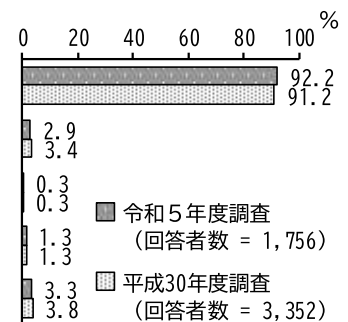


幼稚園（預かり保育利用あり）

「居住区」の割合が 92.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

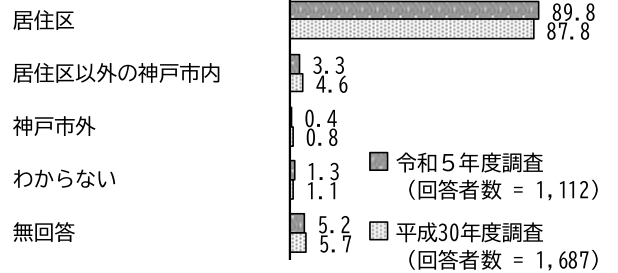
- 居住区
- 居住区以外の神戸市内
- 神戸市外
- わからない
- 無回答



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「居住区」の割合が89.8%と最も高くなっています。

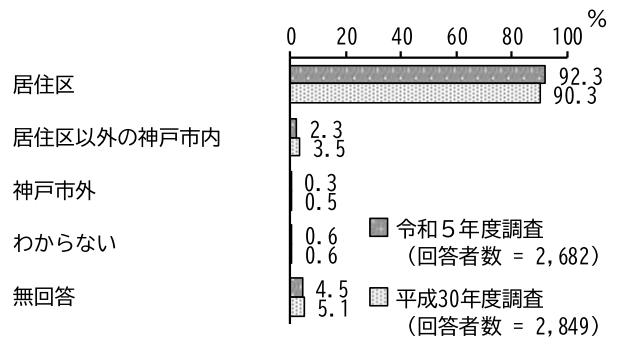
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認定こども園（保育所機能での利用）

「居住区」の割合が92.3%と最も高くなっています。

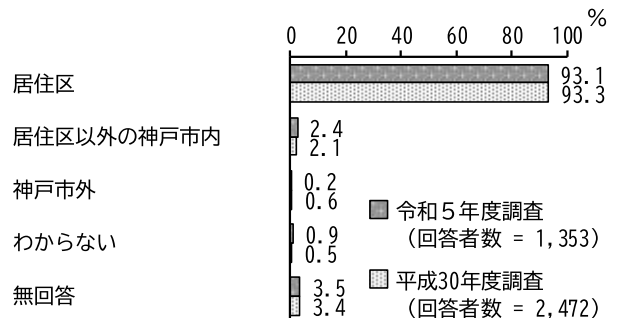
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「居住区」の割合が93.1%と最も高くなっています。

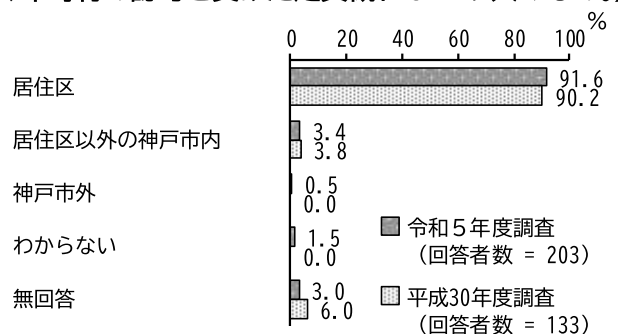
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの。）

「居住区」の割合が91.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

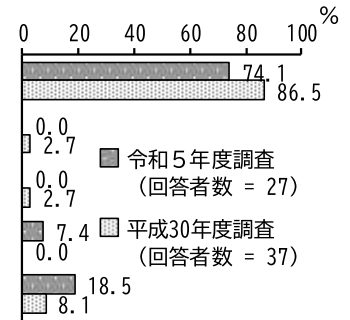


家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「居住区」の割合が74.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「わからない」の割合が7.4ポイント増加しています。一方、「居住区」の割合が12.4ポイント減少しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
わからない
無回答

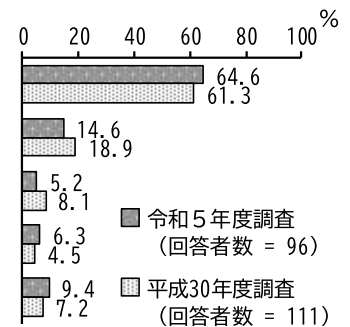


事業所内保育所

「居住区」の割合が64.6%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
わからない
無回答

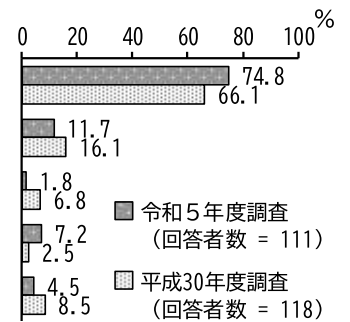


その他の認可外の保育施設

「居住区」の割合が74.8%と最も高く、次いで「居住区以外の神戸市内」の割合が11.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が8.7ポイント増加しています。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
わからない
無回答

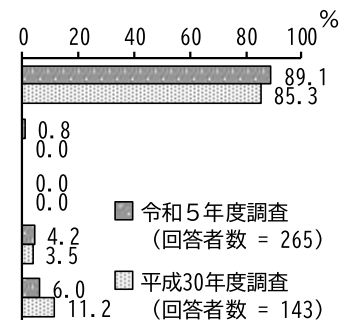


ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

「居住区」の割合が89.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

居住区
居住区以外の神戸市内
神戸市外
わからない
無回答

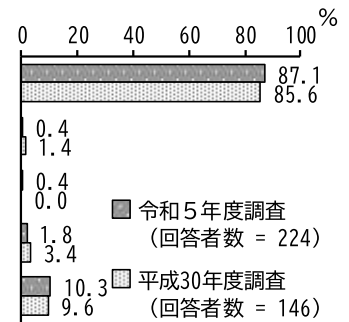


ファミリー・サポート・センター

「居住区」の割合が87.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

居住区	87.1
居住区以外の神戸市内	85.6
神戸市外	0.4
わからない	1.4
無回答	0.4

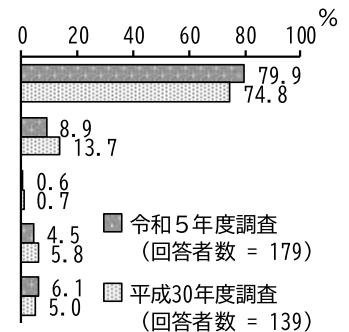


児童発達支援センター等

「居住区」の割合が79.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が5.1ポイント増加しています。

居住区	79.9
居住区以外の神戸市内	74.8
神戸市外	8.9
わからない	13.7
無回答	0.6

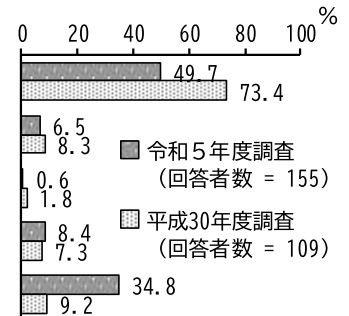


その他

「居住区」の割合が49.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「居住区」の割合が23.7ポイント減少しています。

居住区	49.7
居住区以外の神戸市内	73.4
神戸市外	6.5
わからない	8.3
無回答	0.6



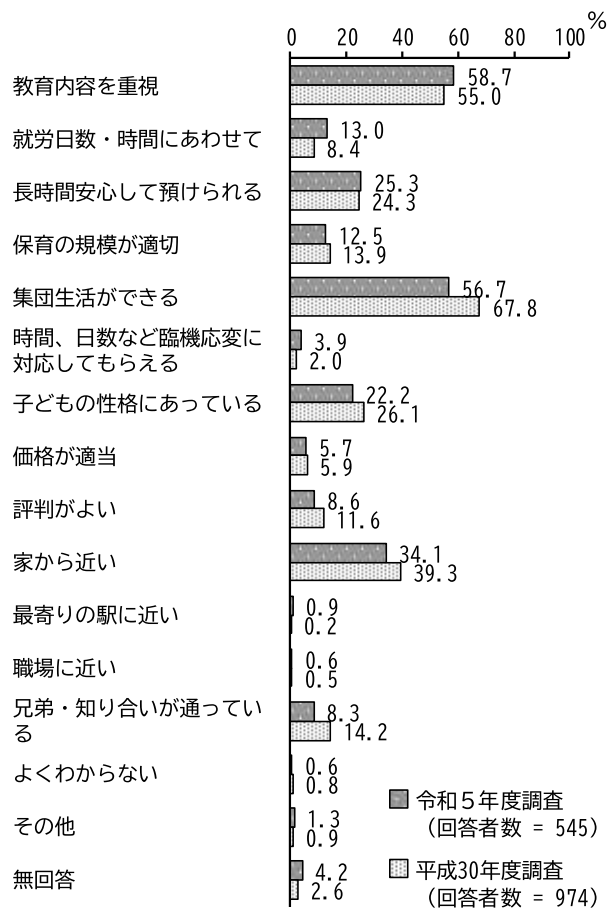
④理由

幼稚園

「教育内容を重視」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「集団生活ができる」の割合が 56.7%、

「家から近い」の割合が 34.1%となっています。

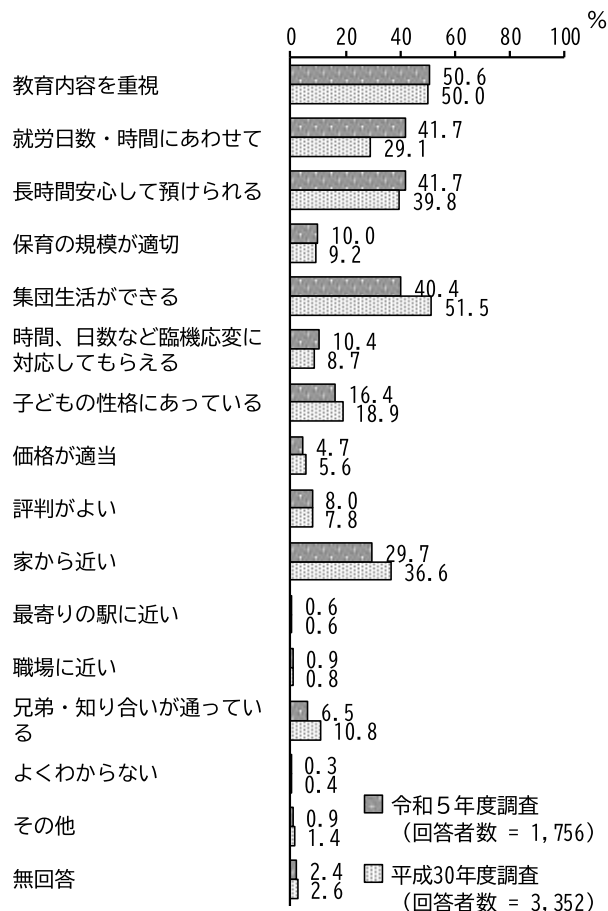
平成 30 年度調査と比較すると、「集団生活ができる」の割合が 11.1 ポイント、「家から近い」の割合が 5.2 ポイント、「兄弟・知り合いが通っている」の割合が 5.9 ポイント減少しています。



幼稚園（預かり保育利用あり）

「教育内容を重視」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「就労日数・時間にあわせて」、「長時間安心して預けられる」の割合が 41.7%となっています。

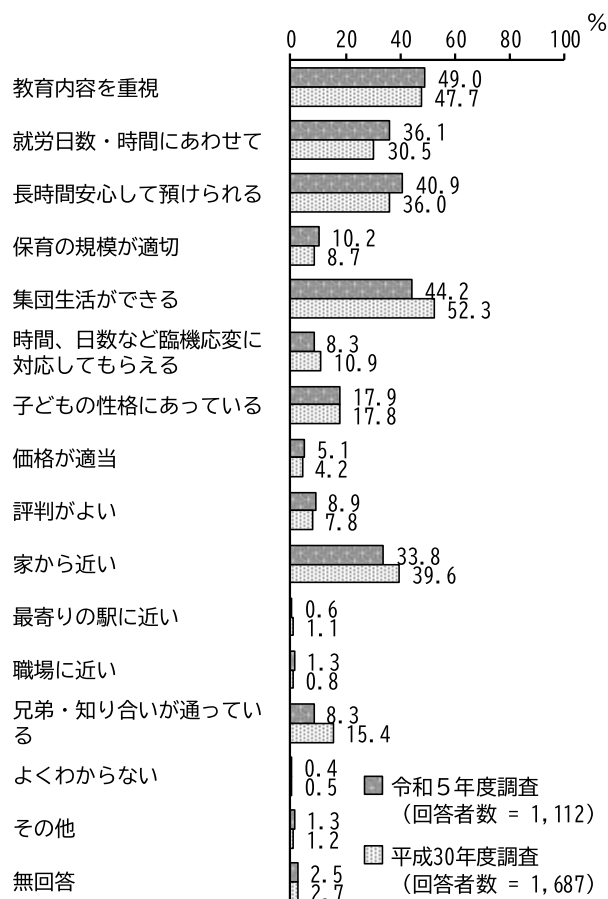
平成 30 年度調査と比較すると、「就労日数・時間にあわせて」の割合が 12.6 ポイント増加しています。一方、「集団生活ができる」の割合が 11.1 ポイント、「家から近い」の割合が 6.9 ポイント減少しています。



認定こども園（幼稚園機能での利用）

「教育内容を重視」の割合が49.0%と最も高く、次いで「集団生活ができる」の割合が44.2%、「長時間安心して預けられる」の割合が40.9%となっています。

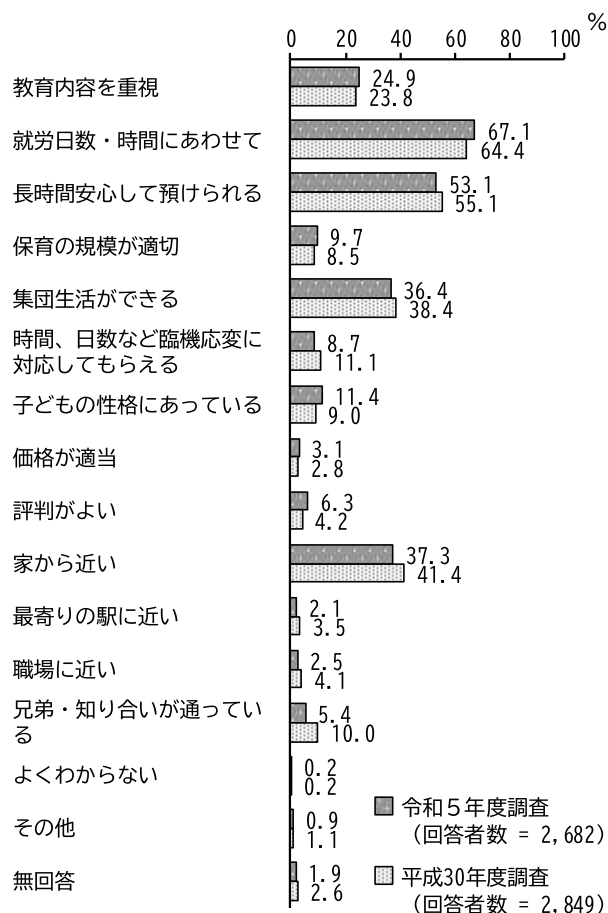
平成30年度調査と比較すると、「就労日数・時間にあわせて」の割合が5.6ポイント増加しています。一方、「集団生活ができる」の割合が8.1ポイント、「家から近い」の割合が5.8ポイント、「兄弟・知り合いが通っている」の割合が7.1ポイント減少しています。



認定こども園（保育所機能での利用）

「就労日数・時間にあわせて」の割合が67.1%と最も高く、次いで「長時間安心して預けられる」の割合が53.1%、「家から近い」の割合が37.3%となっています。

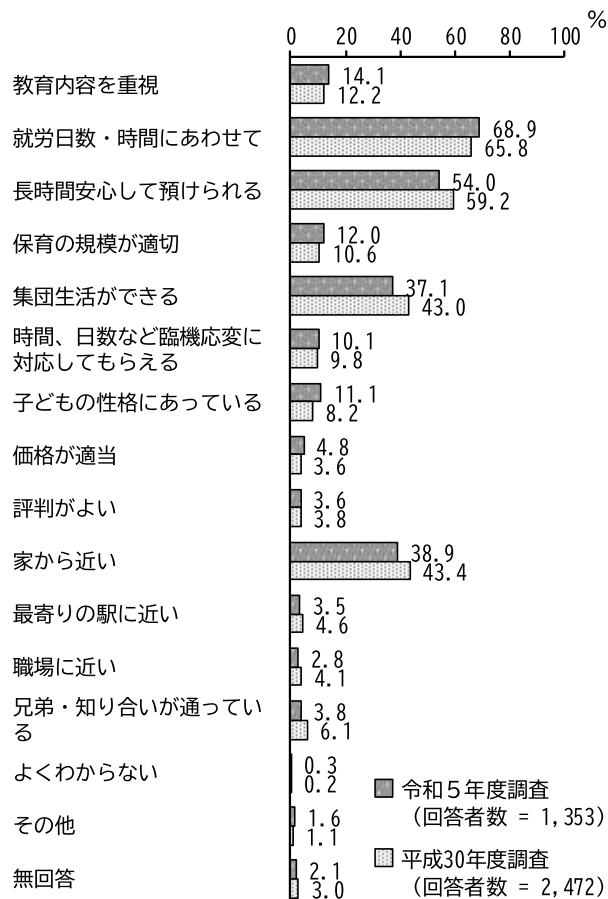
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



認可保育所

「就労日数・時間にあわせて」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「長時間安心して預けられる」の割合が 54.0%、「家から近い」の割合が 38.9%となっています。

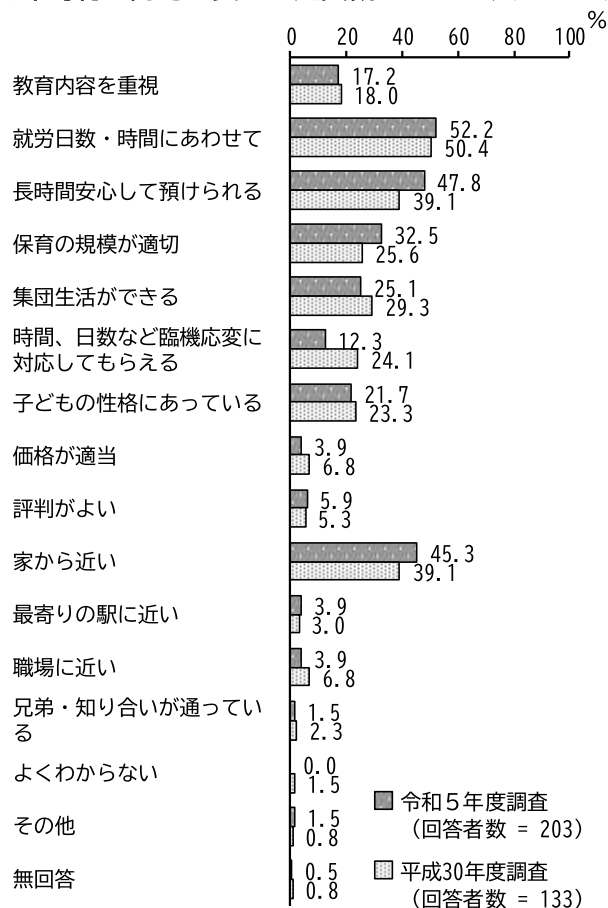
平成 30 年度調査と比較すると、「長時間安心して預けられる」の割合が 5.2 ポイント、「集団生活ができる」の割合が 5.9 ポイント減少しています。



小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの。)

「就労日数・時間にあわせて」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「長時間安心して預けられる」の割合が 47.8%、「家から近い」の割合が 45.3%となっています。

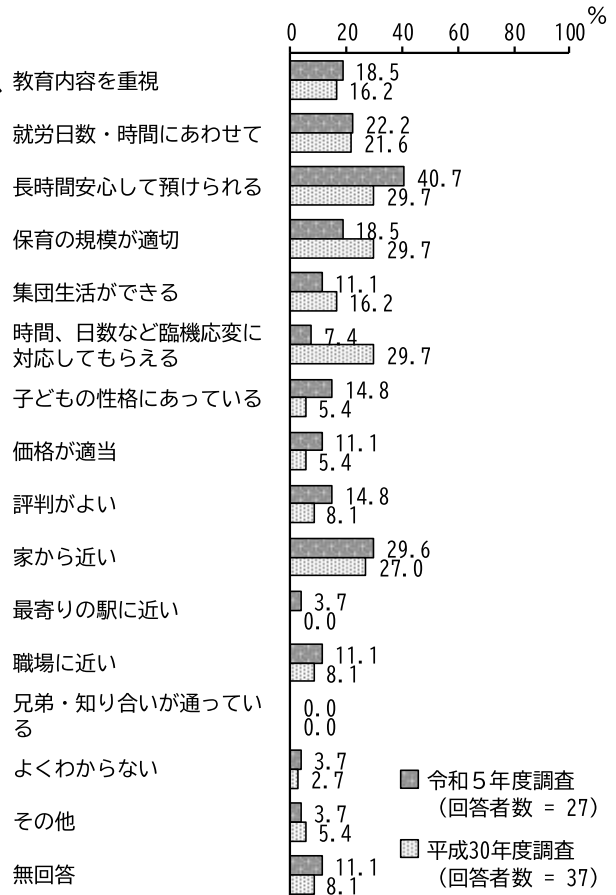
平成 30 年度調査と比較すると、「長時間安心して預けられる」の割合が 8.7 ポイント、「保育の規模が適切」の割合が 6.9 ポイント、「家から近い」の割合が 6.2 ポイント増加しています。一方、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が 11.8 ポイント減少しています。



家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業。例：赤ちゃんホーム）

「長時間安心して預けられる」の割合が40.7%と最も高く、次いで「家から近い」の割合が29.6%、「就労日数・時間にあわせて」の割合が22.2%となっています。

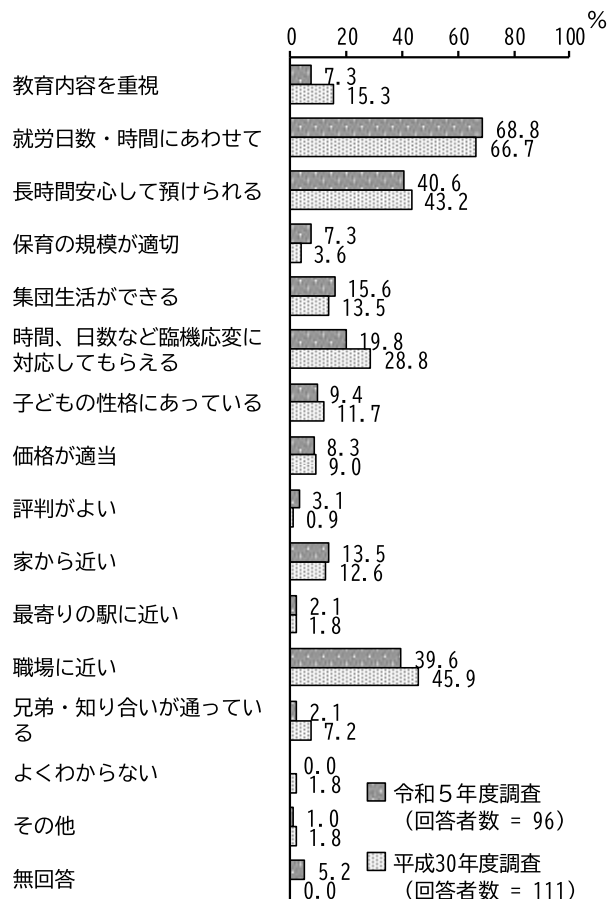
平成30年度調査と比較すると、「長時間安心して預けられる」の割合が11ポイント、「子どもの性格にあっている」の割合が9.4ポイント、「価格が適当」の割合が5.7ポイント、「評判がよい」の割合が6.7ポイント増加しています。一方、「保育の規模が適切」の割合が11.2ポイント、「集団生活ができる」の割合が5.1ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が22.3ポイント減少しています。



事業所内保育所

「就労日数・時間にあわせて」の割合が68.8%と最も高く、次いで「長時間安心して預けられる」の割合が40.6%、「職場に近い」の割合が39.6%となっています。

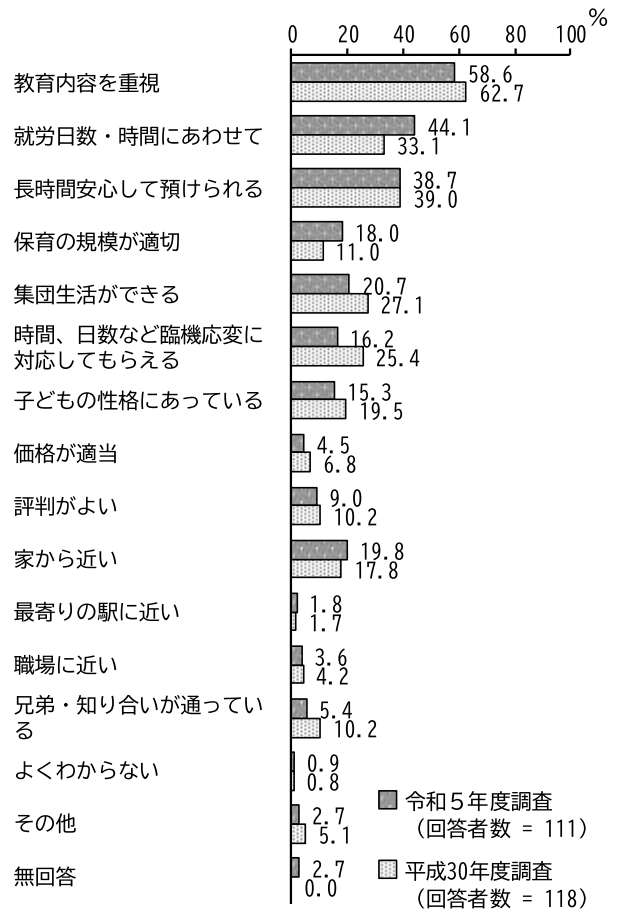
平成30年度調査と比較すると、「教育内容を重視」の割合が8ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が9ポイント、「職場に近い」の割合が6.3ポイント、「兄弟・知り合いが通っている」の割合が5.1ポイント減少しています。



その他の認可外の保育施設

「教育内容を重視」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「就労日数・時間にあわせて」の割合が 44.1%、「長時間安心して預けられる」の割合が 38.7%となっています。

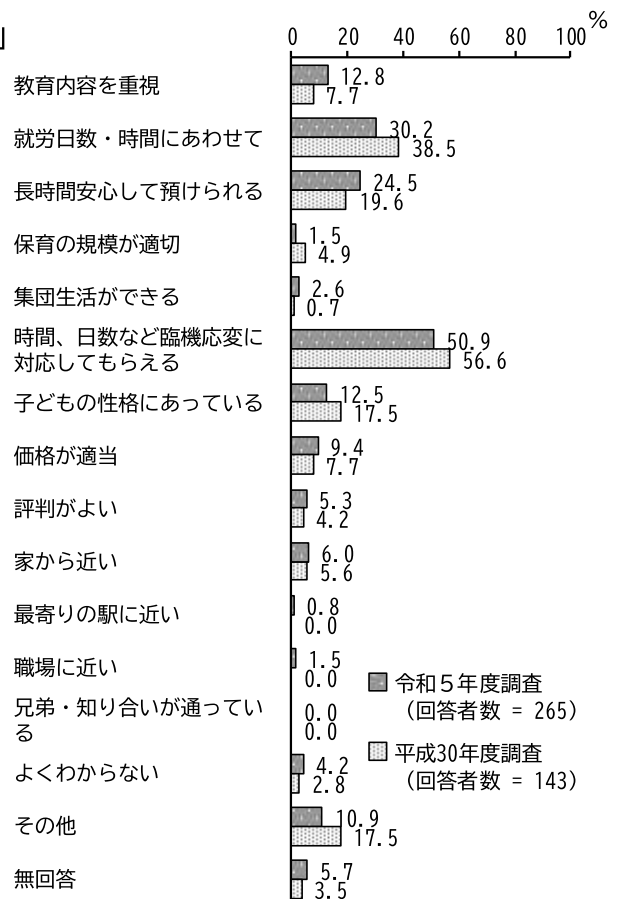
平成 30 年度調査と比較すると、「就労日数・時間にあわせて」の割合が 11 ポイント、「保育の規模が適切」の割合が 7 ポイント増加しています。一方、「集団生活ができる」の割合が 6.4 ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が 9.2 ポイント減少しています。



ベビーシッターなどの居宅訪問型保育

「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「就労日数・時間にあわせて」の割合が 30.2%、「長時間安心して預けられる」の割合が 24.5%となっています。

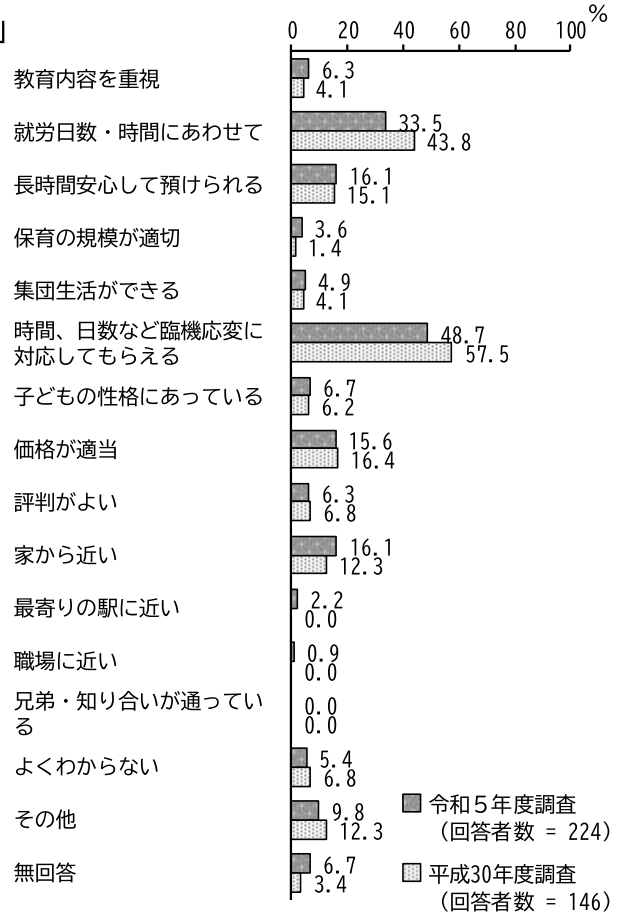
平成 30 年度調査と比較すると、「教育内容を重視」の割合が 5.1 ポイント増加しています。一方、「就労日数・時間にあわせて」の割合が 8.3 ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が 5.7 ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センター

「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が48.7%と最も高く、次いで「就労日数・時間にあわせて」の割合が33.5%、「長時間安心して預けられる」、「家から近い」の割合が16.1%となっています。

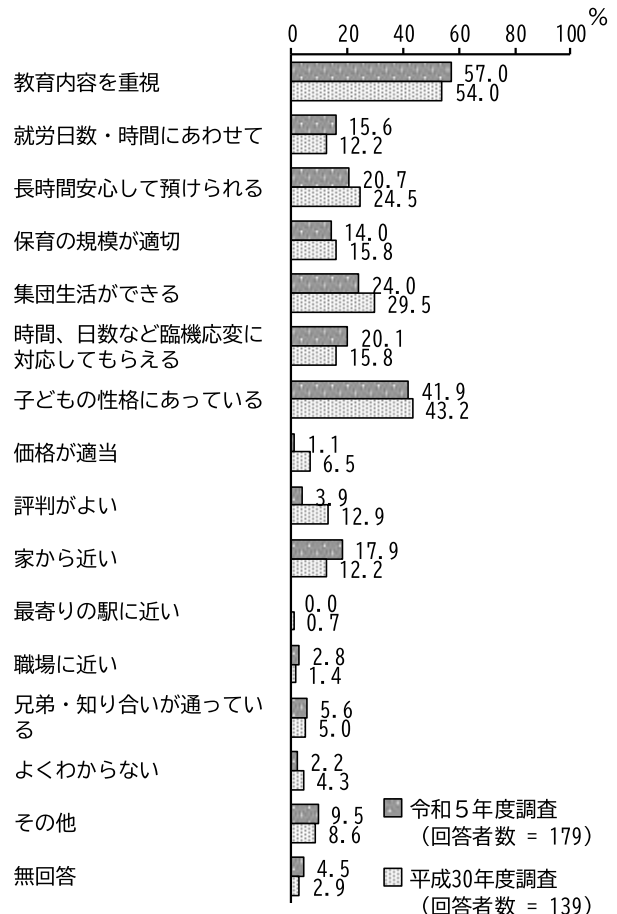
平成30年度調査と比較すると、「就労日数・時間にあわせて」の割合が10.3ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が8.8ポイント減少しています。



児童発達支援センター等

「教育内容を重視」の割合が57.0%と最も高く、次いで「子どもの性格にあっている」の割合が41.9%、「集団生活ができる」の割合が24.0%となっています。

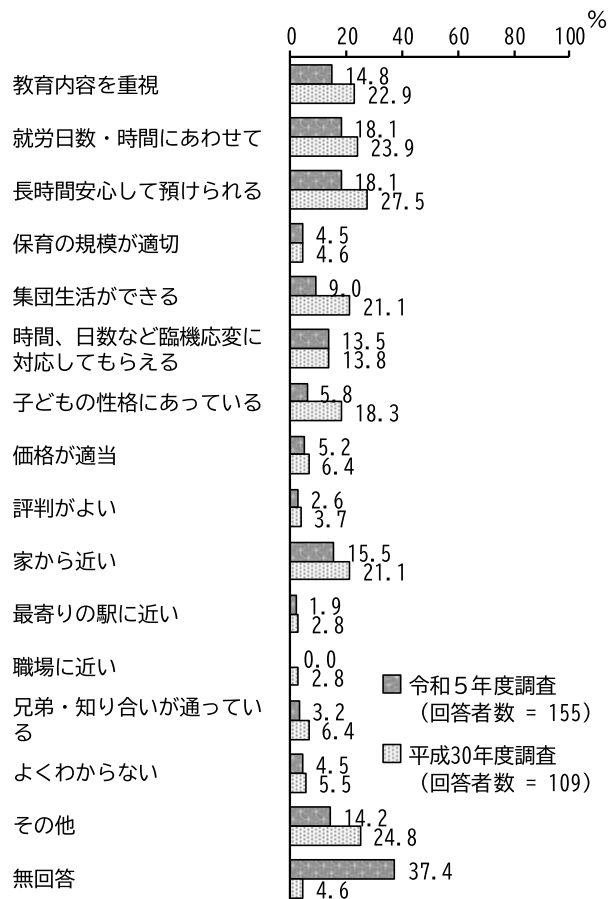
平成30年度調査と比較すると、「家から近い」の割合が5.7ポイント増加しています。一方、「集団生活ができる」の割合が5.5ポイント、「価格が適切」の割合が5.4ポイント、「評判がよい」の割合が9ポイント減少しています。



その他

「就労日数・時間にあわせて」、「長時間安心して預けられる」の割合が18.1%と最も高く、次いで「家から近い」の割合が15.5%となっています。

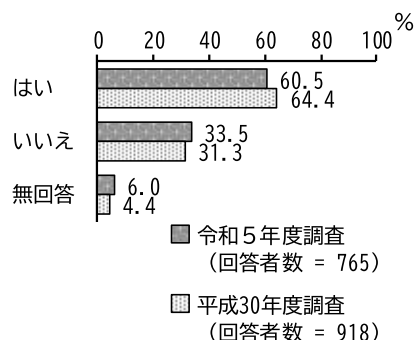
平成30年度調査と比較すると、「教育内容を重視」の割合が8.1ポイント、「就労日数・時間にあわせて」の割合が5.8ポイント、「長時間安心して預けられる」の割合が9.4ポイント、「集団生活ができる」の割合が12.1ポイント、「時間、日数など臨機応変に対応してもらえる」の割合が13.8ポイント、「子どもの性格にあっている」の割合が12.5ポイント、「家から近い」の割合が5.6ポイント減少しています。



問17-1 問17の「①利用したい事業」で、「1 幼稚園（預かり保育利用なし）」または「2 幼稚園（預かり保育利用あり）」または「3 認定こども園（幼稚園機能での利用）」を選択し、かつ幼稚園以外の事業（4~12）を選択した方にうかがいます。
 選択した事業の中でも、特に「幼稚園における教育」を特に強く希望しますか（1つに○）。

「はい」の割合が60.5%、「いいえ」の割合が33.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



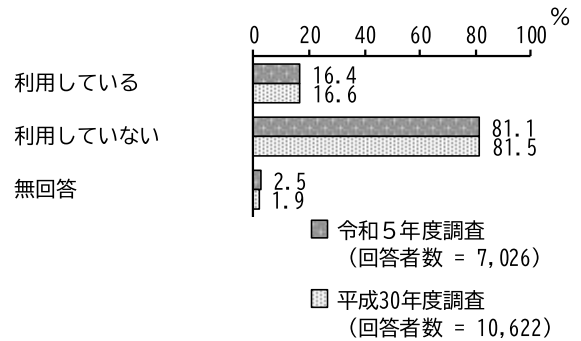
(5) 宛名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育事業、また長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問 18 宛名のお子さんは、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な」教育・保育事業を利用していますか。また、利用希望がありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を具体的にご記入ください
(なお、利用には一定の料金がかかります)。

①－(1) 土曜日の利用

「利用している」の割合が16.4%、「利用していない」の割合が81.1%となっています。

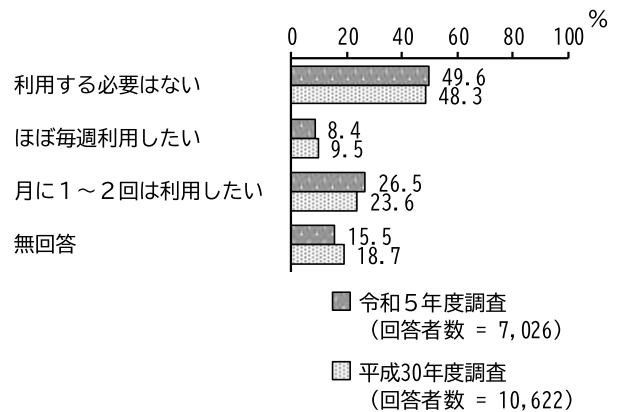
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①－(2) 土曜日の利用希望

「利用する必要はない」の割合が49.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が26.5%となっています。

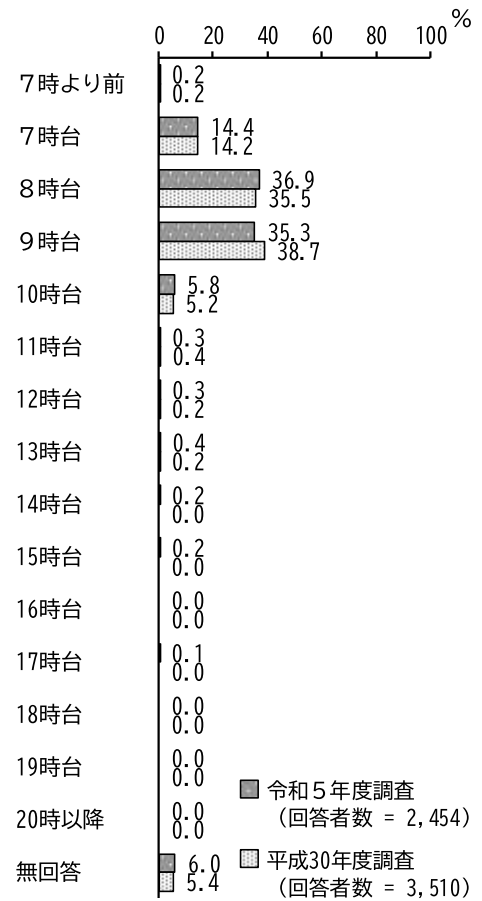
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望開始時間

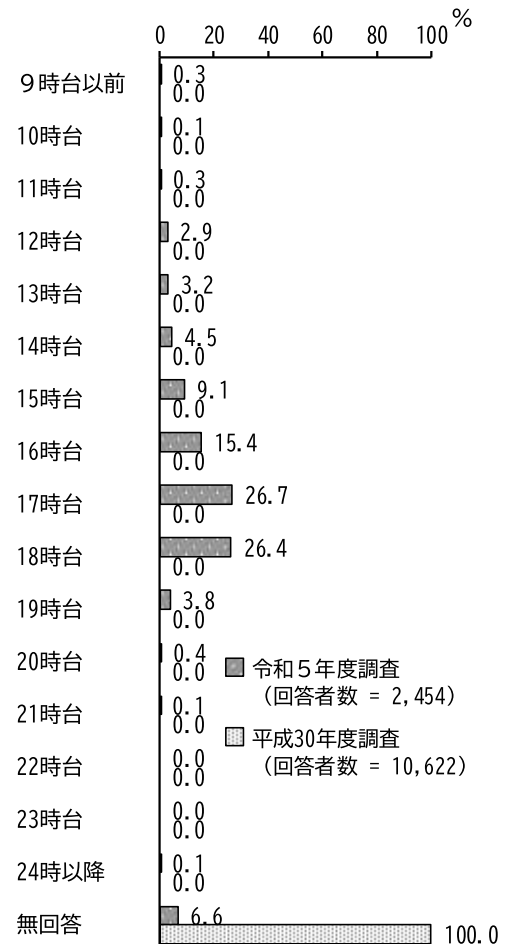
「8時台」の割合が36.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.3%、「7時台」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望終了時間

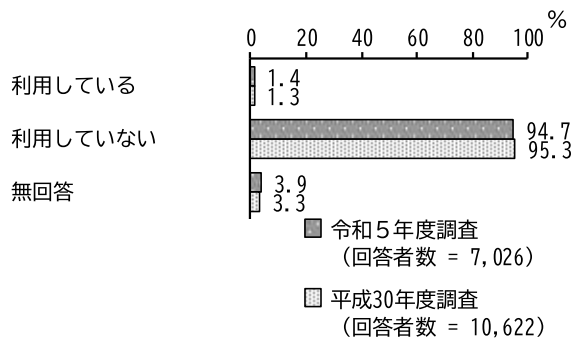
「17時台」の割合が26.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.4%、「16時台」の割合が15.4%となっています。



②－（１）日曜日・祝日の利用

「利用している」の割合が1.4%、「利用していない」の割合が94.7%となっています。

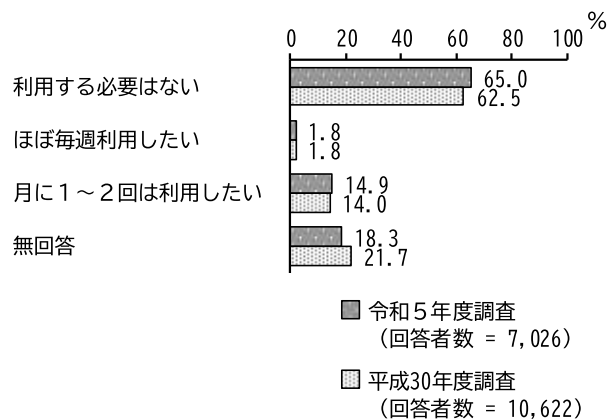
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②－（２）日曜日・祝日の利用希望

「利用する必要はない」の割合が65.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が14.9%となっています。

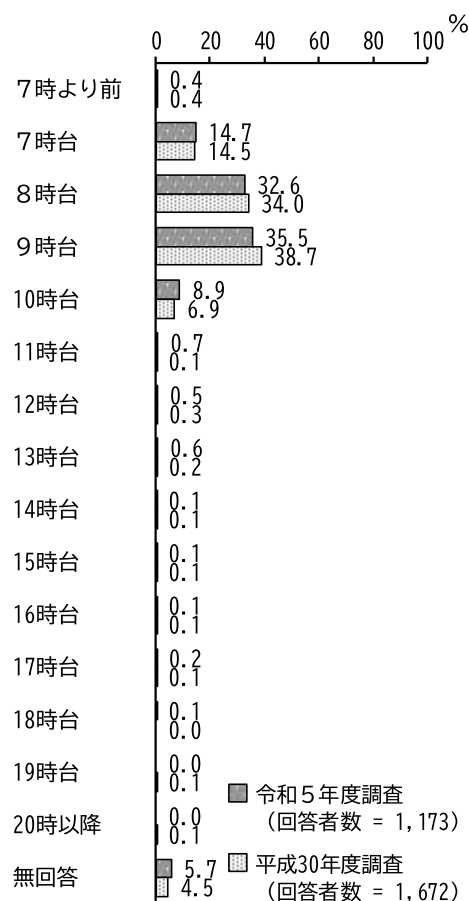
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望開始時間

「9時台」の割合が35.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.6%、「7時台」の割合が14.7%となっています。

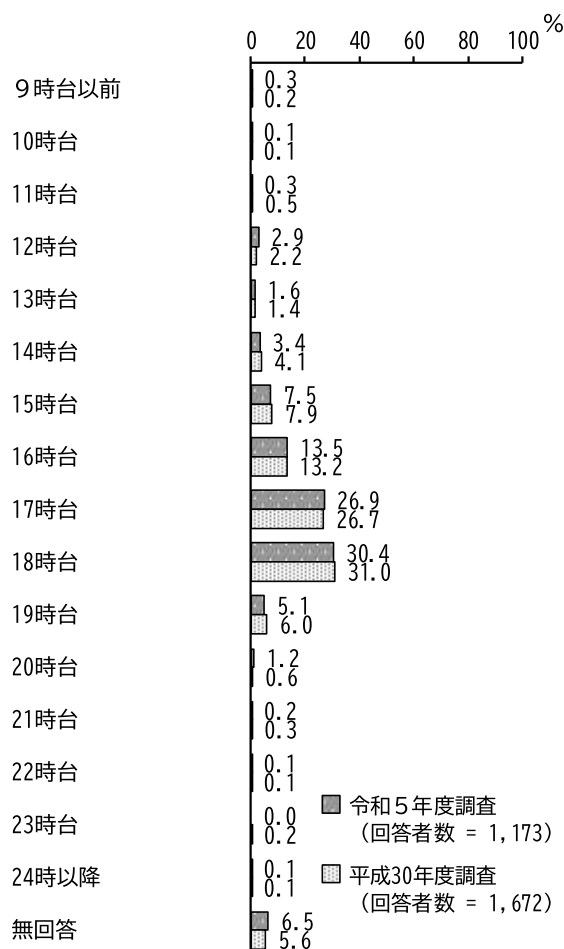
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望終了時間

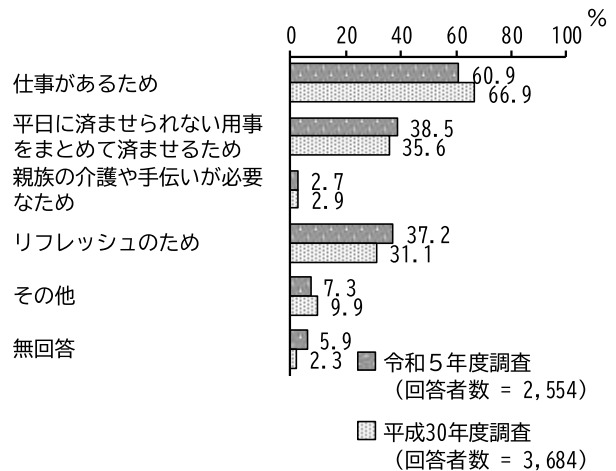
「18時台」の割合が30.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.9%、「16時台」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



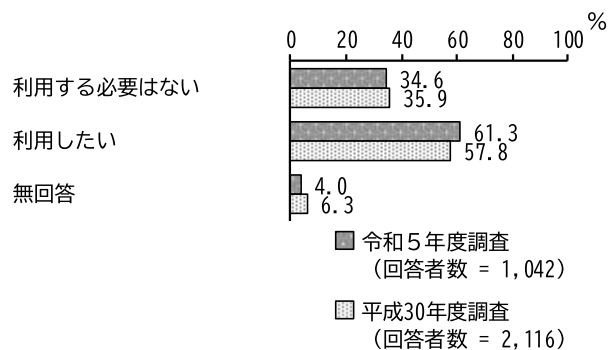
問 18-1 問 18 の①-(2)または②-(2)で、土曜日もしくは日曜日・祝日に「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1~2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。該当しない方は問 19 へお進みください。
利用したい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

「仕事があるため」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 38.5%、「リフレッシュのため」の割合が 37.2%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「リフレッシュのため」の割合が 6.1 ポイント増加しています。一方、「仕事があるため」の割合が 6 ポイント減少しています。



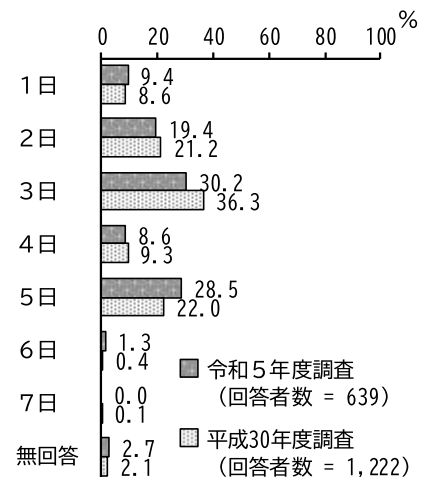
問 19 「幼稚園」を定期的にご利用されている方にうかがいます。該当しない方は問 20 へお進みください。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい日数（1週あたり）・時間帯をご記入ください（なお、利用には一定の料金がかかります）。

「利用する必要はない」の割合が 34.6%、「利用したい」の割合が 61.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい1週あたりの日数

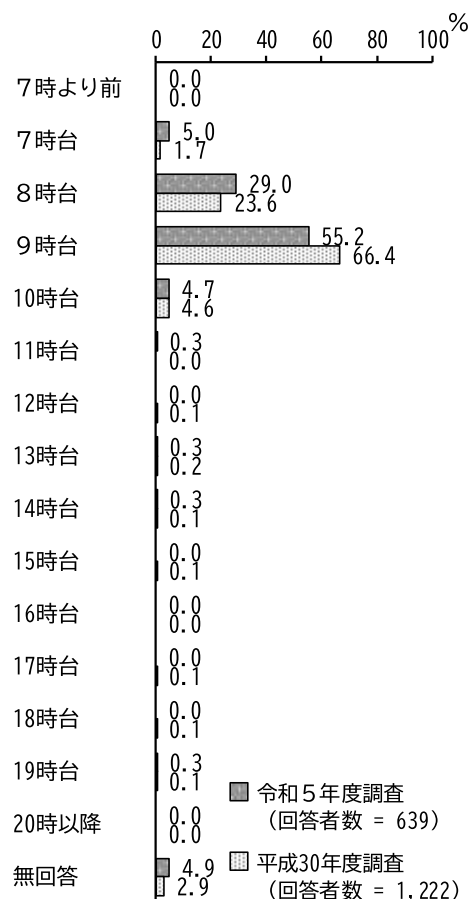
「3日」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「5日」の割合が 28.5%、「2日」の割合が 19.4%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が 6.5 ポイント増加しています。一方、「3日」の割合が 6.1 ポイント減少しています。



利用開始時間

「9時台」の割合が55.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.0%となっています。

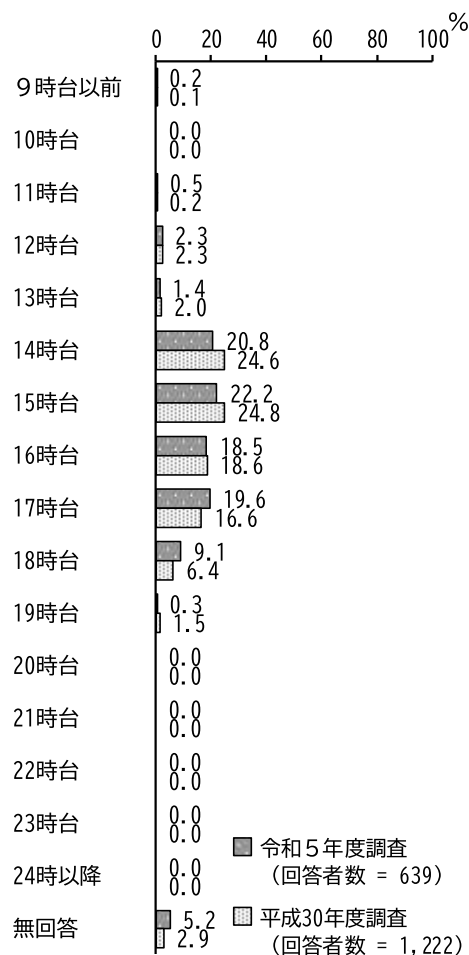
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が5.4ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が11.2ポイント減少しています。



利用終了時間

「15時台」の割合が22.2%と最も高く、次いで「14時台」の割合が20.8%、「17時台」の割合が19.6%となっています。

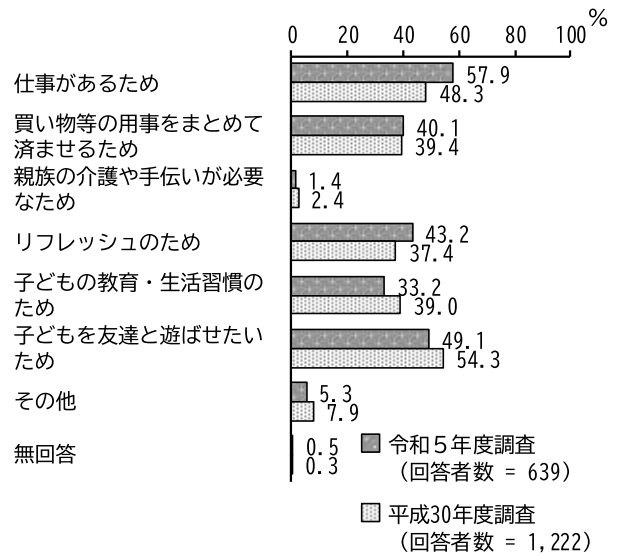
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19-1 問 19 で、「2. 利用したい」と答えた方にうかがいます。
 利用したい理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

「仕事があるため」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「子どもを友達と遊ばせたいため」の割合が 49.1%、「リフレッシュのため」の割合が 43.2%となっています。

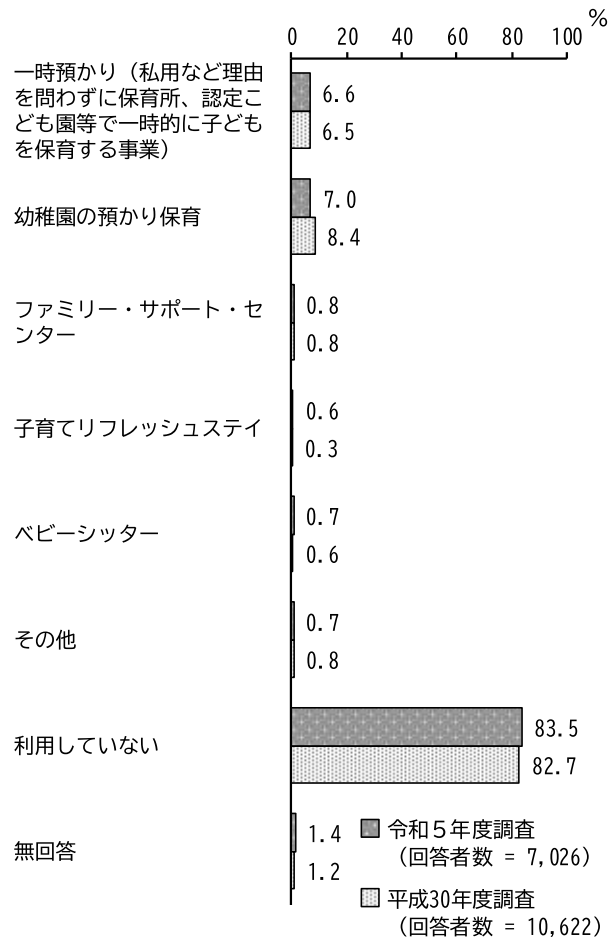
平成 30 年度調査と比較すると、「仕事があるため」の割合が 9.6 ポイント、「リフレッシュのため」の割合が 5.8 ポイント増加しています。一方、「子どもの教育・生活習慣のため」の割合が 5.8 ポイント、「子どもを友達と遊ばせたいため」の割合が 5.2 ポイント減少しています。



(6) 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用状況について

問 20 宛名のお子さんについて、(日中の定期的な教育・保育や病児・病後児の預かり以外に) 私用、リフレッシュ、冠婚葬祭、学校行事、家族の通院、不特定の就労等の目的で、不特定のに利用している事業はありますか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。
1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が83.5%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

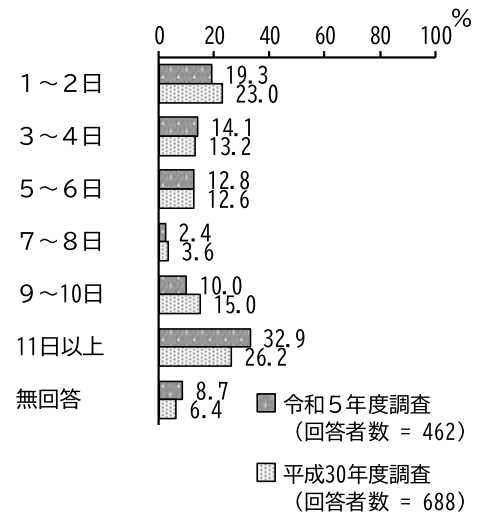


1年間あたりの利用日数

一時預かり

「11日以上」の割合が32.9%と最も高く、次いで「1～2日」の割合が19.3%、「3～4日」の割合が14.1%となっています。

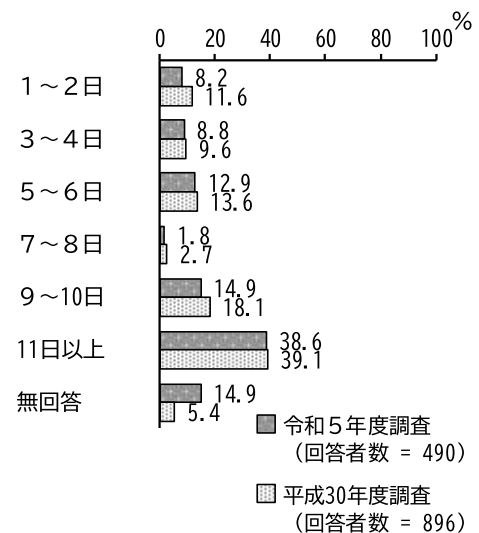
平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が6.7ポイント増加しています。



幼稚園の預かり保育

「11日以上」の割合が38.6%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が14.9%、「5～6日」の割合が12.9%となっています。

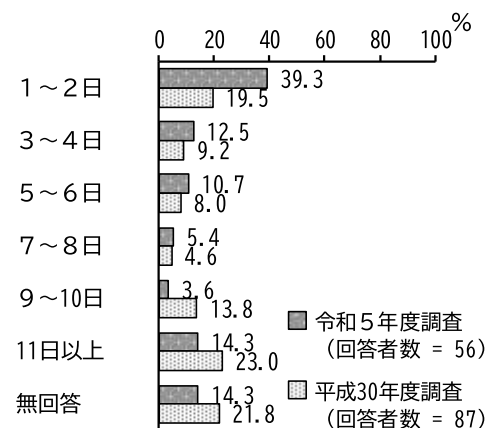
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ファミリー・サポート・センター

「1～2日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「11日以上」の割合が14.3%、「3～4日」の割合が12.5%となっています。

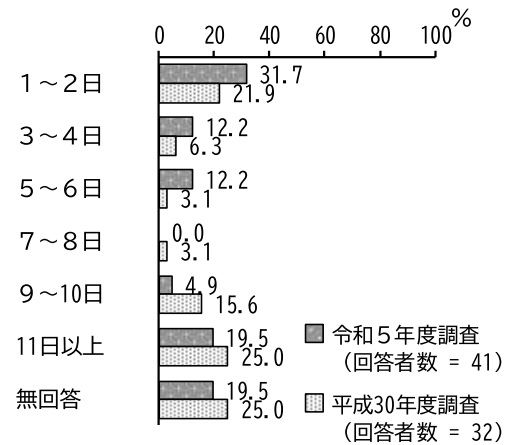
平成30年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が19.8ポイント増加しています。一方、「9～10日」の割合が10.2ポイント、「11日以上」の割合が8.7ポイント減少しています。



子育てリフレッシュステイ

「1～2日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「11日以上」の割合が19.5%、「3～4日」、「5～6日」の割合が12.2%となっています。

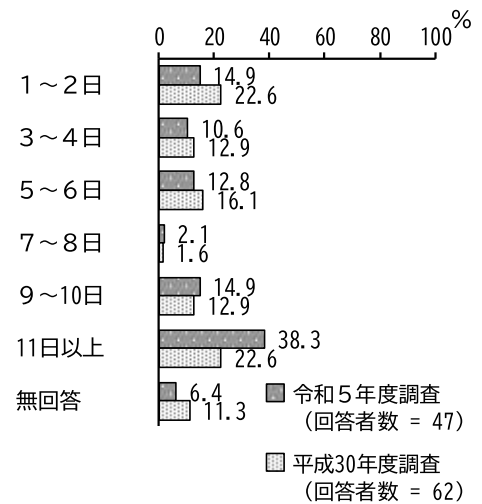
平成30年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が9.8ポイント、「3～4日」の割合が5.9ポイント、「5～6日」の割合が9.1ポイント増加しています。一方、「9～10日」の割合が10.7ポイント、「11日以上」の割合が5.5ポイント減少しています。



ベビーシッターの利用日数（1年間あたり）

「11日以上」の割合が38.3%と最も高く、次いで「1～2日」、「9～10日」の割合が14.9%となっています。

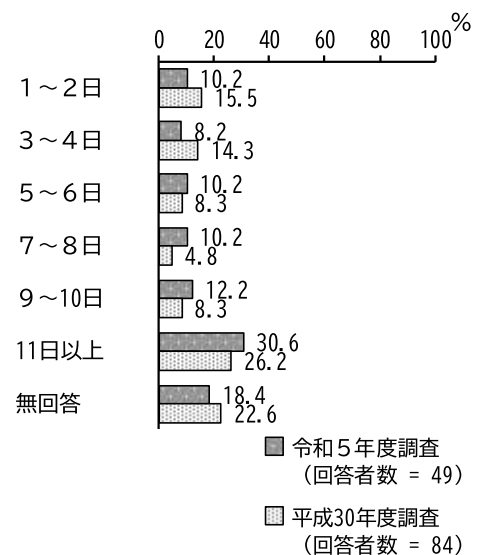
平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が15.7ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が7.7ポイント減少しています。



その他

「11日以上」の割合が30.6%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が12.2%、「1～2日」、「5～6日」「7～8日」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7～8日」の割合が5.4ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が5.3ポイント、「3～4日」の割合が6.1ポイント減少しています。

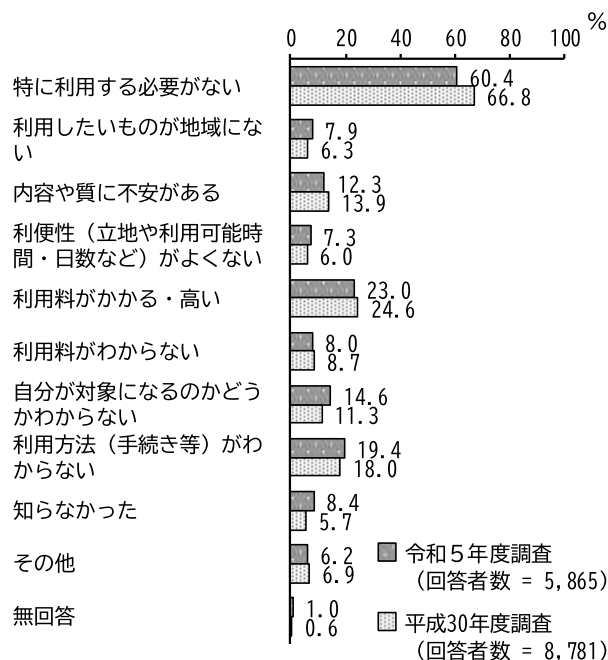


問 20-1 問 20 で「7. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

「特に利用する必要がない」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 23.0%、「利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 19.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合が 6.4 ポイント減少しています。



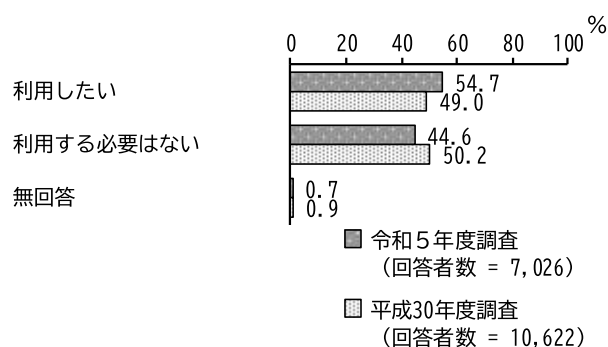
すべての方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、私用、リフレッシュ、冠婚葬祭、学校行事、家族の通院、不定期の就労等の目的で、問 20 のような事業を不定期で利用したいと思いますか(○は1つ)。

現在利用している方もお答えください
(なお、利用には一定の料金がかかります)。

「利用したい」の割合が 54.7%、「利用する必要はない」の割合が 44.6%となっています。

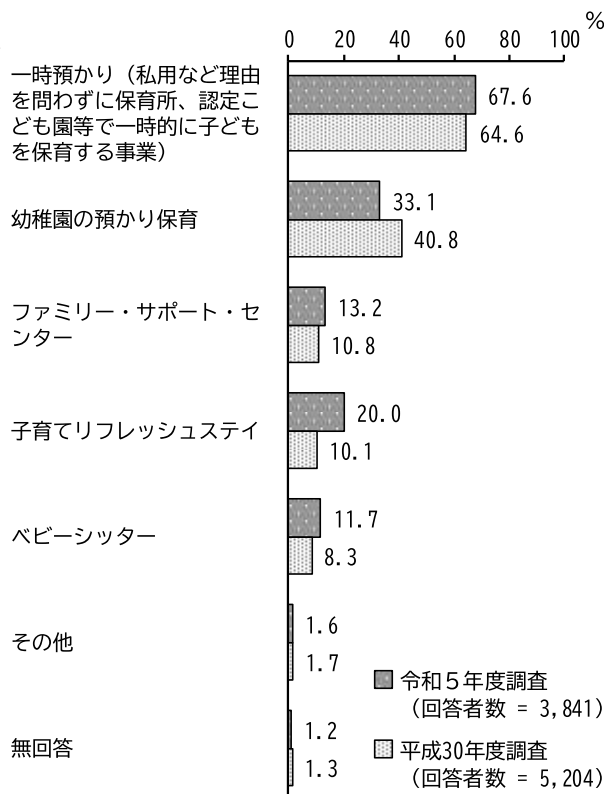
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が 5.7 ポイント増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が 5.6 ポイント減少しています。



問 21-1 問 21 で「1. 利用したい」と答えた方にうかがいます。
 どのような事業を利用したいと思いますか
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。
 1年間の希望利用日数についても()内にご記入ください
 (なお、利用には一定の料金がかかります)。

「一時預かり(私用など理由を問わずに保育所、認定こども園等で一時的に子どもを保育する事業)」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 33.1%、「子育てリフレッシュステイ」の割合が 20.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てリフレッシュステイ」の割合が 9.9 ポイント増加しています。一方、「幼稚園の預かり保育」の割合が 7.7 ポイント減少しています。

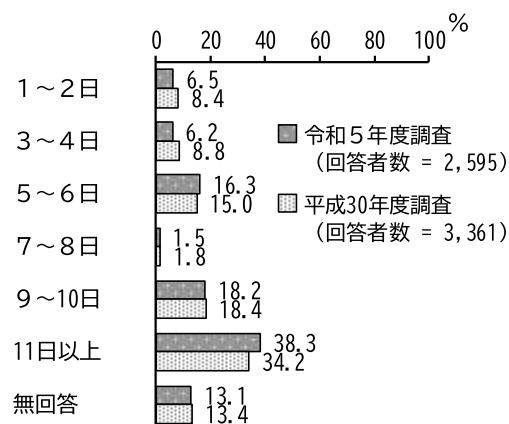


1年間の利用希望日数

一時預かり

「11日以上」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「9~10日」の割合が 18.2%、「5~6日」の割合が 16.3%となっています。

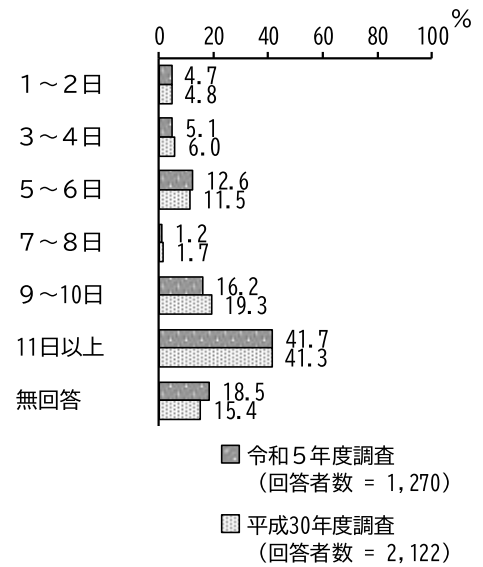
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



幼稚園の預かり保育

「11日以上」の割合が41.7%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が16.2%、「5～6日」の割合が12.6%となっています。

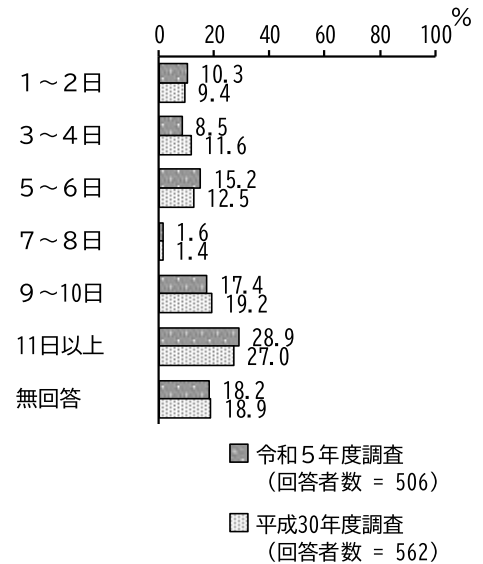
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ファミリー・サポート・センター

「11日以上」の割合が28.9%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が17.4%、「5～6日」の割合が15.2%となっています。

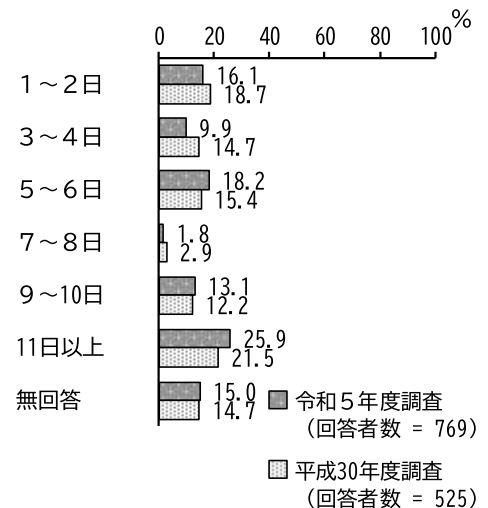
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子育てリフレッシュステイ

「11日以上」の割合が25.9%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が18.2%、「1～2日」の割合が16.1%となっています。

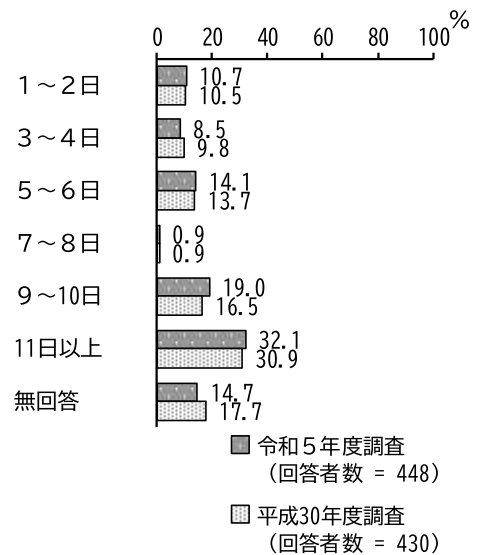
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ベビーシッター

「11日以上」の割合が32.1%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が19.0%、「5～6日」の割合が14.1%となっています。

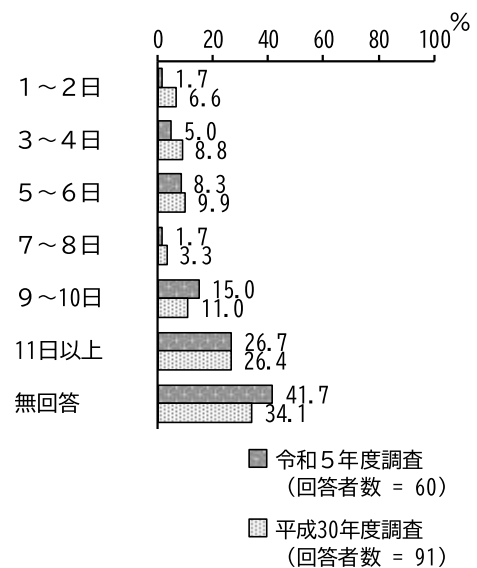
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その他

「11日以上」の割合が26.7%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が15.0%となっています。

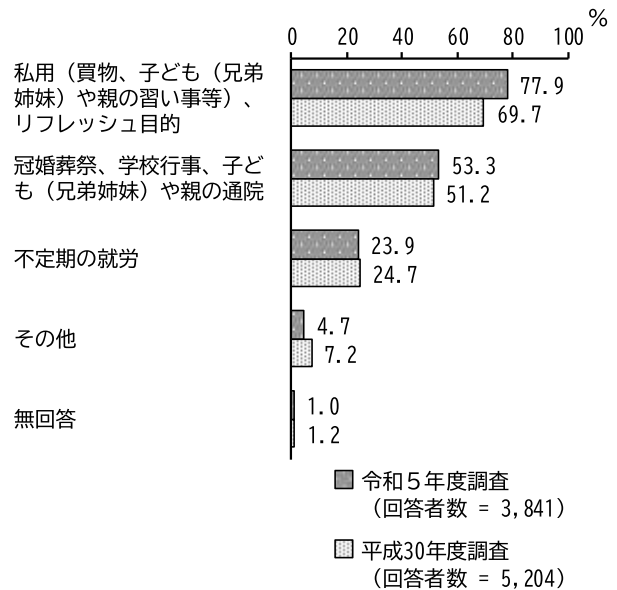
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21-2 問 21 で「1. 利用したい」と答えた方にうかがいます。どのような目的で事業を利用したいと思いますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。1年間の希望利用日数についても（ ）内にご記入ください（なお、利用には一定の料金がかかります）。

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院」の割合が 53.3%、「不定期の就労」の割合が 23.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 8.2 ポイント増加しています。

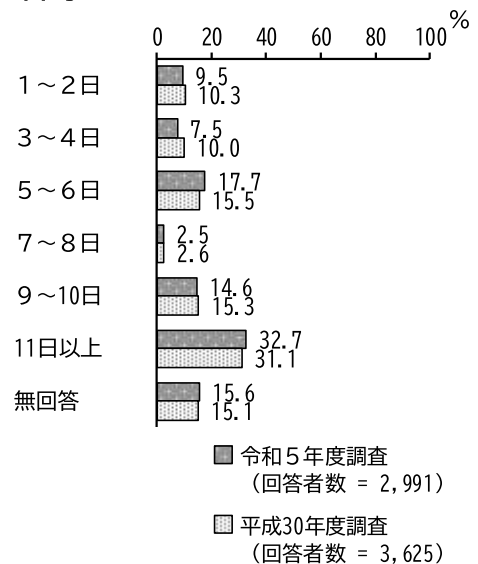


1年間の利用希望日数

私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「11日以上」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が 17.7%、「9～10日」の割合が 14.6%となっています。

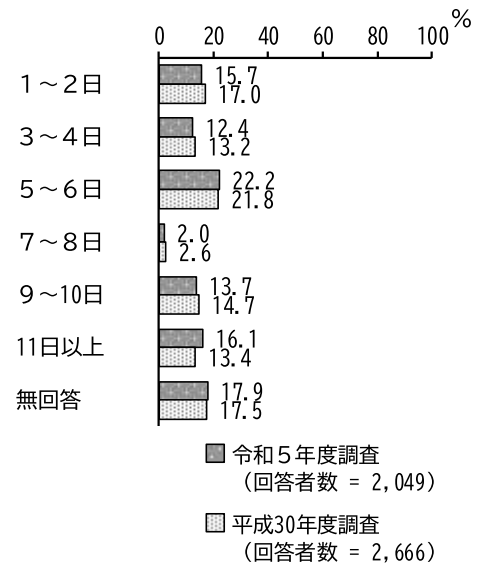
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院

「5～6日」の割合が22.2%と最も高く、次いで「11日以上」の割合が16.1%、「1～2日」の割合が15.7%となっています。

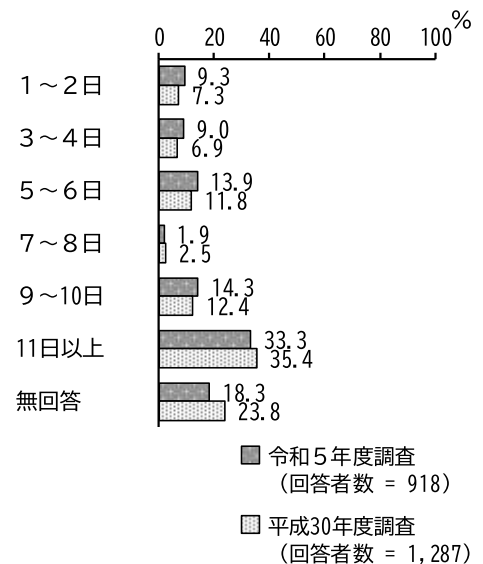
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



不定期の就労

「11日以上」の割合が33.3%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が14.3%、「5～6日」の割合が13.9%となっています。

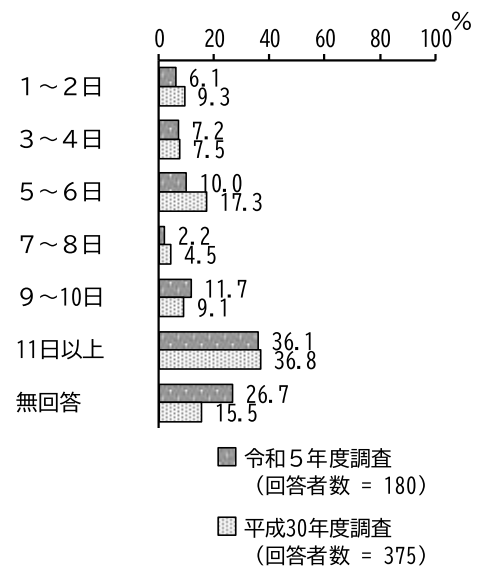
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その他

「11日以上」の割合が36.1%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が11.7%、「5～6日」の割合が10.0%となっています。

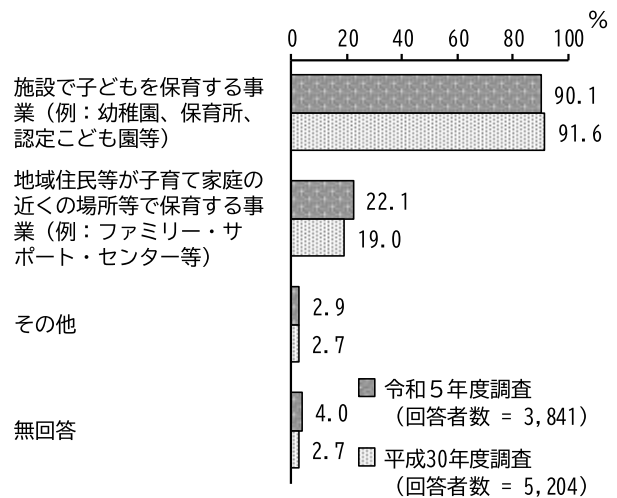
平成30年度調査と比較すると、「5～6日」の割合が7.3ポイント減少しています。



問 21-3 問 21-2の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業が望ましいと思われますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

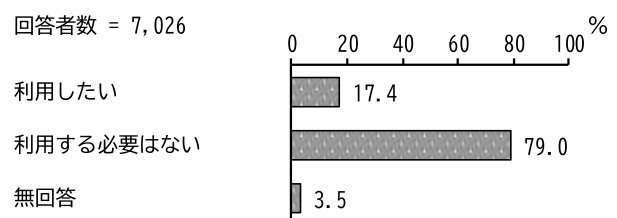
「施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園、保育所、認定こども園等）」の割合が 90.1%、「地域住民等が子育て家庭の近くの場所等で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 22.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。

「利用したい」の割合が 17.4%、「利用する必要はない」の割合が 79.0%となっています。

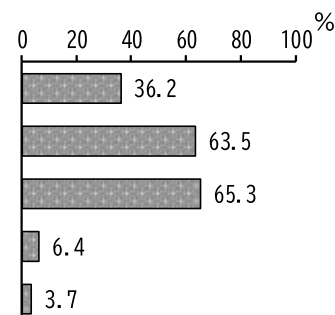


利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が65.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が63.5%、「冠婚葬祭」の割合が36.2%となっています。

回答者数 = 1,226

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

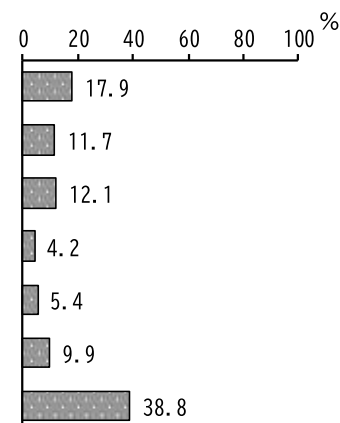


合計利用日数

「1～2日」の割合が17.9%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が12.1%、「3～4日」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 1,226

1～2日
3～4日
5～6日
7～8日
9～10日
11日以上
無回答

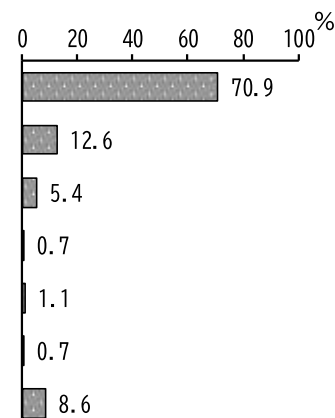


冠婚葬祭

「1～2日」の割合が70.9%と最も高く、次いで「3～4日」の割合が12.6%となっています。

回答者数 = 444

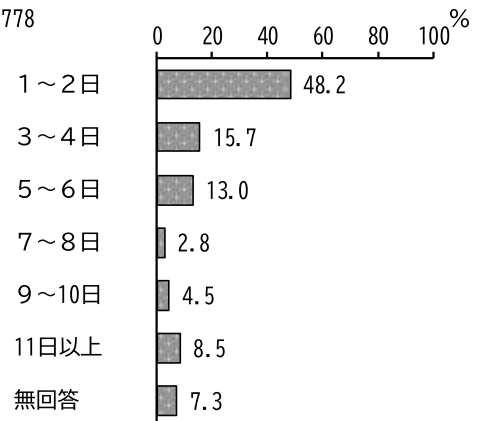
1～2日
3～4日
5～6日
7～8日
9～10日
11日以上
無回答



保護者や家族の育児疲れ・不安

「1～2日」の割合が48.2%と最も高く、次いで「3～4日」の割合が15.7%、「5～6日」の割合が13.0%となっています。

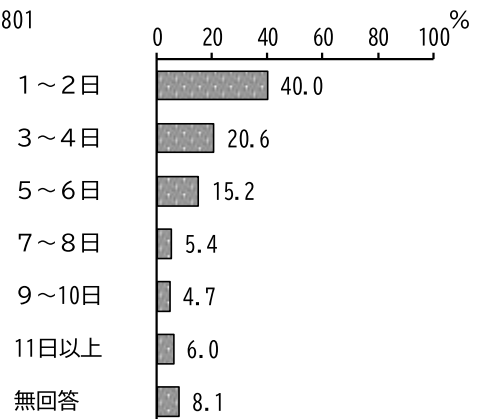
回答者数 = 778



保護者や家族の病気

「1～2日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「3～4日」の割合が20.6%、「5～6日」の割合が15.2%となっています。

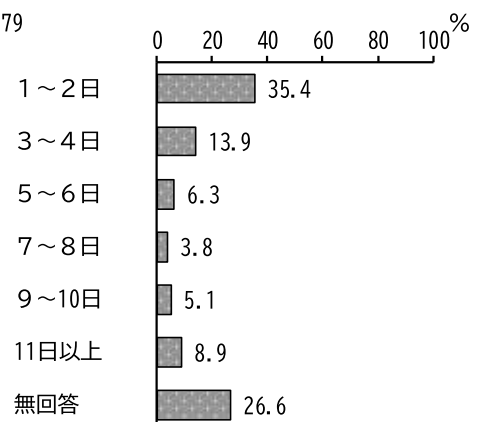
回答者数 = 801



その他

「1～2日」の割合が35.4%と最も高く、次いで「3～4日」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 79

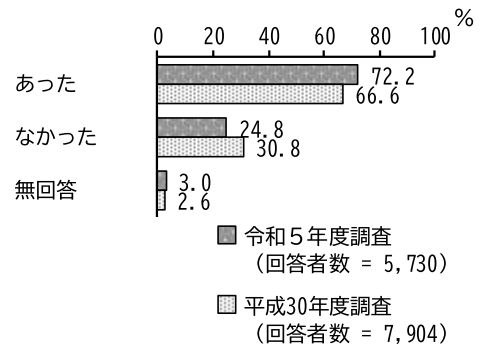


(7) 宛名のお子さんの病気やケガの際の対応について
(平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ)

問 23 平日の定期的な教育・保育事業を利用している方（問 16 で「1. はい」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 23-5 にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか（○は1つ）。

「あった」の割合が72.2%、「なかった」の割合が24.8%となっています。

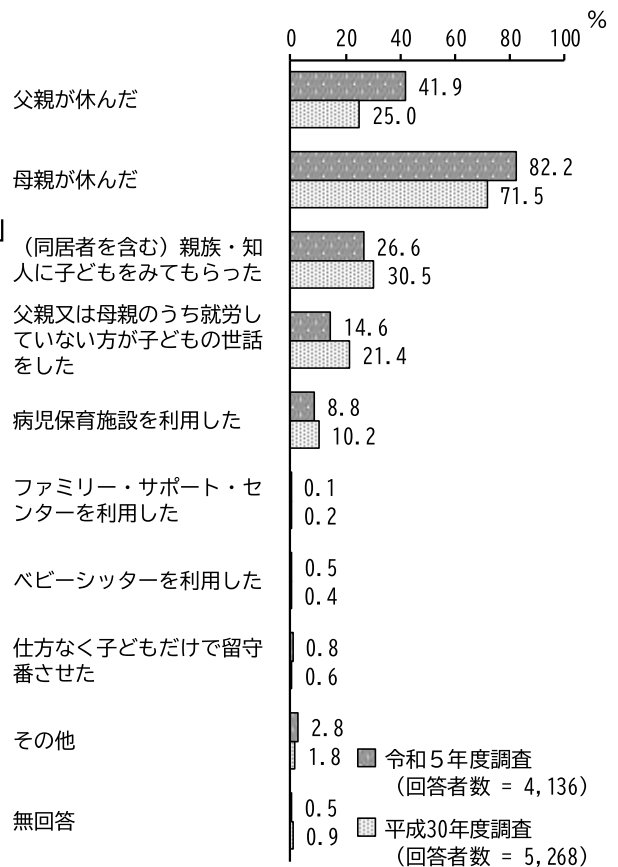
平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が5.6ポイント増加しています。



問 23-1 その場合の、この1年間の対処方法を教えてください（あてはまるものすべてに○をつけてください）。
それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応も1日とカウントしてください）。

「母親が休んだ」の割合が82.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が41.9%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が26.6%となっています。

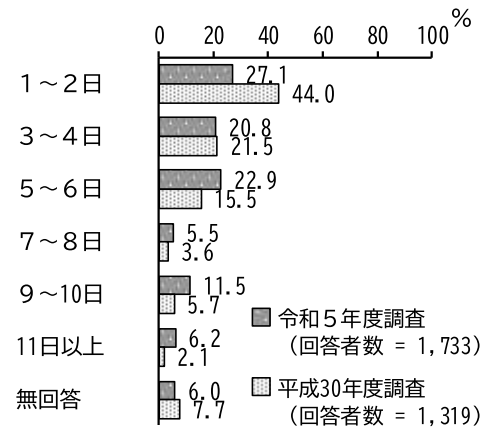
平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が16.9ポイント、「母親が休んだ」の割合が10.7ポイント増加しています。



父親が休んだ日数

「1～2日」の割合が27.1%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が22.9%、「3～4日」の割合が20.8%となっています。

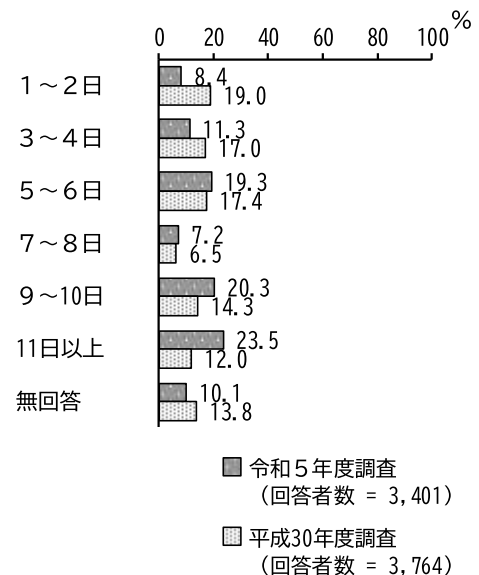
平成30年度調査と比較すると、「5～6日」の割合が7.4ポイント、「9～10日」の割合が5.8ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が16.9ポイント減少しています。



母親が休んだ日数

「11日以上」の割合が23.5%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が20.3%、「5～6日」の割合が19.3%となっています。

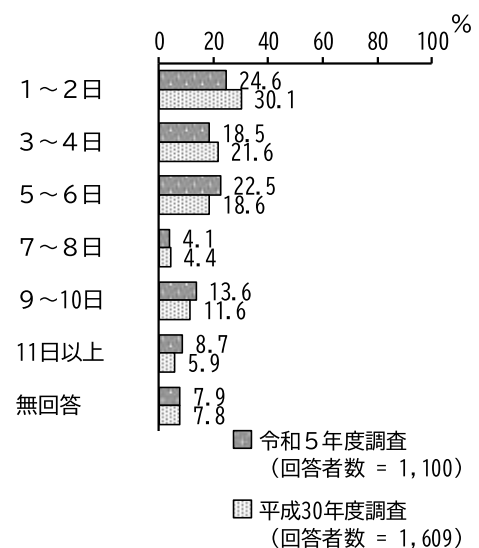
平成30年度調査と比較すると、「9～10日」の割合が6ポイント、「11日以上」の割合が11.5ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が10.6ポイント、「3～4日」の割合が5.7ポイント減少しています。



(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「1～2日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が22.5%、「3～4日」の割合が18.5%となっています。

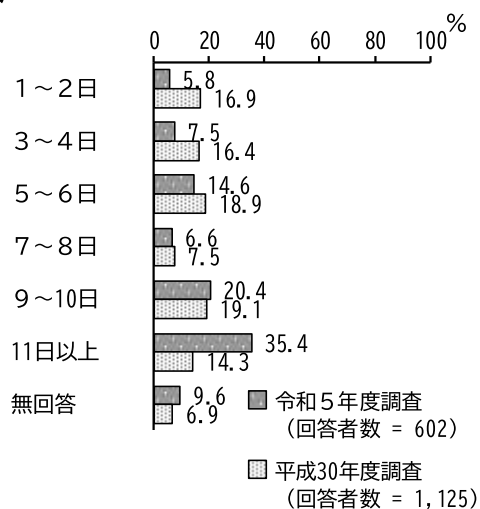
平成30年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が5.5ポイント減少しています。



父親又は母親のうち就労していない方が子どもの世話をした日数

「11日以上」の割合が35.4%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が20.4%、「5～6日」の割合が14.6%となっています。

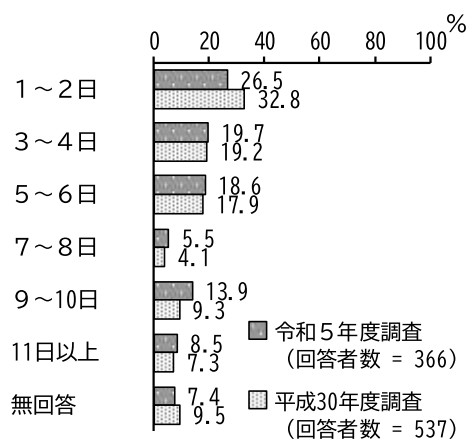
平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が21.1ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が11.1ポイント、「3～4日」の割合が8.9ポイント減少しています。



病児保育施設を利用した日数

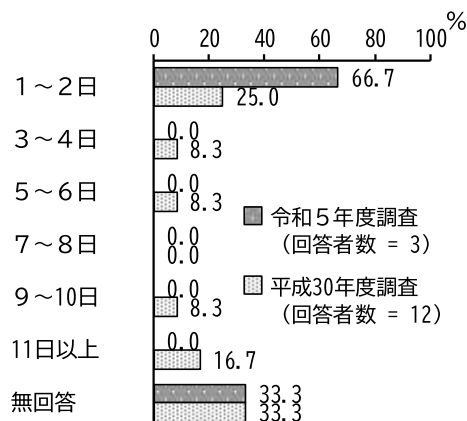
「1～2日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「3～4日」の割合が19.7%、「5～6日」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が6.3ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センターを利用した日数

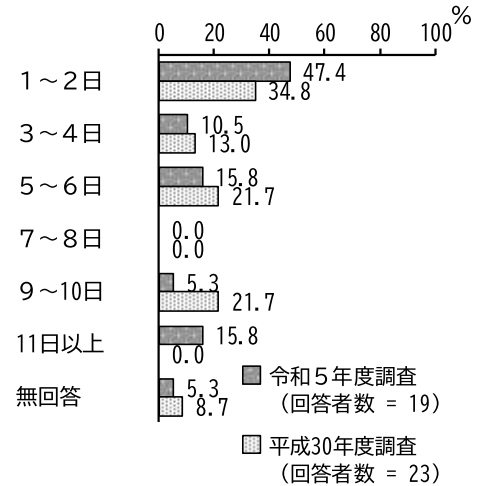
「1～2日」が2件となっています。



ベビーシッターを利用した日数

「1～2日」の割合が47.4%と最も高く、次いで「5～6日」、「11日以上」の割合が15.8%となっています。

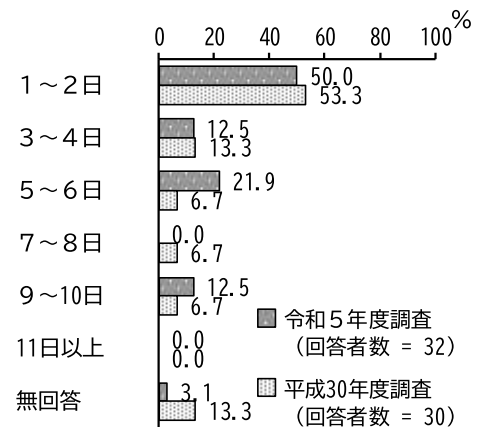
平成30年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が12.6ポイント、「11日以上」の割合が15.8ポイント増加しています。一方、「5～6日」の割合が5.9ポイント、「9～10日」の割合が16.4ポイント減少しています。



仕方なく子どもだけで留守番させた日数

「1～2日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が21.9%、「3～4日」、「9～10日」の割合が12.5%となっています。

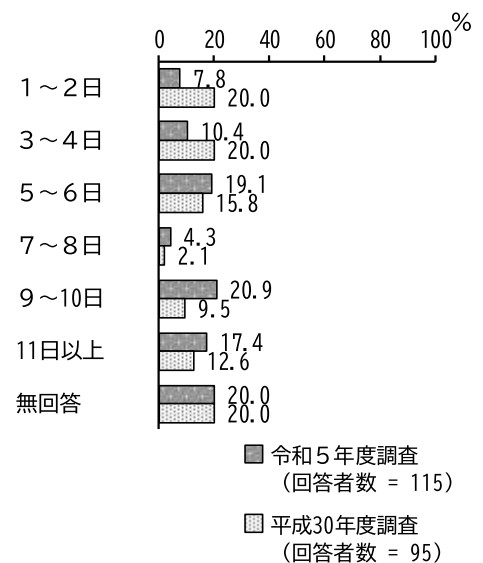
平成30年度調査と比較すると、「5～6日」の割合が15.2ポイント、「9～10日」の割合が5.8ポイント増加しています。一方、「7～8日」の割合が6.7ポイント減少しています。



その他の日数

「9～10日」の割合が20.9%と最も高く、次いで「5～6日」の割合が19.1%、「11日以上」の割合が17.4%となっています。

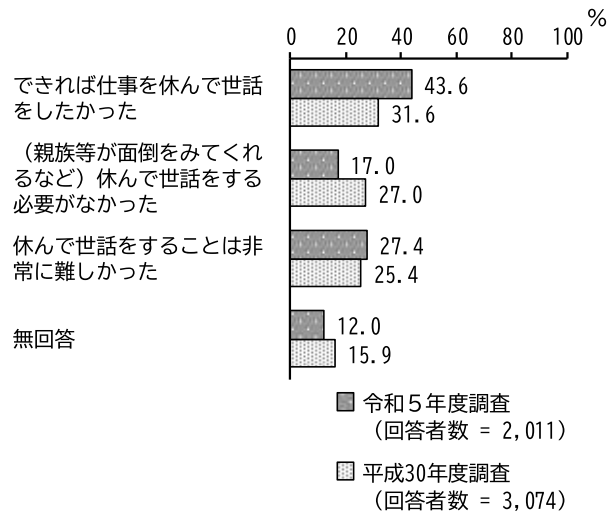
平成30年度調査と比較すると、「9～10日」の割合が11.4ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が12.2ポイント、「3～4日」の割合が9.6ポイント減少しています。



問 23-2 問 23-1 で「3.」から「9.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。
『できれば父母のいずれかが仕事を休んで世話をしたい』と思われましたか
(○は1つ)。「3.」～「9.」の日数のうち、仕事を休んで世話をしたかった日数
についても () 内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで世話をしたかった」の割合が 43.6% と最も高く、次いで「休んで世話をすることは非常に難しかった」の割合が 27.4%、
「(親族等が面倒をみてくれるなど) 休んで世話をする必要がなかった」の割合が 17.0% となっています。

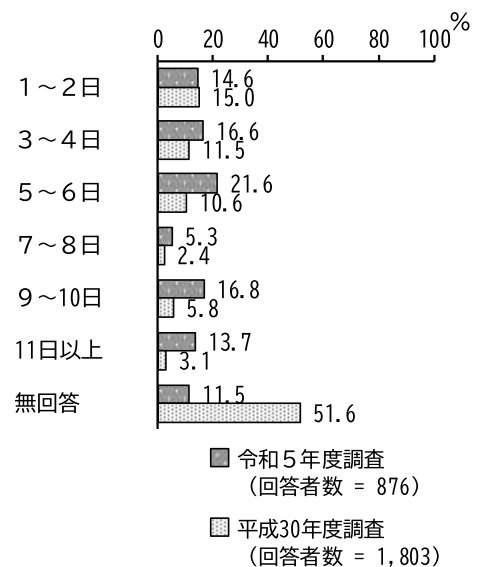
平成 30 年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで世話をしたかった」の割合が 12 ポイント増加しています。一方、「(親族等が面倒をみてくれるなど) 休んで世話をする必要がなかった」の割合が 10 ポイント減少しています。



仕事を休んで世話をしたかった日数

「5～6日」の割合が 21.6% と最も高く、次いで「9～10日」の割合が 16.8%、「3～4日」の割合が 16.6% となっています。

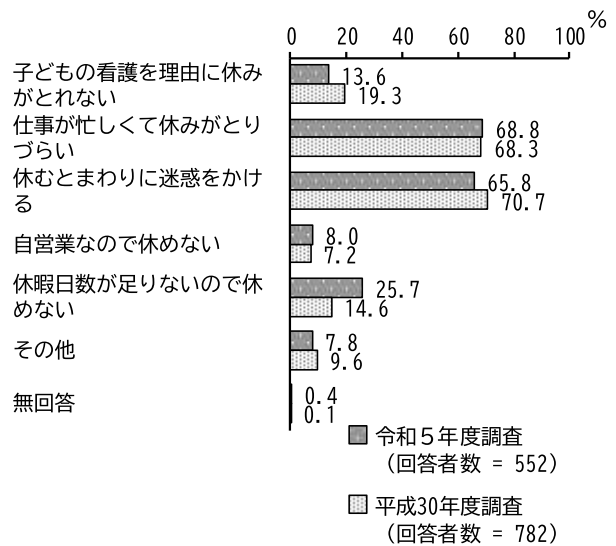
平成 30 年度調査と比較すると、「3～4日」の割合が 5.1 ポイント、「5～6日」「9～10日」の割合が 11 ポイント、「11日以上」の割合が 10.6 ポイント増加しています。



問 23-3 問 23-2で「3. 休んで世話をすることは非常に難しかった」と答えた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

「仕事が忙しくて休みがとりづらい」の割合が68.8%と最も高く、次いで「休むとまわりに迷惑をかける」の割合が65.8%、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が25.7%となっています。

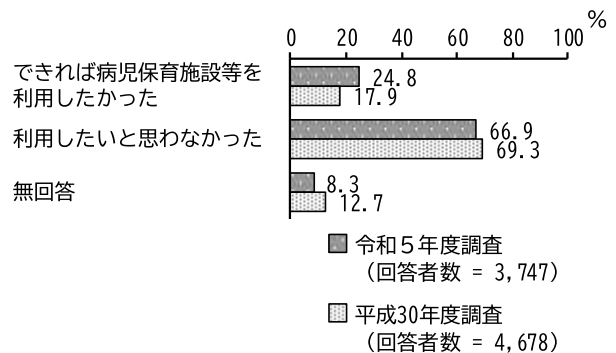
平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が11.1ポイント増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が5.7ポイント減少しています。



問 23-4 問 23-1で「5. 病児保育施設」「6. ファミリー・サポート・センター」を選ばなかった方にうかがいます。「5.」「6.」を選択した方は問 23-5へお進みください。
 その際、「できれば病児保育施設等を利用したい」と思われましたか（○は1つ）。
 そう思われた方は、日数についてもお書きください（なお、病児保育施設等の利用には、一定の料金がかかり、利用前にかかりつけ医の受診等が必要となります）。

「できれば病児保育施設等を利用したかった」の割合が24.8%、「利用したいと思わなかった」の割合が66.9%となっています。

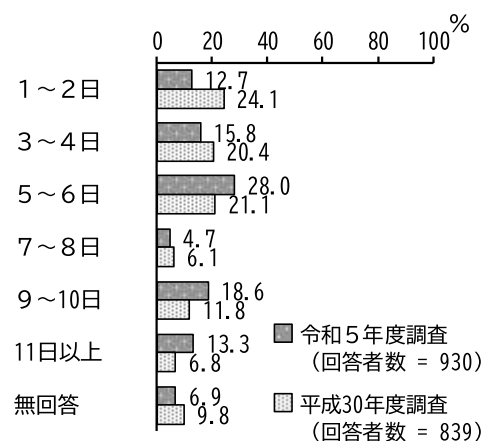
平成30年度調査と比較すると、「できれば病児保育施設等を利用したかった」の割合が6.9ポイント増加しています。



病児・病後児の保育施設等の利用希望日数

「5～6日」の割合が28.0%と最も高く、次いで「9～10日」の割合が18.6%、「3～4日」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5～6日」の割合が6.9ポイント、「9～10日」の割合が6.8ポイント、「11日以上」の割合が6.5ポイント増加しています。一方、「1～2日」の割合が11.4ポイント減少しています。

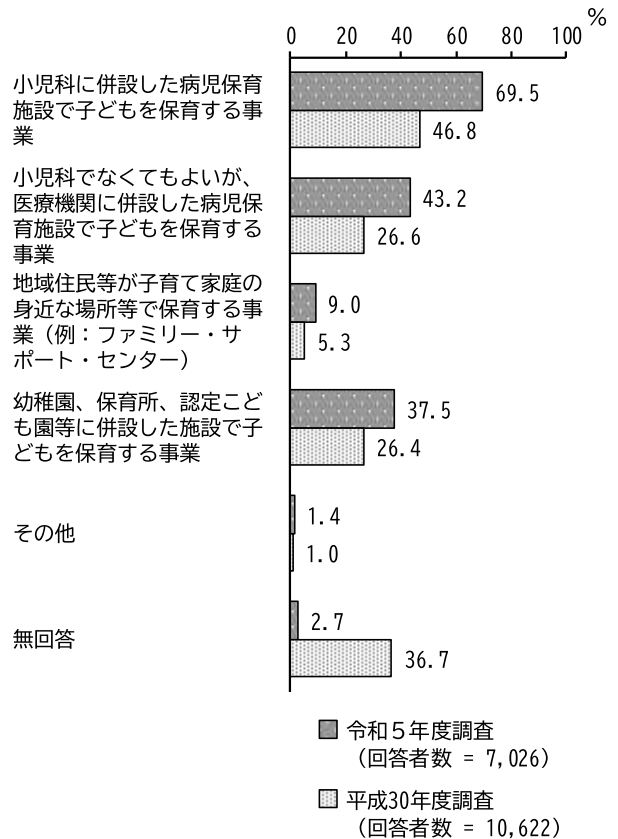


すべての方にうかがいます。

問 23-5 病児保育施設等を利用するにあたっては、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

「小児科に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「小児科でなくてもよいが、医療機関に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 43.2%、「幼稚園、保育所、認定こども園等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 37.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「小児科に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 22.7 ポイント、「小児科でなくてもよいが、医療機関に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 16.6 ポイント、「幼稚園、保育所、認定こども園等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 11.1 ポイント増加しています。

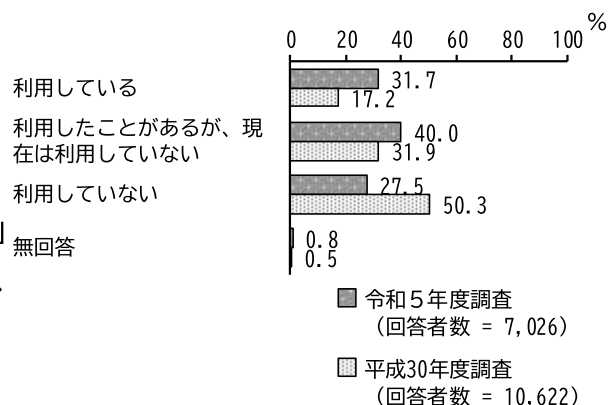


(8) 宛名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況について

問 24 市内には、こべっこランド、児童館での子育て支援（市内 120 箇所）、大学内子育て支援施設（市内 10 箇所）、おやこふらっとひろば（市内 9 箇所）、こべっこあそびひろば（市内 3 箇所）など、地域子育て支援拠点事業（「子育てひろば」として、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）が約 140 箇所あります。宛名のお子さんは、現在、その施設を利用していますか（○は 1 つ）。

「利用したことがあるが、現在は利用していない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「利用している」の割合が 31.7%、「利用していない」の割合が 27.5%となっています。

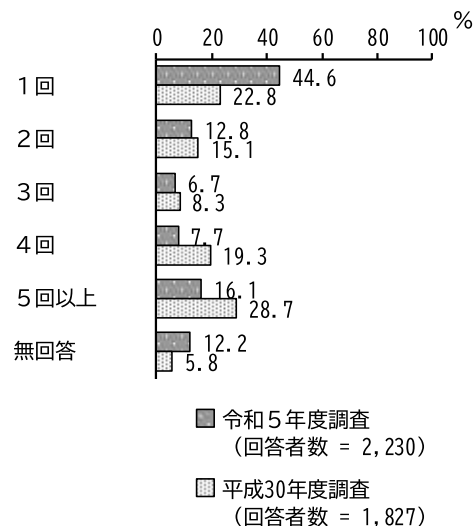
平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が 14.5 ポイント、「利用したことがあるが、現在は利用していない」の割合が 8.1 ポイント増加しています。



1 か月あたりの利用頻度

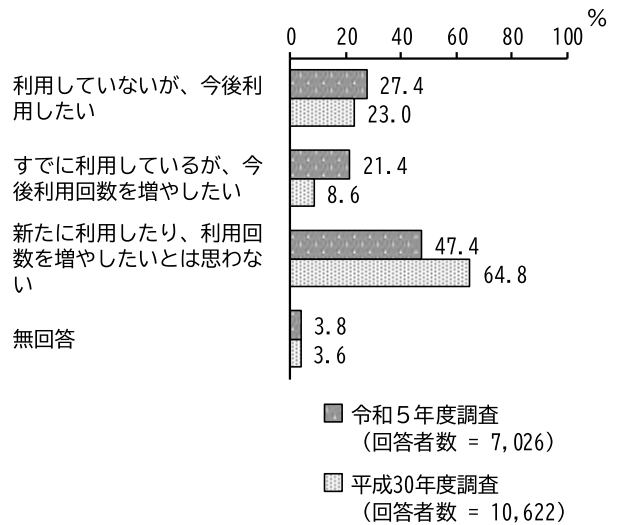
「1回」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「5回以上」の割合が 16.1%、「2回」の割合が 12.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1回」の割合が 21.8 ポイント増加しています。一方、「4回」の割合が 11.6 ポイント、「5回以上」の割合が 12.6 ポイント減少しています。



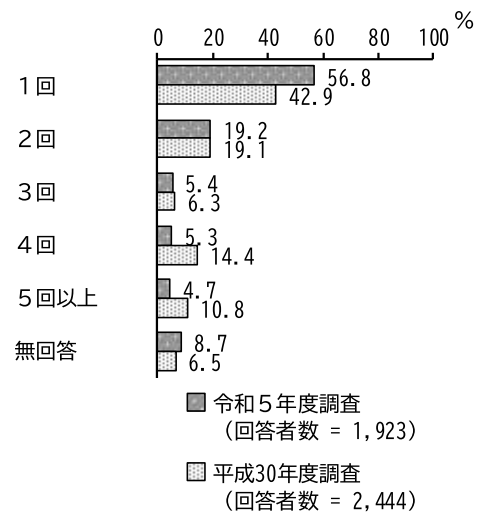
問 25 問 24 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか（○は1つ）。
「1.」「2.」の場合は、1ヶ月あたりのおおよその利用回数を（ ）内に数字で
ご記入ください。

「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が27.4%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」の割合が21.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」の割合が12.8ポイント増加しています。



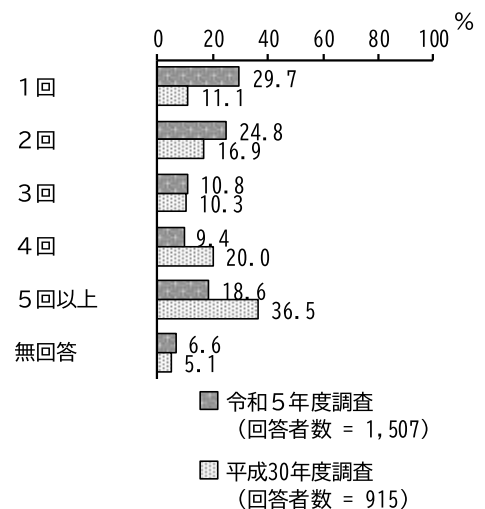
1か月あたりの利用頻度

「1回」の割合が56.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.2%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が13.9ポイント増加しています。一方、「4回」の割合が9.1ポイント、「5回以上」の割合が6.1ポイント減少しています。



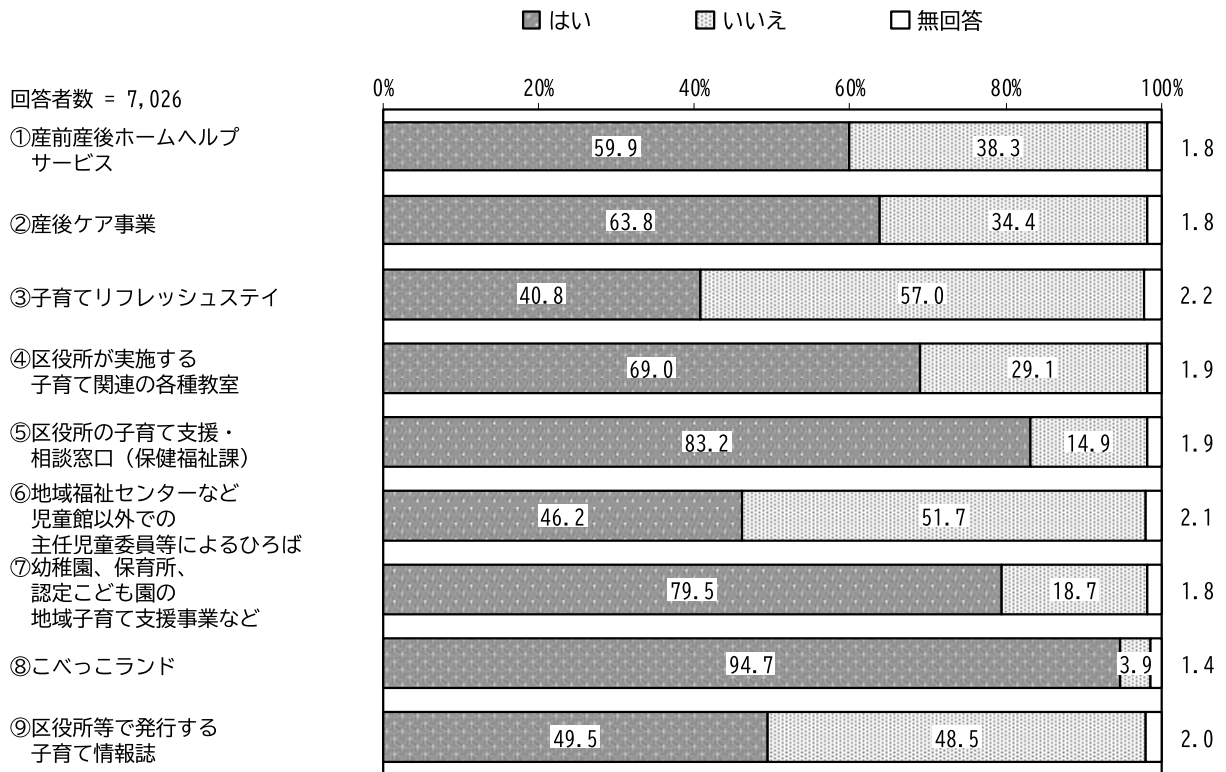
1か月あたり更に増やしたい利用頻度

「1回」の割合が29.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が24.8%、「5回以上」の割合が18.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が18.6ポイント、「2回」の割合が7.9ポイント増加しています。一方、「4回」の割合が10.6ポイント、「5回以上」の割合が17.9ポイント減少しています。



問 26 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用したことがあるもの（B）、今後、利用したいと思うもの（C）をお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

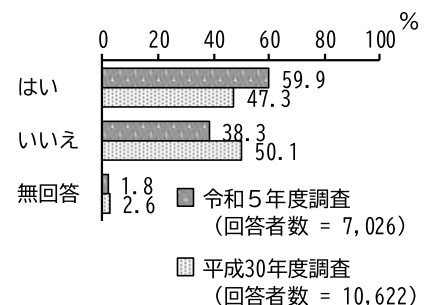
A知っている



※前回調査では、「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）」は「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（こども家庭支援課）」でした。

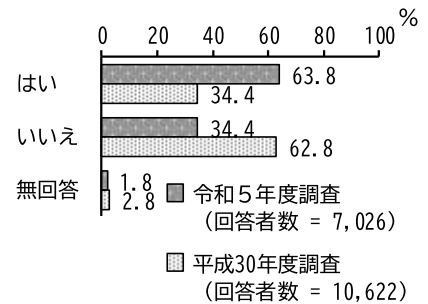
①産前産後ホームヘルプサービス

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が12.6ポイント増加しています。



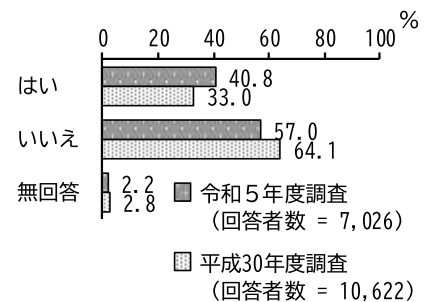
②産後ケア事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が29.4ポイント増加しています。



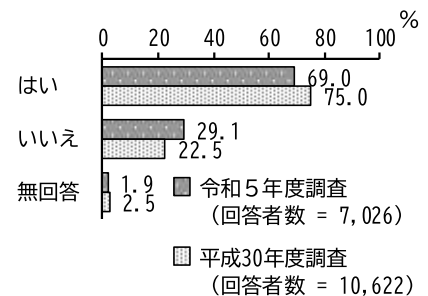
③子育てリフレッシュステイ

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が7.8ポイント増加しています。



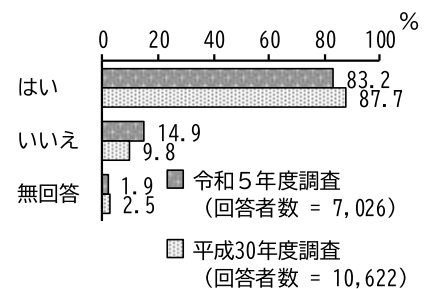
④区役所が実施する子育て関連の各種教室

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が6.6ポイント増加しています。一方、「はい」の割合が6ポイント減少しています。



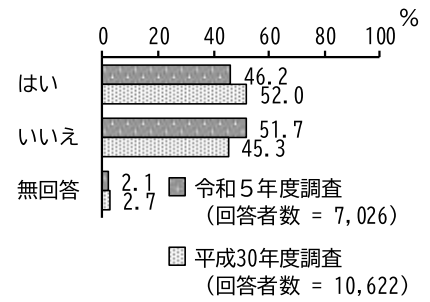
⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が5.1ポイント増加しています。



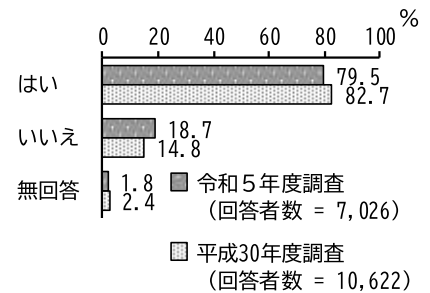
⑥地域福祉センターなど児童館以外での主任児童委員等によるひろば

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 6.4 ポイント増加しています。一方、「はい」の割合が 5.8 ポイント減少しています。



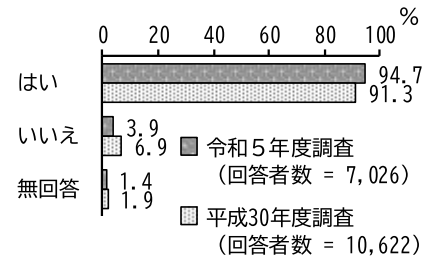
⑦幼稚園、保育所、認定こども園の地域子育て支援事業など

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



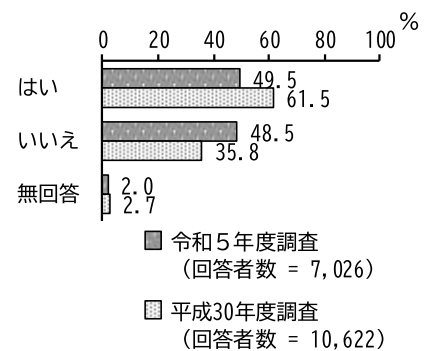
⑧こべっこランド

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

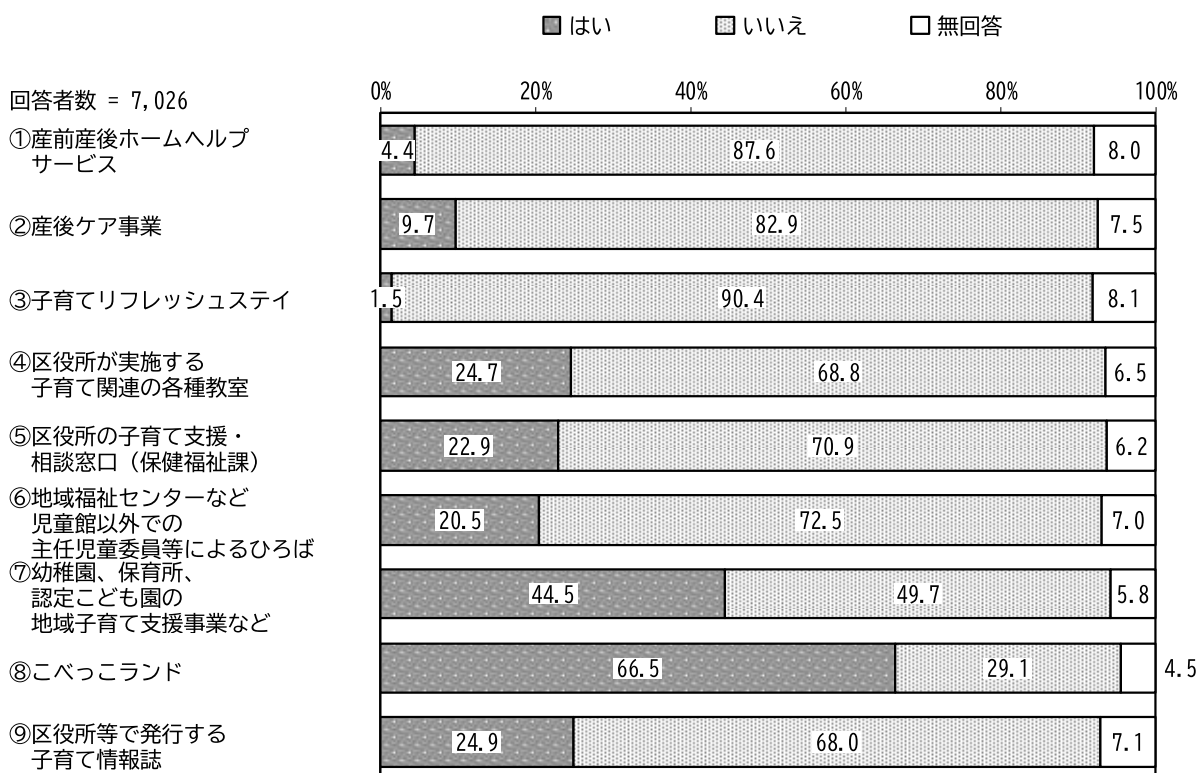


⑨区役所等で発行する子育て情報誌

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が 12 ポイント減少しています。



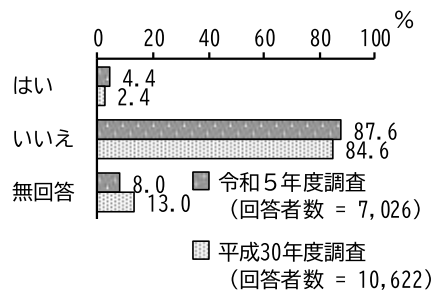
B これまでに利用したことがある



※前回調査では、「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）」は「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（こども家庭支援課）」でした。

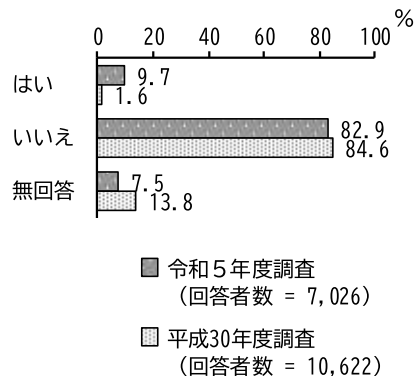
①産前産後ホームヘルプサービス

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



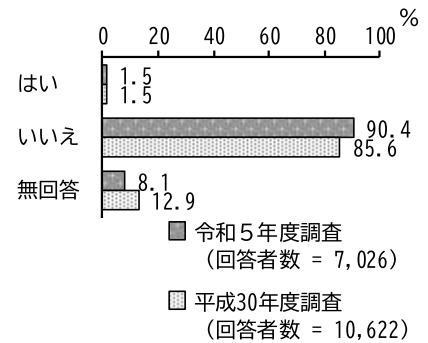
②産後ケア事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が 8.1 ポイント増加しています。



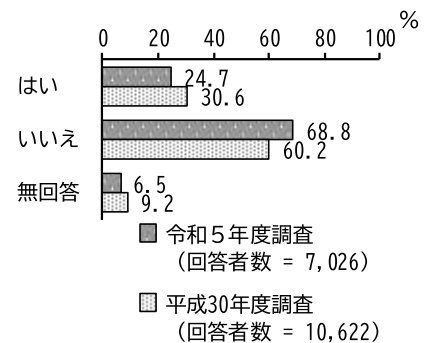
③子育てリフレッシュステイ

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



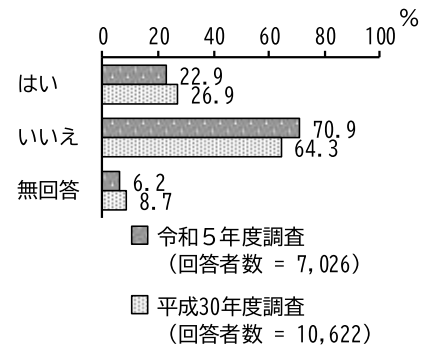
④区役所が実施する子育て関連の各種教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 8.6 ポイント増加しています。一方、「はい」の割合が 5.9 ポイント減少しています。



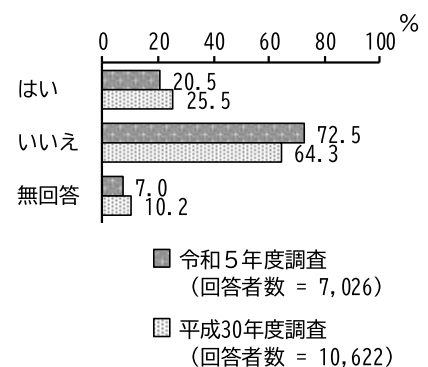
⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 6.6 ポイント増加しています。



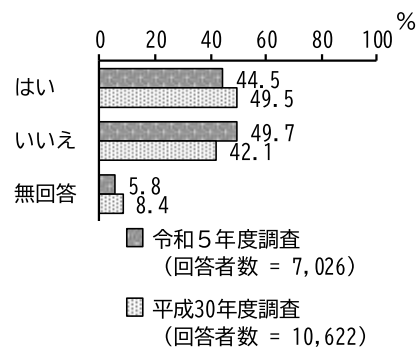
⑥地域福祉センターなど児童館以外での主任児童委員等によるひろば

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 8.2 ポイント増加しています。



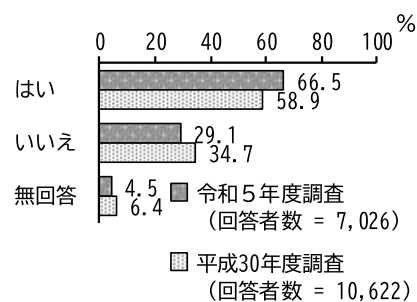
⑦幼稚園、保育所、認定こども園の地域子育て支援事業など

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が7.6ポイント増加しています。



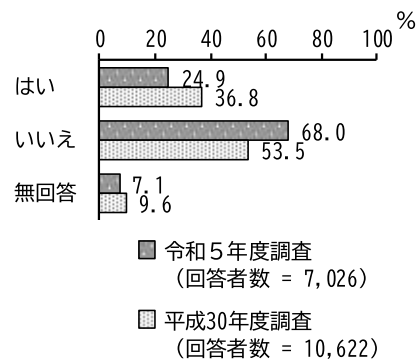
⑧こべっこランド

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が7.6ポイント増加しています。一方、「いいえ」の割合が5.6ポイント減少しています。

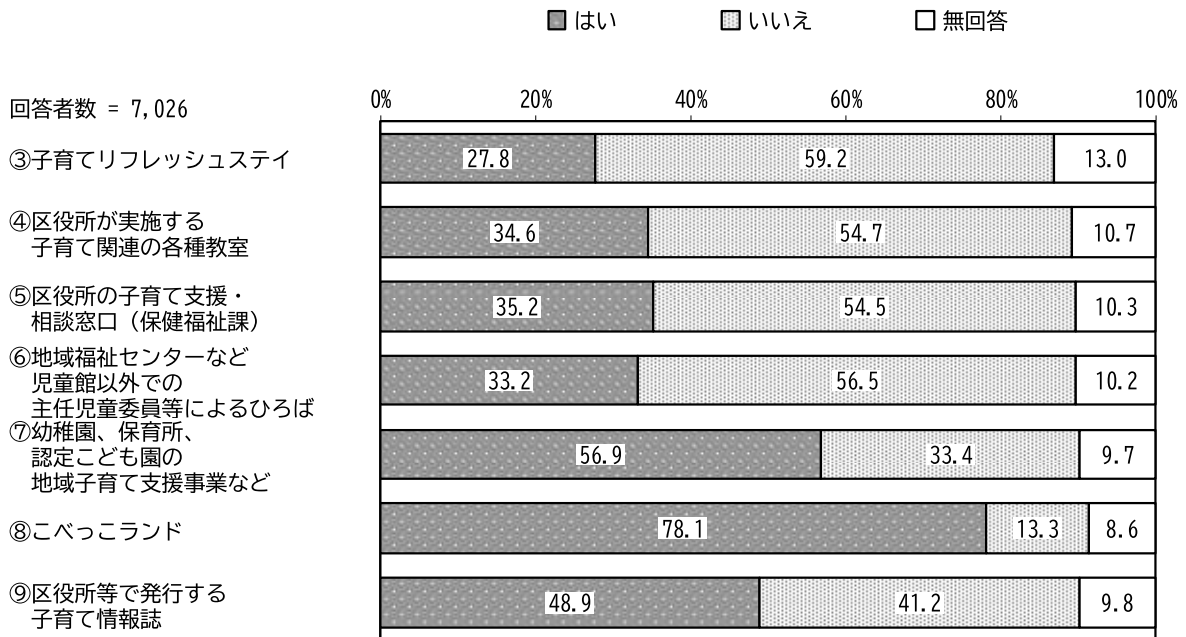


⑨区役所等で発行する子育て情報誌

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が11.9ポイント減少しています。



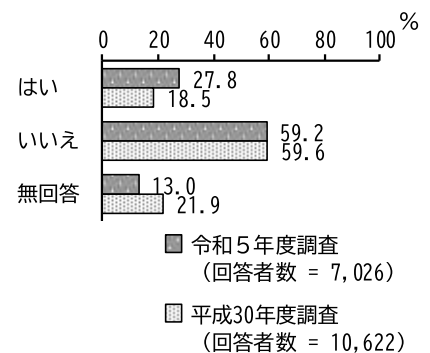
C 今後利用したい



※前回調査では、「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）」は「⑤区役所の子育て支援・相談窓口（こども家庭支援課）」でした。

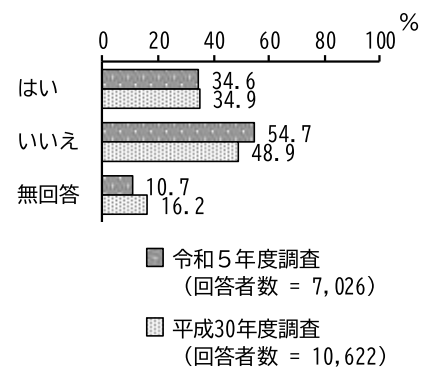
③子育てリフレッシュステイ

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が 9.3 ポイント増加しています。



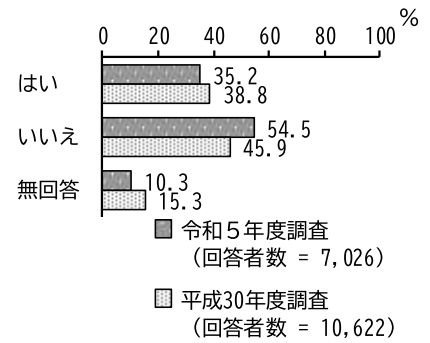
④区役所が実施する子育て関連の各種教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 5.8 ポイント増加しています。



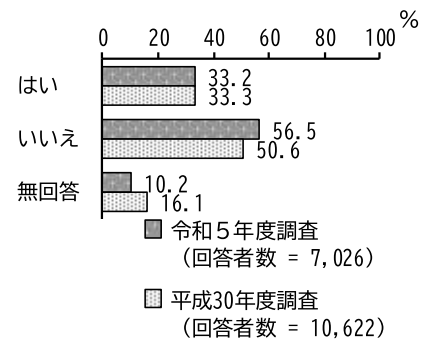
⑤区役所の子育て支援・相談窓口（保健福祉課）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 8.6 ポイント増加しています。



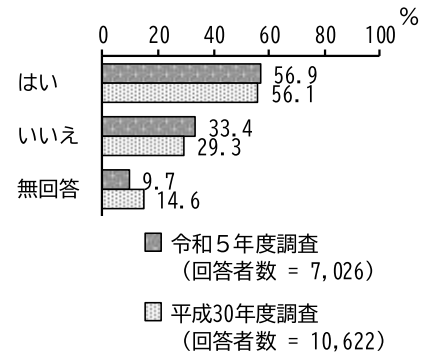
⑥地域福祉センターなど児童館以外での主任児童委員等によるひろば

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 5.9 ポイント増加しています。



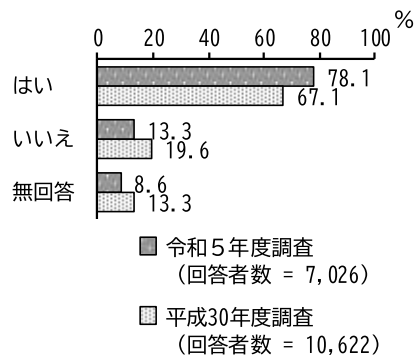
⑦幼稚園、保育所、認定こども園の地域子育て支援事業など

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



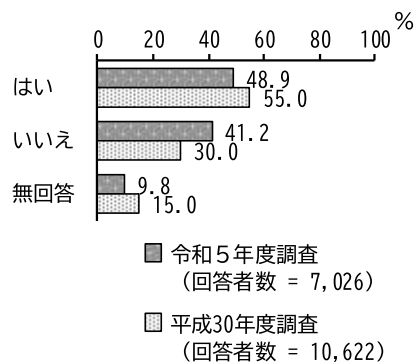
⑧こべっこランド

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が 11 ポイント増加しています。一方、「いいえ」の割合が 6.3 ポイント減少しています。



⑨区役所等で発行する子育て情報誌

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が 11.2 ポイント増加しています。一方、「はい」の割合が 6.1 ポイント減少しています。

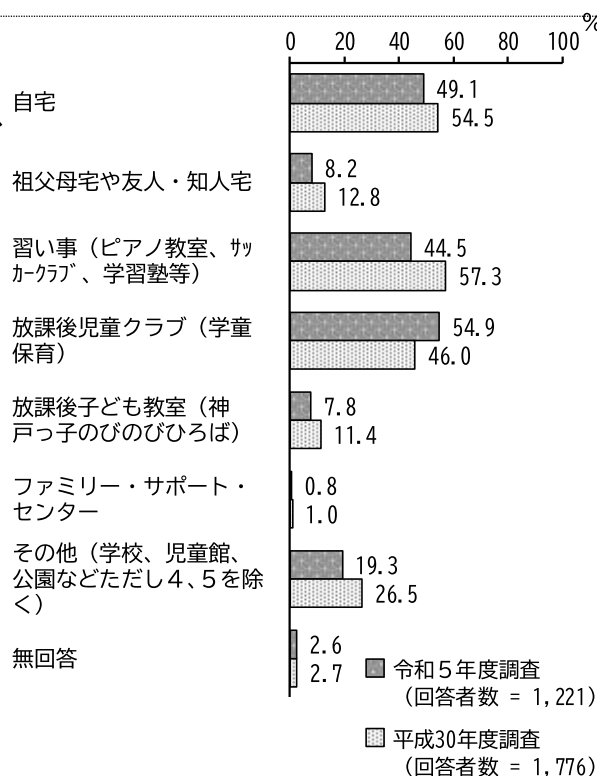


(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方について (宛名のお子さんが来年4月に小学校に入学する方のみ)

問 27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後等の時間をどのように過ごさせたいですか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。
それぞれ希望する週あたりの日数、「4.」の場合には、利用を希望する時間をあわせて数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が54.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が49.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が44.5%となっています。

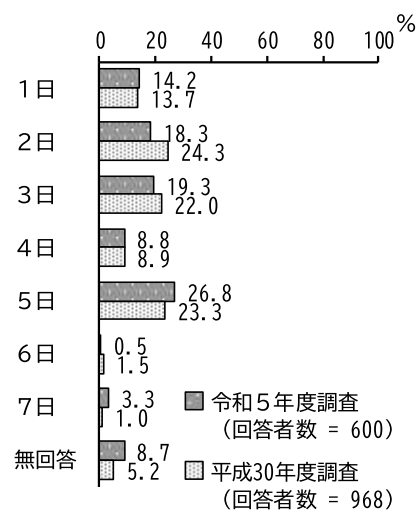
平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が8.9ポイント増加しています。一方、「自宅」の割合が5.4ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が12.8ポイント、「その他（学校、児童館、公園などただし4、5を除く）」の割合が7.2ポイント減少しています。



自宅の日数

「5日」の割合が26.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.3%、「2日」の割合が18.3%となっています。

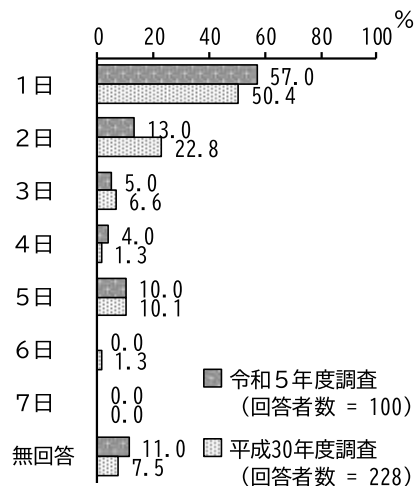
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が6ポイント減少しています。



祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 13.0%、「5日」の割合が 10.0%となっています。

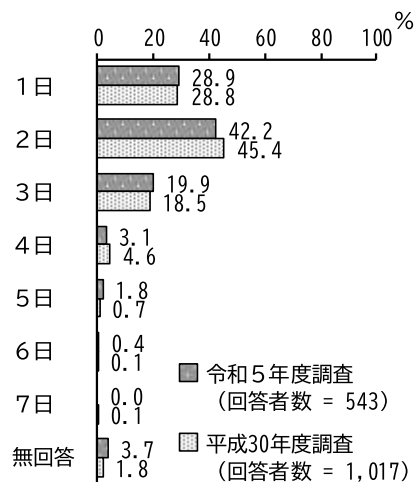
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が 6.6 ポイント増加しています。一方、「2日」の割合が 9.8 ポイント減少しています。



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）の日数

「2日」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が 28.9%、「3日」の割合が 19.9%となっています。

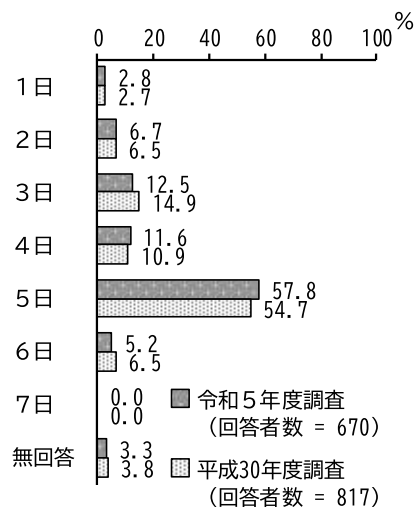
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



放課後児童クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が 12.5%、「4日」の割合が 11.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

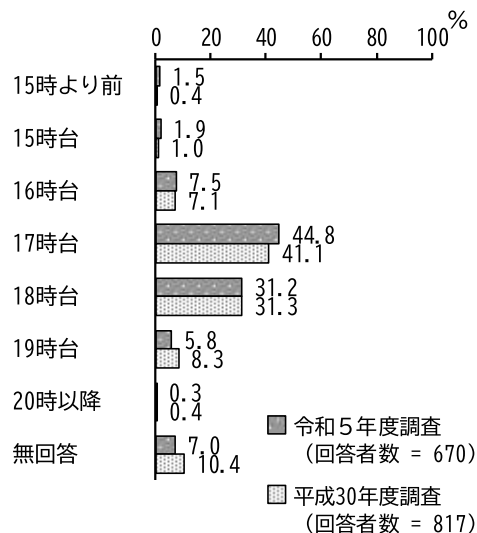


平日

利用希望時間

「17 時台」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 31.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

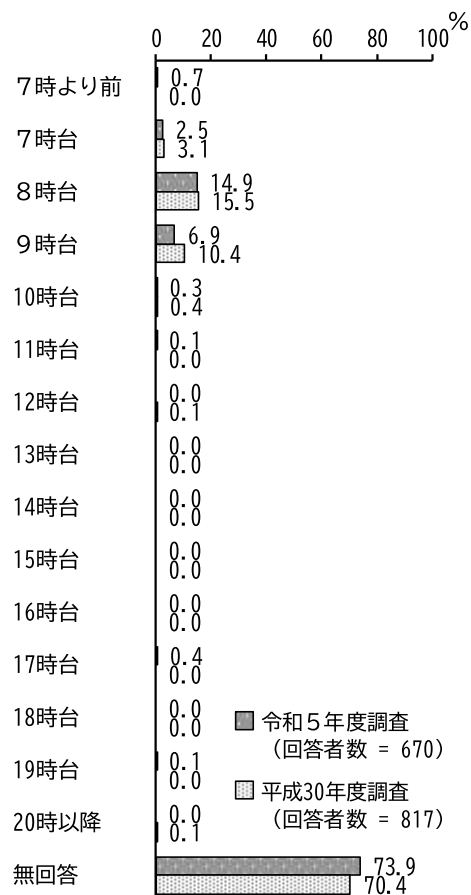


土曜日

希望利用開始時間

「8 時台」の割合が 14.9%と最も高くなっています。

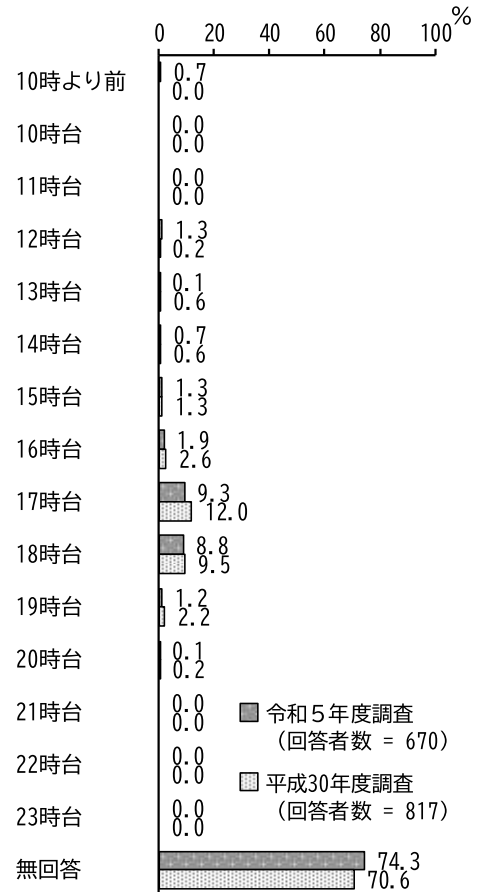
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



希望利用終了時間

「17時台」の割合が9.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

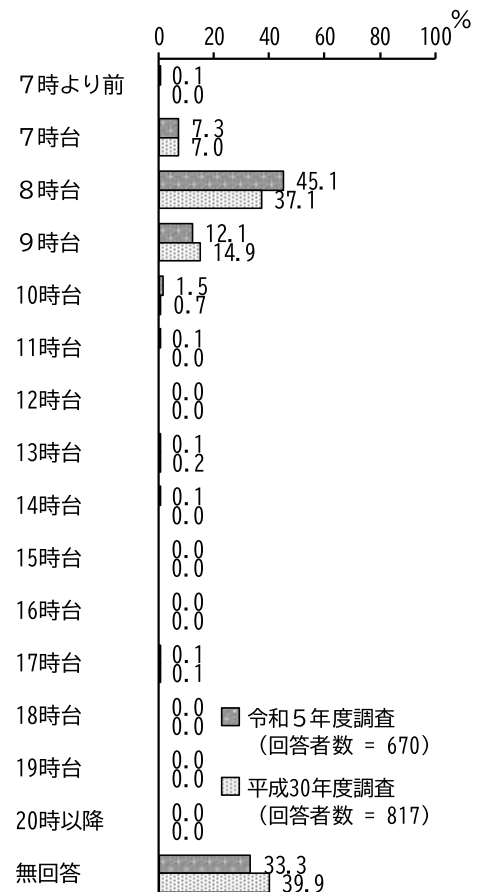


長期休業日

希望利用開始時間

「8時台」の割合が45.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が12.1%となっています。

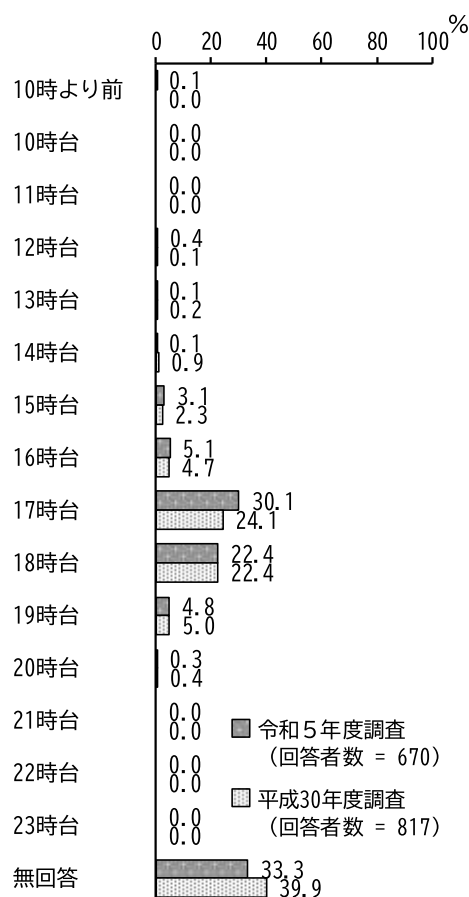
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が8ポイント増加しています。



希望利用終了時間

「17 時台」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.4%となっています。

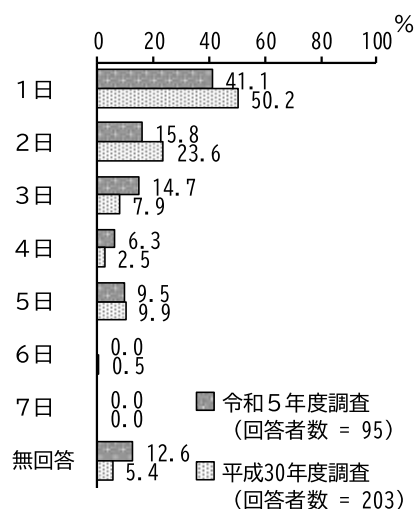
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 6 ポイント増加しています。



放課後子ども教室（神戸っ子のびのびひろば）の日数

「1日」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が 15.8%、「3日」の割合が 14.7%となっています。

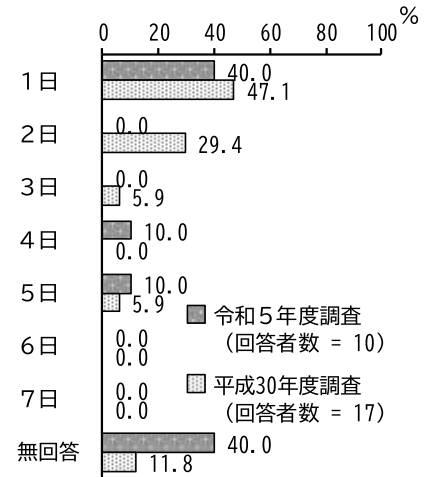
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が 6.8 ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が 9.1 ポイント、「2日」の割合が 7.8 ポイント減少しています。



ファミリー・サポート・センターの日数

「1日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「4日」、「5日」の割合が10.0%となっています。

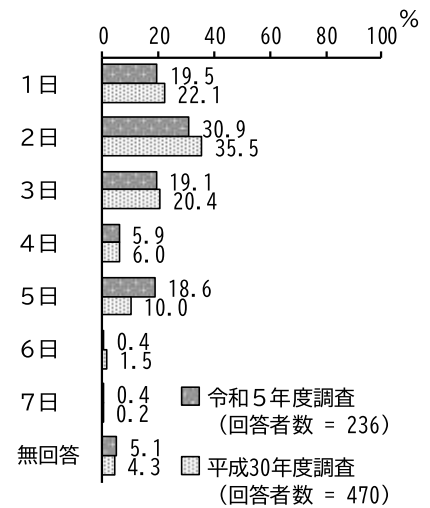
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が10ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が7.1ポイント、「2日」の割合が29.4ポイント、「3日」の割合が5.9ポイント減少しています。



その他（学校、児童館、公園などただし4、5を除く）の日数

「2日」の割合が30.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.5%、「3日」の割合が19.1%となっています。

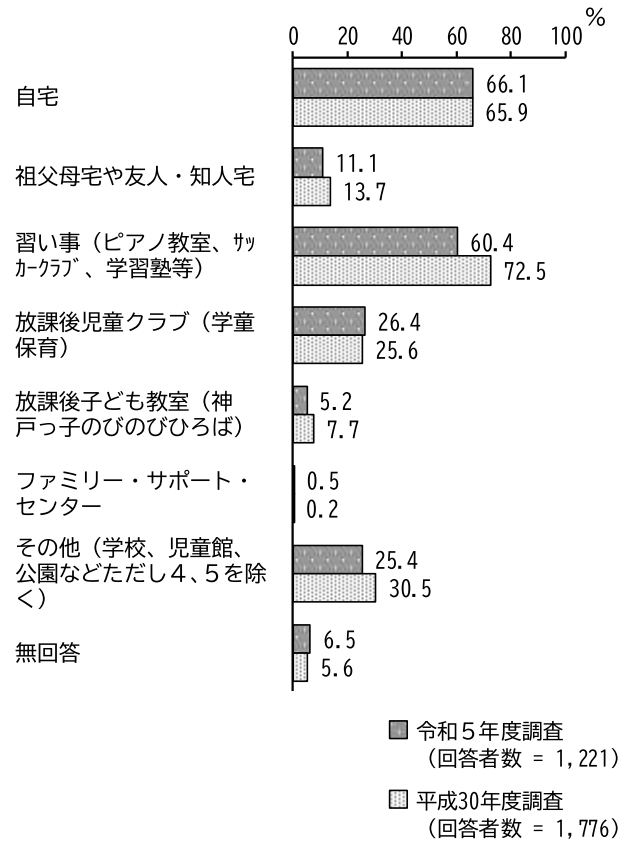
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が8.6ポイント増加しています。



問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の間、放課後等の時間をどのように過ごさせたいですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「4.」「6.」については何年生まで利用したいか、「4.」の場合は利用を希望する時間もお答えください。

「自宅」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が 60.4%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 26.4%となっています。

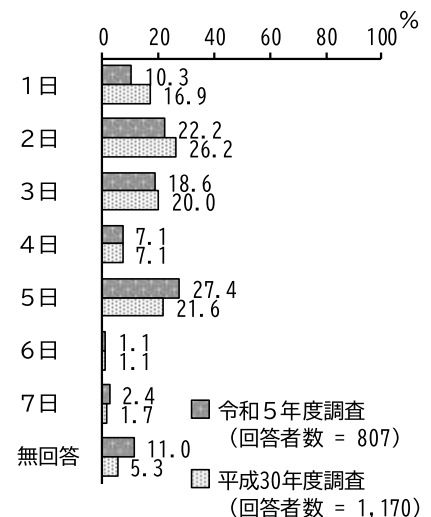
平成 30 年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が 12.1 ポイント、「その他（学校、児童館、公園などただし 4、5 を除く）」の割合が 5.1 ポイント減少しています。



自宅の日数

「5日」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 22.2%、「3日」の割合が 18.6%となっています。

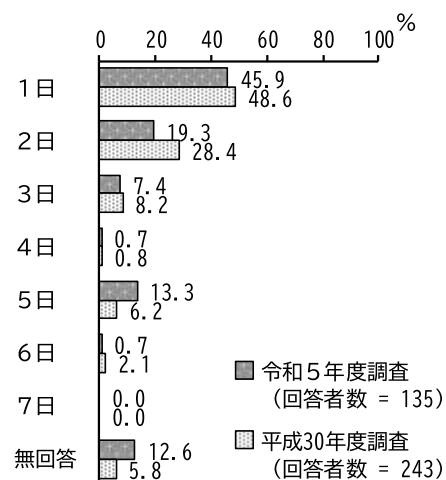
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が 5.8 ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が 6.6 ポイント減少しています。



祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が45.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.3%、「5日」の割合が13.3%となっています。

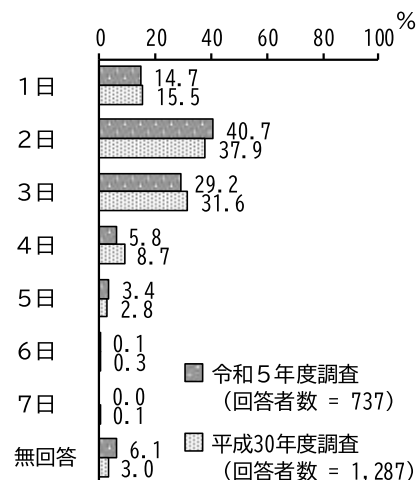
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.1ポイント増加しています。一方、「2日」の割合が9.1ポイント減少しています。



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）の日数

「2日」の割合が40.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が29.2%、「1日」の割合が14.7%となっています。

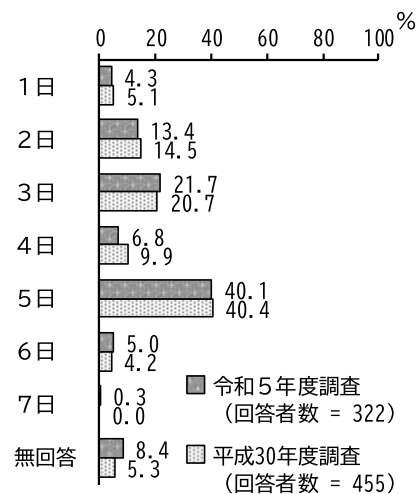
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



放課後児童クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が40.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.7%、「2日」の割合が13.4%となっています。

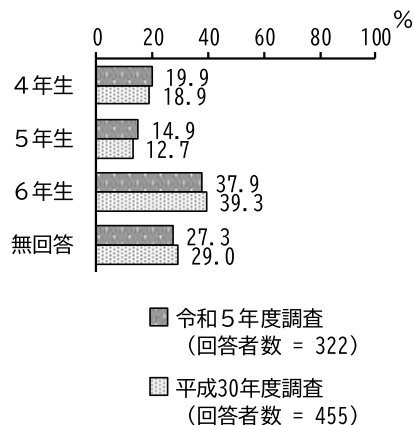
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用したい学年

「6年生」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4年生」の割合が19.9%、「5年生」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

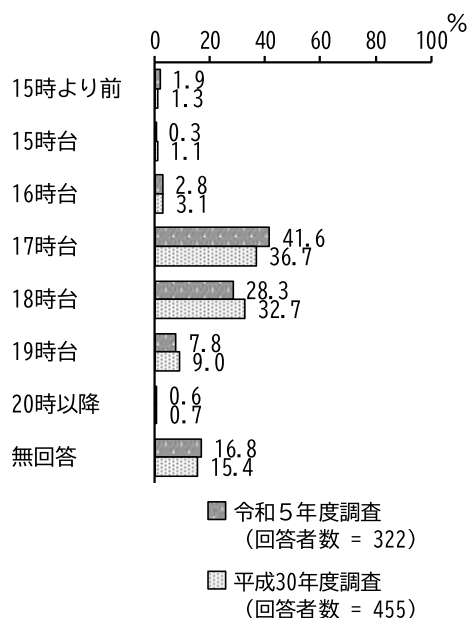


平日

利用希望時間

「17時台」の割合が41.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が28.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

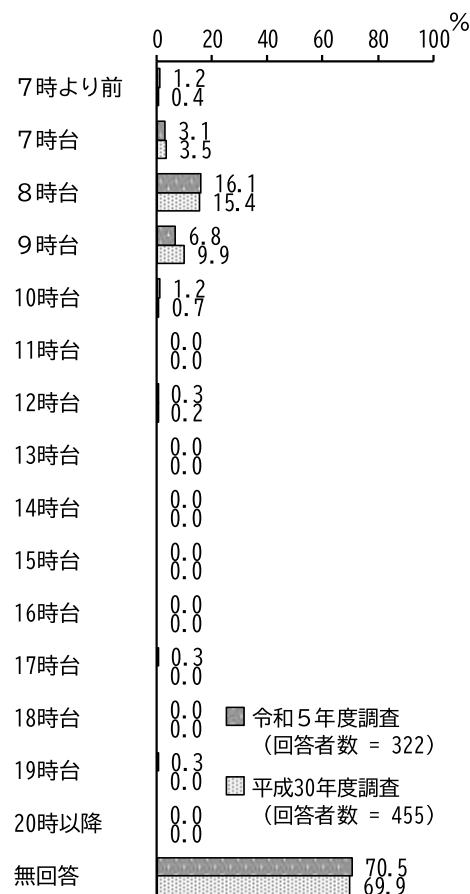


土曜日

希望利用開始時間

「8時台」の割合が16.1%と最も高くなっています。

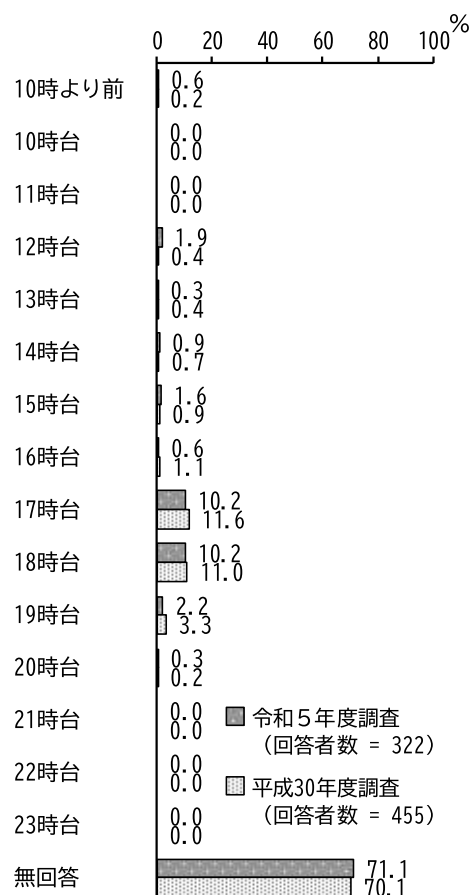
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



希望利用終了時間

「17時台」、「18時台」の割合が10.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

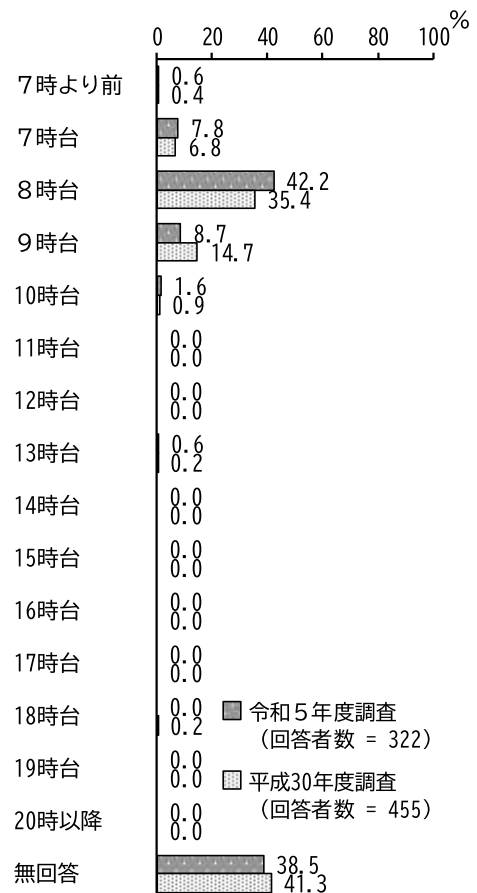


長期休業日

希望利用開始時間

「8時台」の割合が42.2%と最も高くなっています。

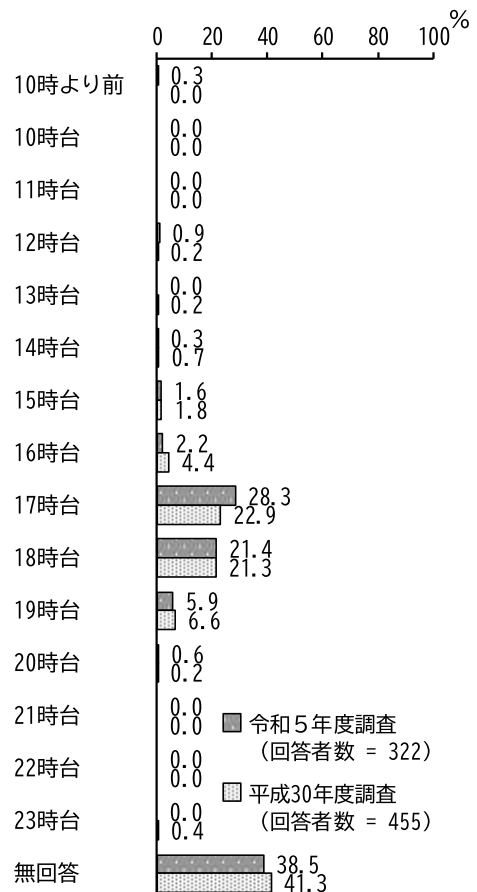
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が6.8ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が6ポイント減少しています。



希望利用終了時間

「17時台」の割合が28.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が21.4%となっています。

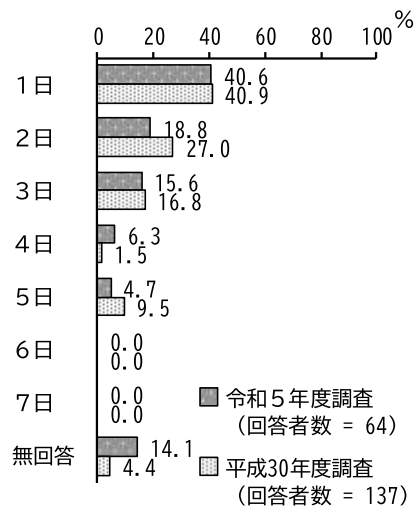
平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が5.4ポイント増加しています。



放課後子ども教室（神戸っ子のびのびひろば）の日数

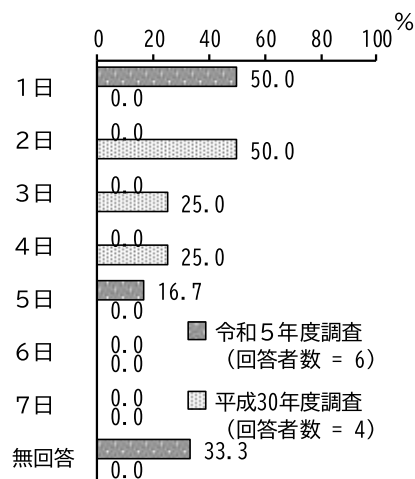
「1日」の割合が40.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.8%、「3日」の割合が15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が8.2ポイント減少しています。



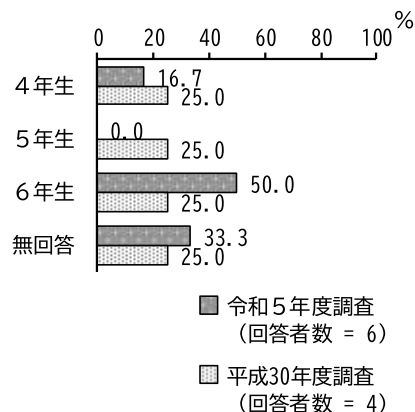
ファミリー・サポート・センターの日数

「1日」が3件となっています。「5日」が1件となっています。



利用したい学年

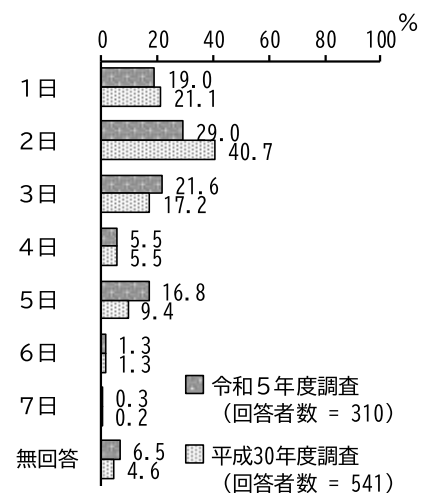
「6年生」が3件となっています。「4年生」が1件となっています。



その他（学校、児童館、公園などただし4、5を除く）の日数

「2日」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が 21.6%、「1日」の割合が 19.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が 7.4 ポイント増加しています。一方、「2日」の割合が 11.7 ポイント減少しています。



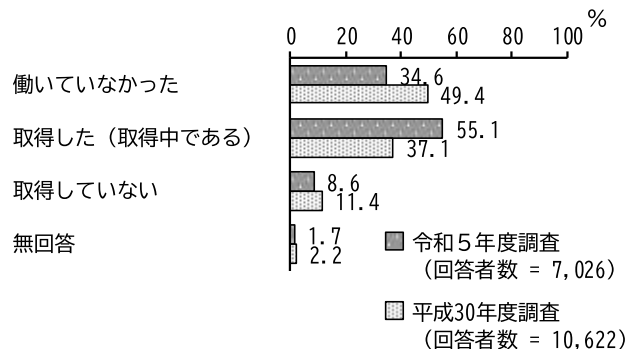
(10) 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

① 母親（○は1つ）（父子家庭の場合は記入不要です）

「取得した（取得中である）」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 34.6%となっています。

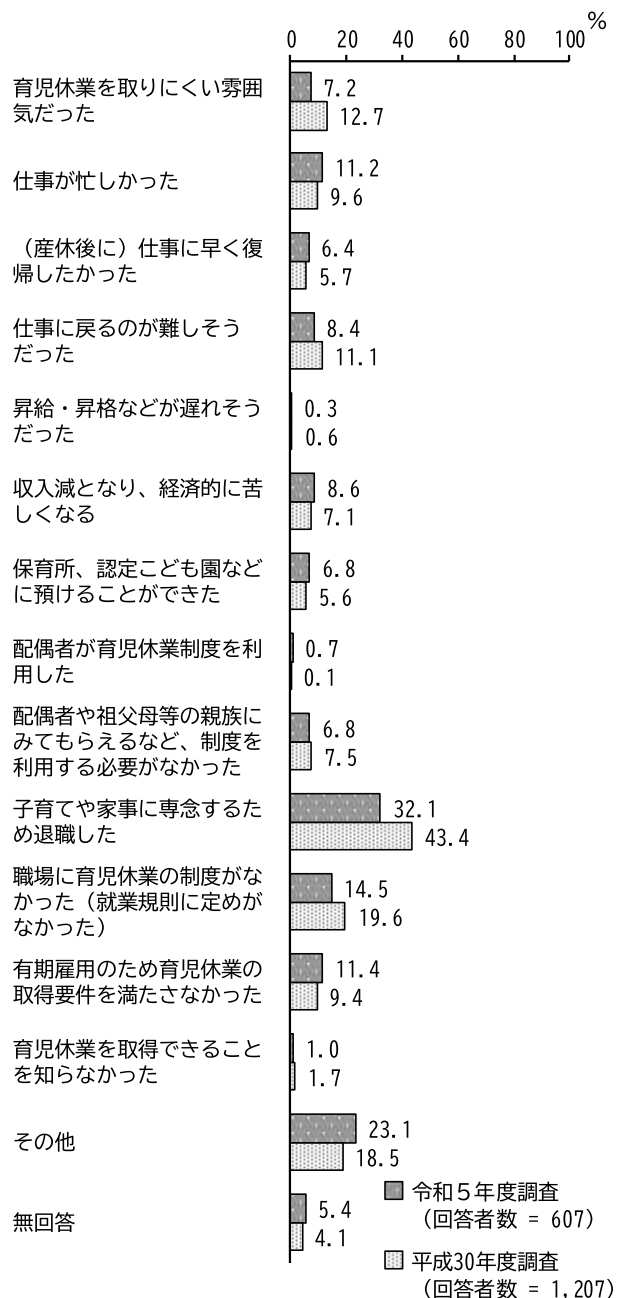
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が 18 ポイント増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が 14.8 ポイント減少しています。



理由に○（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 14.5%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が 11.4%となっています。

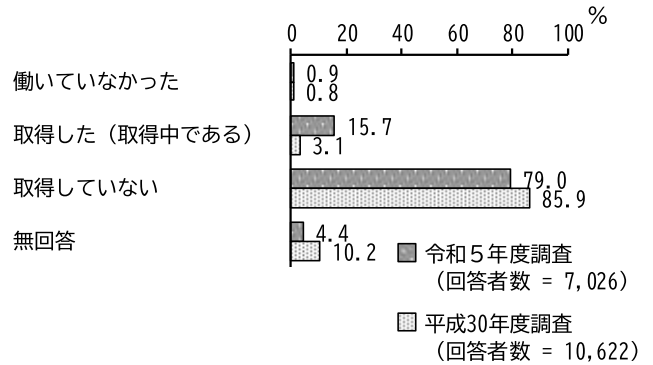
平成 30 年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 11.3 ポイント減少しています。



② 父親（〇は1つ）（母子家庭の場合は記入不要です）

「取得していない」の割合が79.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が15.7%となっています。

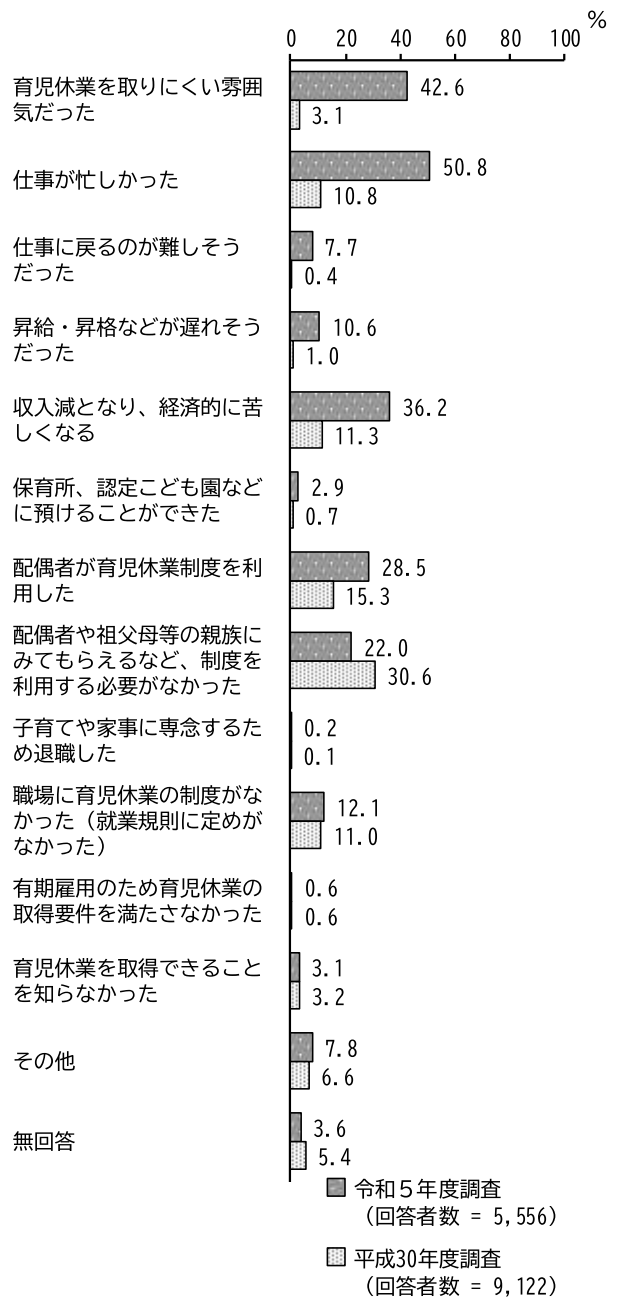
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が12.6ポイント増加しています。



理由に〇（いくつでも）

「仕事が忙しかった」の割合が50.8%と最も高く、次いで「育児休業を取りにくい雰囲気だった」の割合が42.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が36.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が8.5ポイント減少しています。

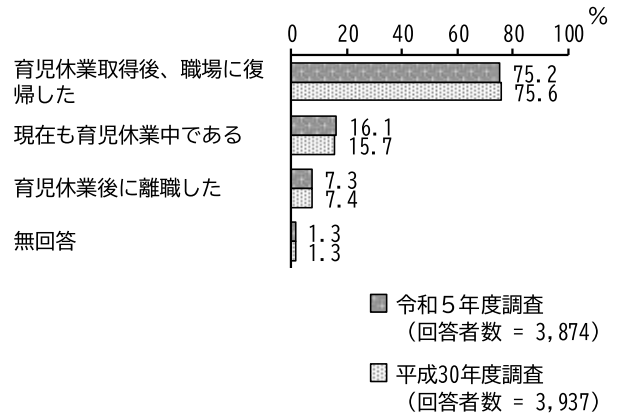


問 29-1 問 29 で①母親または②父親が「2. 取得した（取得中である）」と答えた方
 にかがいます。該当しない方は問 30 へお進みください。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか（○は1つ）。
 ※父母の双方が取得した場合は両方について回答してください。

①母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が
 75.2%と最も高く、次いで「現在も育児休業中であ
 る」の割合が16.1%となっています。

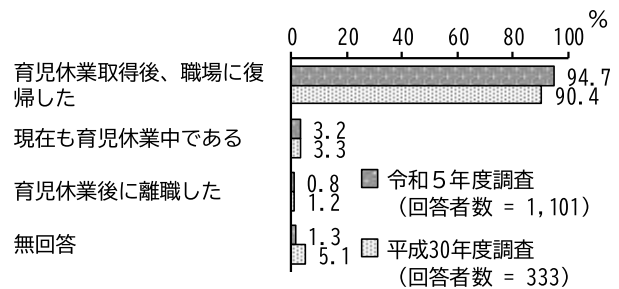
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



②父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が
 94.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。

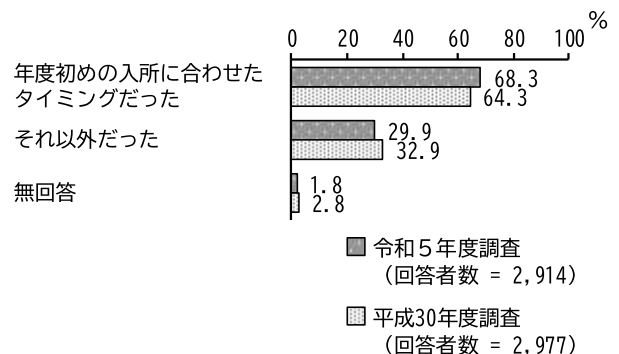


問 29-2 職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでした
 か（○は1つ）。
 ※年度初めでの認可保育所等の入所を希望して、1月～2月頃復帰し、一時的に認
 可外保育施設に入所した場合なども「1.」となります。また、年度初めでの入所を
 希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入れなかったという場合も
 「1.」を選択してください。

①母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだっ
 た」の割合が68.3%、「それ以外だった」の割合
 が29.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



②父親

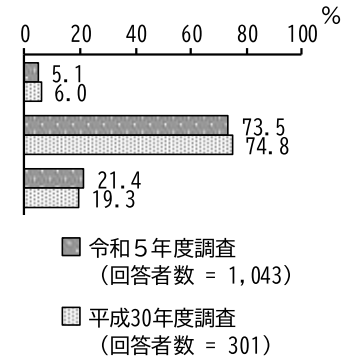
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が5.1%、「それ以外だった」の割合が73.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年度初めの入所に合わせた
タイミングだった

それ以外だった

無回答



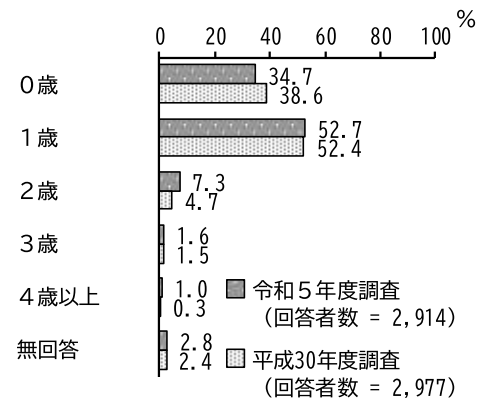
問 29-3 「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、職場の育児休業制度の期間内で「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

①母親

実際の復帰年齢

「1歳」の割合が52.7%と最も高く、次いで「0歳」の割合が34.7%となっています。

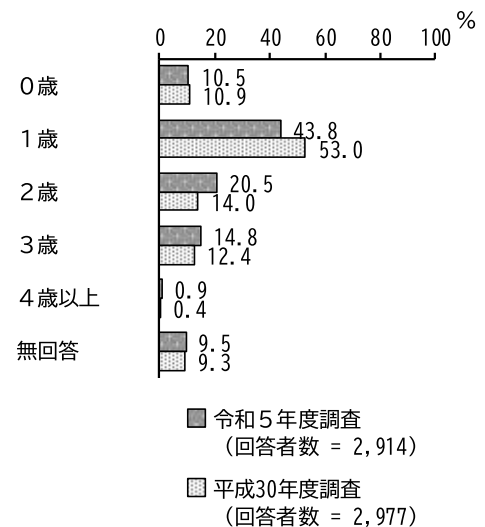
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



希望の復帰年齢

「1歳」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2歳」の割合が20.5%、「3歳」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2歳」の割合が6.5ポイント増加しています。一方、「1歳」の割合が9.2ポイント減少しています。

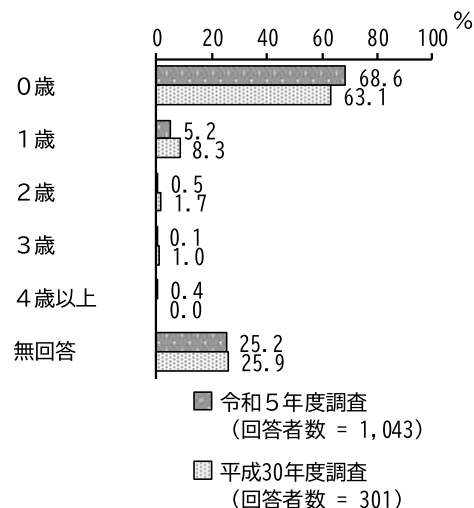


②父親

実際の復帰年齢

「0歳」の割合が68.6%と最も高くなっています。

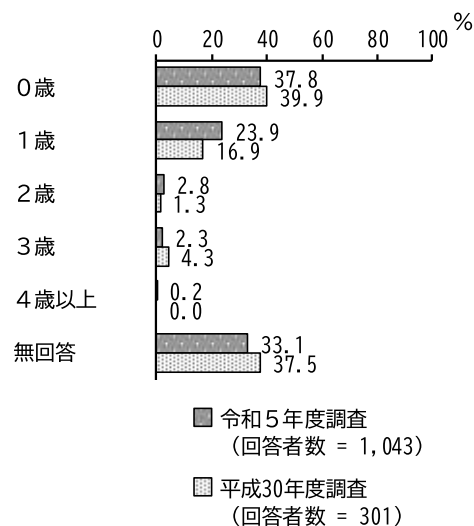
平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が5.5ポイント増加しています。



希望の復帰年齢

「0歳」の割合が37.8%と最も高く、次いで「1歳」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が7ポイント増加しています。

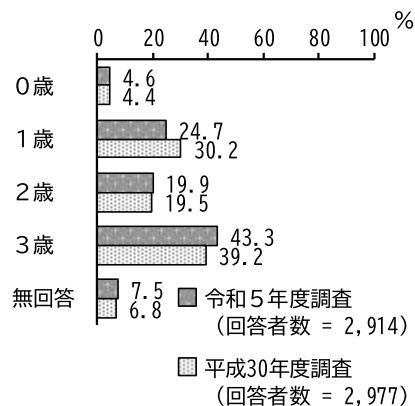


問29-4 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度が職場にあった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

①母親

「3歳」の割合が43.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が24.7%、「2歳」の割合が19.9%となっています。

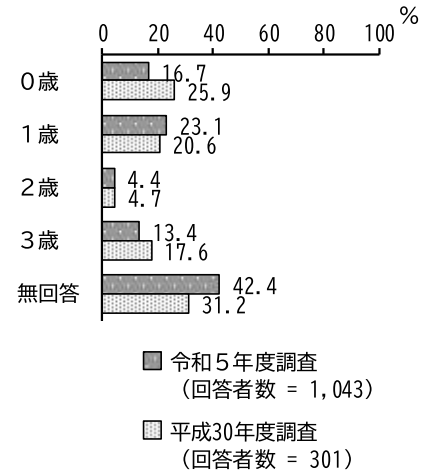
平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が5.5ポイント減少しています。



②父親

「1歳」の割合が23.1%と最も高く、次いで「0歳」の割合が16.7%、「3歳」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が9.2ポイント減少しています。



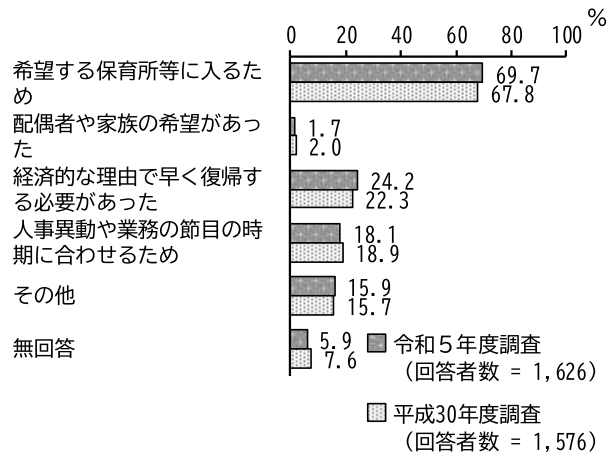
問29-5 問29-3で①母親または②父親の実際の復帰が希望の時期と異なる方にうかがいます。それ以外の方は問29-6へお進みください。
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

(1) 希望より早く復帰した方

①母親

「希望する保育所等に入るため」の割合が69.7%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が24.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が18.1%となっています。

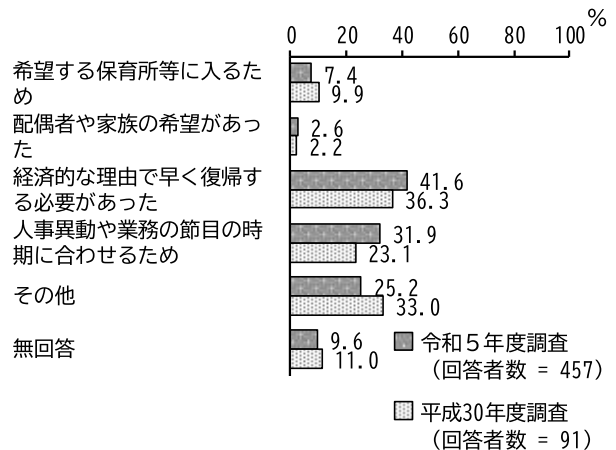
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が41.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が5.3ポイント、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が8.8ポイント増加しています。

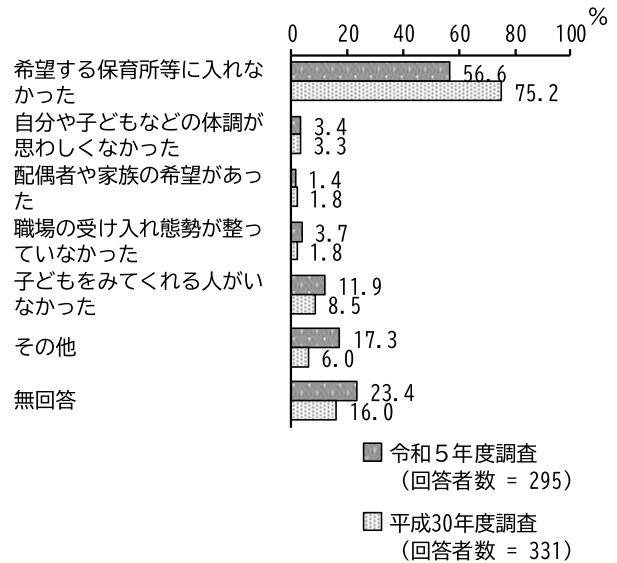


(2) 希望より遅く復帰した方

①母親

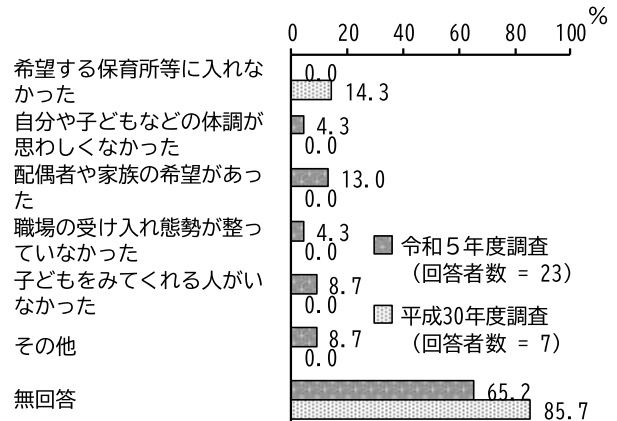
「希望する保育所等に入れなかった」の割合が56.6%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかった」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所等に入れなかった」の割合が18.6ポイント減少しています。



②父親

「配偶者や家族の希望があった」の割合が13.0%と最も高くなっています。

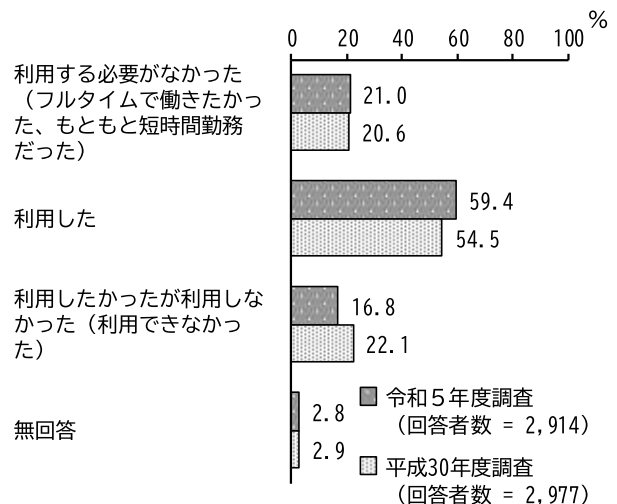


問 29-6 育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか (〇は1つ)。

①母親

「利用した」の割合が59.4%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が21.0%、「利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」の割合が16.8%となっています。

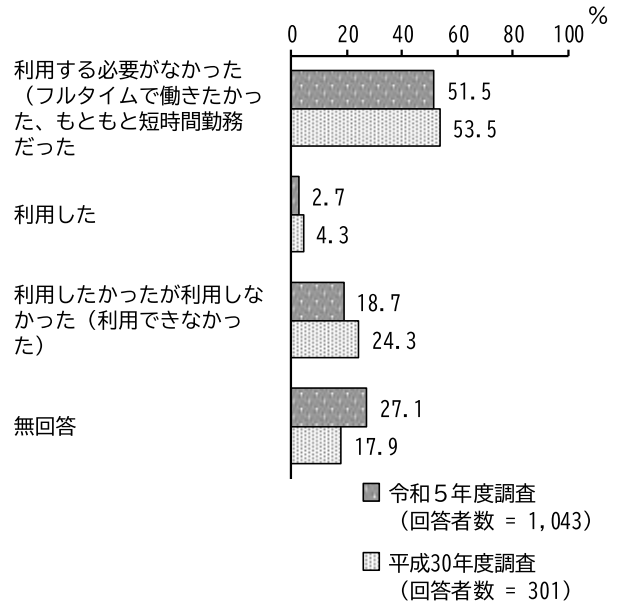
平成30年度調査と比較すると、「利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」の割合が5.3ポイント減少しています。



②父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が51.5%と最も高く、次いで「利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」の割合が5.6ポイント減少しています。



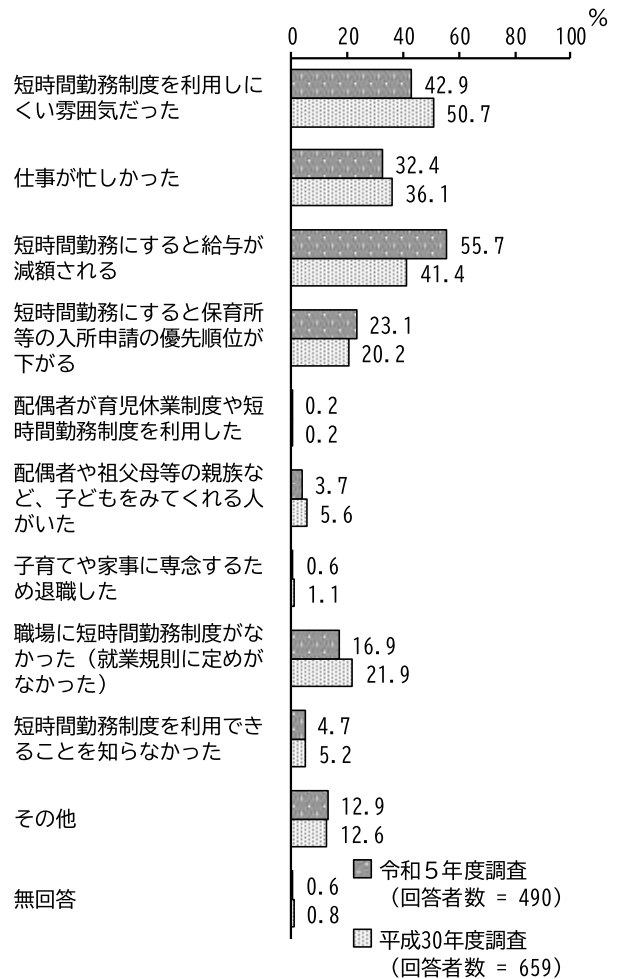
問29-7 問29-6で①母親または②父親が「3. 利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

①母親

「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が55.7%と最も高く、次いで「短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気だった」の割合が42.9%、「仕事が忙しかった」の割合が32.4%となっています。

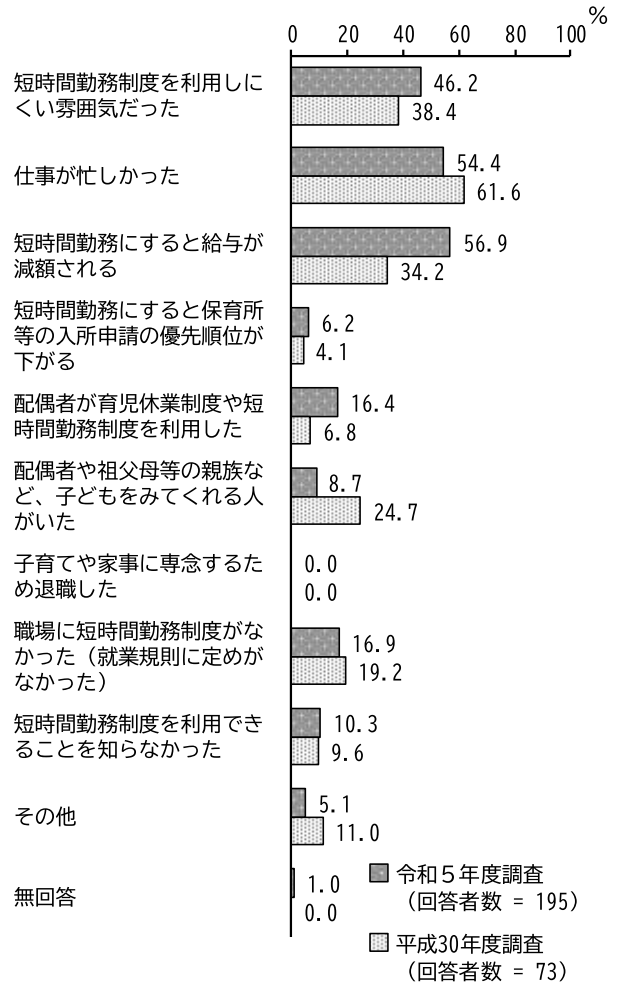
平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が14.3ポイント増加しています。一方、「短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気だった」の割合が7.8ポイント減少しています。



②父親

「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 54.4%、「短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気だった」の割合が 46.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気だった」の割合が 7.8 ポイント、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 22.7 ポイント、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の割合が 9.6 ポイント増加しています。一方、「仕事が忙しかった」の割合が 7.2 ポイント、「配偶者や祖父母等の親族など、子どもをみてくれる人がいた」の割合が 16 ポイント減少しています。



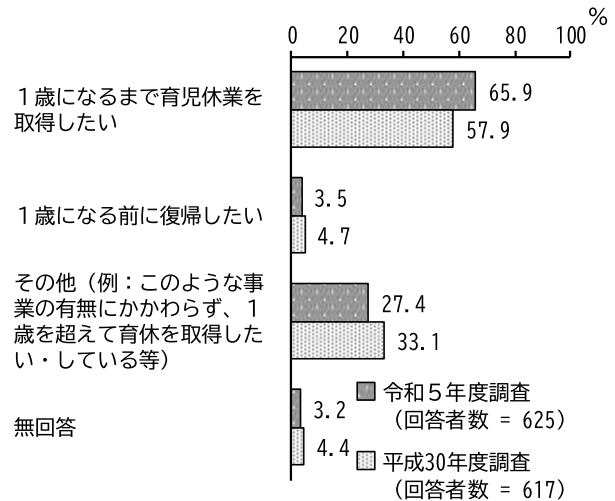
問 29-8 問 29-1 で①母親または②父親が「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか（○は1つ）。

①母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が65.9%と最も高く、次いで「その他（例：このような事業の有無にかかわらず、1歳を超えて育休を取得したい・している等）」の割合が27.4%となっています。

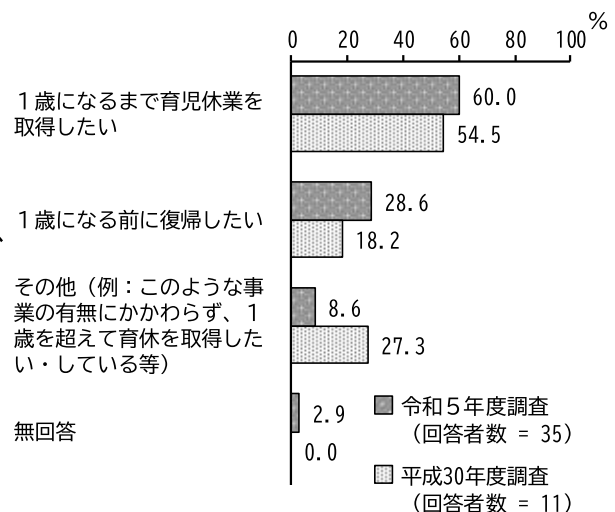
平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が8ポイント増加しています。一方、「その他（例：このような事業の有無にかかわらず、1歳を超えて育休を取得したい・している等）」の割合が5.7ポイント減少しています。



②父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が60.0%と最も高く、次いで「1歳になる前に復帰したい」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が5.5ポイント、「1歳になる前に復帰したい」の割合が10.4ポイント増加しています。一方、「その他（例：このような事業の有無にかかわらず、1歳を超えて育休を取得したい・している等）」の割合が18.7ポイント減少しています。



2 小学生低学年保護者・小学生高学年保護者

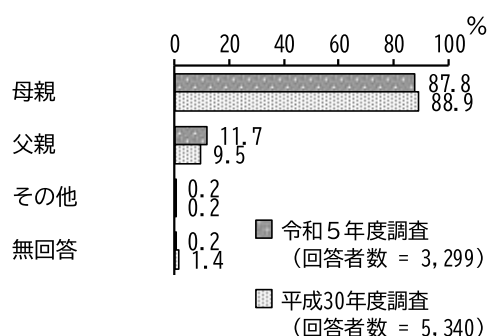
(1) 回答者の世帯の状況について

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください（○は1つ）。

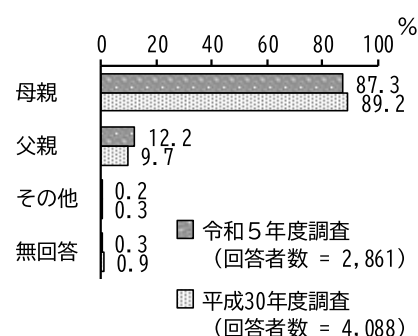
小学生低学年保護者では、「母親」の割合が87.8%、「父親」の割合が11.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「母親」の割合が87.3%、「父親」の割合が12.2%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問2 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください（○は1つ）。

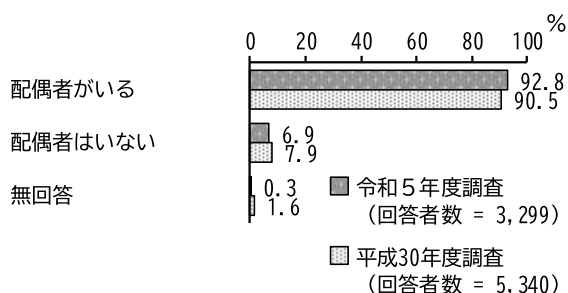
小学生低学年保護者では、「配偶者がいる」の割合が92.8%、「配偶者はいない」の割合が6.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

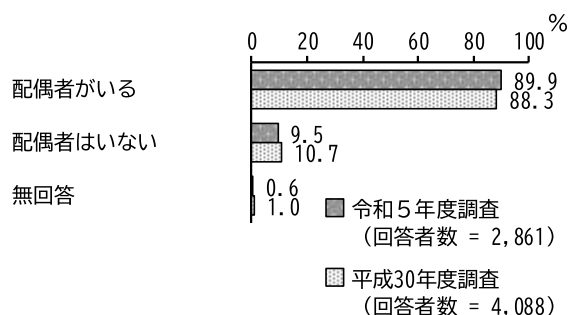
小学生高学年保護者では、「配偶者がいる」の割合が89.9%、「配偶者はいない」の割合が9.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問4 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（ ）内に数字でご記入ください。

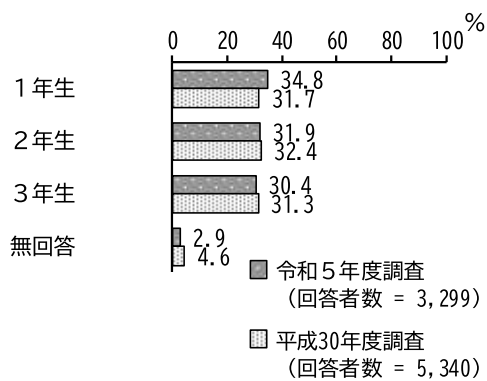
小学生低学年保護者では、「1年生」の割合が34.8%と最も高く、次いで「2年生」の割合が31.9%、「3年生」の割合が30.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

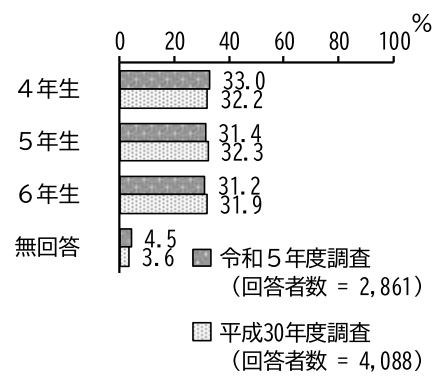
小学生高学年保護者では、「4年生」の割合が33.0%と最も高く、次いで「5年生」の割合が31.4%、「6年生」の割合が31.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問5 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。人数を（ ）内に数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、1番下のお子さんの生年月をご記入ください。

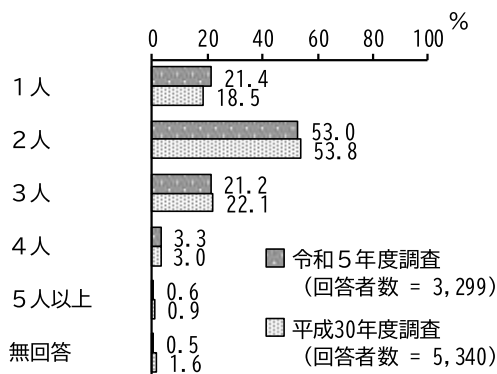
小学生低学年保護者では、「2人」の割合が53.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が21.4%、「3人」の割合が21.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

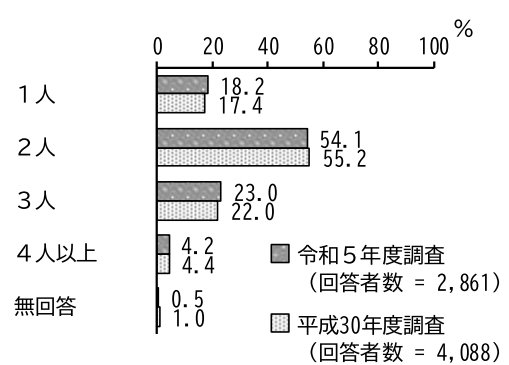
小学生高学年保護者では、「2人」の割合が54.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.0%、「1人」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



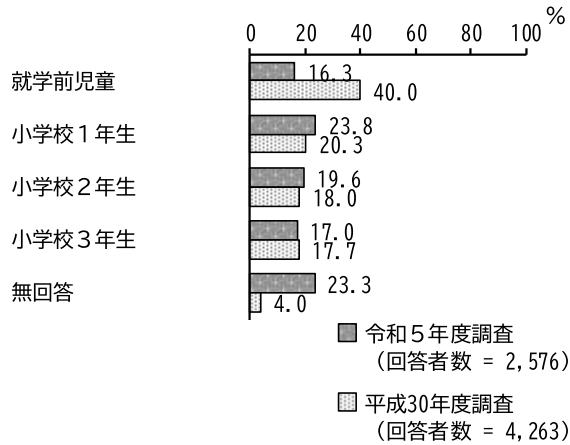
一番下のお子さんの年齢

小学生低学年保護者では、「小学校1年生」の割合が23.8%と最も高く、次いで「小学校2年生」の割合が19.6%、「小学校3年生」の割合が17.0%となっています。

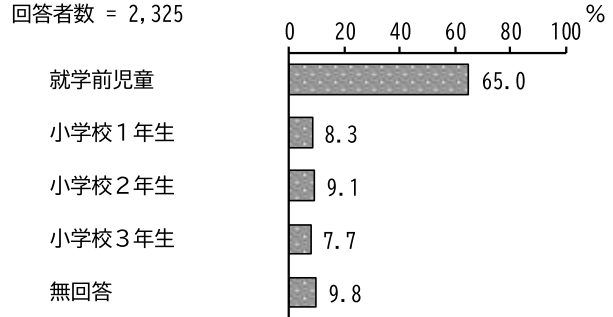
平成30年度調査と比較すると、「就学前児童」の割合が23.7ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「就学前児童」の割合が65.0%と最も高くなっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください (○は1つ)。

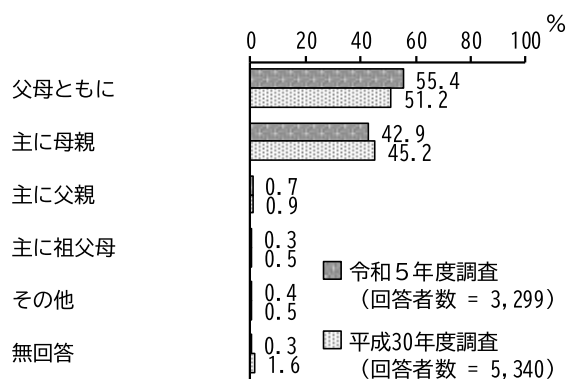
小学生低学年保護者では、「父母ともに」の割合が55.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

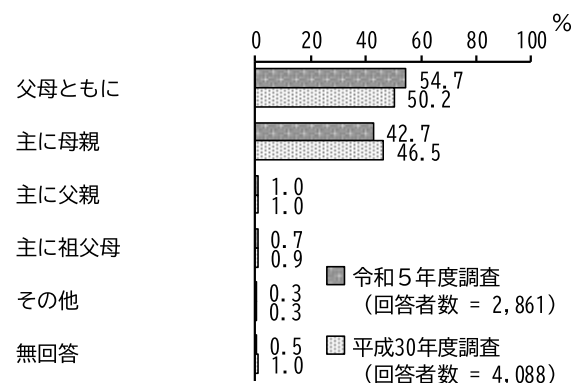
小学生高学年保護者では、「父母ともに」の割合が54.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



(2) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問7-1 宛名のお子さんの保護者について、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親の就労状況について、お答えください（○は1つ）。

小学生低学年保護者では、「パート・アルバイト等で就労中」の割合が39.1%と最も高く、次いで「フルタイムで就労中」の割合が36.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が18.2%となっています。

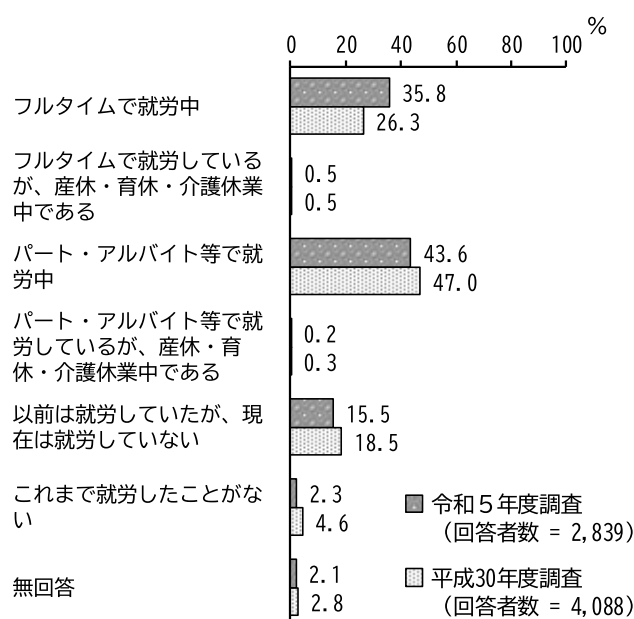
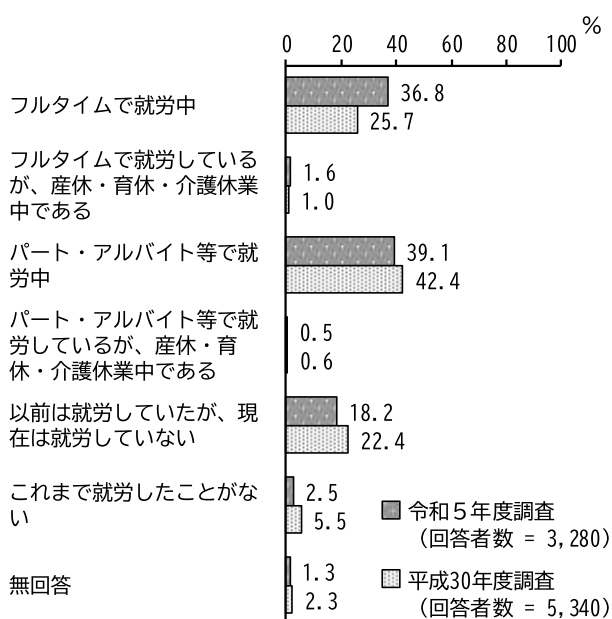
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が11.1ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「パート・アルバイト等で就労中」の割合が43.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労中」の割合が35.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」の割合が9.5ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



問7-2 問7-1で「1.」～「4.」(就労している)と答えた方にかがいます。

① 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

1週あたりの就労日数

小学生低学年保護者では、「5日」の割合が57.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が17.6%、「3日」の割合が14.0%となっています。

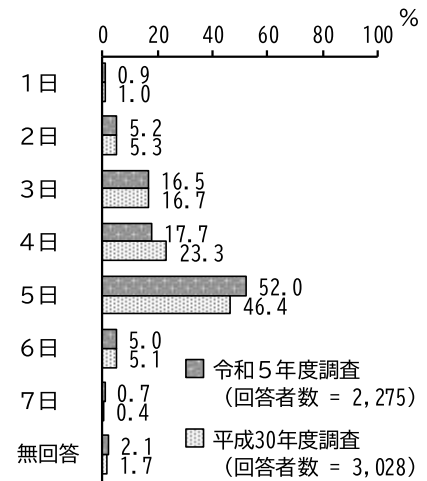
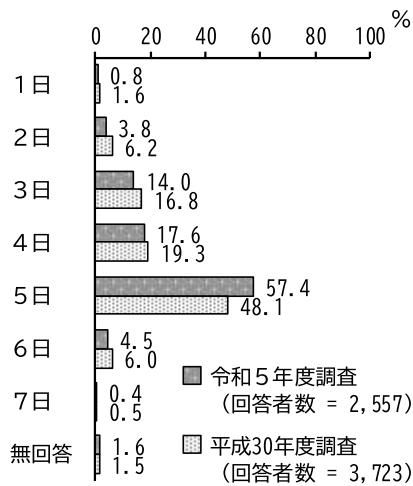
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が9.3ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「5日」の割合が52.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が17.7%、「3日」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が5.6ポイント増加しています。一方、「4日」の割合が5.6ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



1日あたりの就労時間

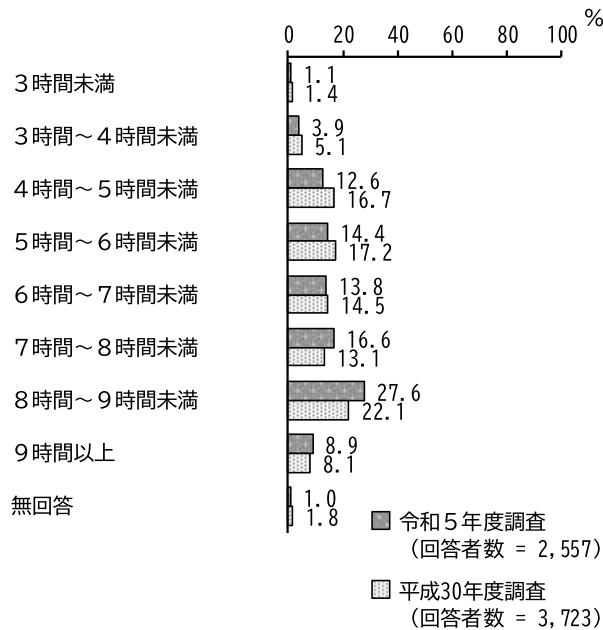
小学生低学年保護者では、「8時間～9時間未満」の割合が27.6%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が16.6%、「5時間～6時間未満」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が5.5ポイント増加しています。

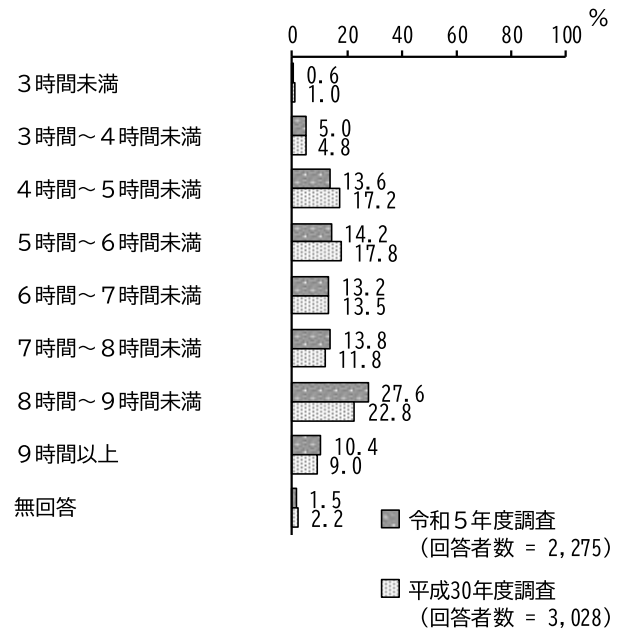
小学生高学年保護者では、「8時間～9時間未満」の割合が27.6%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が14.2%、「7時間～8時間未満」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



②家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

家を出る時間

小学生低学年保護者では、「8時台」の割合が50.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が26.8%、「9時台」の割合が13.6%となっています。

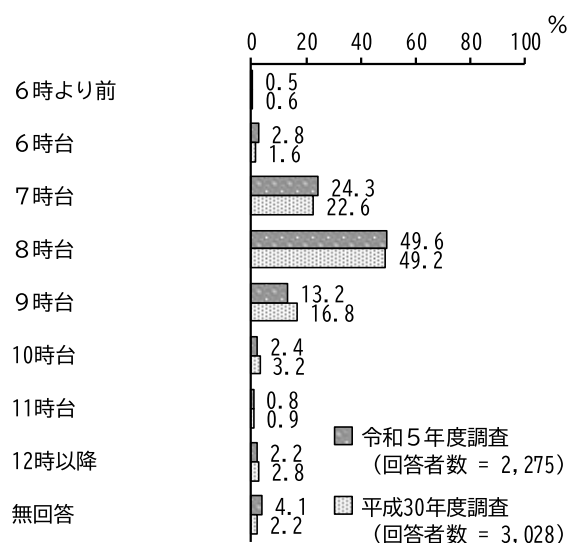
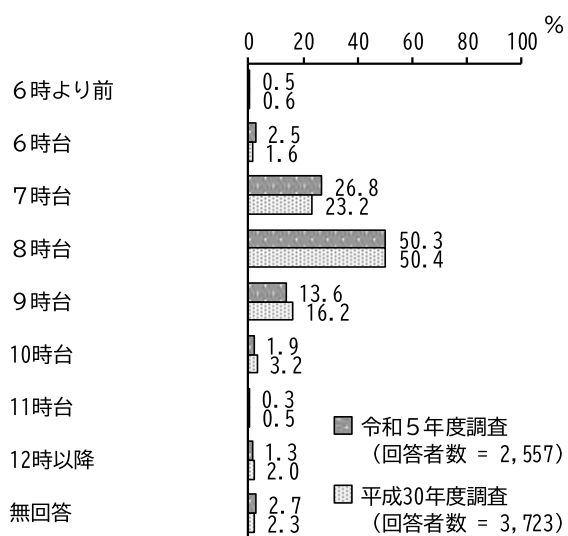
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「8時台」の割合が49.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が24.3%、「9時台」の割合が13.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



帰宅時間

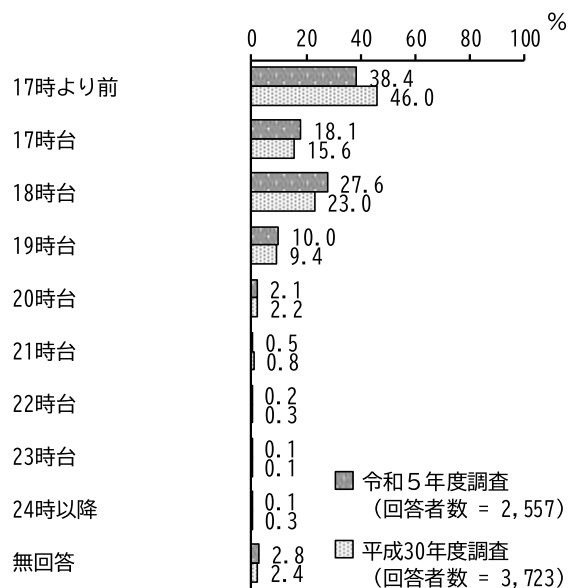
小学生低学年保護者では、「17時より前」の割合が38.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.6%、「17時台」の割合が18.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時より前」の割合が7.6ポイント減少しています。

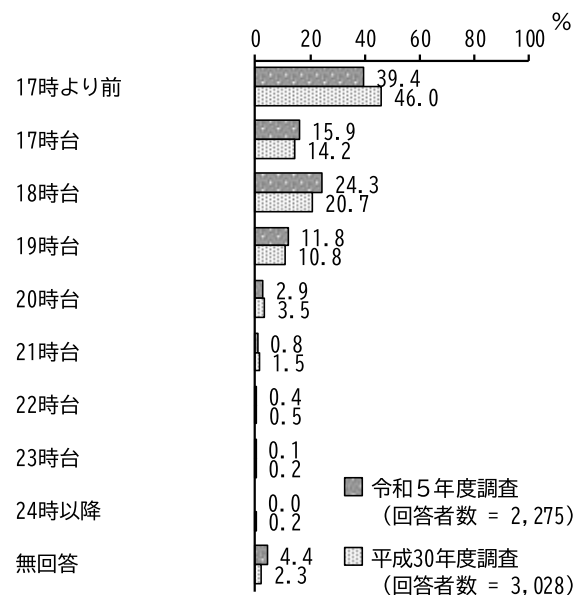
小学生高学年保護者では、「17時より前」の割合が39.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.3%、「17時台」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時より前」の割合が6.6ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

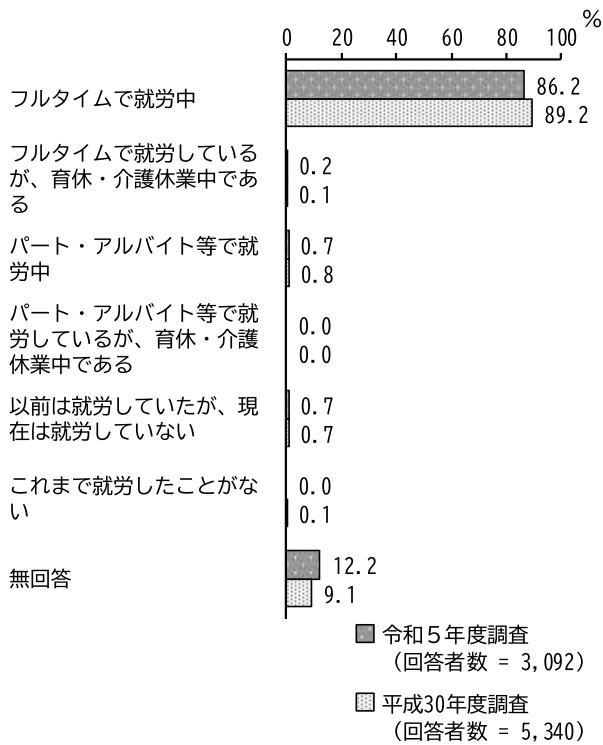


問7-3 父親の就労状況について、お答えください（○は1つ）。

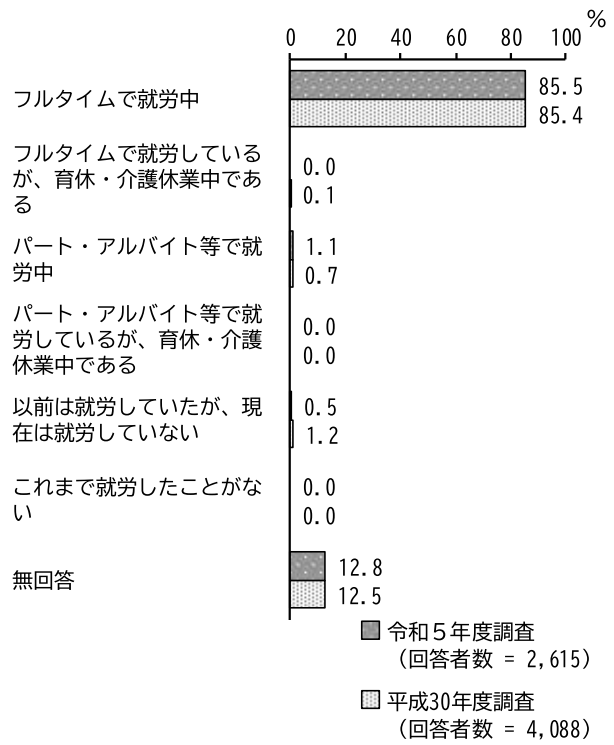
小学生低学年保護者では、「フルタイムで就労中」の割合が86.2%と最も高くなっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「フルタイムで就労中」の割合が85.5%と最も高くなっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問7-4 問7-3で「1.」～「4.」(就労している)と答えた方にかがいます。

① 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

1週あたりの就労日数

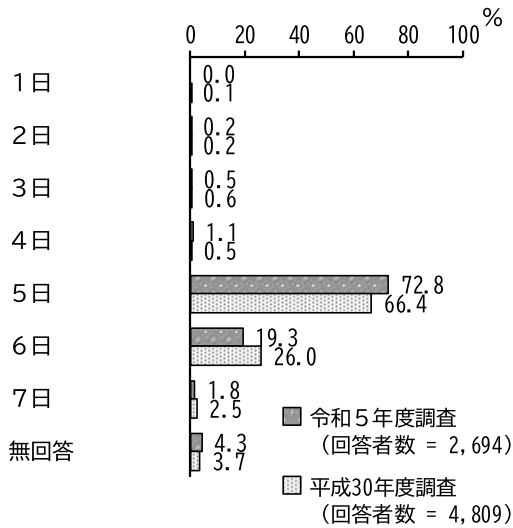
小学生低学年保護者では、「5日」の割合が72.8%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.4ポイント増加しています。一方、「6日」の割合が6.7ポイント減少しています。

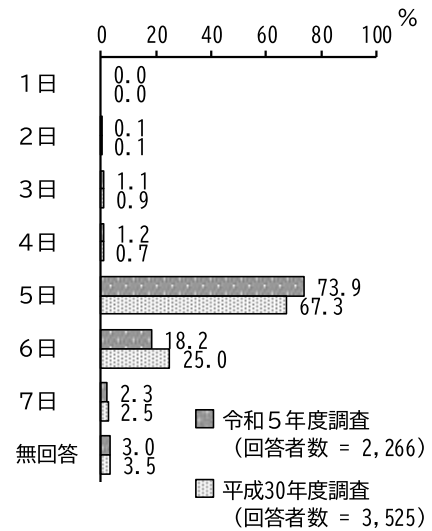
小学生高学年保護者では、「5日」の割合が73.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.6ポイント増加しています。一方、「6日」の割合が6.8ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



1日あたりの就労時間

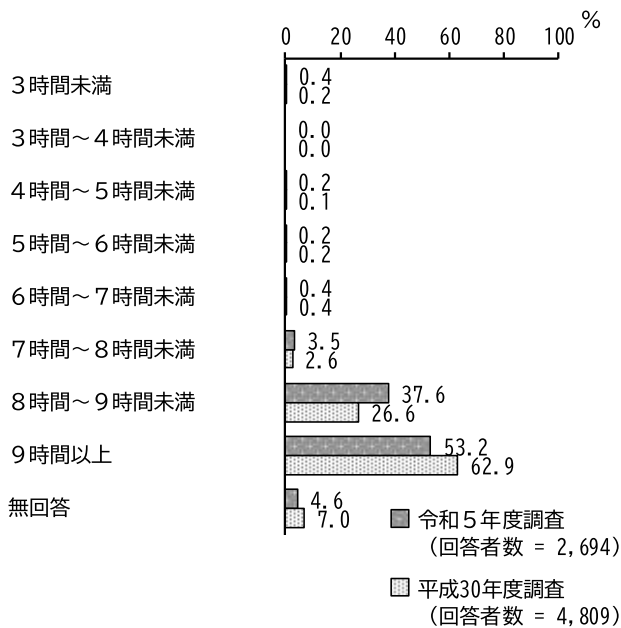
小学生低学年保護者では、「9時間以上」の割合が53.2%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が37.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が11ポイント増加しています。一方、「9時間以上」の割合が9.7ポイント減少しています。

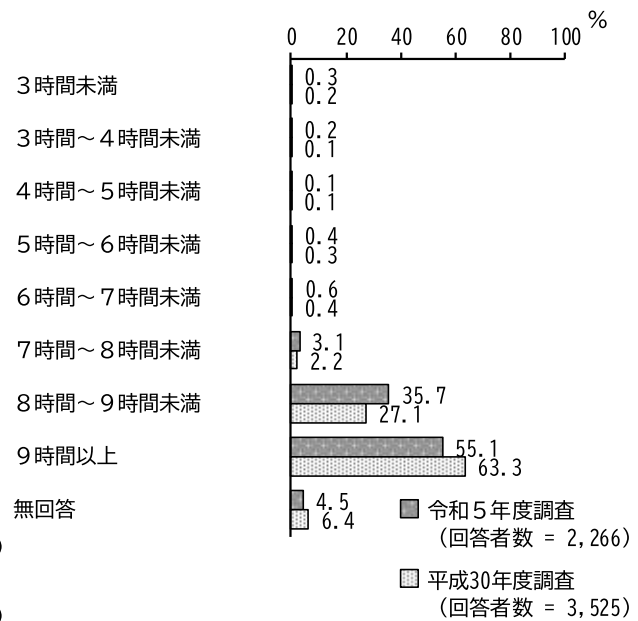
小学生高学年保護者では、「9時間以上」の割合が55.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が35.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が8.6ポイント増加しています。一方、「9時間以上」の割合が8.2ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



②家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

家を出る時間

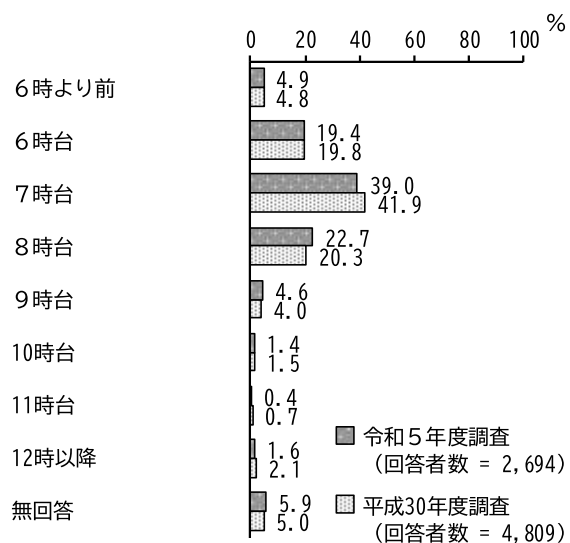
小学生低学年保護者では、「7時台」の割合が39.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.7%、「6時台」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

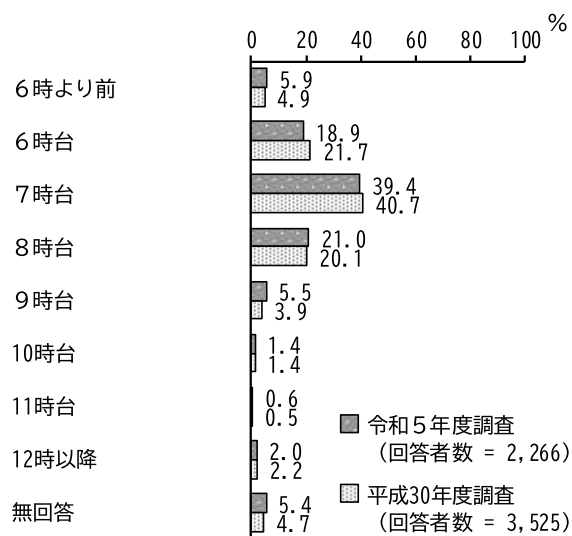
小学生高学年保護者では、「7時台」の割合が39.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.0%、「6時台」の割合が18.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



帰宅時間

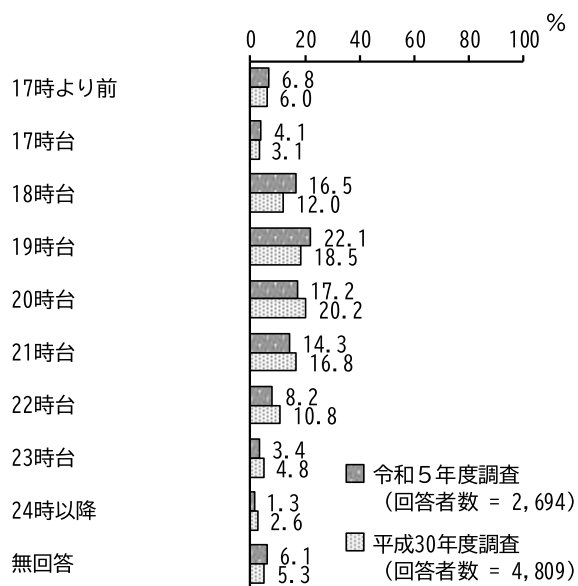
小学生低学年保護者では、「19 時台」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 17.2%、「18 時台」の割合が 16.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

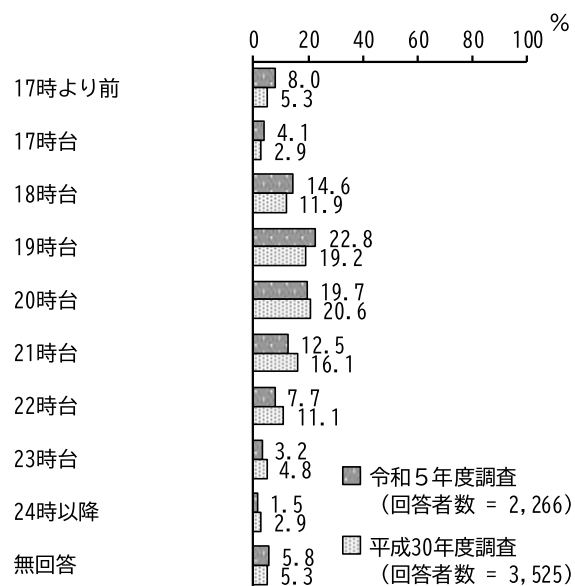
小学生高学年保護者では、「19 時台」の割合が 22.8%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 19.7%、「18 時台」の割合が 14.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問8 問7-1または問7-3で父母のどちらかが「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか（〇は1つ）。

① 母親

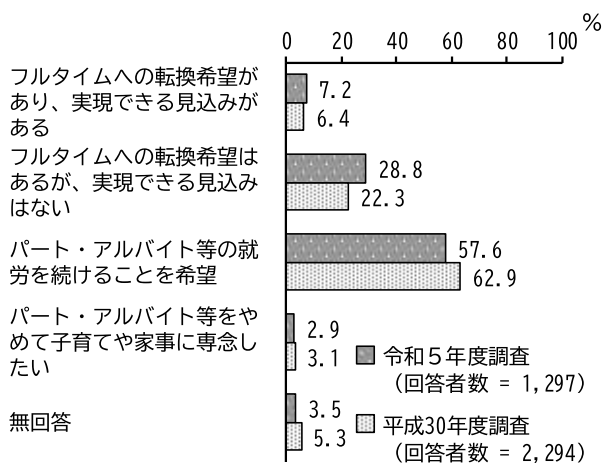
小学生低学年保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が57.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が6.5ポイント増加しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が5.3ポイント減少しています。

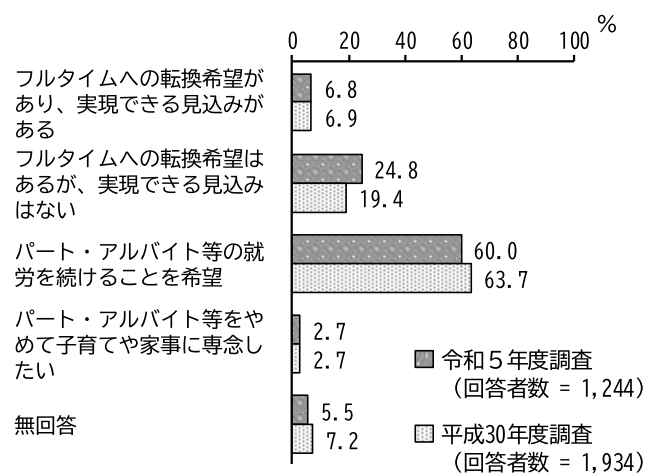
小学生高学年保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が60.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が5.4ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



② 父親

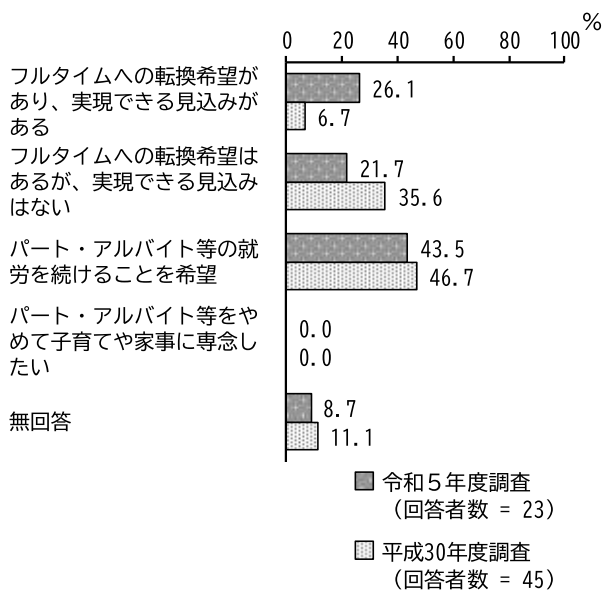
小学生低学年保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が43.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が26.1%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が19.4ポイント増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が13.9ポイント減少しています。

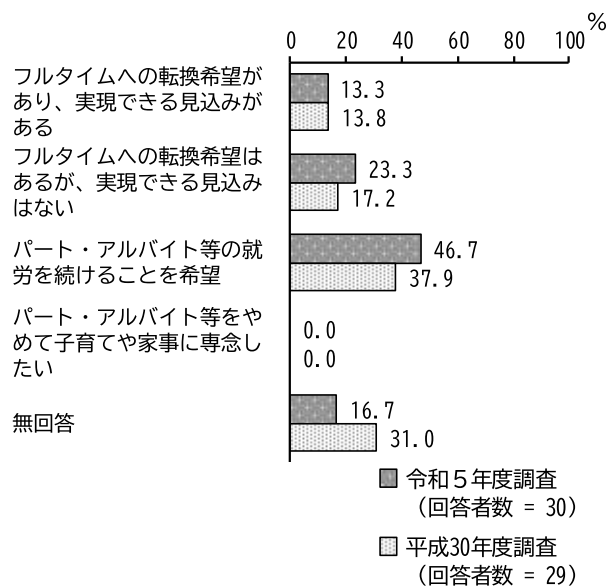
小学生高学年保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が46.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が6.1ポイント、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が8.8ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問9 問7-1または問7-3で父母のどちらかが「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」と答えた方にうかがいます。

就労の希望はありますか。ある場合は、希望する就労形態もお答えください
(○はそれぞれ1つ)。

また、「2.一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」と答えた方は、一番下のお子さんが何歳になった頃に就労を希望されますか。

① 母親

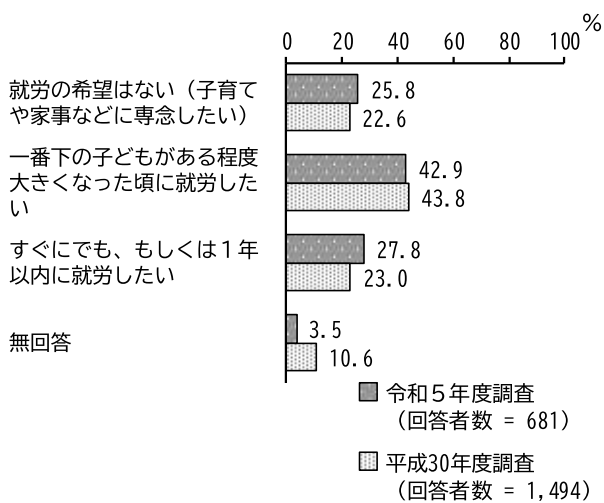
小学生低学年保護者では、「一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.8%、「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したい)」の割合が25.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

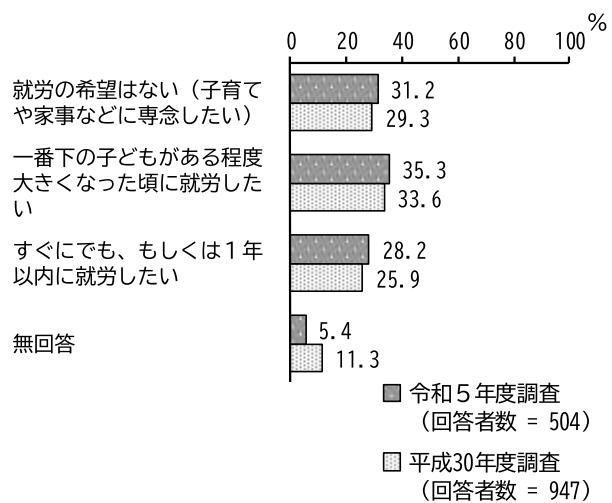
小学生高学年保護者では、「一番下の子どもがある程度大きくなった頃に就労したい」の割合が35.3%と最も高く、次いで「就労の希望はない(子育てや家事などに専念したい)」の割合が31.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が28.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



就労希望時の末子の年齢

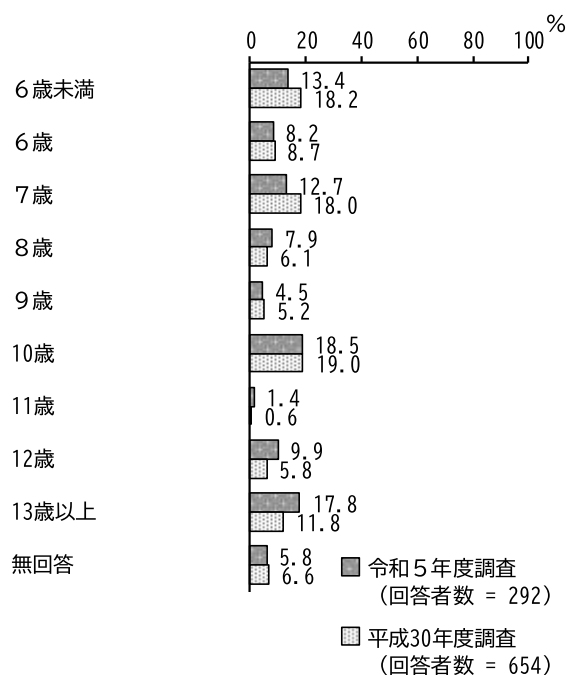
小学生低学年保護者では、「10歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「13歳以上」の割合が17.8%、「6歳未満」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「13歳以上」の割合が6ポイント増加しています。一方、「7歳」の割合が5.3ポイント減少しています。

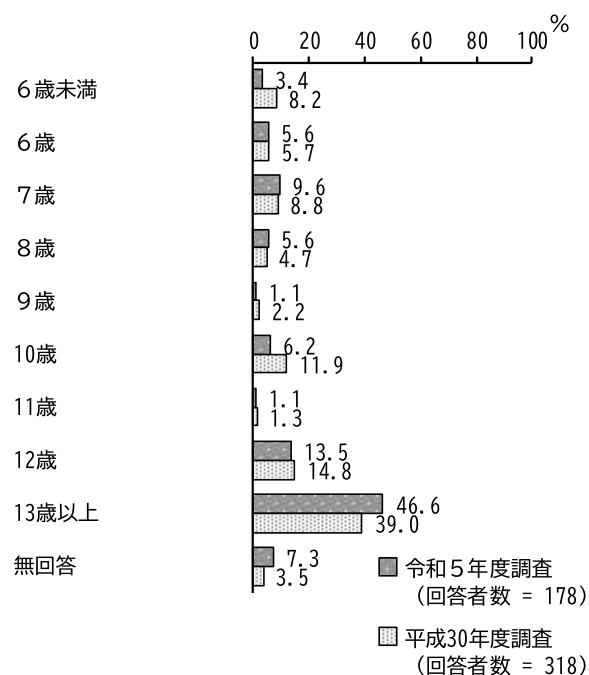
小学生高学年保護者では、「13歳以上」の割合が46.6%と最も高く、次いで「12歳」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「13歳以上」の割合が7.6ポイント増加しています。一方、「10歳」の割合が5.7ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



希望する就労形態

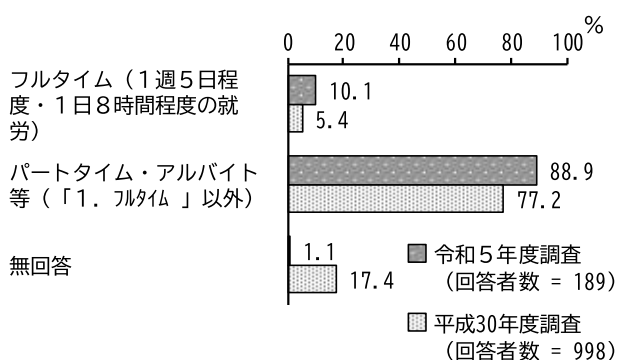
小学生低学年保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が10.1%、「パートタイム・アルバイト等（「1. フルタイム」以外）」の割合が88.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム・アルバイト等（「1. フルタイム」以外）」の割合が11.7ポイント増加しています。

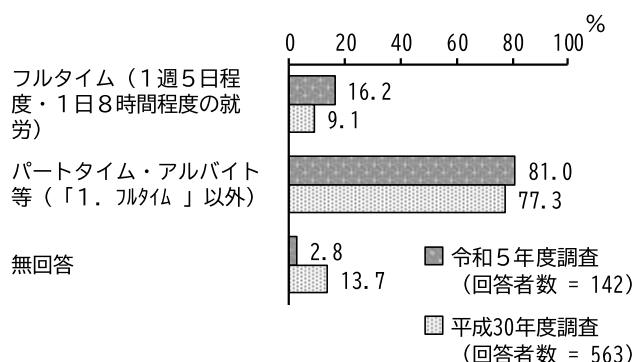
小学生高学年保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が16.2%、「パートタイム・アルバイト等（「1. フルタイム」以外）」の割合が81.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が7.1ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

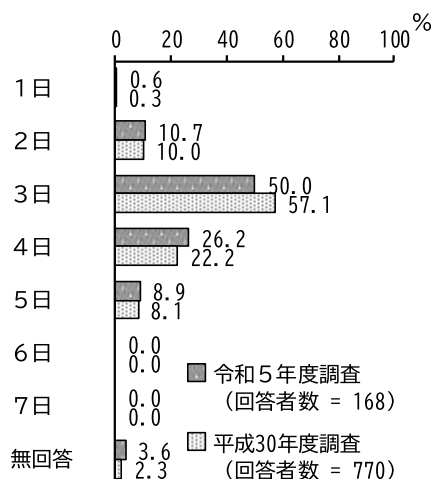
小学生低学年保護者では、「3日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が26.2%、「2日」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が7.1ポイント減少しています。

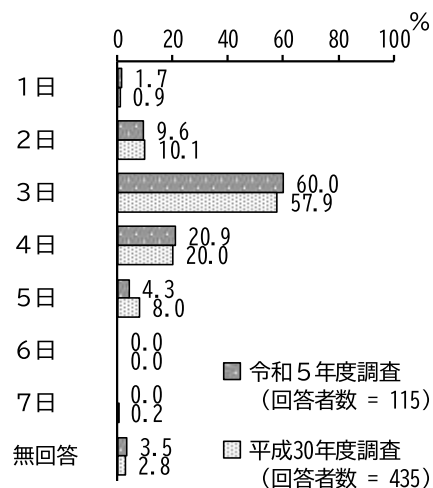
小学生高学年保護者では、「3日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

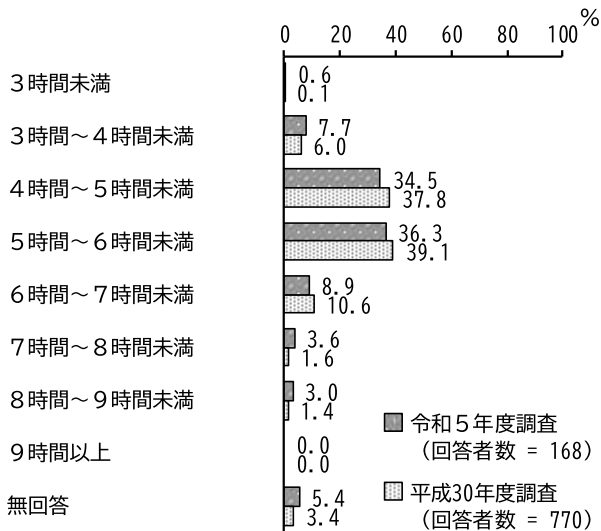
小学生低学年保護者では、「5時間～6時間未満」の割合が36.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が34.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

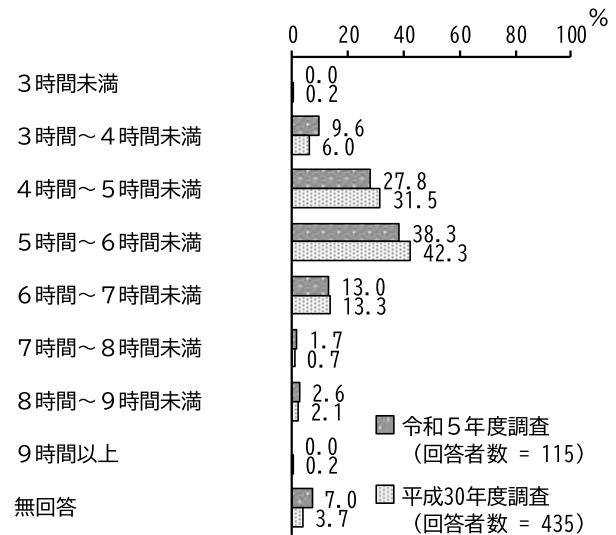
小学生高学年保護者では、「5時間～6時間未満」の割合が38.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が27.8%、「6時間～7時間未満」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



②父親

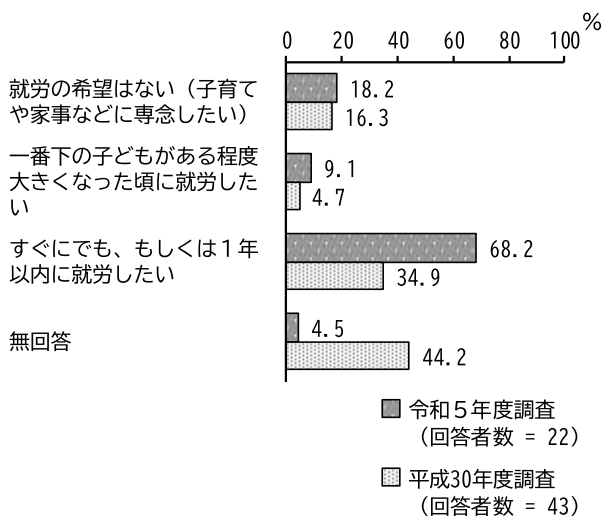
小学生低学年保護者では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が68.2%と最も高く、次いで「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が33.3ポイント増加しています。

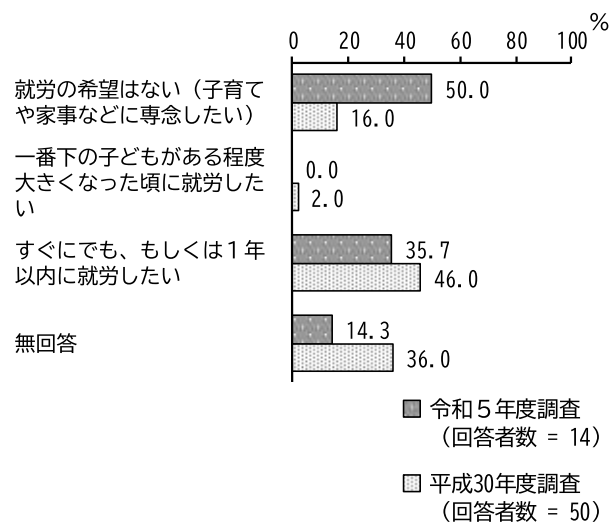
小学生高学年保護者では、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が50.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が35.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」の割合が34ポイント増加しています。一方、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が10.3ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

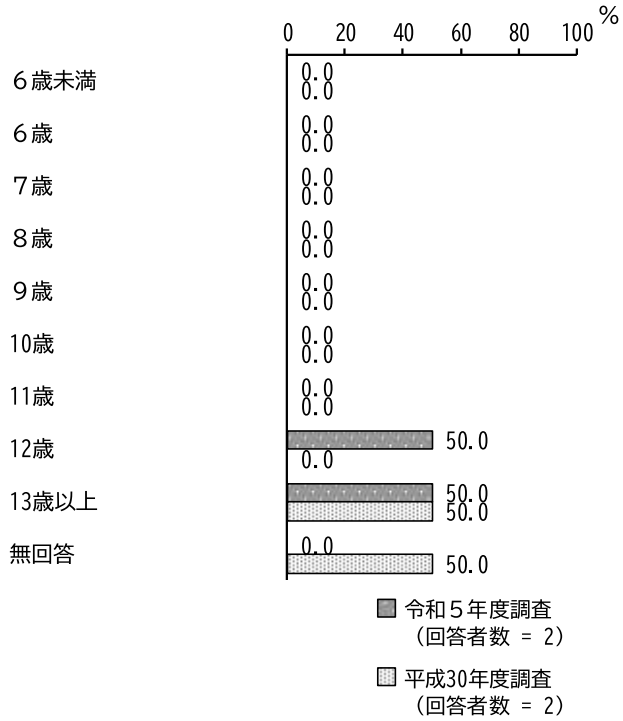


就労希望時の末子の年齢

小学生低学年保護者では、「12歳」、「13歳以上」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、有効回答がありませんでした。

【小学生低学年保護者】



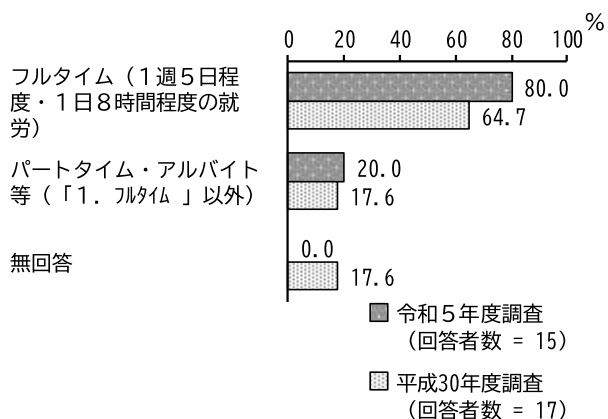
希望する就労形態

小学生低学年保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が80.0%、「パートタイム・アルバイト等（「1. フルタイム」以外）」の割合が20.0%となっています。

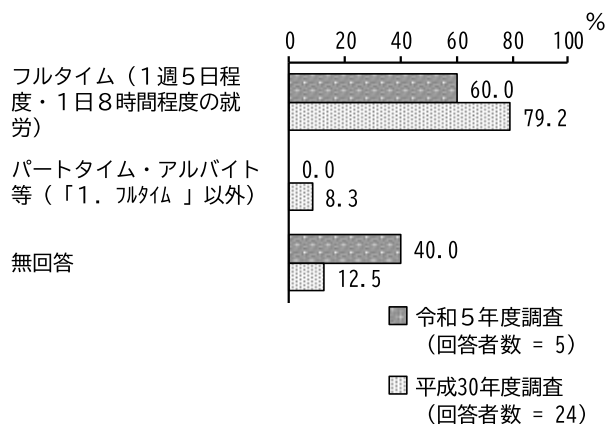
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が15.3ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

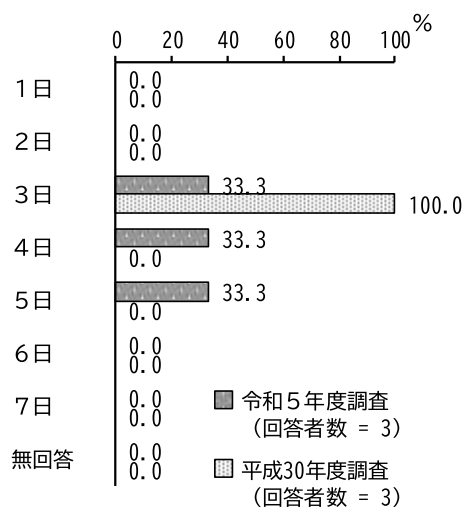


1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

小学生低学年保護者では、「3日」、「4日」、「5日」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、有効回答がありませんでした。

【小学生低学年保護者】

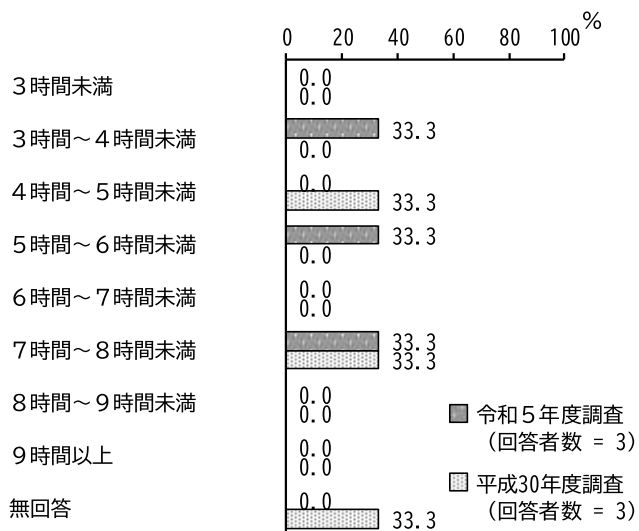


1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

小学生低学年保護者では、「3時間～4時間未満」、「5時間～6時間未満」、「7時間～8時間未満」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、有効回答がありませんでした。

【小学生低学年保護者】



(3) 宛名のお子さんのふだんの子育ての状況について

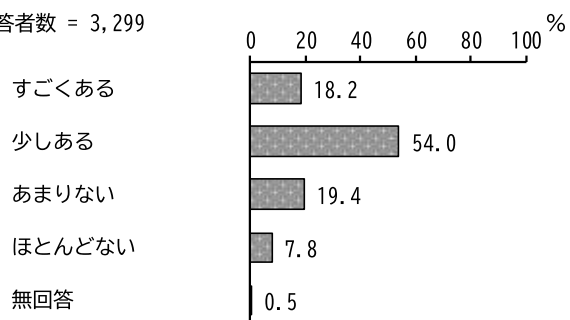
問10 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどがありますか（○は1つ）。

小学生低学年保護者では、「少しある」の割合が54.0%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が19.4%、「すごくある」の割合が18.2%となっています。

小学生高学年保護者では、「少しある」の割合が52.8%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が21.1%、「すごくある」の割合が16.8%となっています。

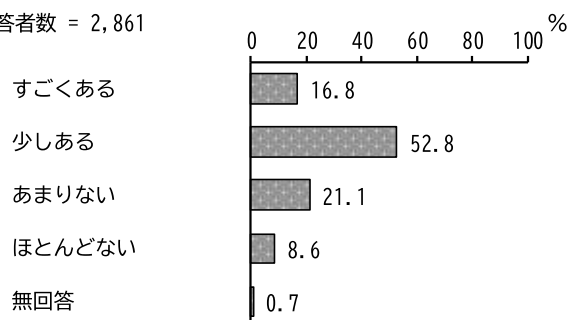
【小学生低学年保護者】

回答者数 = 3,299



【小学生高学年保護者】

回答者数 = 2,861



問 10-1 問 10 で「1. すごくある」「2. 少しある」を選ばれた方におうかがいします。
 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
 (1) (2) それぞれについてお答えください
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。

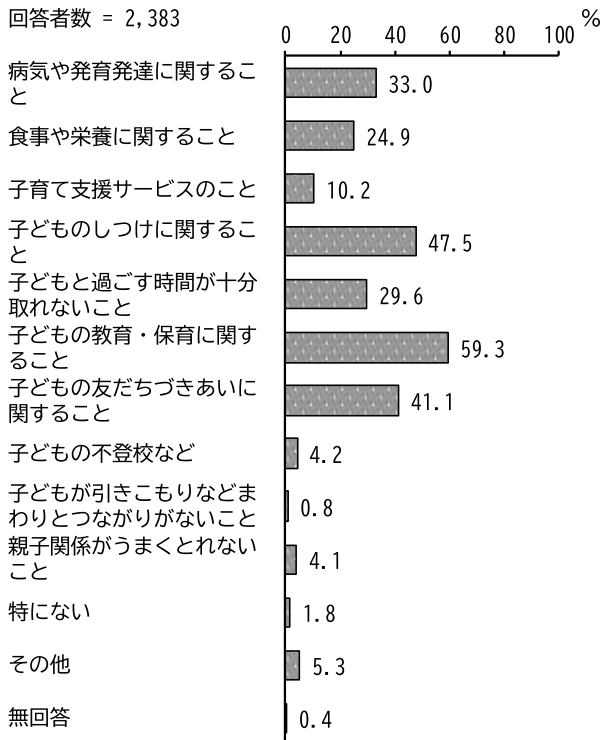
(1) 子どもに関すること

小学生低学年保護者では、「子どもの教育・保育に関すること」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が 47.5%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 41.1%となっています。

小学生高学年保護者では、「子どもの教育・保育に関すること」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が 42.5%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 39.5%となっています。

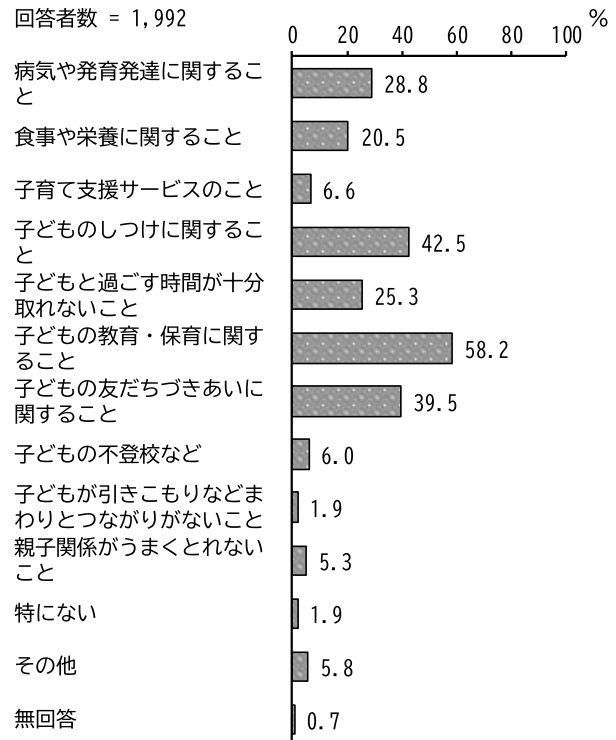
【小学生低学年保護者】

回答者数 = 2,383



【小学生高学年保護者】

回答者数 = 1,992



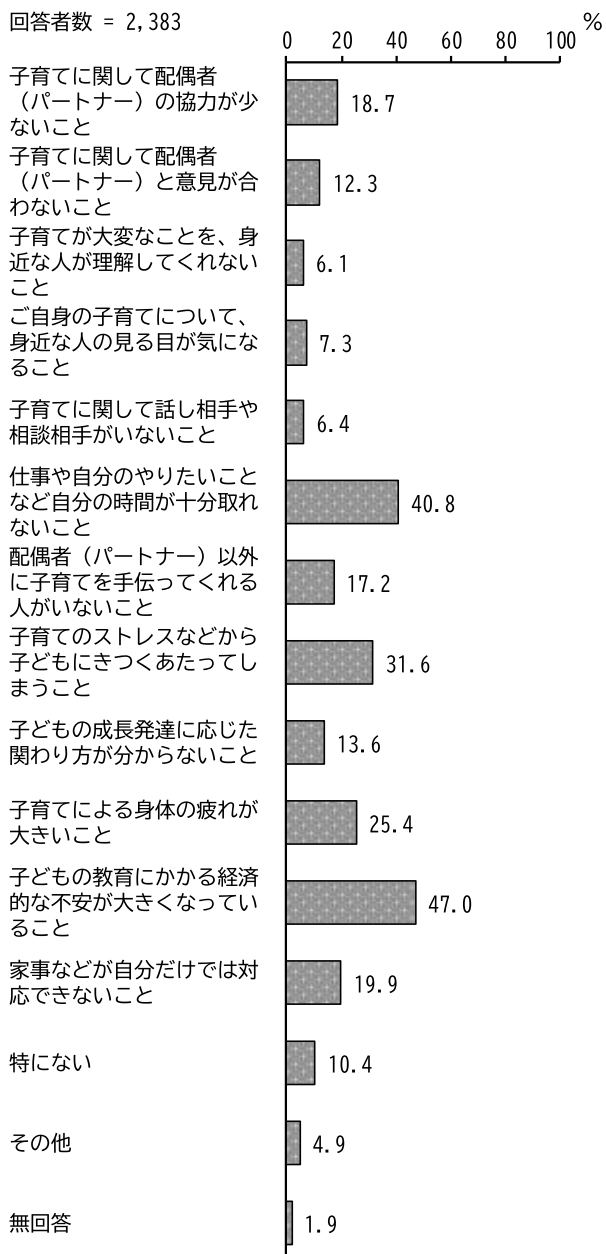
(2) ご自身に関すること

小学生低学年保護者では、「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が47.0%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が40.8%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が31.6%となっています。

小学生高学年保護者では、「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が48.5%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が32.4%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が24.4%となっています。

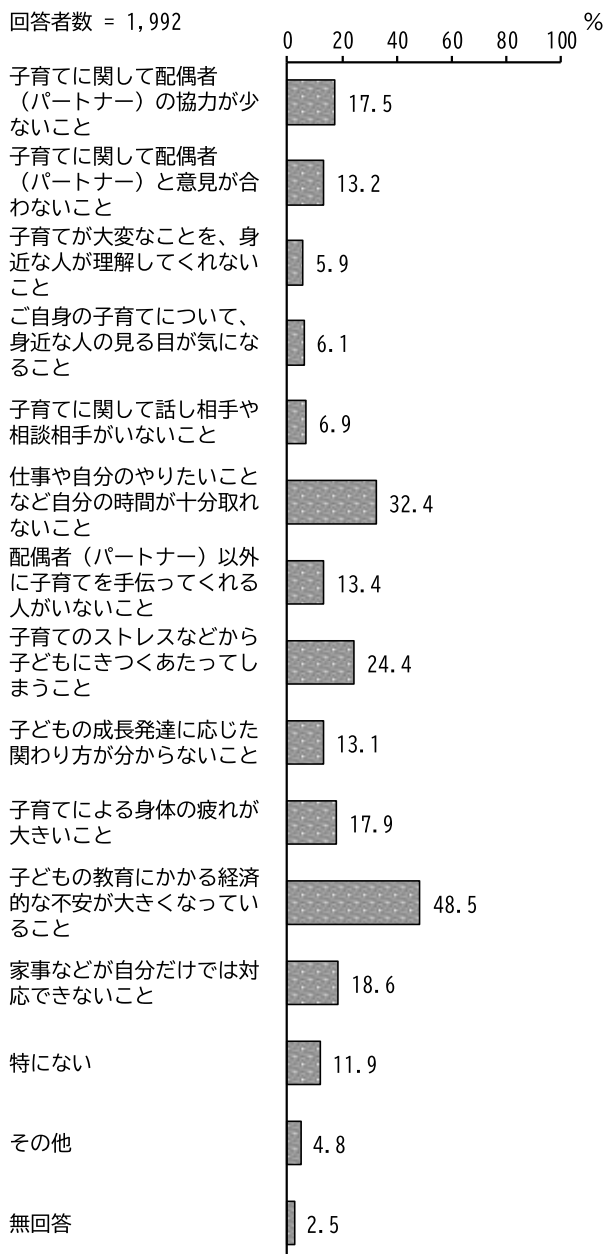
【小学生低学年保護者】

回答者数 = 2,383



【小学生高学年保護者】

回答者数 = 1,992



問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（○は1つ）。

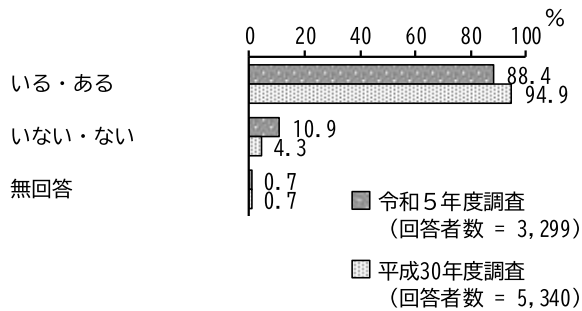
小学生低学年保護者では、「いる・ある」の割合が88.4%、「いない・ない」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いる・ある」の割合が6.5ポイント減少しています。

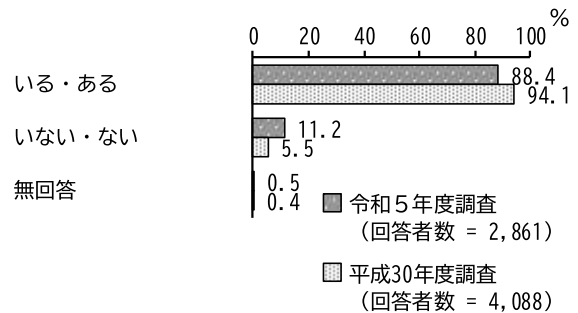
小学生高学年保護者では、「いる・ある」の割合が88.4%、「いない・ない」の割合が11.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いる・ある」の割合が5.7ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 11-1 問 11 で「1. いる・ある」と答えた方にうかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

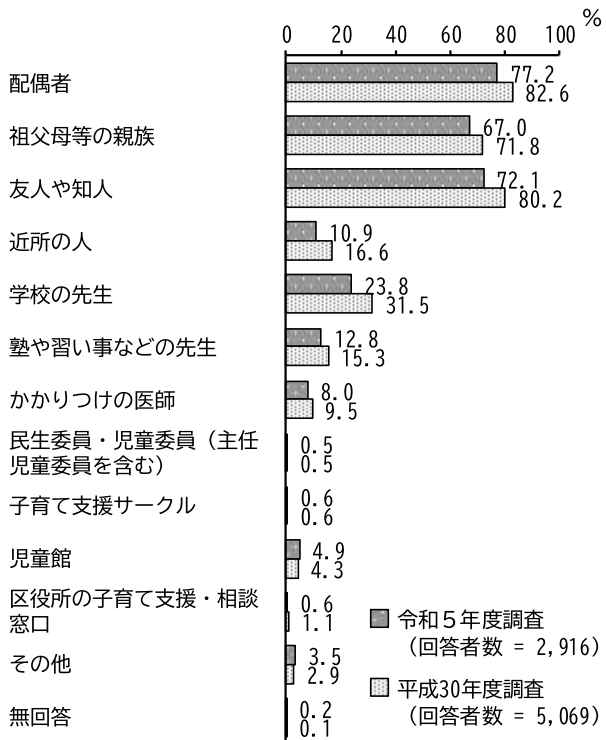
小学生低学年保護者では、「配偶者」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 72.1%、「祖父母等の親族」の割合が 67.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が 5.4 ポイント、「友人や知人」の割合が 8.1 ポイント、「近所の人」の割合が 5.7 ポイント、「学校の先生」の割合が 7.7 ポイント減少しています。

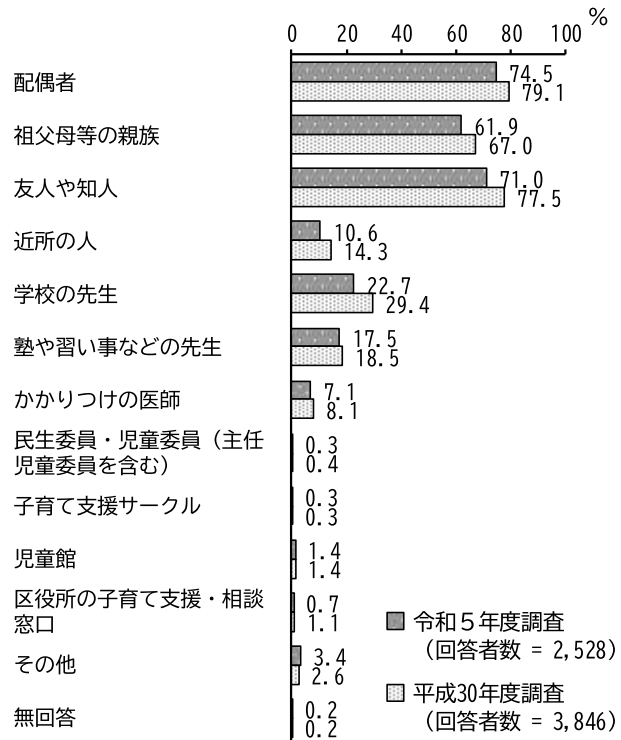
小学生高学年保護者では、「配偶者」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 71.0%、「祖父母等の親族」の割合が 61.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」の割合が 5.1 ポイント、「友人や知人」の割合が 6.5 ポイント、「学校の先生」の割合が 6.7 ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



※前回調査では、「児童館」の選択肢は「児童館、地域子育て支援センター（応援プラザ）」でした。

問12 日頃、自分に代わって宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。

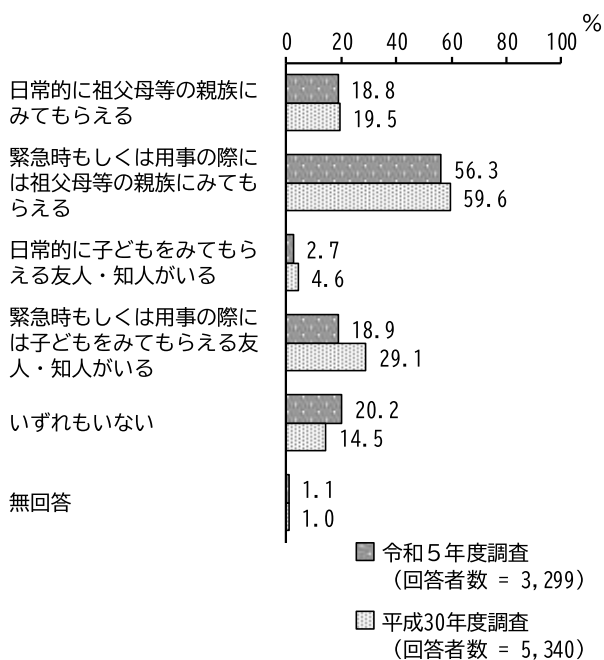
小学生低学年保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.3%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が20.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が5.7ポイント増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が10.2ポイント減少しています。

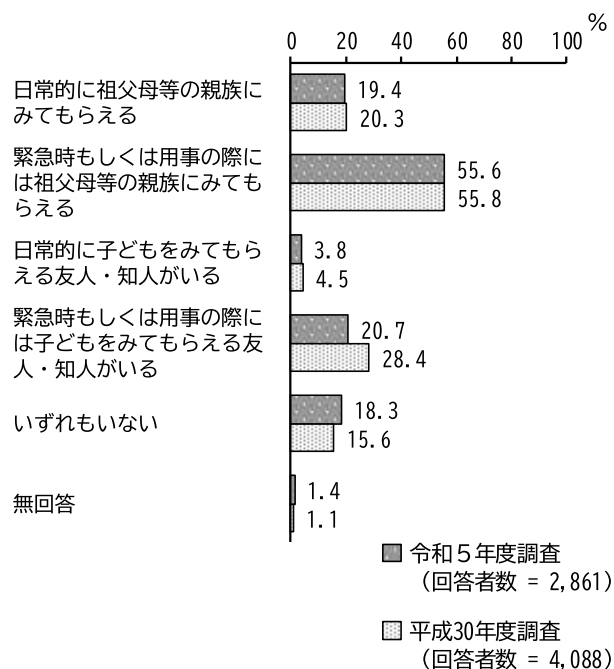
小学生高学年保護者では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.6%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が20.7%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が2.7ポイント増加しています。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が7.7ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

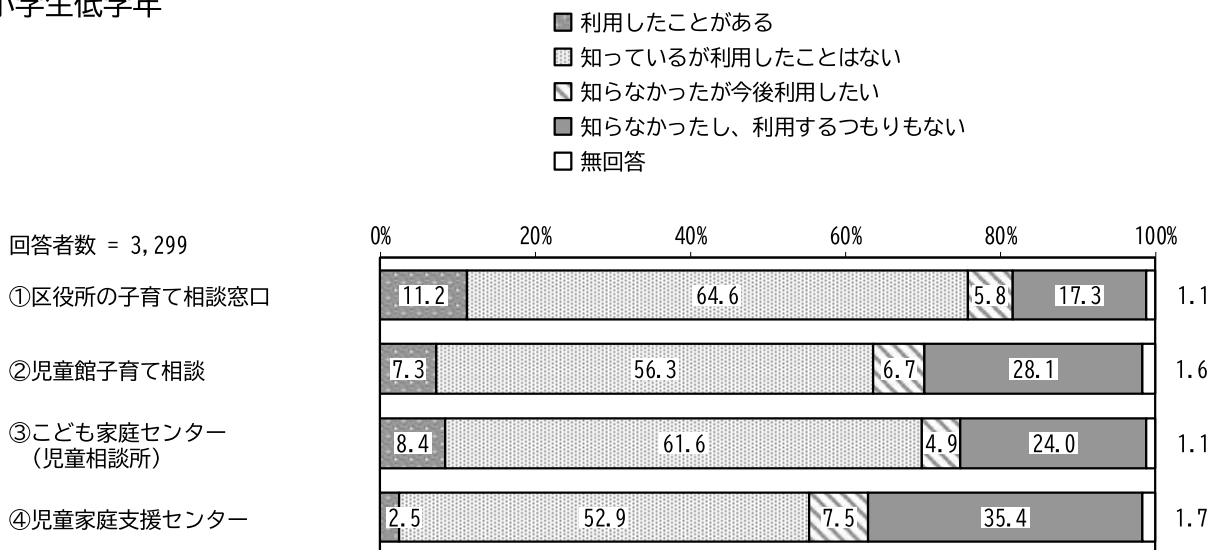


問13 子育てに関する相談や助言、情報提供を行う①～④について、利用したことはありますか（○はそれぞれ1つ）。

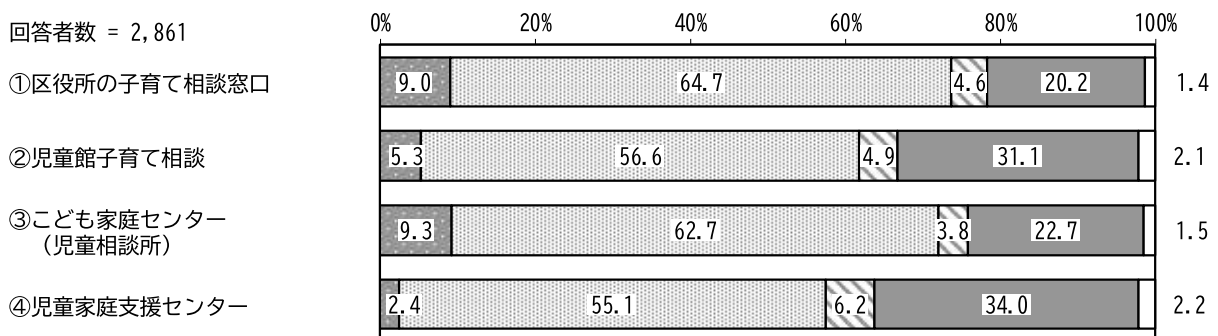
小学生低学年保護者では、『①区役所の子育て相談窓口』で「知っているが利用したことはない」の割合が、『④児童家庭支援センター』で「知らなかったし、利用するつもりもない」の割合が高くなっています。

小学生高学年保護者では、『①区役所の子育て相談窓口』、『③こども家庭センター（児童相談所）』で「利用したことがある」の割合が、『②児童館子育て相談』、『④児童家庭支援センター』で「知らなかったし、利用するつもりもない」の割合が高くなっています。

①小学生低学年



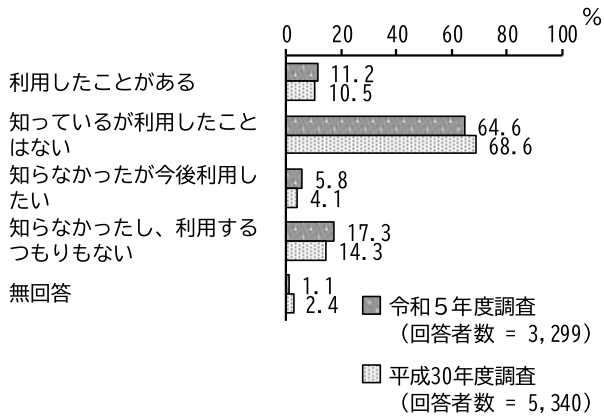
②小学生高学年



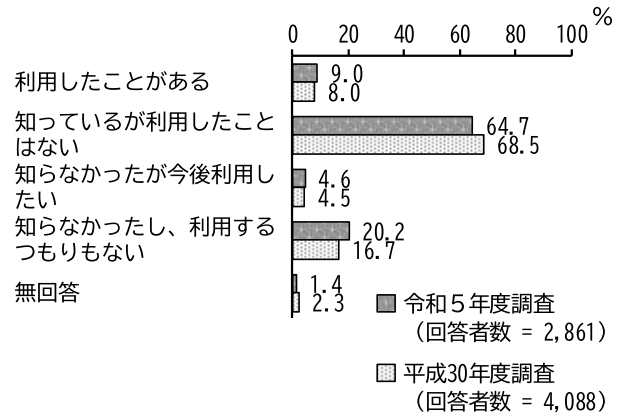
①区役所の子育て相談窓口

小学生低学年保護者、小学生高学年保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



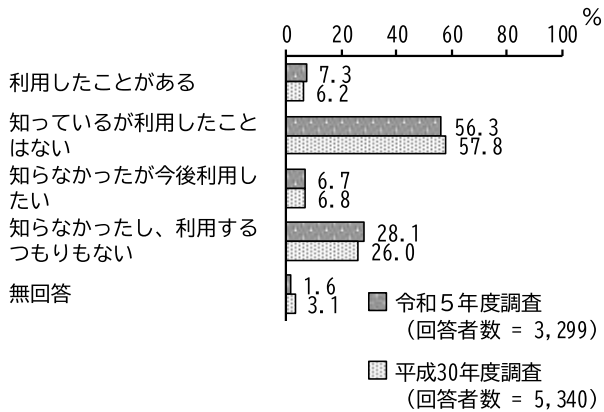
【小学生高学年保護者】



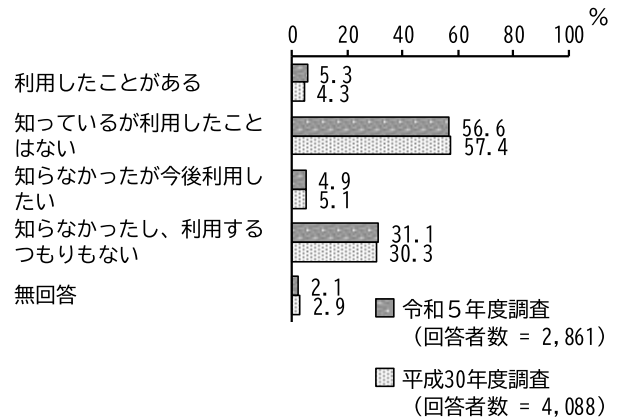
②児童館子育て相談

小学生低学年保護者、小学生高学年保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



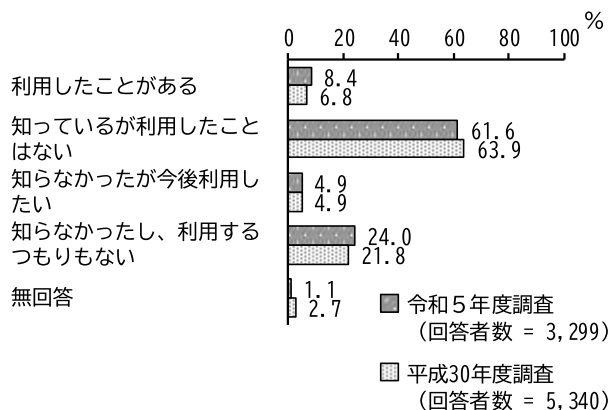
【小学生高学年保護者】



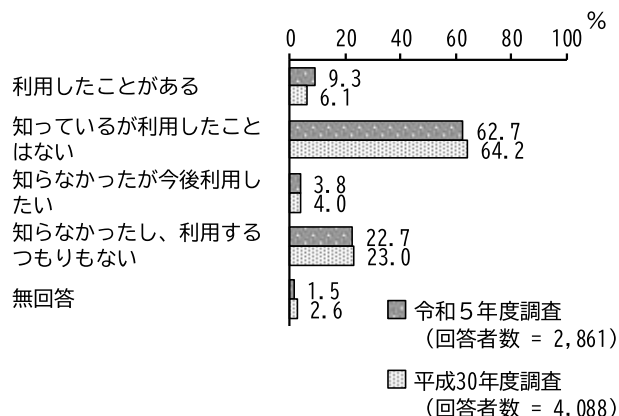
③ ことども家庭センター（児童相談所）

小学生低学年保護者、小学生高学年保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



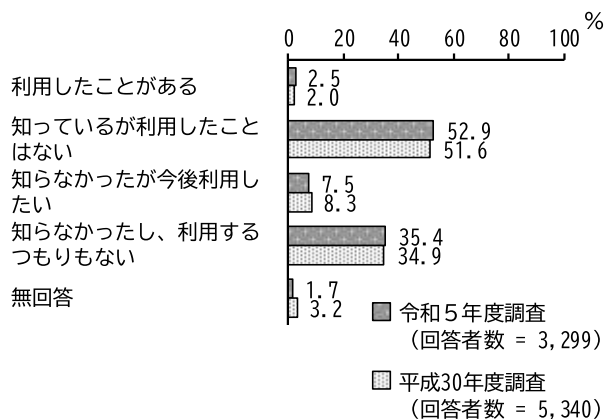
【小学生高学年保護者】



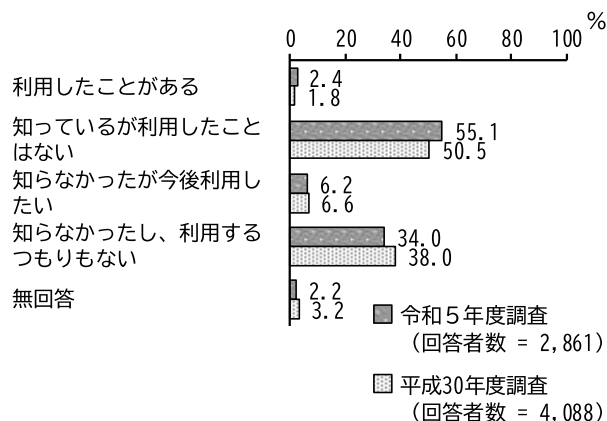
④ 児童家庭支援センター

小学生低学年保護者、小学生高学年保護者ともに、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 14 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について5段階から1つお選びください。

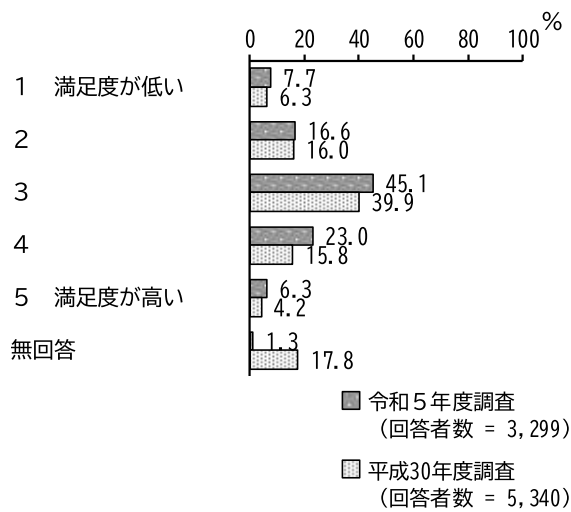
小学生低学年保護者では、「3」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「4」の割合が 23.0%、「2」の割合が 16.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3」の割合が 5.2 ポイント、「4」の割合が 7.2 ポイント増加しています。

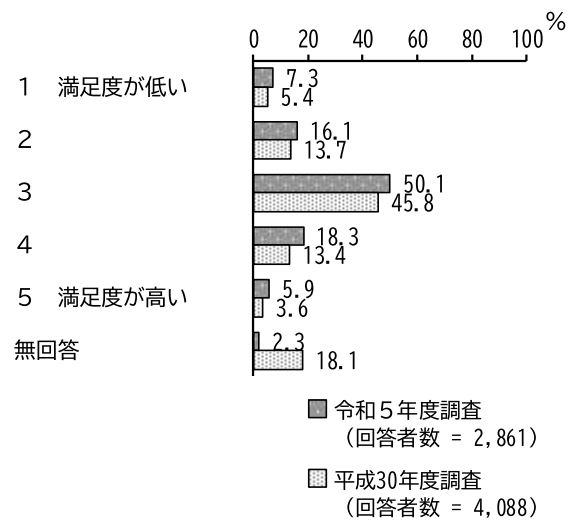
小学生高学年保護者では、「3」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「4」の割合が 18.3%、「2」の割合が 16.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 14-1 問 14 で「1」または「2」と答えた方にかがいます。
 満足度が低い分野をお答えください
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。

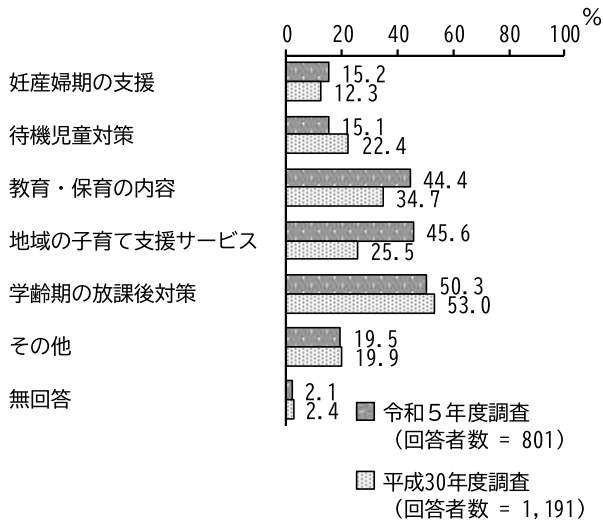
小学生低学年保護者では、「学齢期の放課後対策」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「地域の子育て支援サービス」の割合が 45.6%、「教育・保育の内容」の割合が 44.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「教育・保育の内容」の割合が 9.7 ポイント、「地域の子育て支援サービス」の割合が 20.1 ポイント増加しています。一方、「待機児童対策」の割合が 7.3 ポイント減少しています。

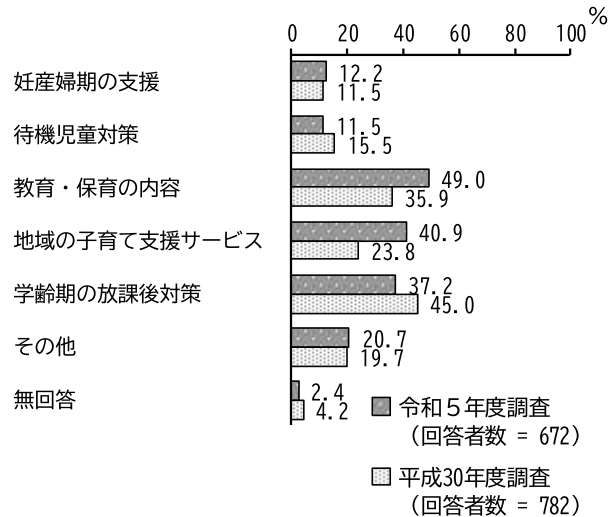
小学生高学年保護者では、「教育・保育の内容」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「地域の子育て支援サービス」の割合が 40.9%、「学齢期の放課後対策」の割合が 37.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「教育・保育の内容」の割合が 13.1 ポイント、「地域の子育て支援サービス」の割合が 17.1 ポイント増加しています。一方、「学齢期の放課後対策」の割合が 7.8 ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



(4) 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問 15 宛名のお子さんは、現在、放課後等の時間をどのように過ごしていますか
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。それぞれ週あたりの日数、
「4.」の場合には利用時間も()内に数字でご記入ください。

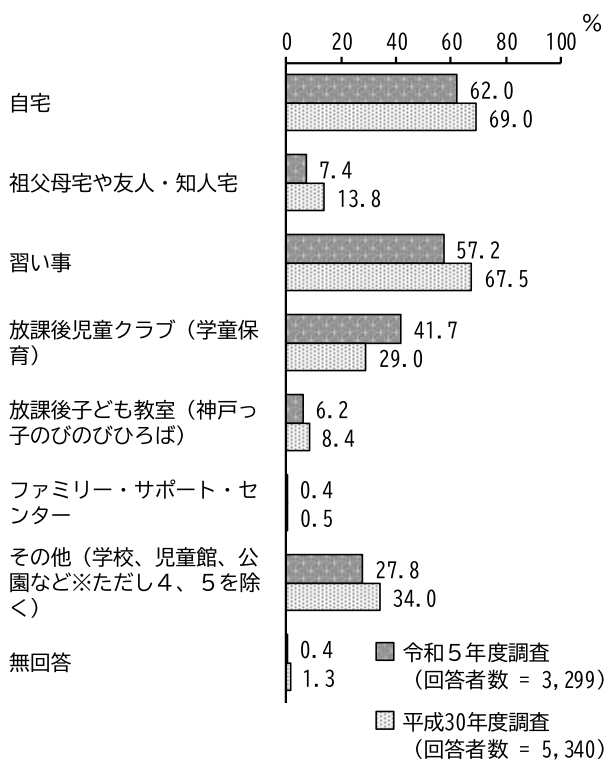
小学生低学年保護者では、「自宅」の割合が62.0%と最も高く、次いで「習い事」の割合が57.2%、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が41.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が12.7ポイント増加しています。

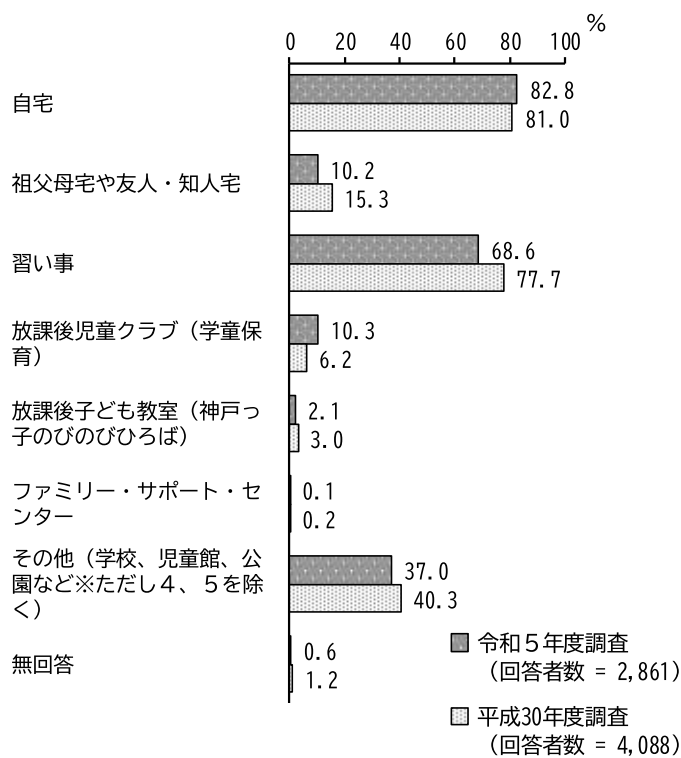
小学生高学年保護者では、「自宅」の割合が82.8%と最も高く、次いで「習い事」の割合が68.6%、「その他(学校、児童館、公園など※ただし4、5を除く)」の割合が37.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が5.1ポイント、「習い事」の割合が9.1ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



自宅の利用日数（1週あたり）

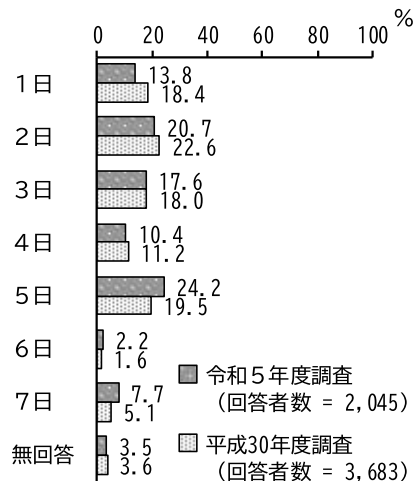
小学生低学年保護者では、「5日」の割合が24.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.7%、「3日」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

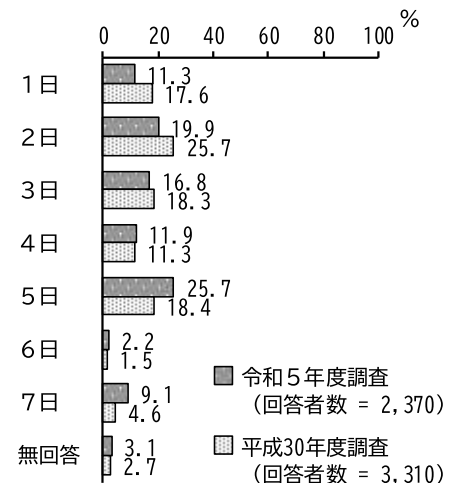
小学生高学年保護者では、「5日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.9%、「3日」の割合が16.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.3ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が6.3ポイント、「2日」の割合が5.8ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



祖父母宅や友人・知人宅の利用日数（1週あたり）

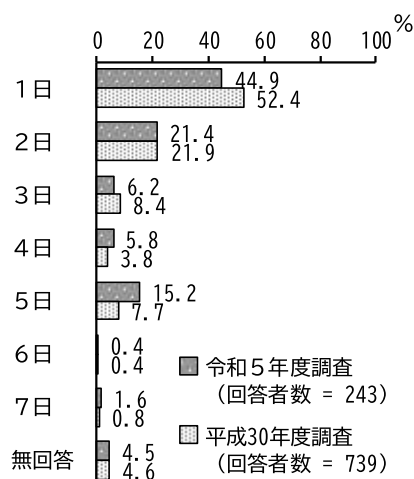
小学生低学年保護者では、「1日」の割合が44.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.4%、「5日」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が7.5ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が7.5ポイント減少しています。

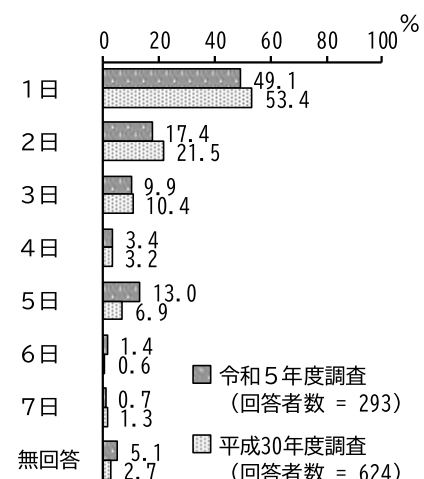
小学生高学年保護者では、「1日」の割合が49.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.4%、「5日」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.1ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



習い事の利用日数（1週あたり）

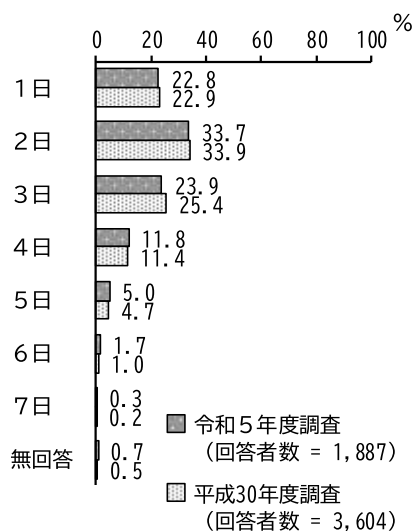
小学生低学年保護者では、「2日」の割合が33.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が23.9%、「1日」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

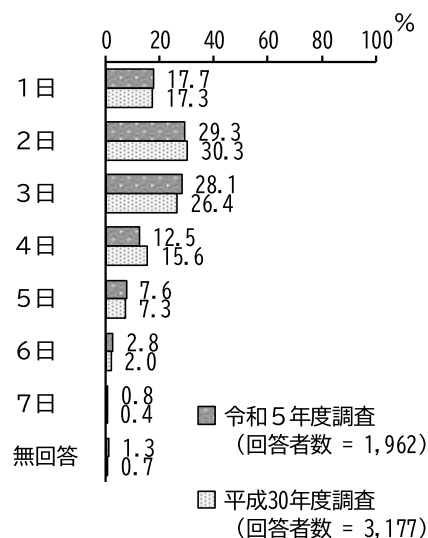
小学生高学年保護者では、「2日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.1%、「1日」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数（1週あたり）

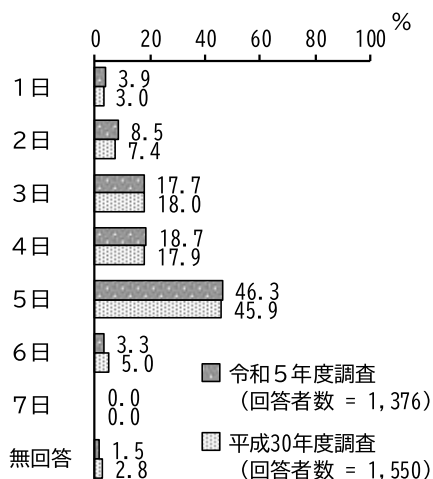
小学生低学年保護者では、「5日」の割合が46.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が18.7%、「3日」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

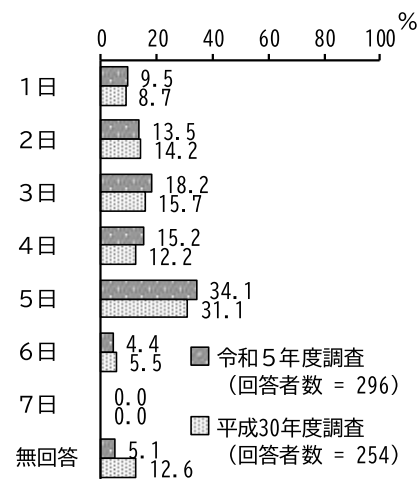
小学生高学年保護者では、「5日」の割合が34.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.2%、「4日」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

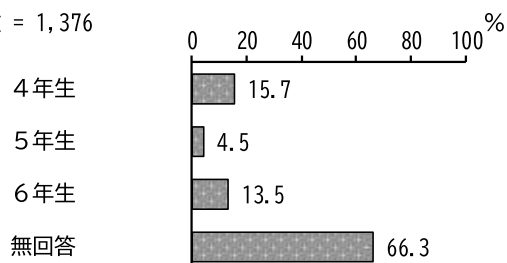


放課後児童クラブ（学童保育） 何年生まで

小学生低学年保護者では、「4年生」の割合が15.7%と最も高く、次いで「6年生」の割合が13.5%となっています。

【小学生低学年保護者】

回答者数 = 1,376



放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時間（平日）

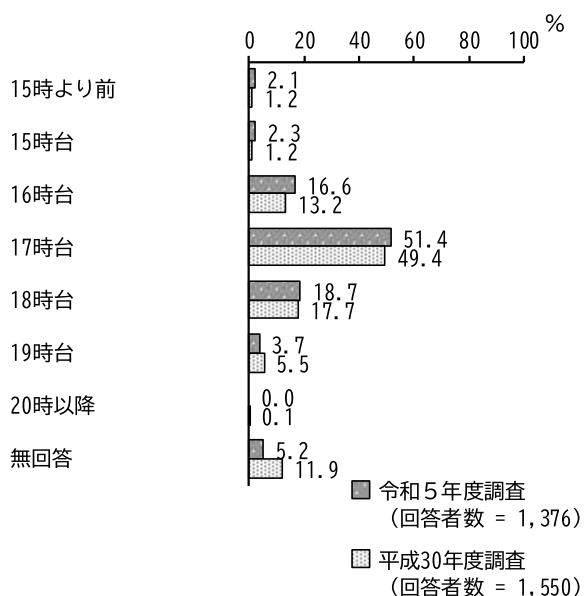
小学生低学年保護者では、「17時台」の割合が51.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.7%、「16時台」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

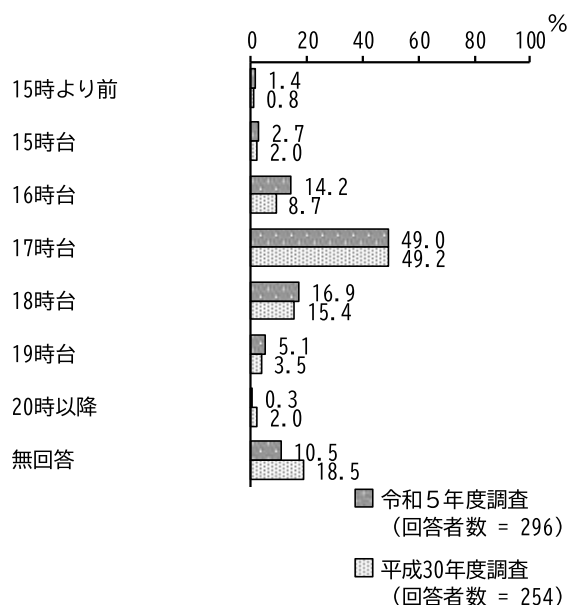
小学生高学年保護者では、「17時台」の割合が49.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が16.9%、「16時台」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」の割合が5.5ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用開始時間（土曜日）

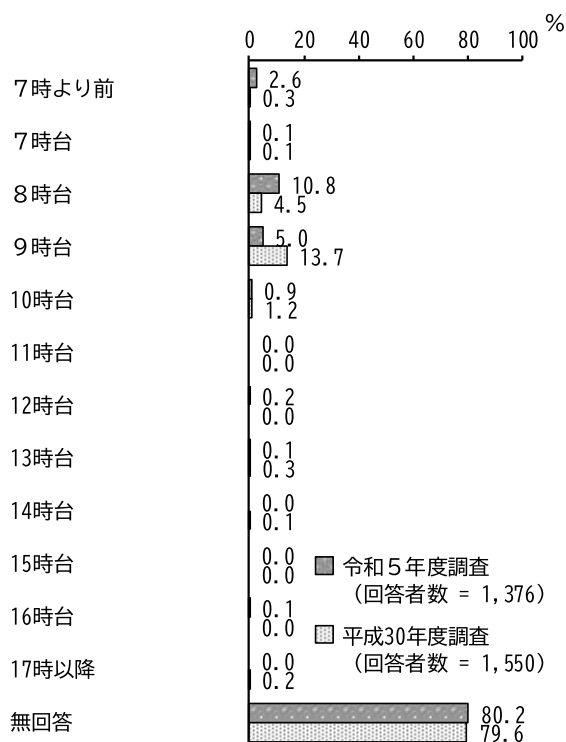
小学生低学年保護者では、「8時台」の割合が10.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が6.3ポイント増加しています。一方、「9時台」の割合が8.7ポイント減少しています。

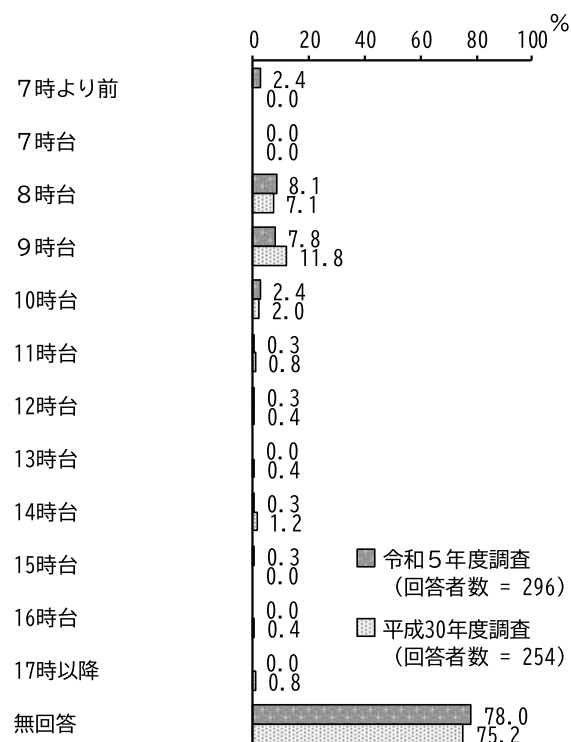
小学生高学年保護者では、「8時台」の割合が8.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時間（土曜日）

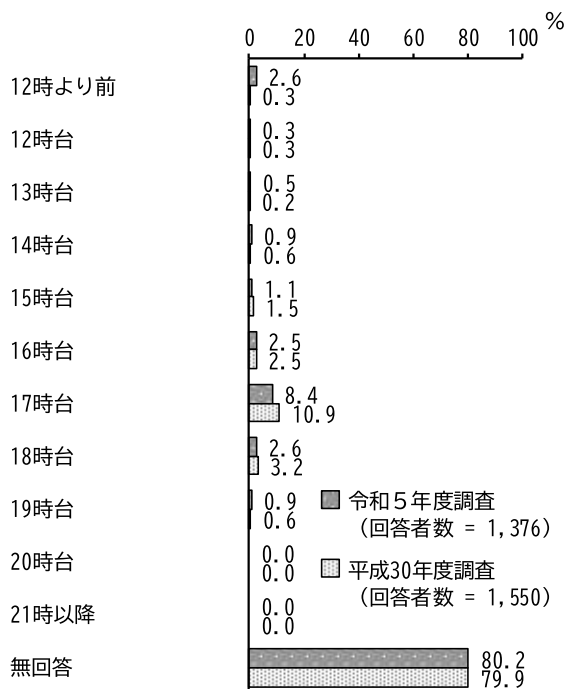
小学生低学年保護者では、「17 時台」の割合が 8.4%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

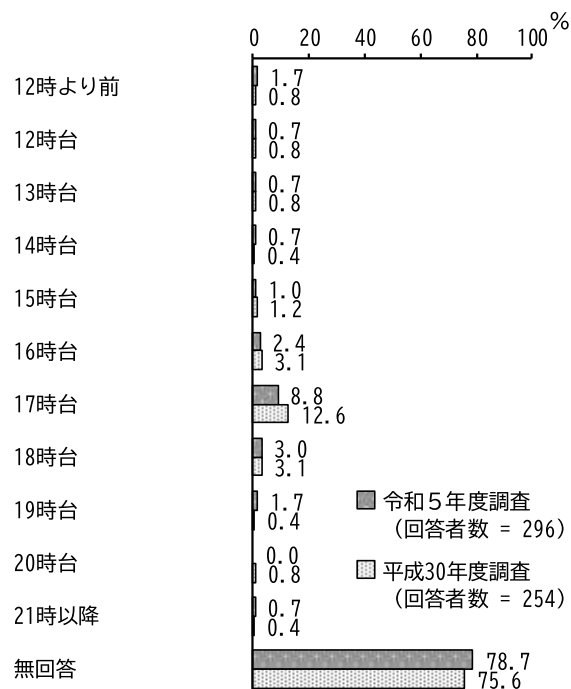
小学生高学年保護者では、「17 時台」の割合が 8.8%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用開始時間（長期休業日）

小学生低学年保護者では、「8時台」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 13.7%となっています。

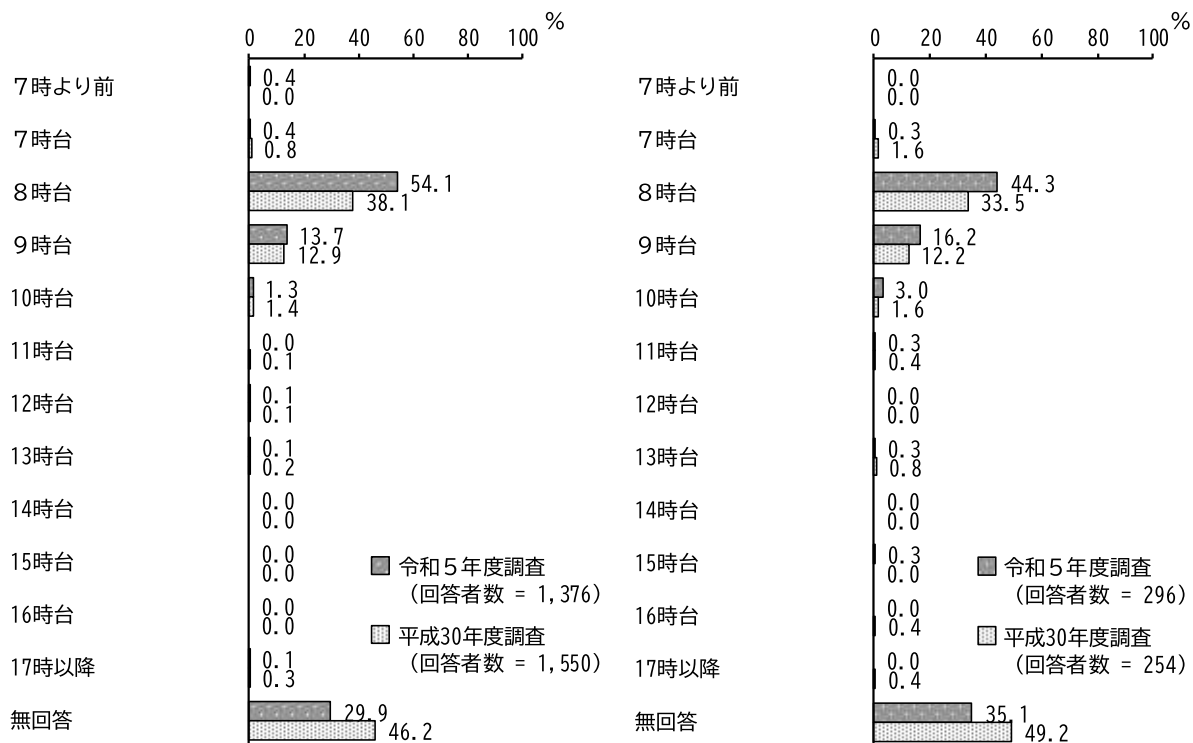
平成 30 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が 16 ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「8時台」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が 10.8 ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時間（長期休業日）

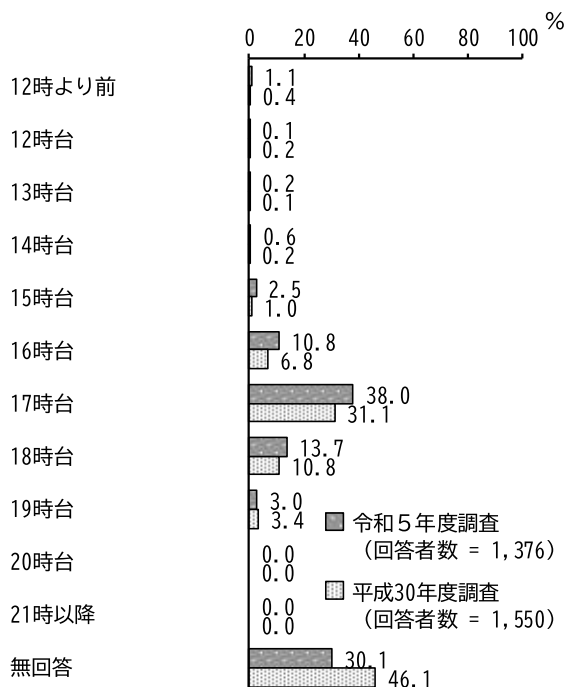
小学生低学年保護者では、「17 時台」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 13.7%、「16 時台」の割合が 10.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 6.9 ポイント増加しています。

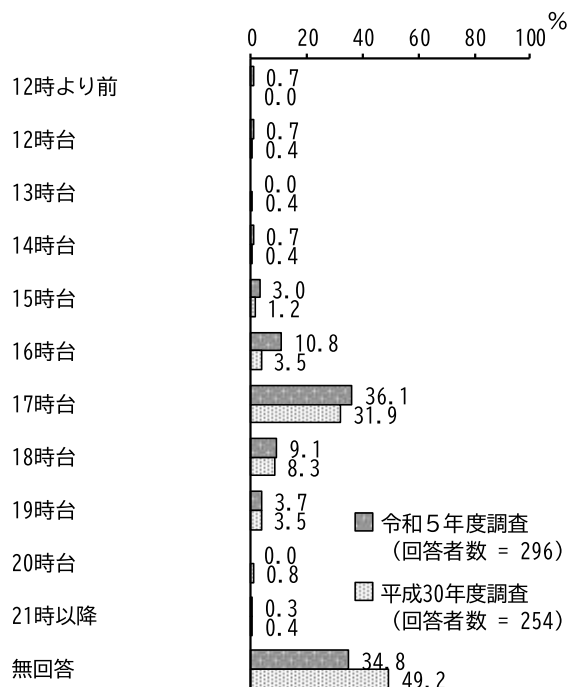
小学生高学年保護者では、「17 時台」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 10.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が 7.3 ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後子ども教室（神戸っ子のびのびひろば）の利用日数（1週あたり）

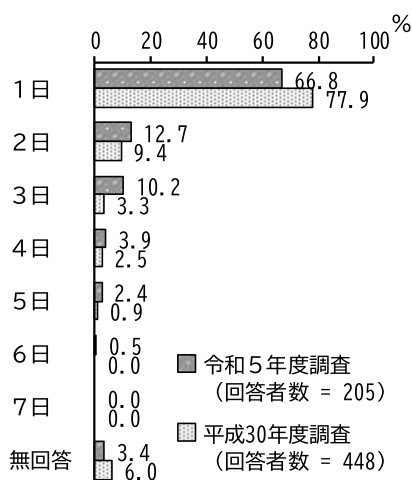
小学生低学年保護者では、「1日」の割合が66.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が12.7%、「3日」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が6.9ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が11.1ポイント減少しています。

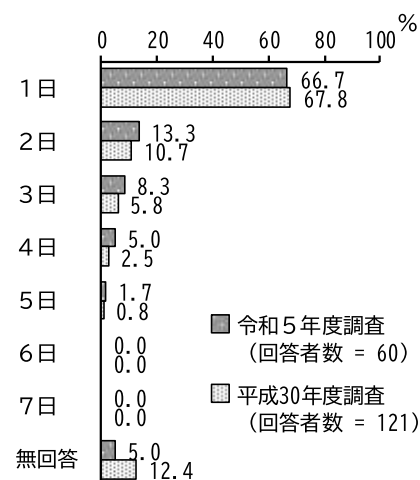
小学生高学年保護者では、「1日」の割合が66.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



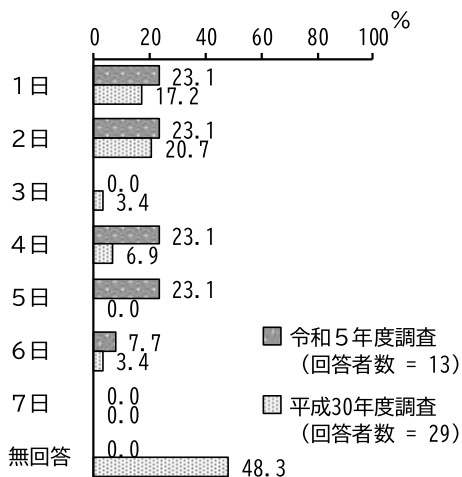
ファミリー・サポート・センターの利用日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「1日」、「2日」、「4日」、「5日」の割合が23.1%と最も高くなっています。

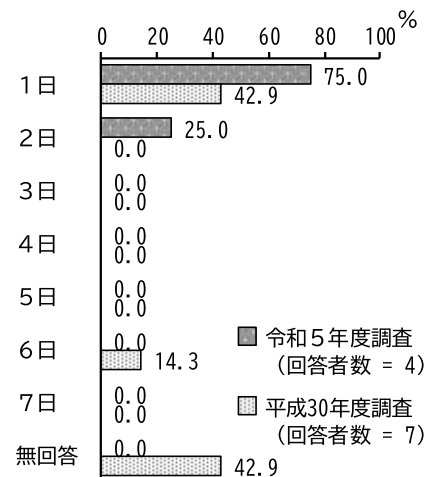
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が5.9ポイント、「4日」の割合が16.2ポイント、「5日」の割合が23.1ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「1日」が3件となっています。「2日」が1件となっています。

【小学生低学年保護者】



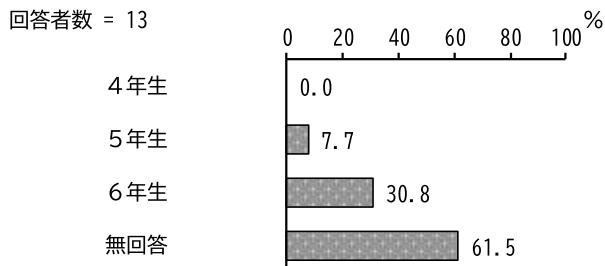
【小学生高学年保護者】



ファミリー・サポート・センター 何年生まで

小学生低学年保護者では、「6年生」の割合が30.8%と最も高くなっています。

【小学生低学年保護者】



その他（学校、児童館、公園など）の利用日数（1週あたり）

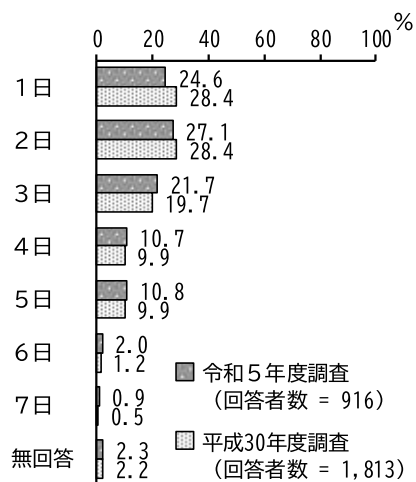
「2日」の割合が27.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.6%、「3日」の割合が21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

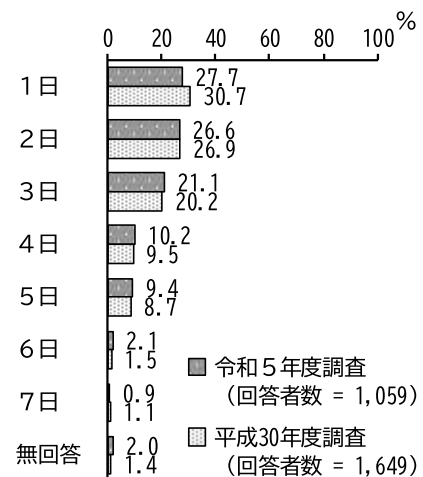
小学生高学年保護者では、「1日」の割合が27.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.6%、「3日」の割合が21.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 16 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後等の時間をどのように過ごさせたいですか
 （あてはまるものすべてに○をつけてください）。
 それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「4.」「6.」については何年生まで利用したいか、「4.」の場合には利用を希望する時間もお答えください。

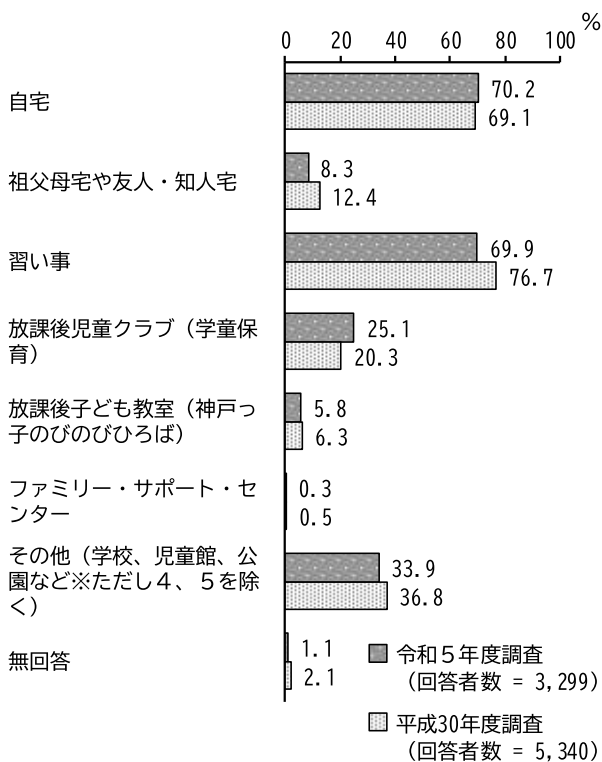
小学生低学年保護者では、「自宅」の割合が70.2%と最も高く、次いで「習い事」の割合が69.9%、「その他（学校、児童館、公園など※ただし4、5を除く）」の割合が33.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が4.8ポイント増加しています。

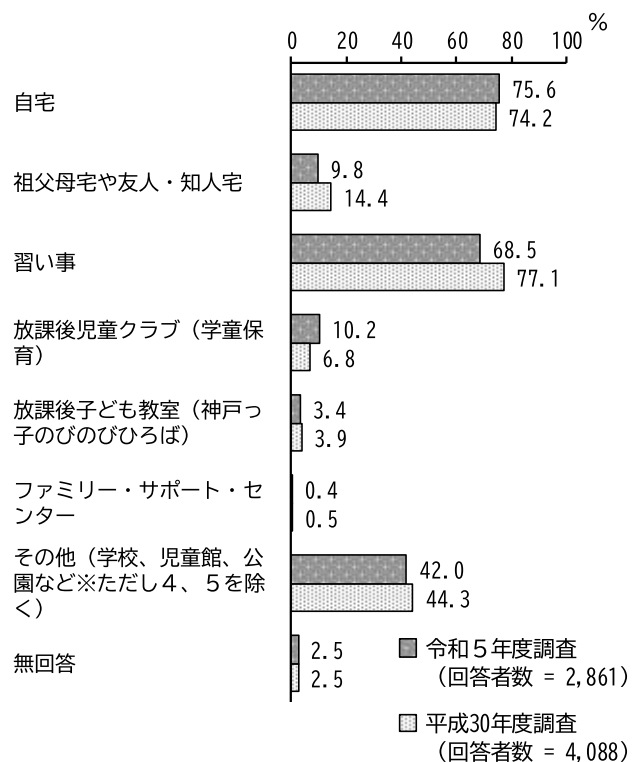
小学生高学年保護者では、「自宅」の割合が75.6%と最も高く、次いで「習い事」の割合が68.5%、「その他（学校、児童館、公園など※ただし4、5を除く）」の割合が42.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が3.4ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



自宅の利用希望日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「2日」の割合が23.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.0%、「3日」の割合が19.0%となっています。

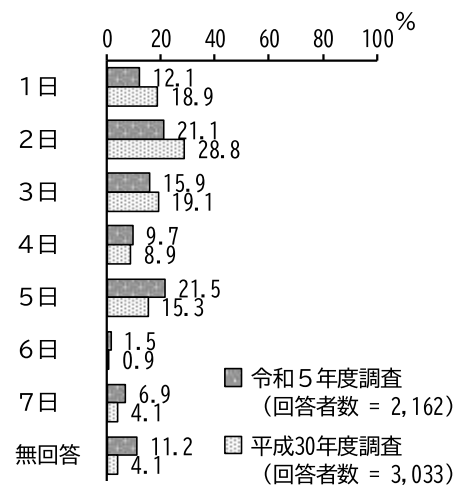
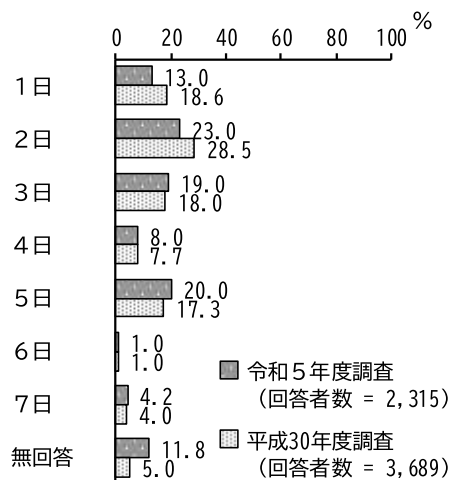
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が5.6ポイント、「2日」の割合が5.5ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「5日」の割合が21.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.1%、「3日」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が6.2ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が6.8ポイント、「2日」の割合が7.7ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



祖父母宅や友人・知人宅の希望利用日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「1日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.0%、「5日」の割合が15.4%となっています。

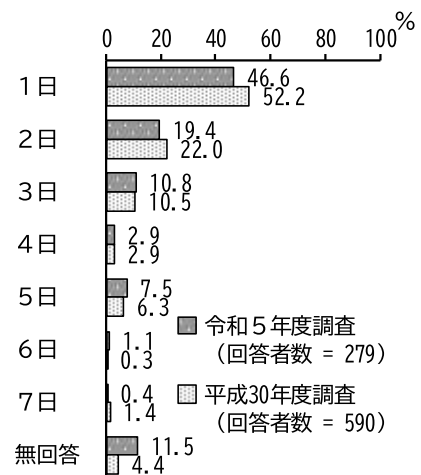
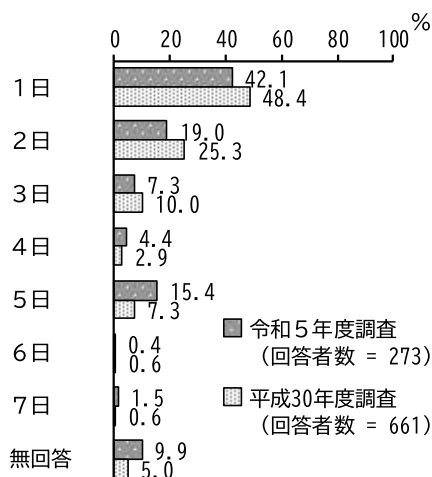
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が8.1ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が6.3ポイント、「2日」の割合が6.3ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日」の割合が46.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.4%、「3日」の割合が10.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が5.6ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



習い事の希望利用日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「2日」の割合が33.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.3%、「1日」の割合が14.9%となっています。

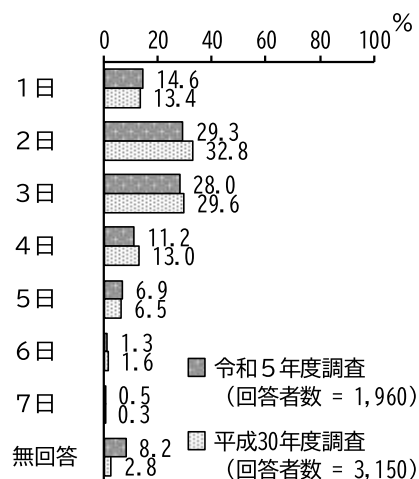
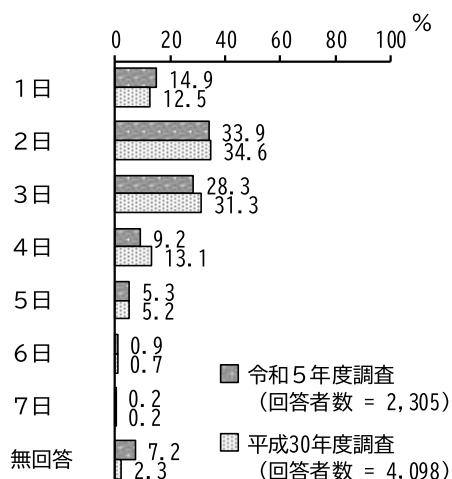
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「2日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.0%、「1日」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「5日」の割合が34.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.0%、「2日」の割合が15.2%となっています。

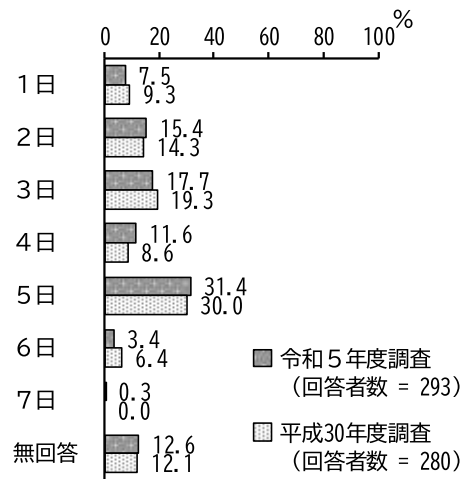
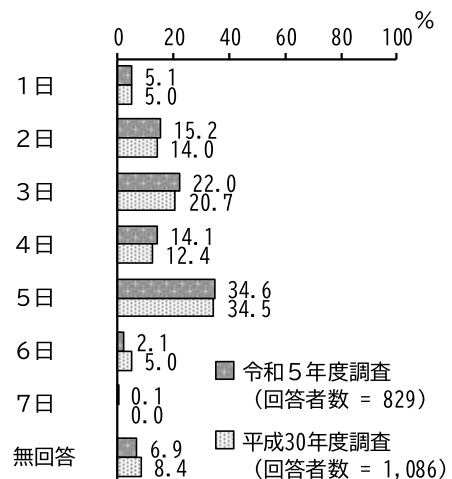
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「5日」の割合が31.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.7%、「2日」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育） 何年生まで

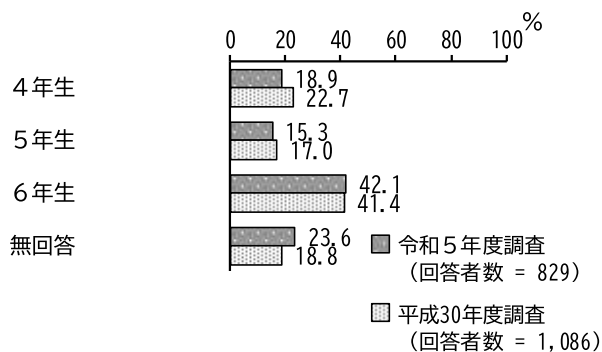
小学生低学年保護者では、「6年生」の割合が42.1%と最も高く、次いで「4年生」の割合が18.9%、「5年生」の割合が15.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

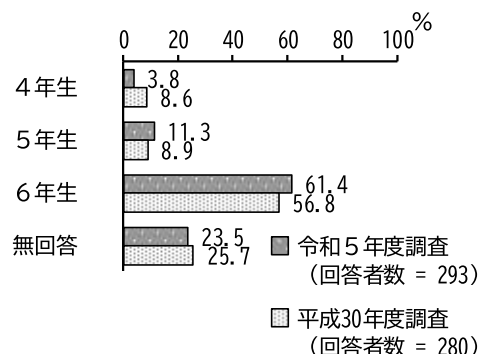
小学生高学年保護者では、「6年生」の割合が61.4%と最も高く、次いで「5年生」の割合が11.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用終了時間（平日）

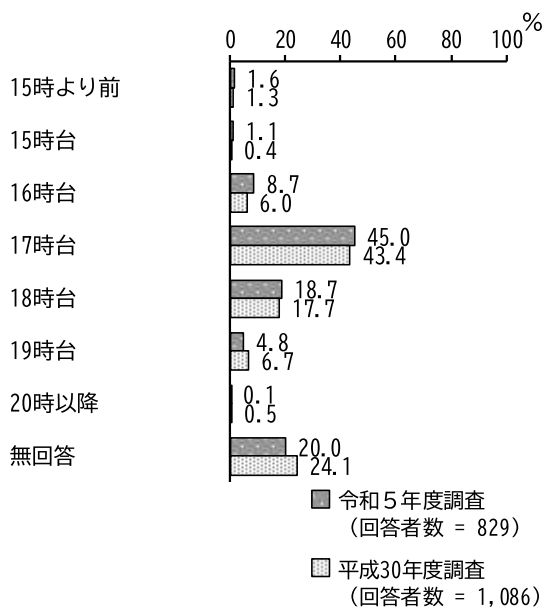
小学生低学年保護者では、「17時台」の割合が45.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

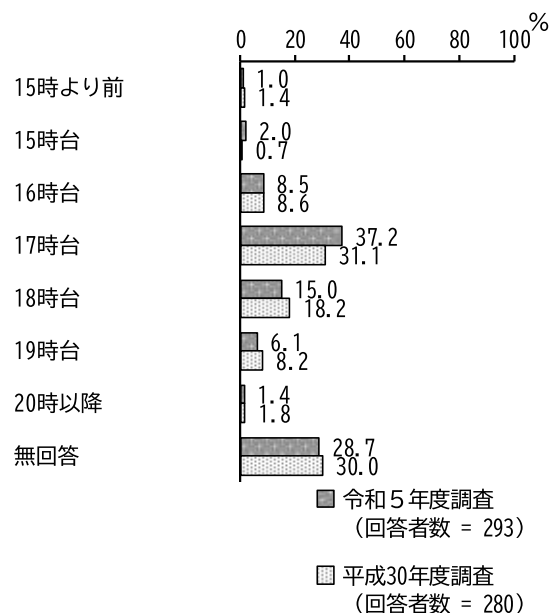
小学生高学年保護者では、「17時台」の割合が37.2%と最も高く、次いで「18時台」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が6.1ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



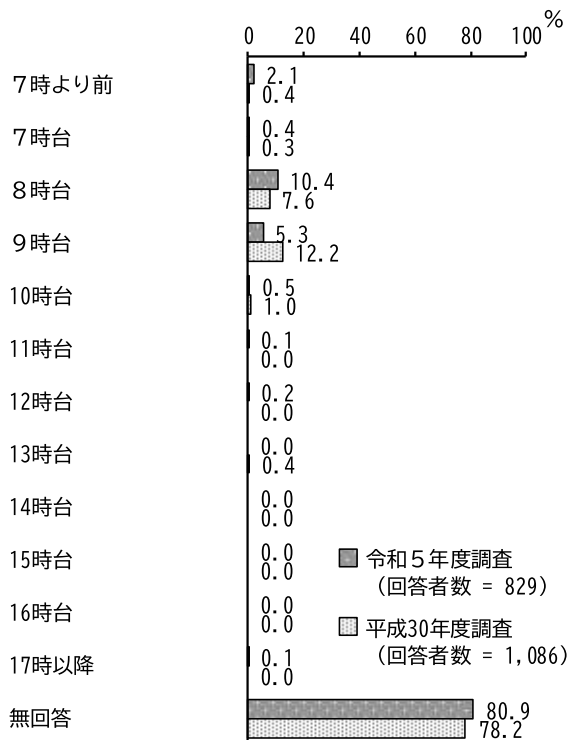
【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用開始時間（土曜日）

小学生低学年保護者では、「8時台」の割合が10.4%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が6.9ポイント減少しています。
 小学生高学年保護者では、「9時台」の割合が9.2%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用終了時間（土曜日）

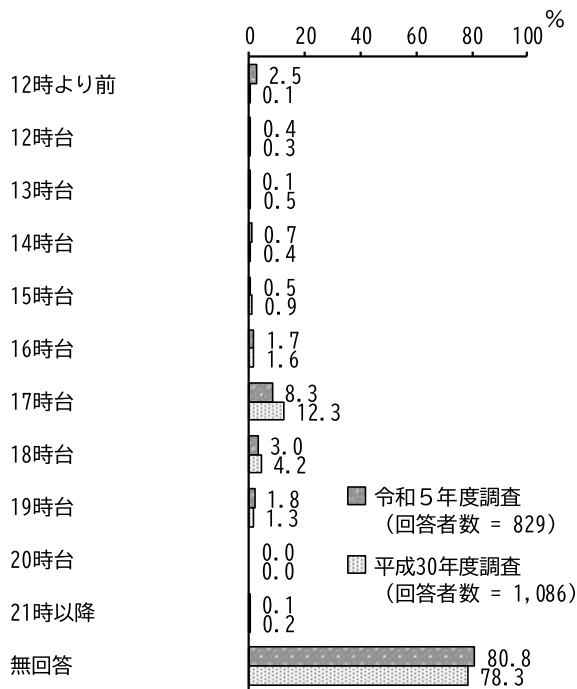
小学生低学年保護者では、「17 時台」の割合が 8.3%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

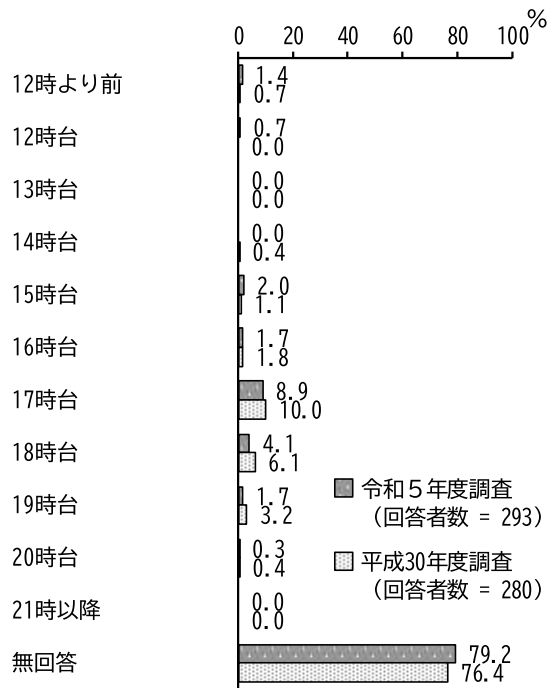
小学生高学年保護者では、「17 時台」の割合が 8.9%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用開始時間（長期休業日）

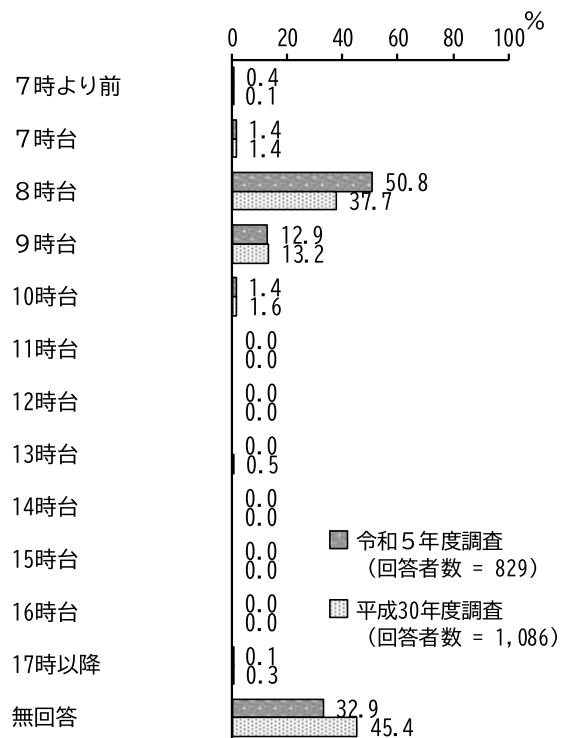
小学生低学年保護者では、「8時台」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 12.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が 13.1ポイント増加しています。

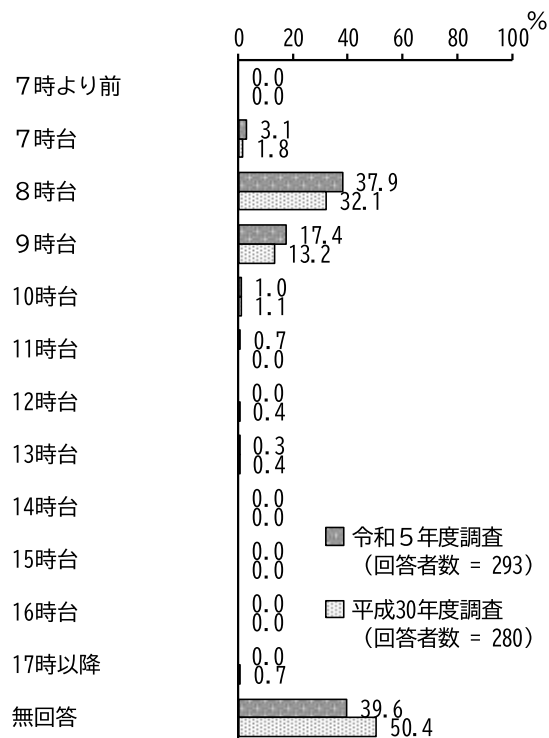
小学生高学年保護者では、「8時台」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 17.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が 5.8ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用終了時間（長期休業日）

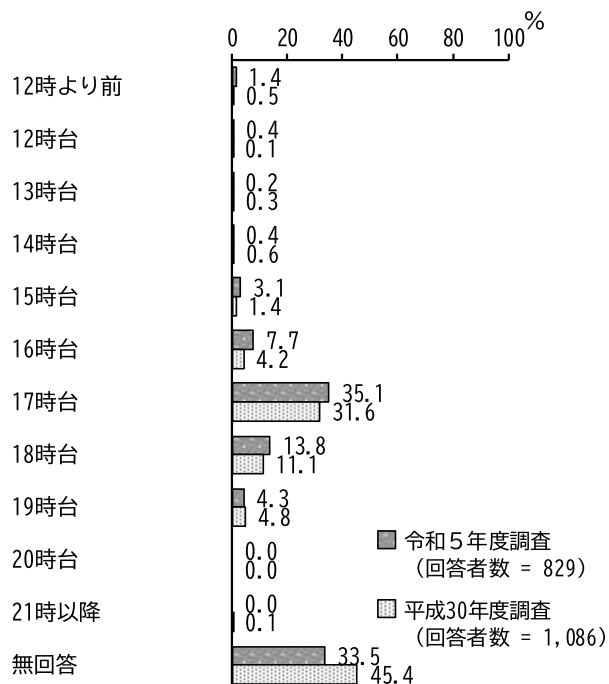
小学生低学年保護者では、「17 時台」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 13.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

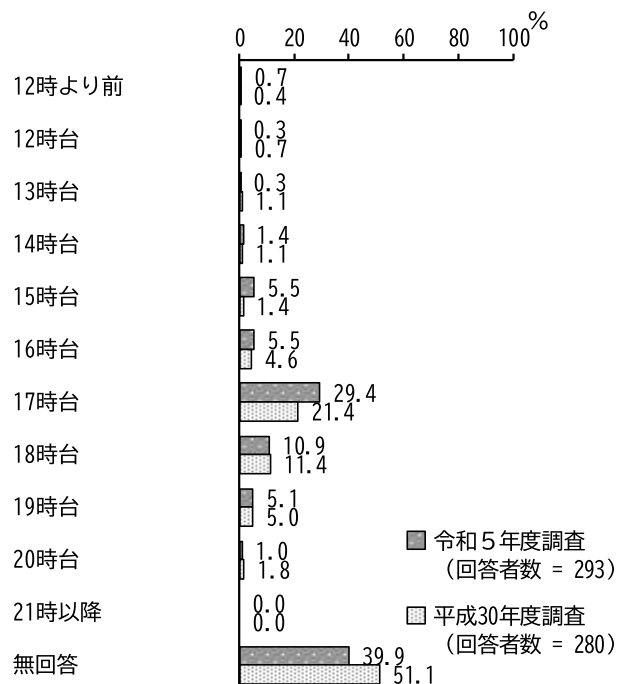
小学生高学年保護者では、「17 時台」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 10.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が 8 ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



放課後子ども教室（神戸っ子のびのびひろば）の希望利用日数（1週あたり）

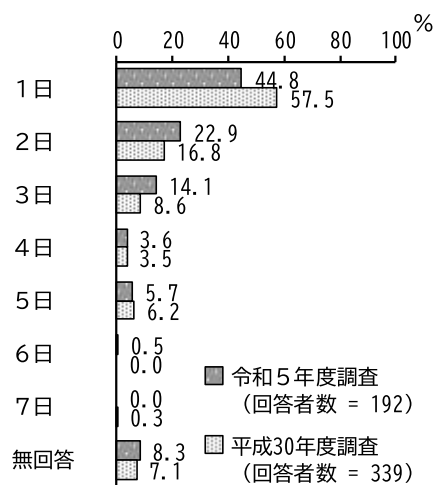
小学生低学年保護者では、「1日」の割合が44.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.9%、「3日」の割合が14.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が6.1ポイント、「3日」の割合が5.5ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が12.7ポイント減少しています。

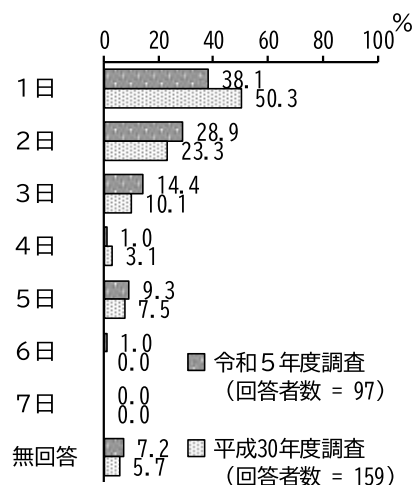
小学生高学年保護者では、「1日」の割合が38.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.9%、「3日」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が5.6ポイント増加しています。一方、「1日」の割合が12.2ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



ファミリー・サポート・センターの希望利用日数（1週あたり）

小学生低学年保護者では、「5日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「1日」、「3日」の割合が18.2%となっています。

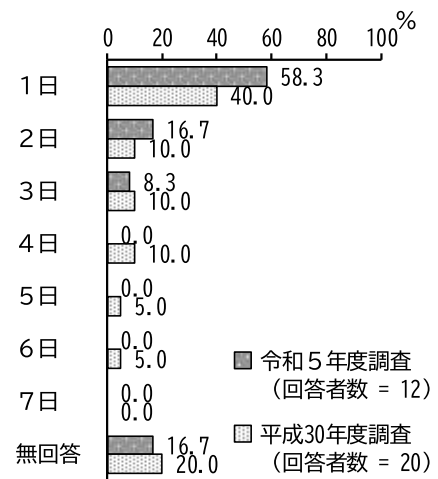
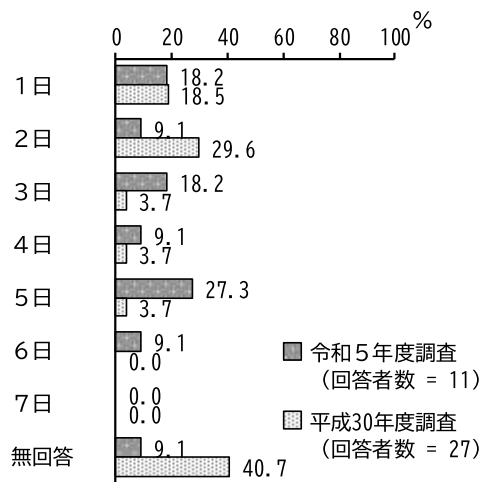
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が14.5ポイント、「4日」の割合が5.4ポイント、「5日」の割合が23.6ポイント、「6日」の割合が9.1ポイント増加しています。一方、「2日」の割合が20.5ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日」の割合が58.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が18.3ポイント、「2日」の割合が6.7ポイント増加しています。一方、「4日」の割合が10ポイント、「5日」「6日」の割合が5ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



ファミリー・サポート・センター 何年生まで

小学生低学年保護者では、「6年生」の割合が72.7%と最も高くなっています。

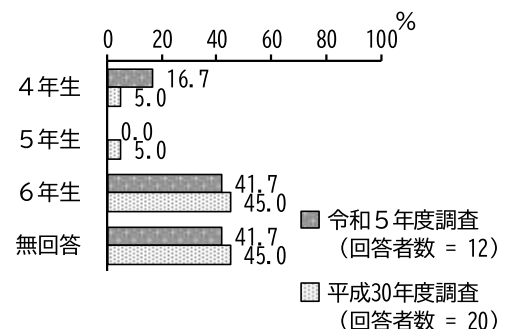
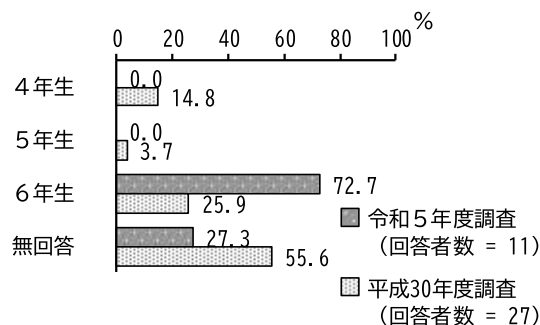
平成30年度調査と比較すると、「6年生」の割合が46.8ポイント増加しています。一方、「4年生」の割合が14.8ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「6年生」の割合が41.7%と最も高く、次いで「4年生」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4年生」の割合が11.7ポイント増加しています。一方、「5年生」の割合が5ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】

【小学生高学年保護者】



その他（学校、児童館、公園など）の希望利用日数（1週あたり）

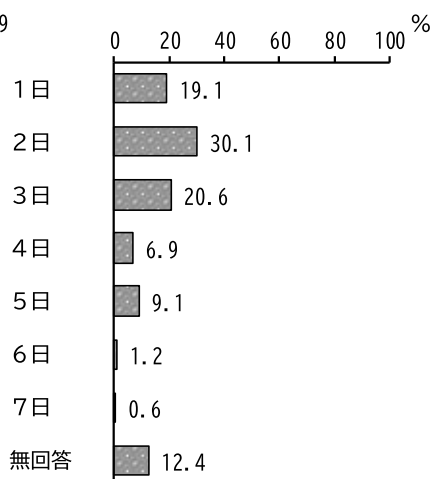
小学生低学年保護者では、「2日」の割合が30.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.6%、「1日」の割合が19.1%となっています。

小学生高学年保護者では、「2日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.1%、「1日」の割合が19.6%となっています。

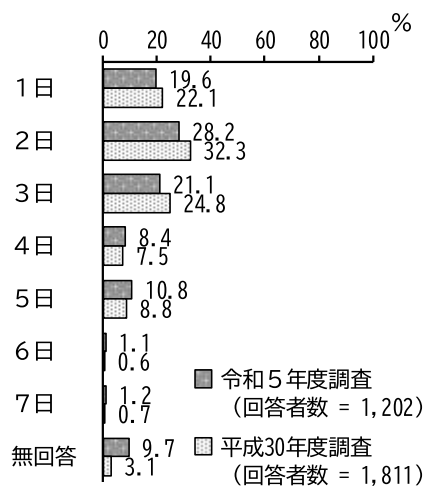
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】

回答者数 = 1,119



【小学生高学年保護者】



問17 問15、16で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた方と現在は利用していないが放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい方にうかがいます。宛名のお子さんについて、次に項目に係る利用希望はありますか。希望する番号すべてに○をつけてください。

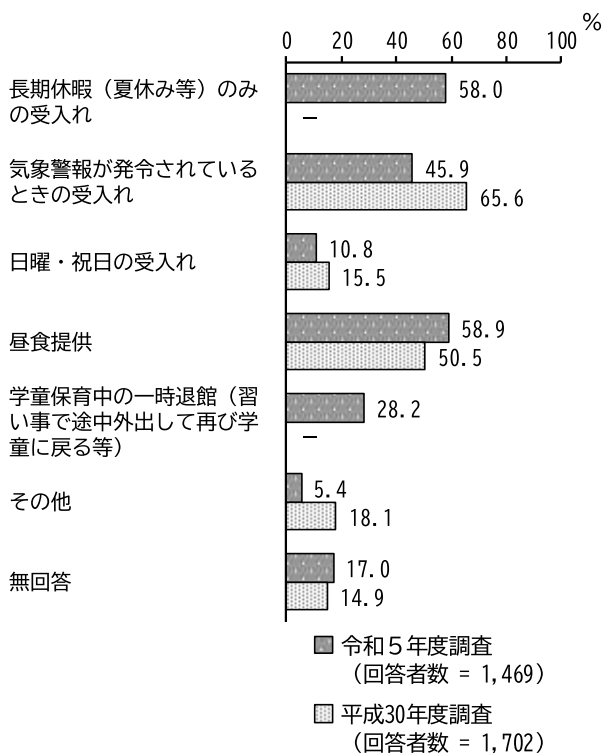
小学生低学年保護者では、「昼食提供」の割合が58.9%と最も高く、次いで「長期休暇（夏休み等）のみの受入れ」の割合が58.0%、「気象警報が発令されているときの受入れ」の割合が45.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「昼食提供」の割合が8.4ポイント増加しています。一方、「気象警報が発令されているときの受入れ」の割合が19.7ポイント減少しています。

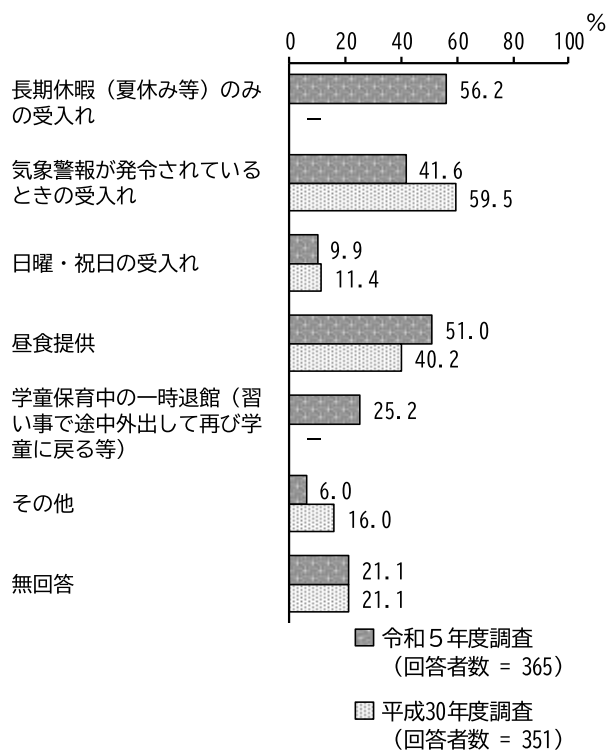
小学生高学年保護者では、「長期休暇（夏休み等）のみの受入れ」の割合が56.2%と最も高く、次いで「昼食提供」の割合が51.0%、「気象警報が発令されているときの受入れ」の割合が41.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「昼食提供」の割合が10.8ポイント増加しています。一方、「気象警報が発令されているときの受入れ」の割合が17.9ポイント、「その他」の割合が10ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



※前回調査では、「長期休暇（夏休み等）のみの受入れ」「学童保育中の一時退館（習い事で途中外出して再び学童に戻る等）」の選択肢はありませんでした。

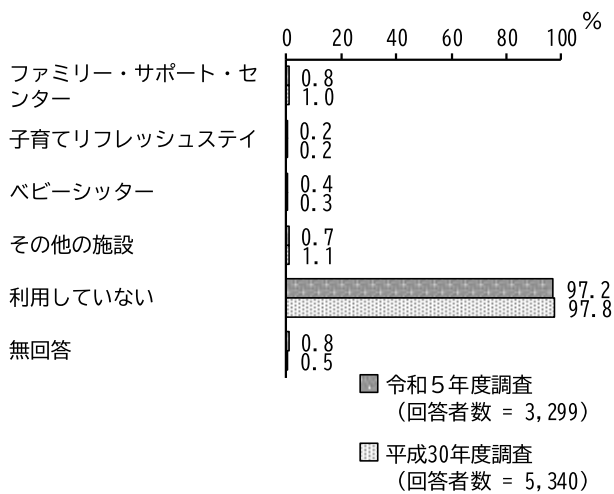
(5) 宛名のお子さんの不定期の一時預かり（宿泊を伴うものを含む）等の利用状況について

問 18 宛名のお子さんについて、(病児・病後児の預かり以外に) 私用、リフレッシュ、冠婚葬祭、学校行事、家族の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。
1年間のおおよその利用日数も（ ）内に数字でご記入ください。

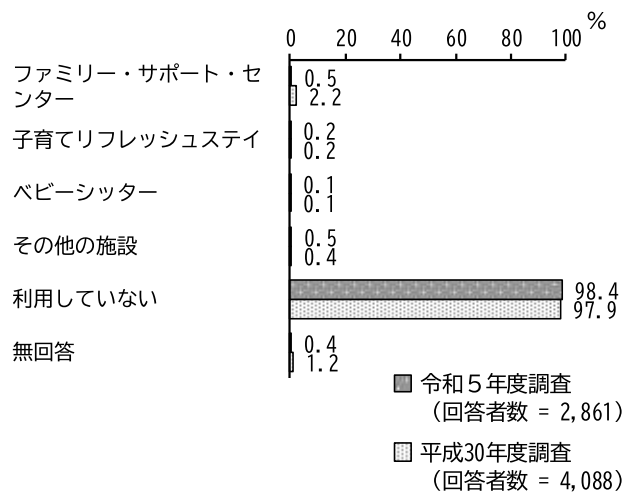
小学生低学年保護者では、「利用していない」の割合が97.2%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「利用していない」の割合が98.4%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



ファミリー・サポート・センターの利用日数（年間）

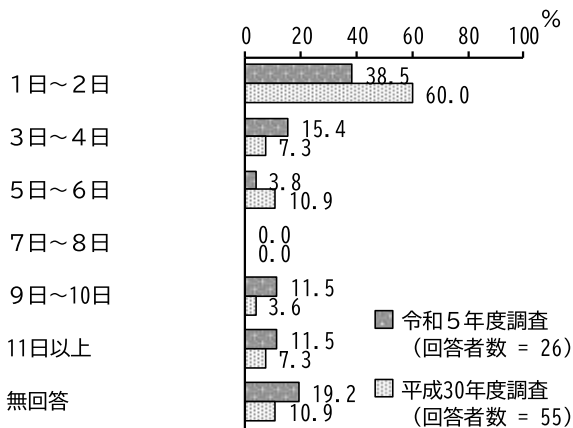
小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が38.5%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が15.4%、「9日～10日」、「11日以上」の割合が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が8.1ポイント、「9日～10日」の割合が7.9ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が21.5ポイント、「5日～6日」の割合が7.1ポイント減少しています。

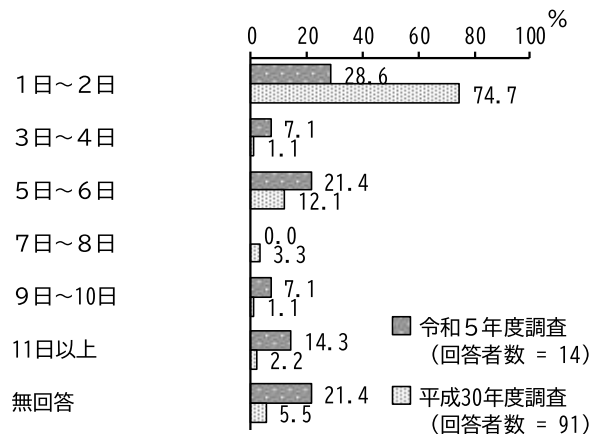
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が21.4%、「11日以上」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日～4日」「9日～10日」の割合が6ポイント、「5日～6日」の割合が9.3ポイント、「11日以上」の割合が12.1ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が46.1ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

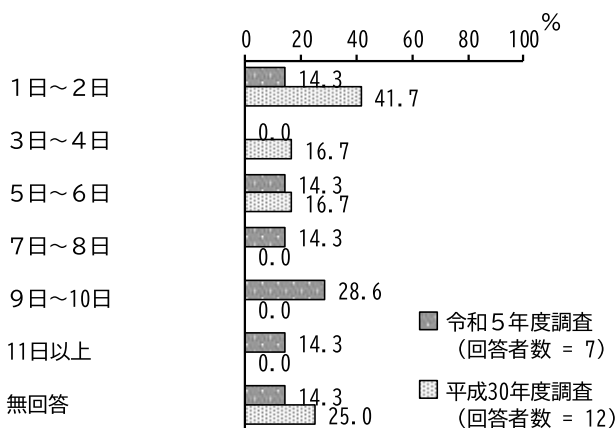


子育てリフレッシュステイの利用日数（年間）

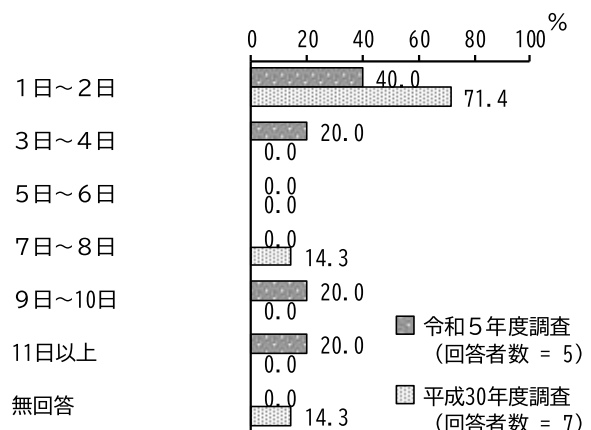
小学生低学年保護者では、「9日～10日」が2件となっています。「1日～2日」、「5日～6日」、「7日～8日」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」が2件となっています。「3日～4日」、「9日～10日」、「11日以上」が1件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



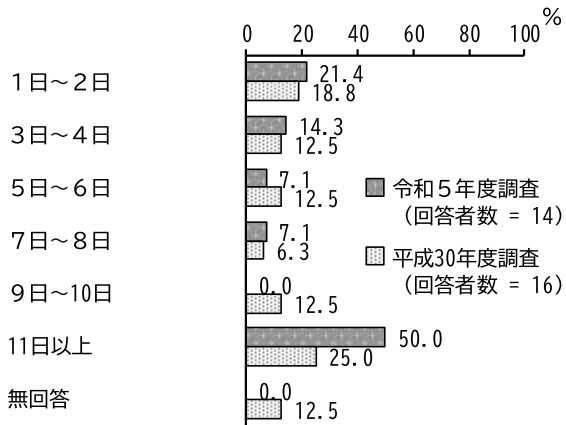
ベビーシッターの利用日数（年間）

小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が21.4%、「3日～4日」の割合が14.3%となっています。

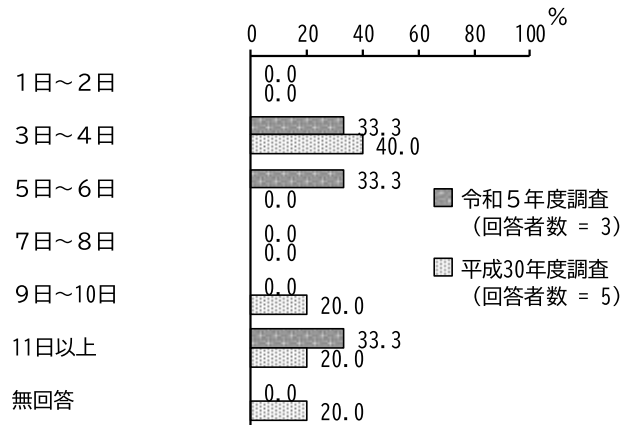
平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が25ポイント増加しています。一方、「5日～6日」の割合が5.4ポイント、「9日～10日」の割合が12.5ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「3日～4日」、「5日～6日」、「11日以上」が1件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



その他の施設の利用日数（年間）

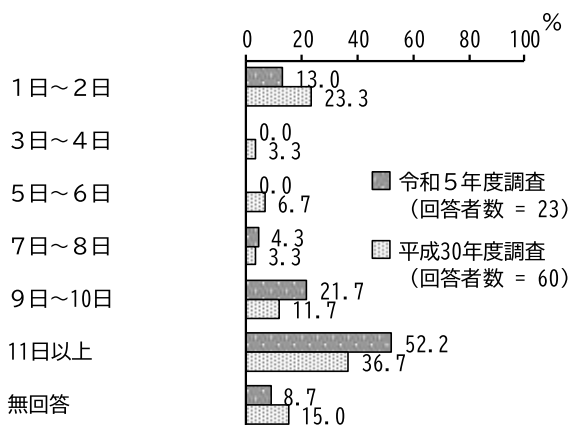
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が52.2%と最も高く、次いで「9日～10日」の割合が21.7%、「1日～2日」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9日～10日」の割合が10ポイント、「11日以上」の割合が15.5ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が10.3ポイント、「5日～6日」の割合が6.7ポイント減少しています。

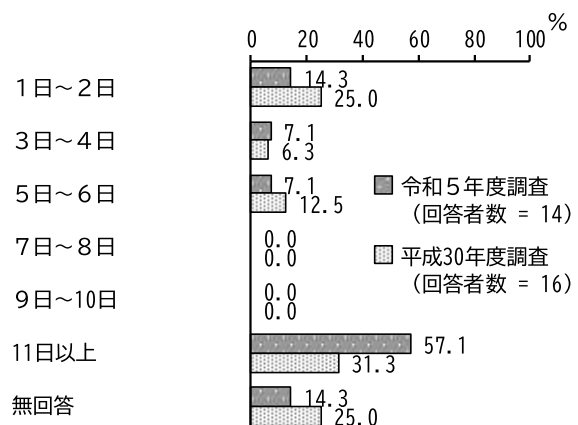
小学生高学年保護者では、「11日以上」の割合が57.1%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が25.8ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が10.7ポイント、「5日～6日」の割合が5.4ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 18-1 問 18 で「5. 利用していない」と答えた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

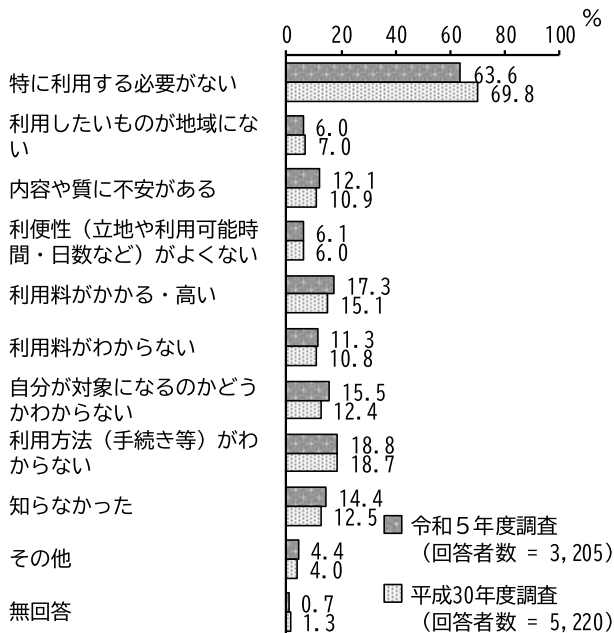
小学生低学年保護者では、「特に利用する必要がない」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 18.8%、「利用料がかかる・高い」の割合が 17.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合が 6.2 ポイント減少しています。

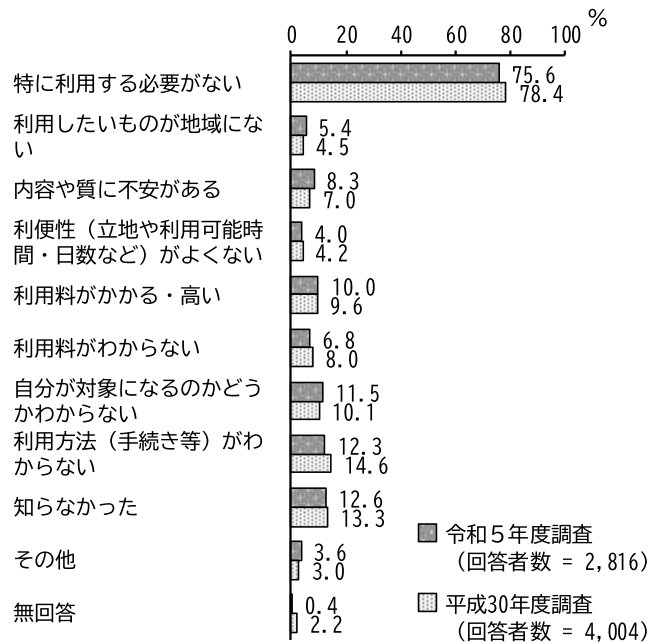
小学生高学年保護者では、「特に利用する必要がない」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 12.6%、「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 12.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問19 すべての方にかがいます。

私用、リフレッシュ、冠婚葬祭、学校行事、家族の通院、不定期の就労等の目的で、問18のような事業を利用したいと思いませんか（○は1つ）。
現在利用している方もお答えください。

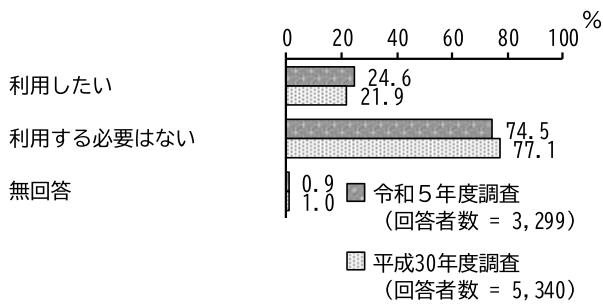
小学生低学年保護者では、「利用したい」の割合が24.6%、「利用する必要はない」の割合が74.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

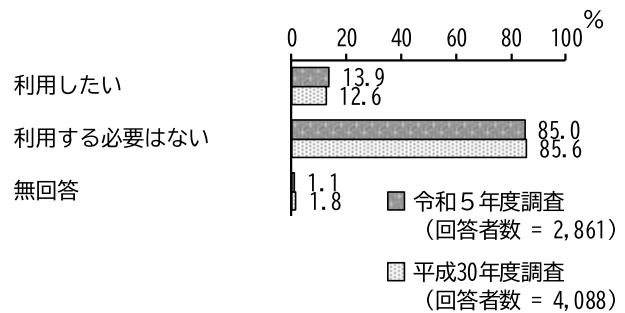
小学生高学年保護者では、「利用したい」の割合が13.9%、「利用する必要はない」の割合が85.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 19-1 問 19 で「1. 利用したい」と答えた方にうかがいます。

どのような事業を利用したいと思いますか

(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

1年間の希望利用日数についても()内にご記入ください。

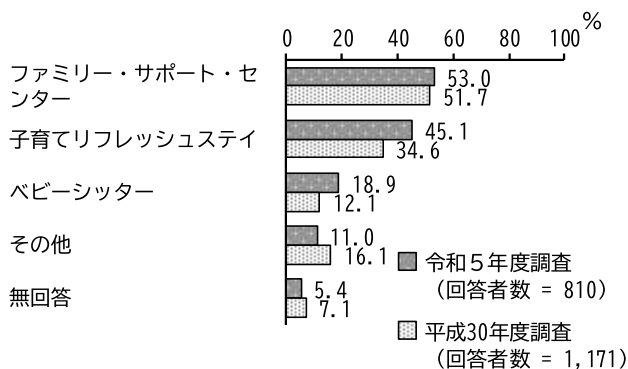
小学生低学年保護者では、「ファミリー・サポート・センター」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「子育てリフレッシュステイ」の割合が 45.1%、「ベビーシッター」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てリフレッシュステイ」の割合が 10.5 ポイント、「ベビーシッター」の割合が 6.8 ポイント増加しています。

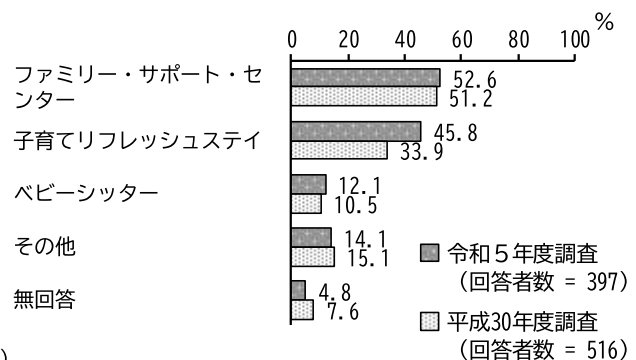
小学生高学年保護者では、「ファミリー・サポート・センター」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「子育てリフレッシュステイ」の割合が 45.8%、「ベビーシッター」の割合が 12.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てリフレッシュステイ」の割合が 11.9 ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



ファミリー・サポート・センターの希望利用日数（年間）

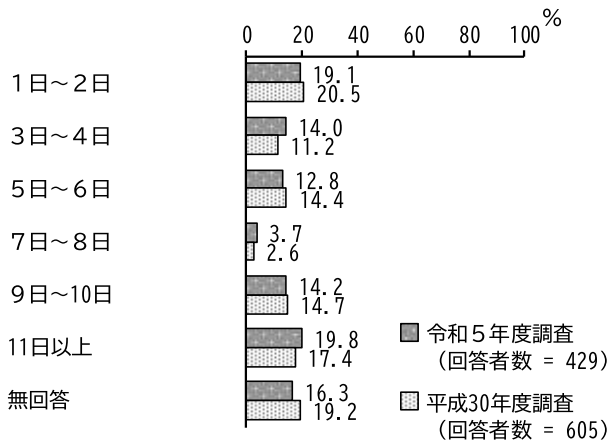
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が19.8%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が19.1%、「9日～10日」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

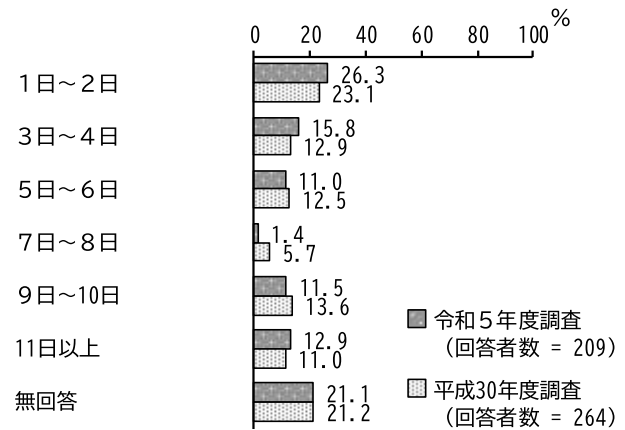
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が15.8%、「11日以上」の割合が12.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



子育てリフレッシュステイの希望利用日数（年間）

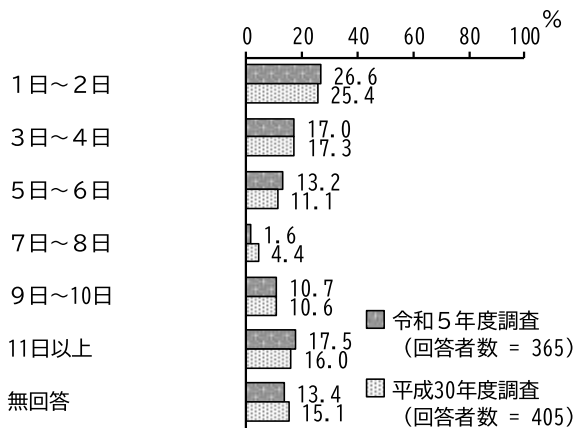
小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が26.6%と最も高く、次いで「11日以上」の割合が17.5%、「3日～4日」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

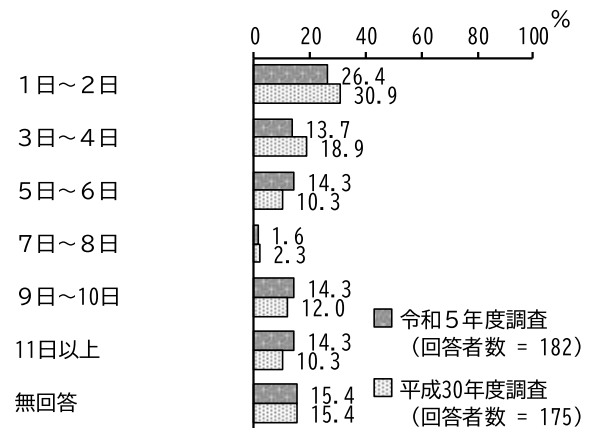
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が26.4%と最も高く、次いで「5日～6日」、「9日～10日」、「11日以上」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が5.2ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



ベビーシッターの希望利用日数（年間）

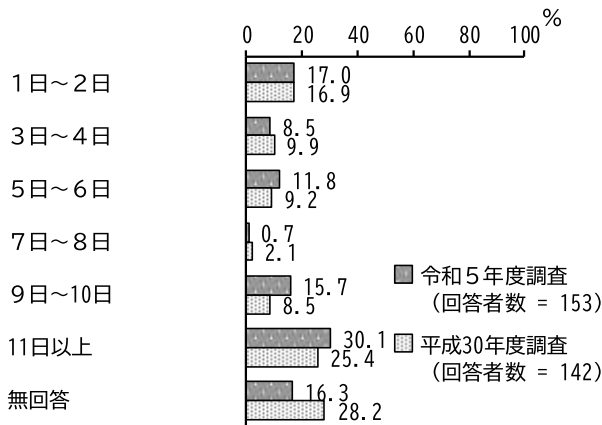
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が30.1%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が17.0%、「9日～10日」の割合が15.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9日～10日」の割合が7.2ポイント増加しています。

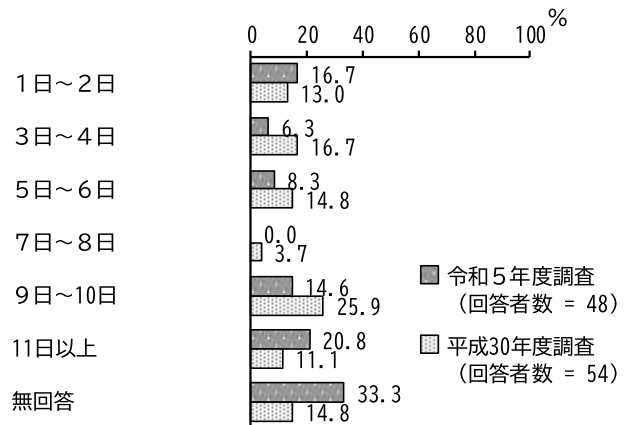
小学生高学年保護者では、「11日以上」の割合が20.8%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が16.7%、「9日～10日」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が9.7ポイント増加しています。一方、「3日～4日」の割合が10.4ポイント、「5日～6日」の割合が6.5ポイント、「9日～10日」の割合が11.3ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



その他の施設の希望利用日数（年間）

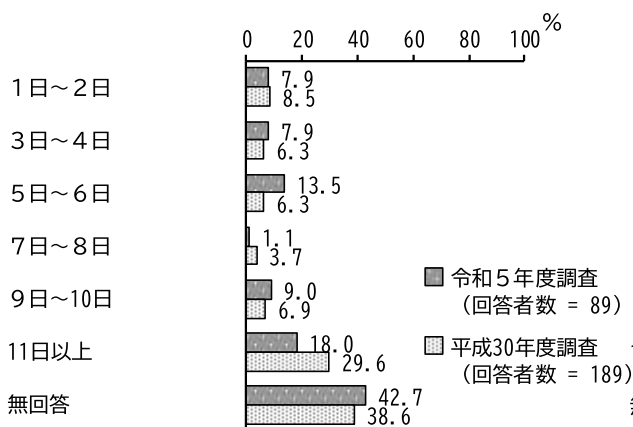
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が18.0%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日～6日」の割合が7.2ポイント増加しています。一方、「11日以上」の割合が11.6ポイント減少しています。

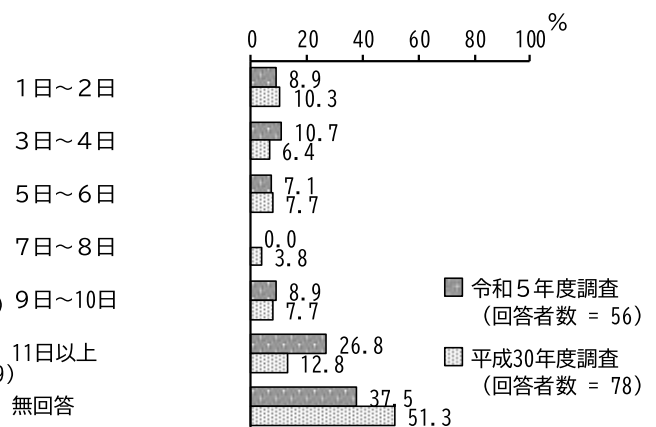
小学生高学年保護者では、「11日以上」の割合が26.8%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が14ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 19-2 問 19 で「1. 利用したい」と答えた方にかがいます。
 どのような目的で事業を利用したいと思ひますか
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。
 1年間の希望利用日数についても () 内にご記入ください。

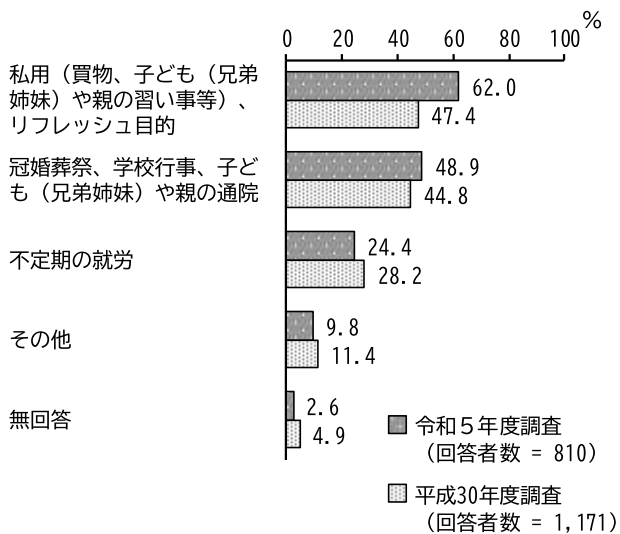
小学生低学年保護者では、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が62.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹)や親の通院」の割合が48.9%、「不定期の就労」の割合が24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が14.6ポイント増加しています。

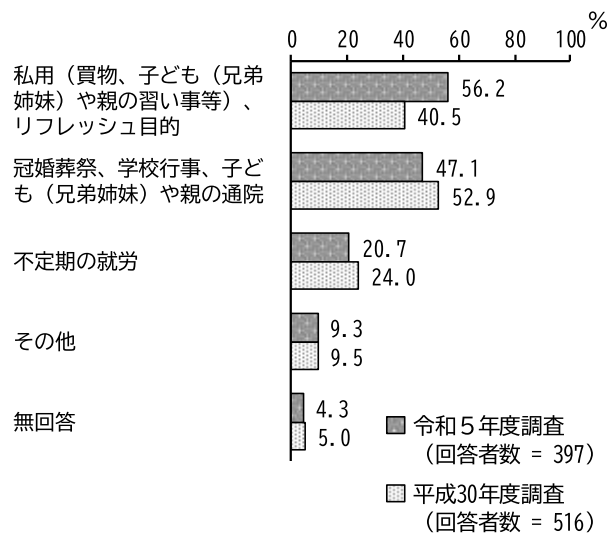
小学生高学年保護者では、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が56.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹)や親の通院」の割合が47.1%、「不定期の就労」の割合が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が15.7ポイント増加しています。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹)や親の通院」の割合が5.8ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的の希望利用日数（年間）

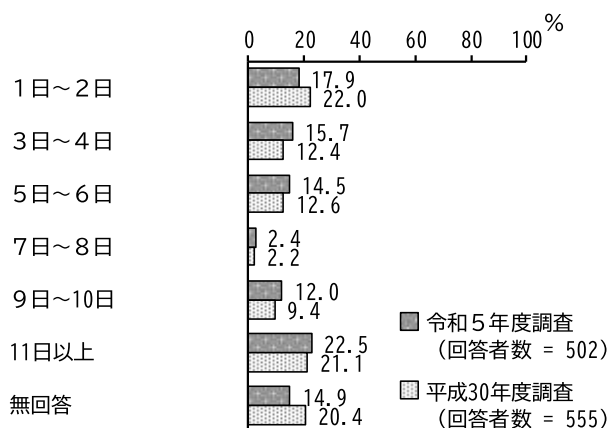
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が22.5%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が17.9%、「3日～4日」の割合が15.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

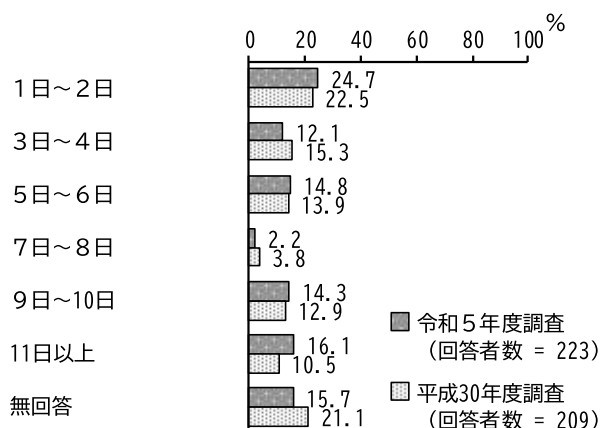
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が24.7%と最も高く、次いで「11日以上」の割合が16.1%、「5日～6日」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が5.6ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院の希望利用日数（年間）

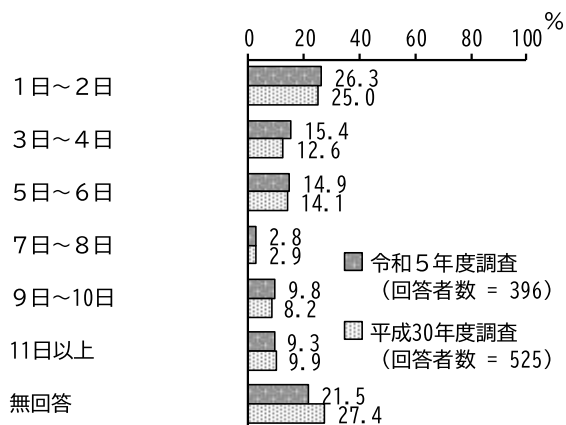
小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が15.4%、「5日～6日」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

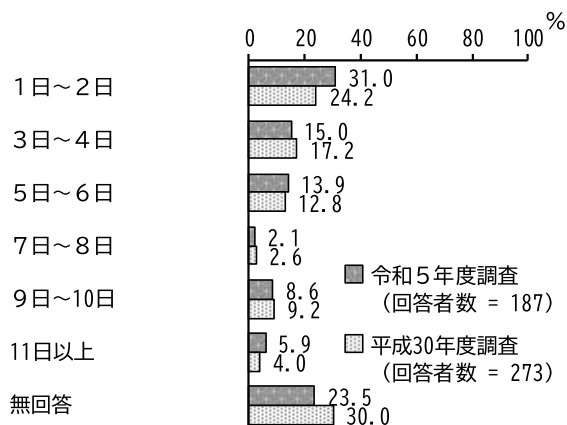
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が31.0%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が15.0%、「5日～6日」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日～2日」の割合が6.8ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



不定期の就労の希望利用日数（年間）

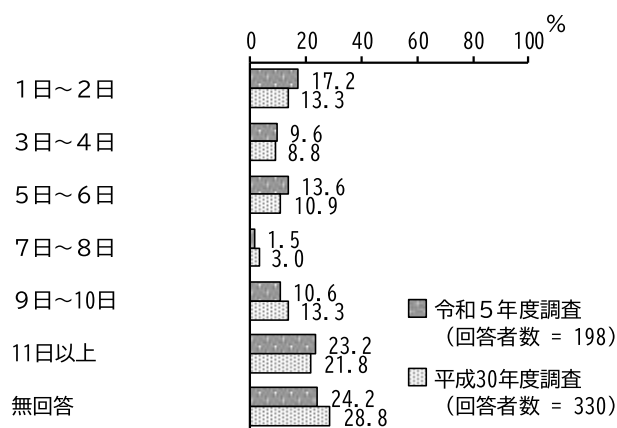
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が23.2%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が17.2%、「5日～6日」の割合が13.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

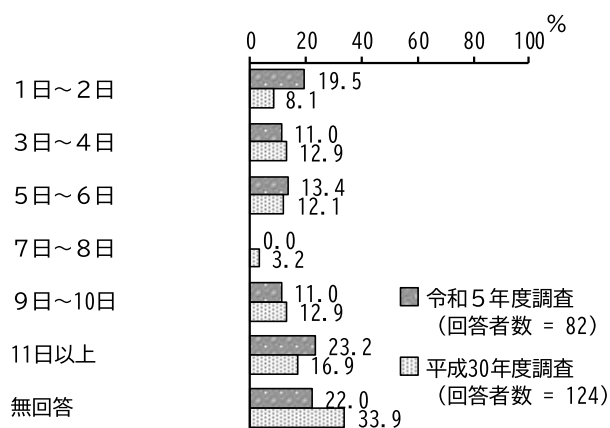
小学生高学年保護者では、「11日以上」の割合が23.2%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が19.5%、「5日～6日」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日～2日」の割合が11.4ポイント、「11日以上」の割合が6.3ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



その他の施設の希望利用日数（年間）

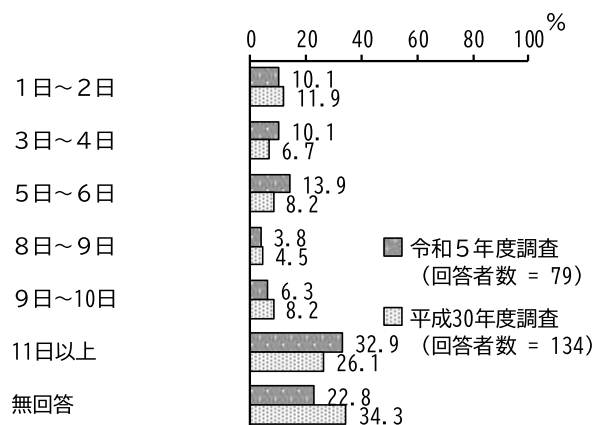
小学生低学年保護者では、「11日以上」の割合が32.9%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が13.9%、「1日～2日」、「3日～4日」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日～6日」の割合が5.7ポイント、「11日以上」の割合が6.8ポイント増加しています。

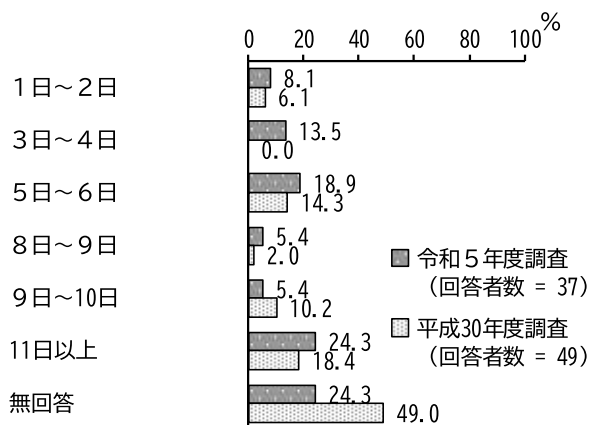
小学生高学年保護者では、「11日以上」の割合が24.3%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が18.9%、「3日～4日」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が5.9ポイント増加しています。

【小学生低学年保護者】



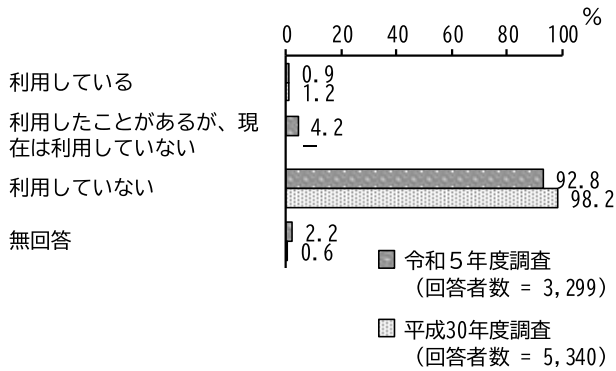
【小学生高学年保護者】



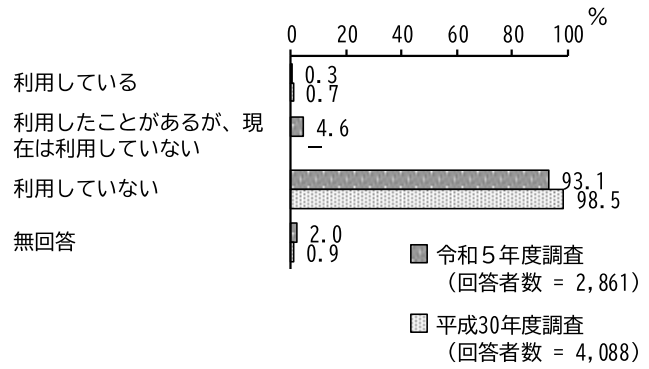
問 20 ファミリー・サポート・センター（地域会員相互の援助活動としての子どもの預かり）を利用していますか（○は1つ）。

小学生低学年保護者では、「利用していない」の割合が 92.8%と最も高くなっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が 5.4 ポイント減少しています。小学生高学年保護者では、「利用していない」の割合が 93.1%と最も高くなっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が 5.4 ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



※前回調査では、「利用したことがあるが、現在は利用していない」の選択肢はありませんでした。

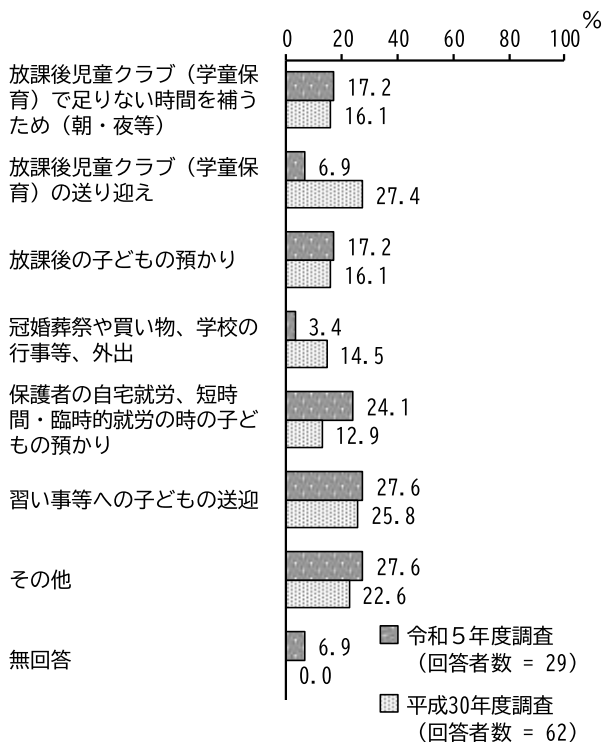
問 20-1 問 20 で「1. 利用している」と答えた方にかがいます。
 どのような目的で利用していますか
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。

小学生低学年保護者では、「習い事等への子どもの送迎」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の時の子どもの預かり」の割合が 24.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)で足りない時間を補うため(朝・夜等)」、「放課後の子どもの預かり」の割合が 17.2%となっています。

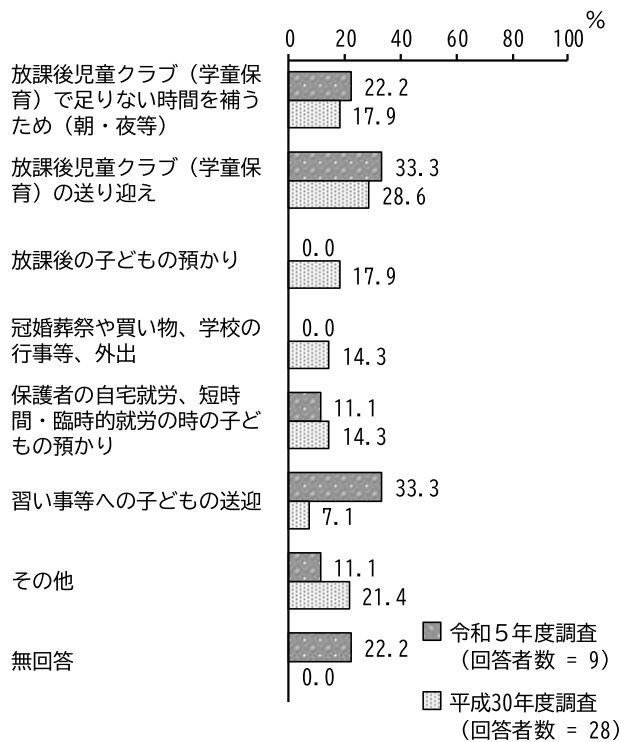
平成 30 年度調査と比較すると、「保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の時の子どもの預かり」の割合が 11.2 ポイント増加しています。一方、「放課後児童クラブ(学童保育)の送り迎え」の割合が 20.5 ポイント、「冠婚葬祭や買い物、学校の行事等、外出」の割合が 11.1 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「放課後児童クラブ(学童保育)の送り迎え」、「習い事等への子どもの送迎」が3件となっています。「放課後児童クラブ(学童保育)で足りない時間を補うため(朝・夜等)」が2件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



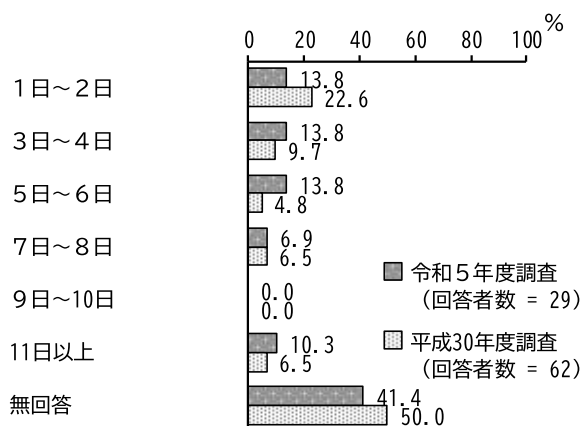
利用日数（1か月あたり）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」、「3日～4日」、「5日～6日」の割合が13.8%と最も高くなっています。

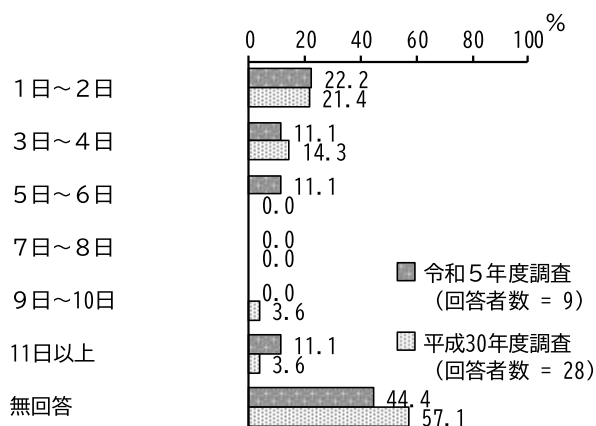
平成30年度調査と比較すると、「5日～6日」の割合が9ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が8.8ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」が2件となっています。「3日～4日」、「5日～6日」、「11日以上」が1件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



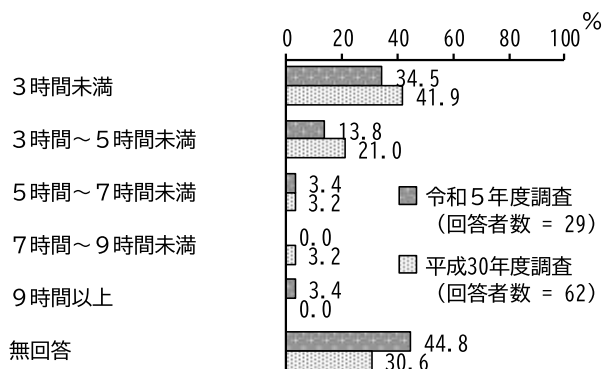
利用時間（1回あたり）

小学生低学年保護者では、「3時間未満」の割合が34.5%と最も高く、次いで「3時間～5時間未満」の割合が13.8%となっています。

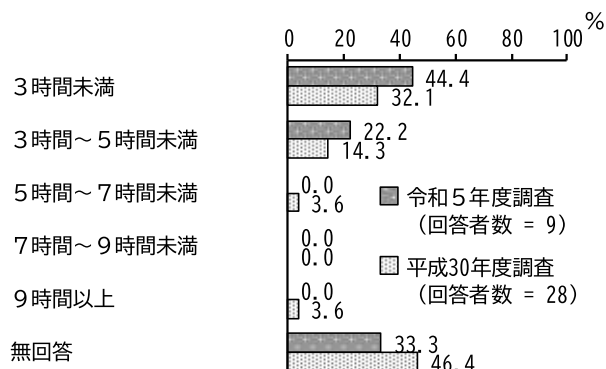
平成30年度調査と比較すると、「3時間未満」の割合が7.4ポイント、「3時間～5時間未満」の割合が7.2ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「3時間未満」が4件となっています。「3時間～5時間未満」が2件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 20-3 利用を増やしたいと思いませんか。増やしたい場合は希望の利用頻度を
 () 内に数字をご記入ください。

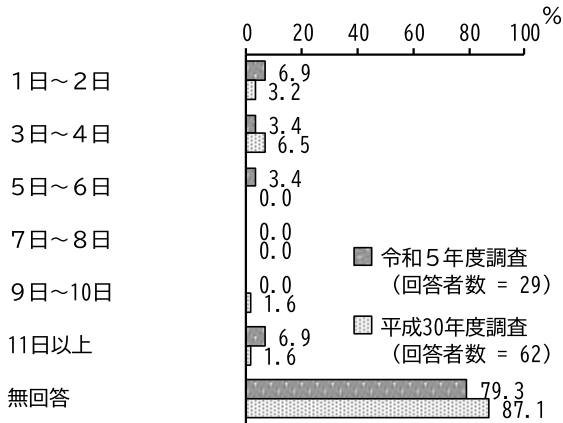
希望利用日数（1か月あたり）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」、「11日以上」の割合が6.9%と最も高くなっています。

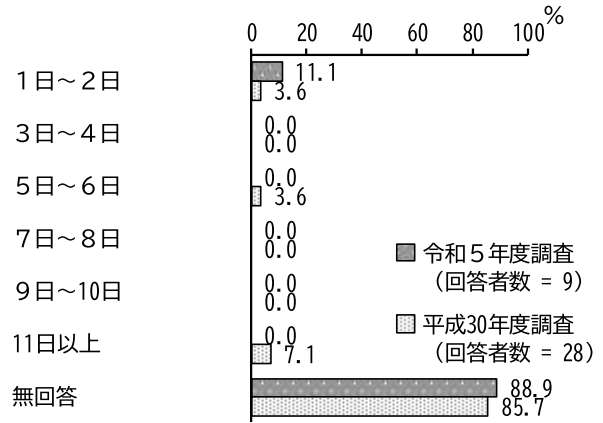
平成30年度調査と比較すると、「11日以上」の割合が5.3ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」が1件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



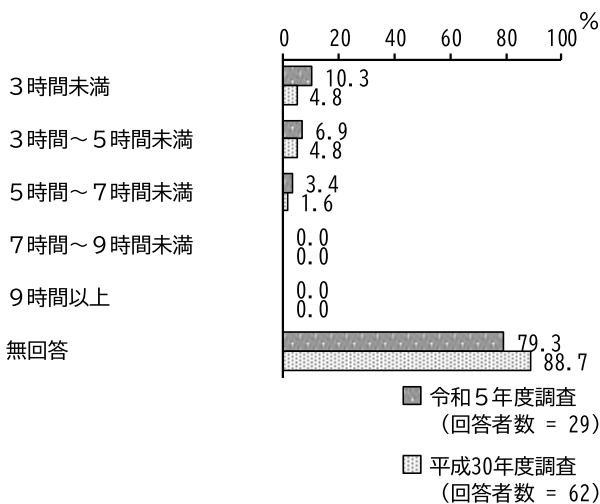
希望利用時間（1回あたり）

小学生低学年保護者では、「3時間未満」の割合が10.3%と最も高くなっています。

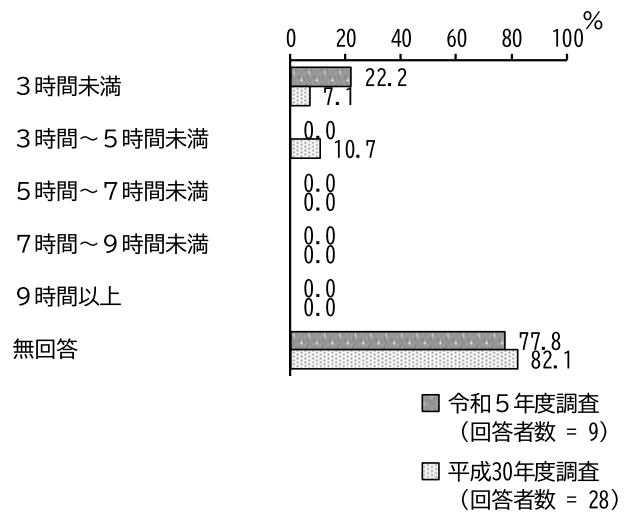
平成30年度調査と比較すると、「3時間未満」の割合が5.5ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「3時間未満」が2件となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 20-4 問 20 で「2. 利用したことがあるが、現在は利用していない」「3. 利用していない」と答えた方にうかがいます。
ファミリー・サポート・センターを利用していない主な理由について、お答えください（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

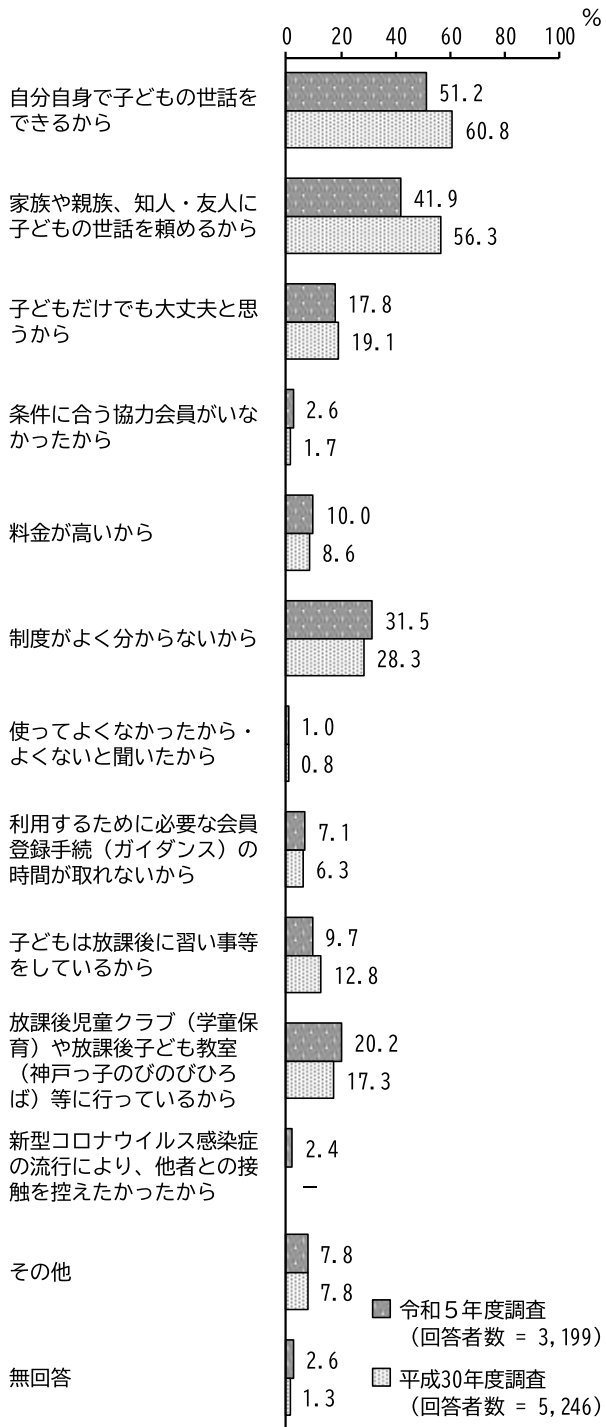
小学生低学年保護者では、「自分自身で子どもの世話をできるから」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「家族や親族、知人・友人に子どもの世話を頼めるから」の割合が 41.9%、「制度がよく分からないから」の割合が 31.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自分自身で子どもの世話をできるから」の割合が 9.6 ポイント、「家族や親族、知人・友人に子どもの世話を頼めるから」の割合が 14.4 ポイント減少しています。

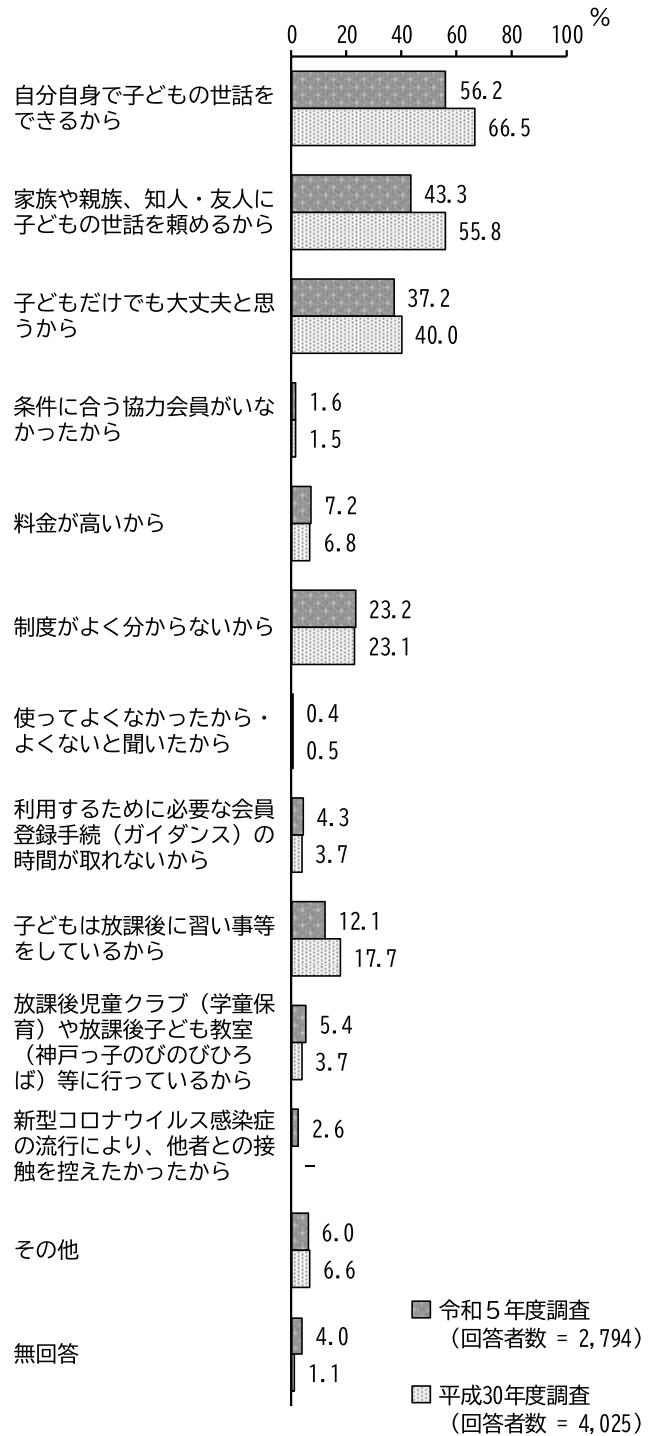
小学生高学年保護者では、「自分自身で子どもの世話をできるから」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「家族や親族、知人・友人に子どもの世話を頼めるから」の割合が 43.3%、「子どもだけでも大丈夫と思うから」の割合が 37.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自分自身で子どもの世話をできるから」の割合が 10.3 ポイント、「家族や親族、知人・友人に子どもの世話を頼めるから」の割合が 12.5 ポイント、「子どもは放課後に習い事等をしているから」の割合が 5.6 ポイント減少しています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



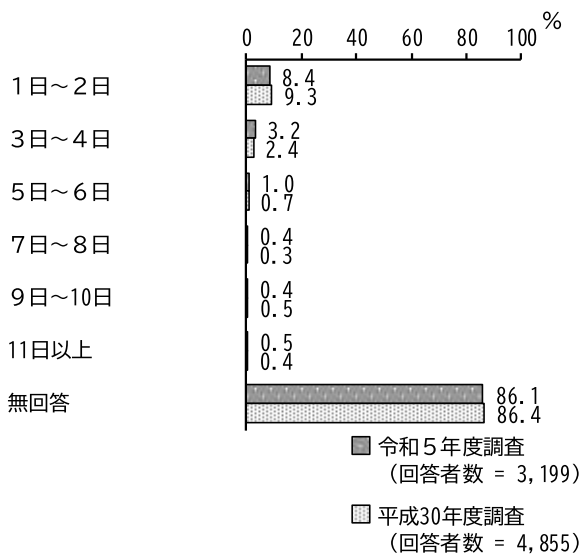
※前回調査では、「新型コロナウイルス感染症の流行により、他者との接触を控えたかったから」の選択肢はありませんでした。

問 20-5 今は利用していないが、今後できれば利用したいですか。利用したい方は、希望の利用頻度を（ ）内に数字でご記入ください。

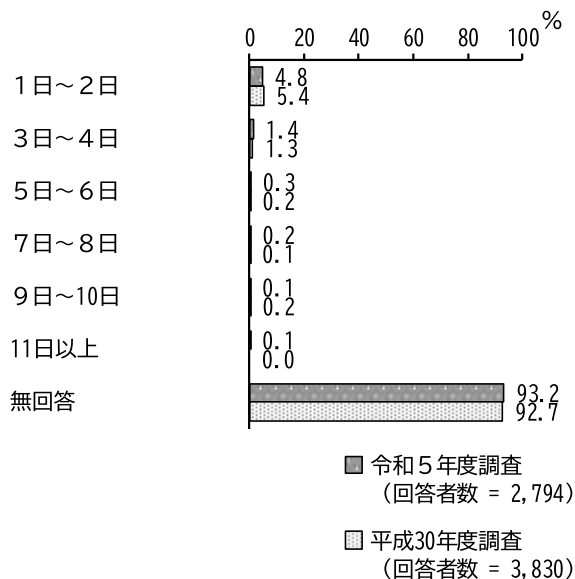
希望利用日数（1か月あたり）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が8.4%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
 小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が4.8%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



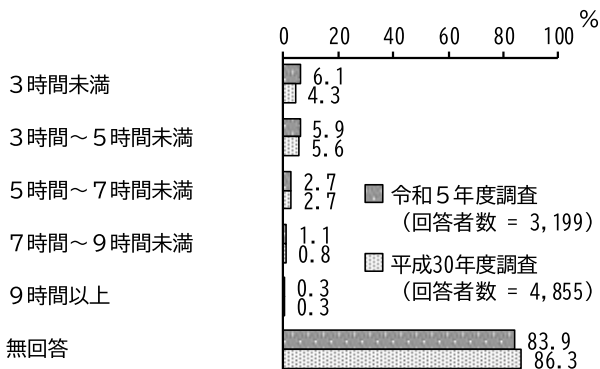
【小学生高学年保護者】



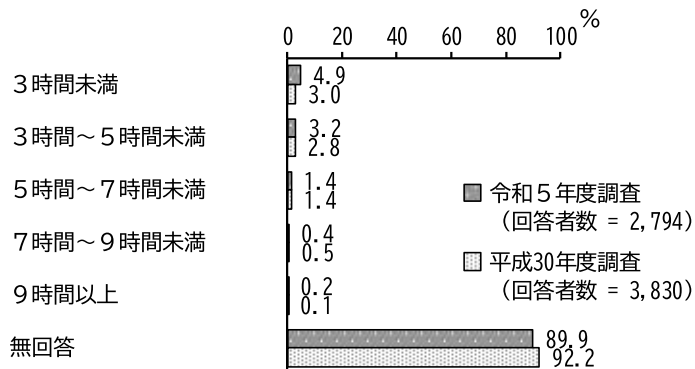
希望利用時間（1回あたり）

小学生低学年保護者では、「3時間未満」の割合が6.1%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
 小学生高学年保護者では、「3時間未満」の割合が4.9%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



(6) 宛名のお子さんの病気やケガの際の対応について

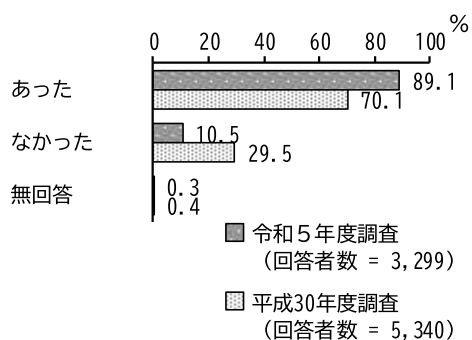
問 21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか
(○は1つ)。

小学生低学年保護者では、「あった」の割合が 89.1%、「なかった」の割合が 10.5%となっています。

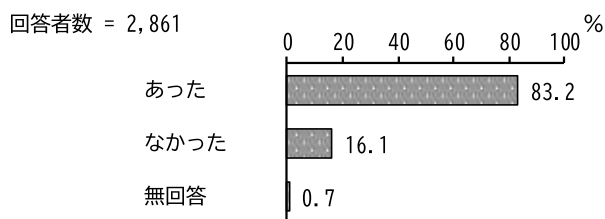
平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が 19 ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「あった」の割合が 83.2%、「なかった」の割合が 16.1%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



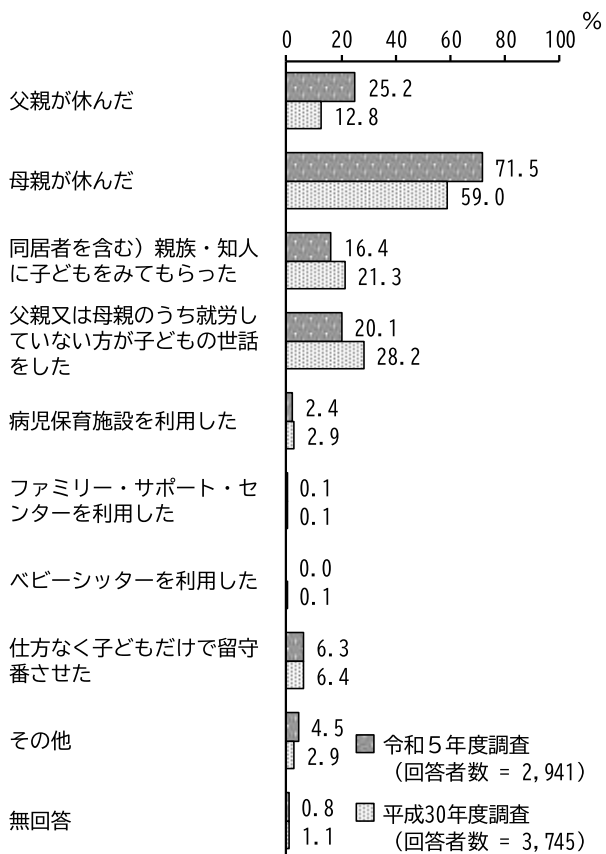
問 21-1 問 21 で「1. あった」とと答えた方にうかがいます。
 その場合の、この1年間の対処方法を教えてください
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)。
 それぞれの日数も () 内に数字でご記入ください
 (半日程度の対応も1日とカウントしてください)。

小学生低学年保護者では、「母親が休んだ」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 25.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもの世話をした」の割合が 20.1%となっています。

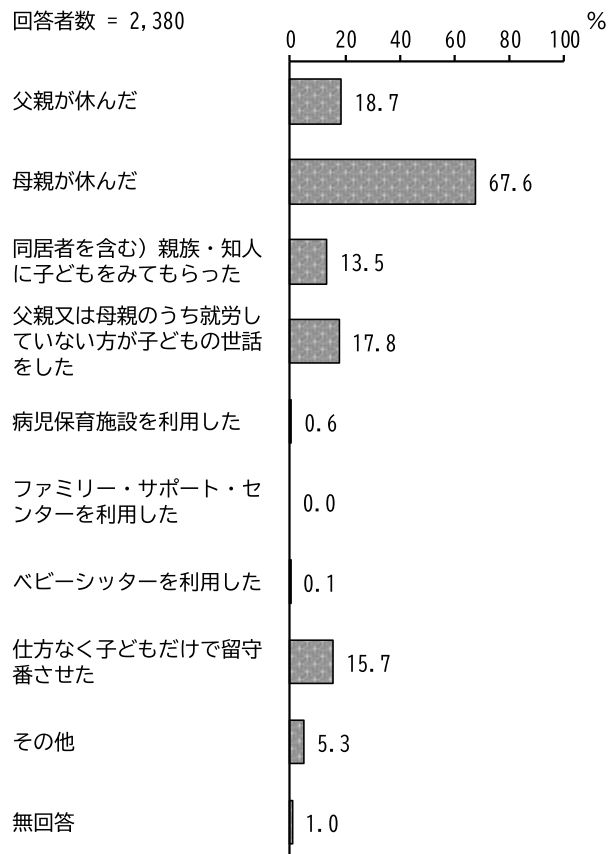
平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が 12.4 ポイント、「母親が休んだ」の割合が 12.5 ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「母親が休んだ」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 18.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもの世話をした」の割合が 17.8%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



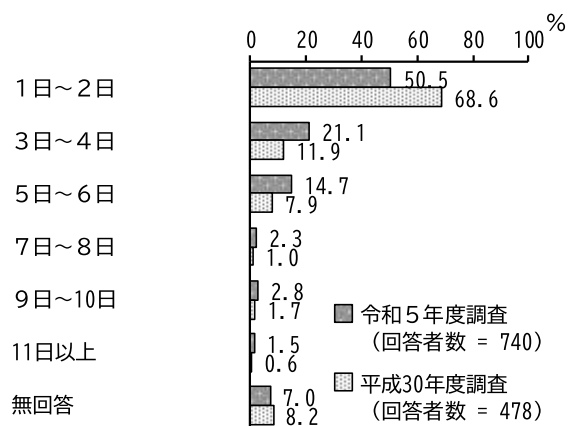
父親が休んだ日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 21.1%、「5日～6日」の割合が 14.7%となっています。

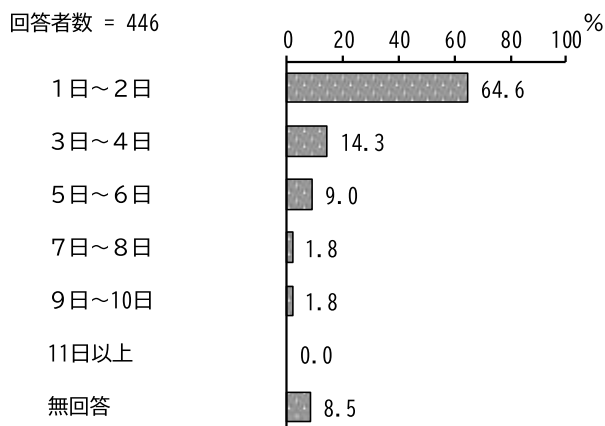
平成 30 年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が 9.2 ポイント、「5日～6日」の割合が 6.8 ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が 18.1 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 14.3%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



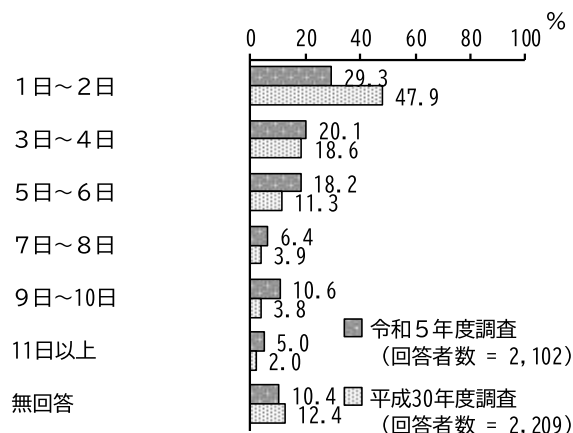
母親が休んだ日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 20.1%、「5日～6日」の割合が 18.2%となっています。

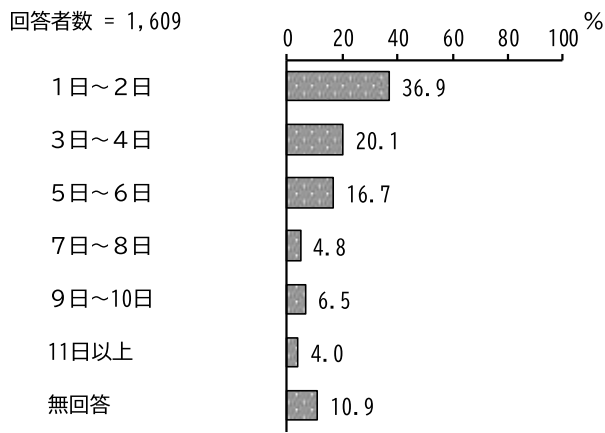
平成 30 年度調査と比較すると、「5日～6日」の割合が 6.9 ポイント、「9日～10日」の割合が 6.8 ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が 18.6 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 20.1%、「5日～6日」の割合が 16.7%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



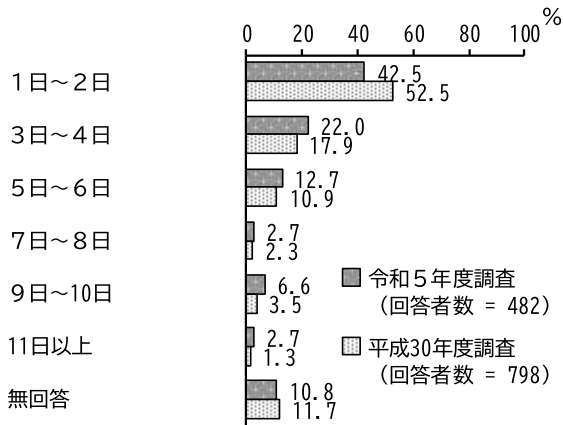
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数 (年間)

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が42.5%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が22.0%、「5日～6日」の割合が12.7%となっています。

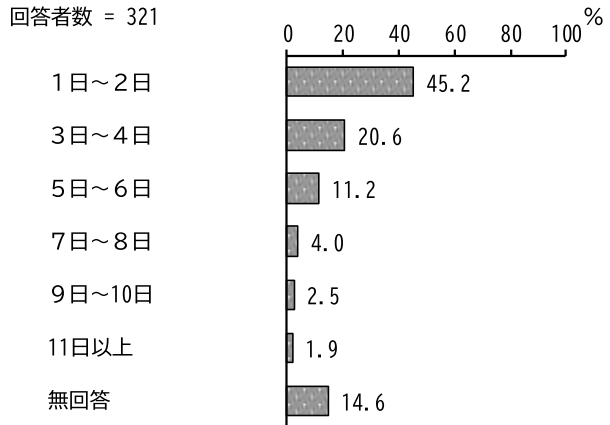
平成30年度調査と比較すると、「1日～2日」の割合が10ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が45.2%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が20.6%、「5日～6日」の割合が11.2%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



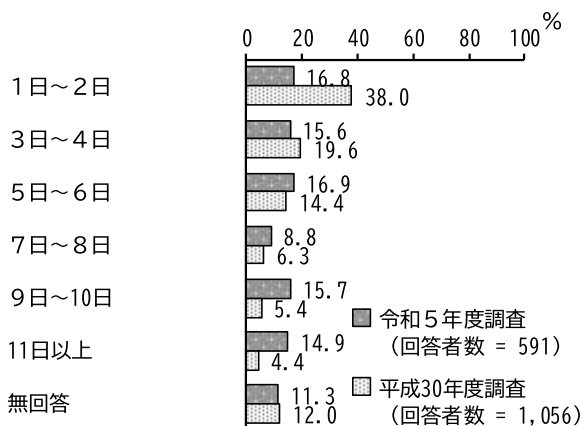
父親又は母親のうち就労していない方が子どもの世話をした日数 (年間)

小学生低学年保護者では、「5日～6日」の割合が16.9%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が16.8%、「9日～10日」の割合が15.7%となっています。

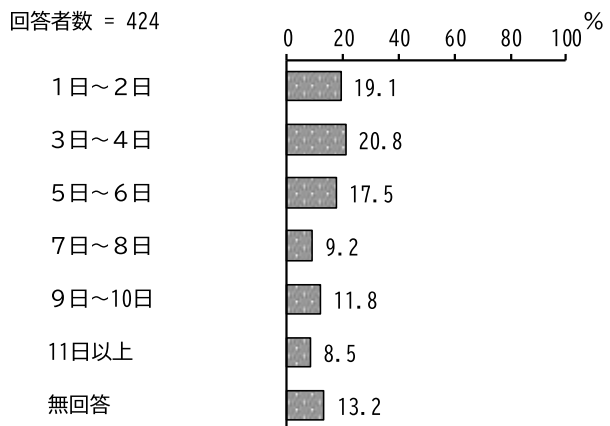
平成30年度調査と比較すると、「9日～10日」の割合が10.3ポイント、「11日以上」の割合が10.5ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が21.2ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「3日～4日」の割合が20.8%と最も高く、次いで「1日～2日」の割合が19.1%、「5日～6日」の割合が17.5%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



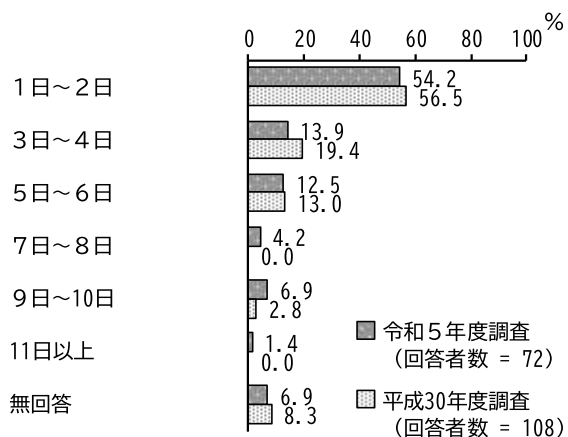
病児保育施設を利用した日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が54.2%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が13.9%、「5日～6日」の割合が12.5%となっています。

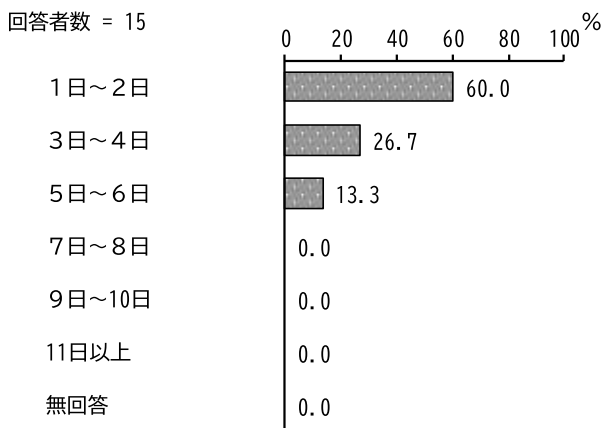
平成30年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が5.5ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が26.7%、「5日～6日」の割合が13.3%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

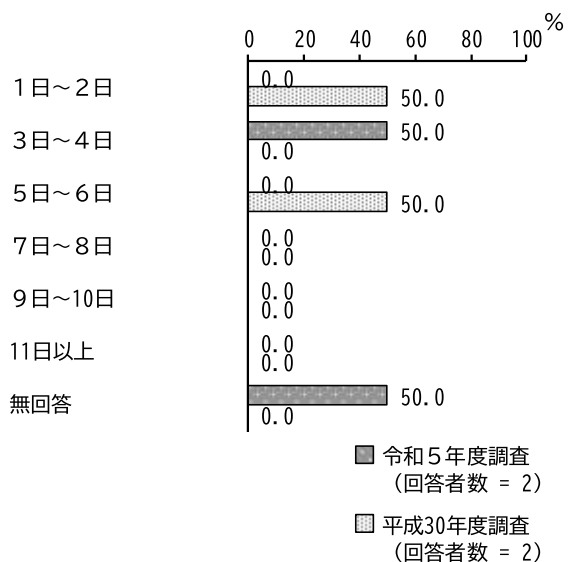


ファミリー・サポート・センターを利用した日数（年間）

小学生低学年保護者では、「3日～4日」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、有効回答がありませんでした。

【小学生低学年保護者】

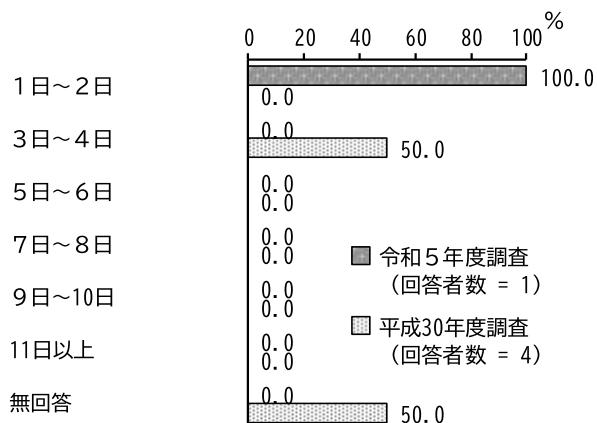


ベビーシッターを利用した日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」が1件となっています。

小学生高学年保護者では、有効回答がありませんでした。

【小学生低学年保護者】



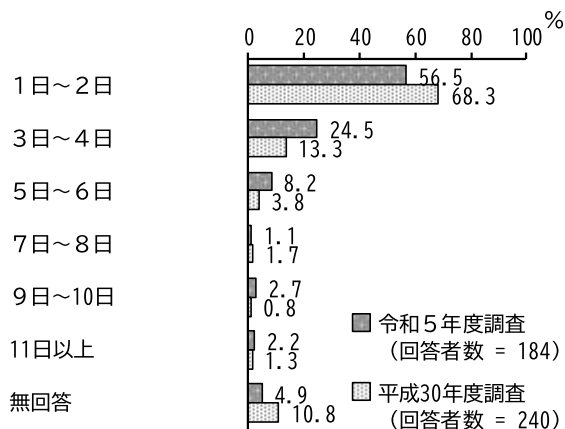
仕方なく子どもだけで留守番させた日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 24.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が 11.2 ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が 11.8 ポイント減少しています。

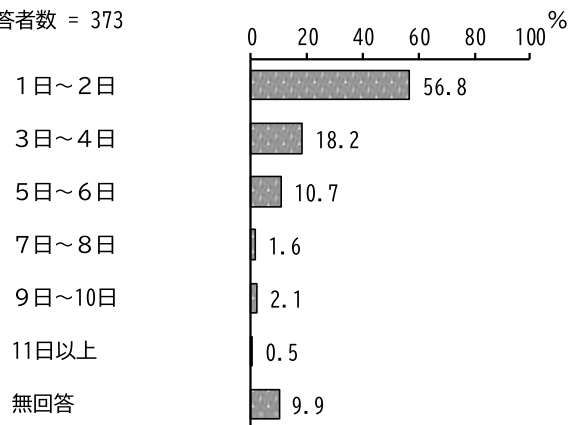
小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 18.2%、「5日～6日」の割合が 10.7%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

回答者数 = 373



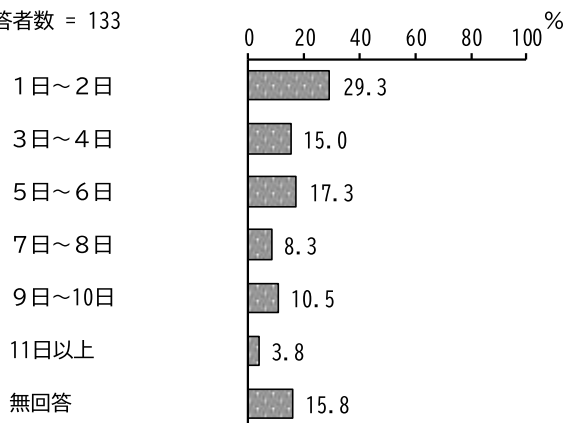
その他の日数（年間）

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が17.3%、「3日～4日」の割合が15.0%となっています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が29.6%と最も高く、次いで「5日～6日」の割合が16.8%、「3日～4日」の割合が16.0%となっています。

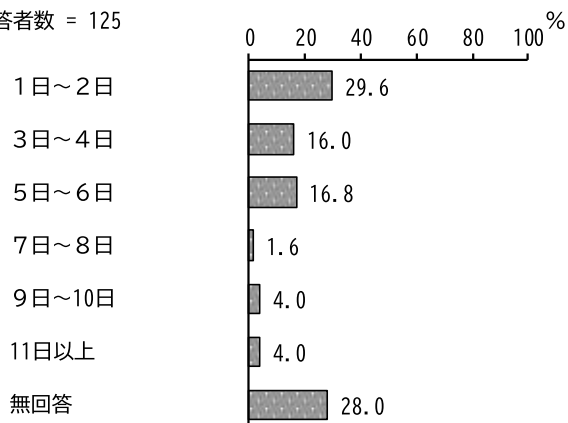
【小学生低学年保護者】

回答者数 = 133



【小学生高学年保護者】

回答者数 = 125



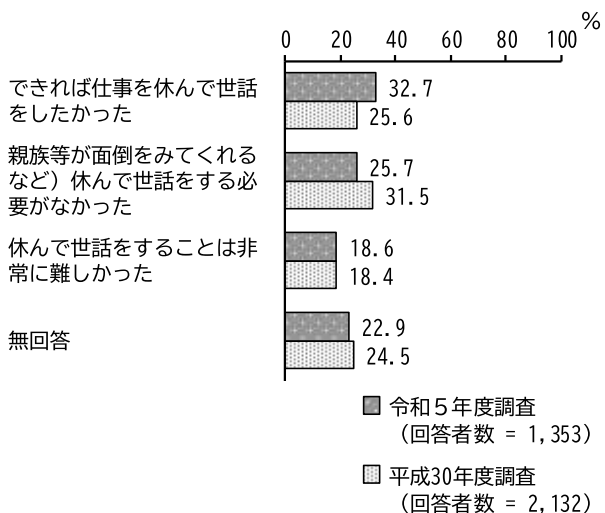
問 21-2 問 21-1 で「3.」から「9.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。
『できれば父母のいずれかが仕事を休んで世話をしたい』と思われましたか
(○は1つ)。
「3.」～「9.」の日数のうち、仕事を休んで世話をしたかった日数について
も () 内に数字でご記入ください。

小学生低学年保護者では、「できれば仕事を休んで世話をしたかった」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「親族等が面倒をみてくれるなど）休んで世話をする必要がなかった」の割合が 25.7%、「休んで世話をすることは非常に難しかった」の割合が 18.6%となっています。

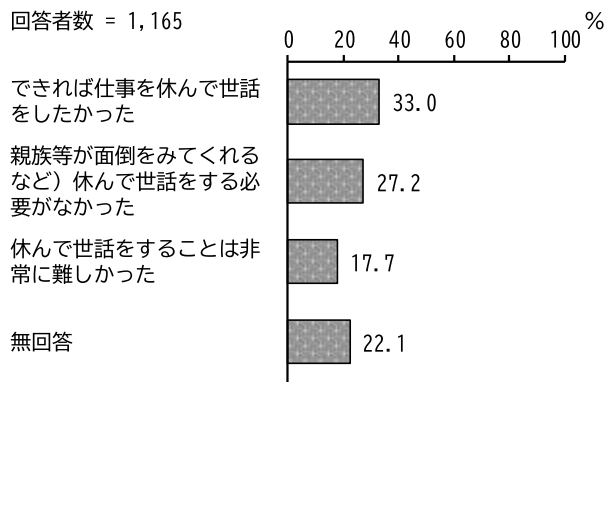
平成 30 年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで世話をしたかった」の割合が 7.1 ポイント増加しています。一方、「親族等が面倒をみてくれるなど）休んで世話をする必要がなかった」の割合が 5.8 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「できれば仕事を休んで世話をしたかった」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「親族等が面倒をみてくれるなど）休んで世話をする必要がなかった」の割合が 27.2%、「休んで世話をすることは非常に難しかった」の割合が 17.7%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



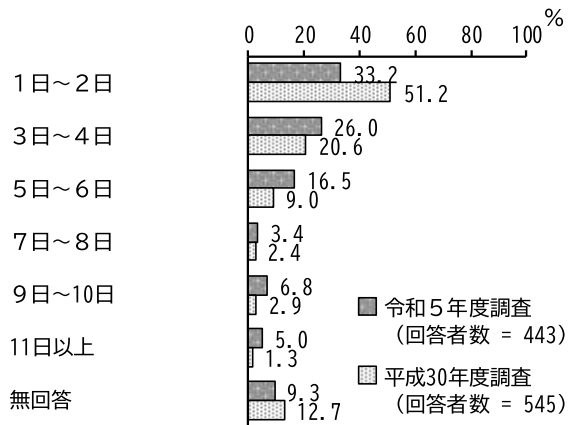
できれば仕事を休んで世話をしたかった日数

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 26.0%、「5日～6日」の割合が 16.5%となっています。

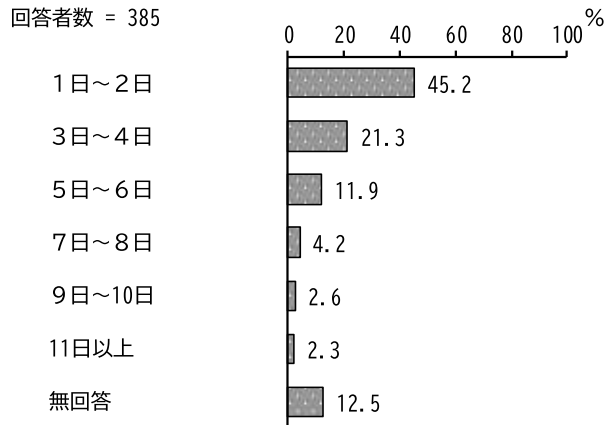
平成 30 年度調査と比較すると、「3日～4日」の割合が 5.4 ポイント、「5日～6日」の割合が 7.5 ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が 18 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 21.3%、「5日～6日」の割合が 11.9%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

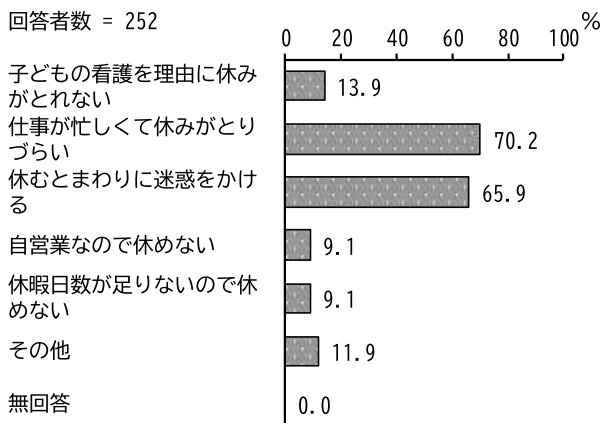


問 21-3 問 21-2 で「3. 休んで世話をすることは非常に難しかった」と答えた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

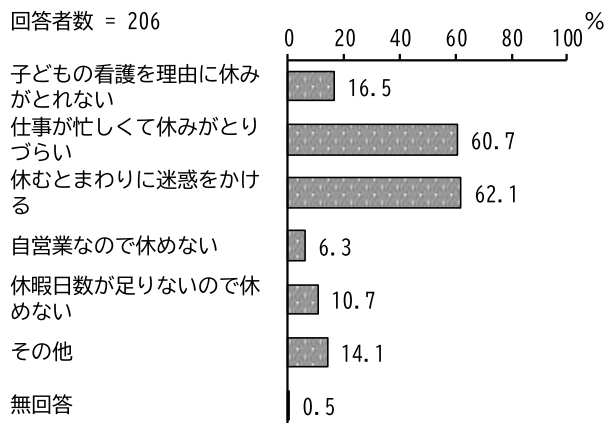
小学生低学年保護者では、「仕事が忙しくて休みがとりづらい」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「休むとまわりに迷惑をかける」の割合が 65.9%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 13.9%となっています。

小学生高学年保護者では、「休むとまわりに迷惑をかける」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて休みがとりづらい」の割合が 60.7%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 16.5%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



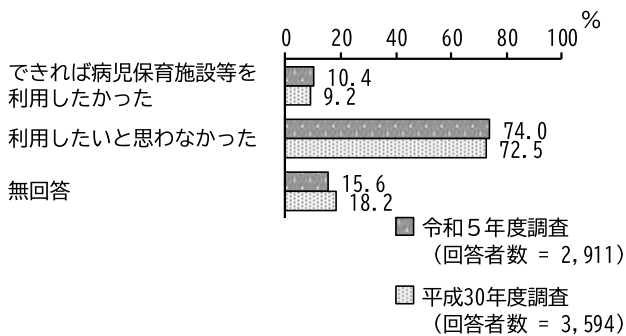
問 21-4 問 21-1 で「5. 病児保育施設」「6. ファミリー・サポート・センター」を選ばなかった方にかがいます。
 その際、「できれば病児保育施設等を利用したい」と思われましたか（○は1つ）。
 そう思われた方は、日数についてもお書きください。

小学生低学年保護者では、「できれば病児保育施設等を利用したかった」の割合が 10.4%、「利用したいと思わなかった」の割合が 74.0%となっています。

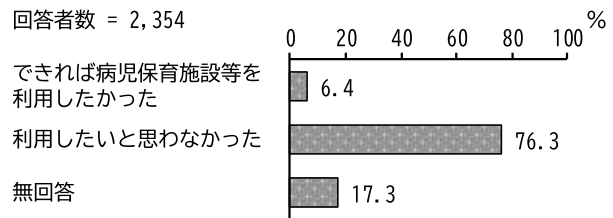
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生高学年保護者では、「できれば病児保育施設等を利用したかった」の割合が 6.4%、「利用したいと思わなかった」の割合が 76.3%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



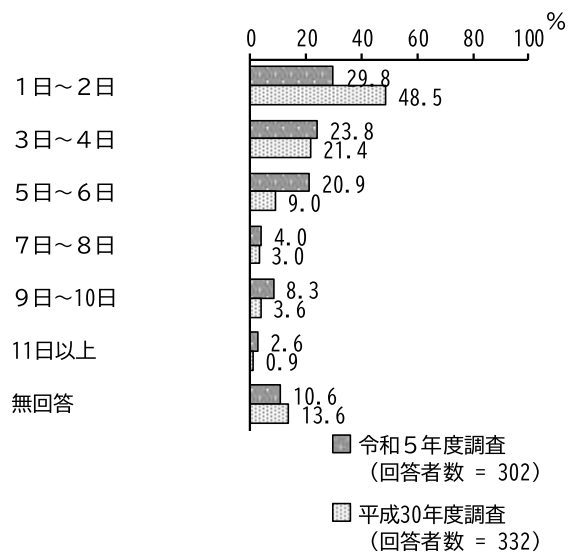
できれば病児保育施設等を利用したかった日数

小学生低学年保護者では、「1日～2日」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 23.8%、「5日～6日」の割合が 20.9%となっています。

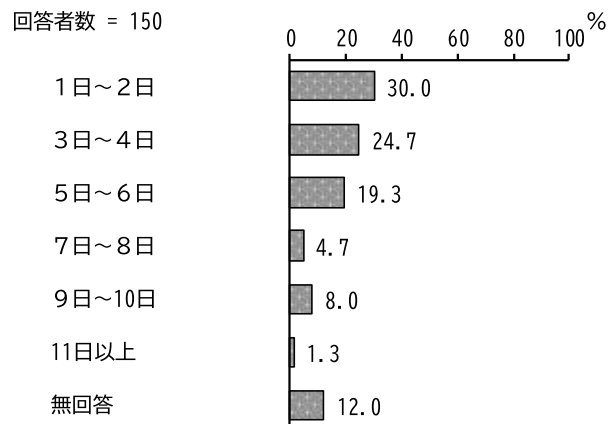
平成 30 年度調査と比較すると、「5日～6日」の割合が 11.9 ポイント増加しています。一方、「1日～2日」の割合が 18.7 ポイント減少しています。

小学生高学年保護者では、「1日～2日」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「3日～4日」の割合が 24.7%、「5日～6日」の割合が 19.3%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】



問 21-5 すべての方にかがいます。

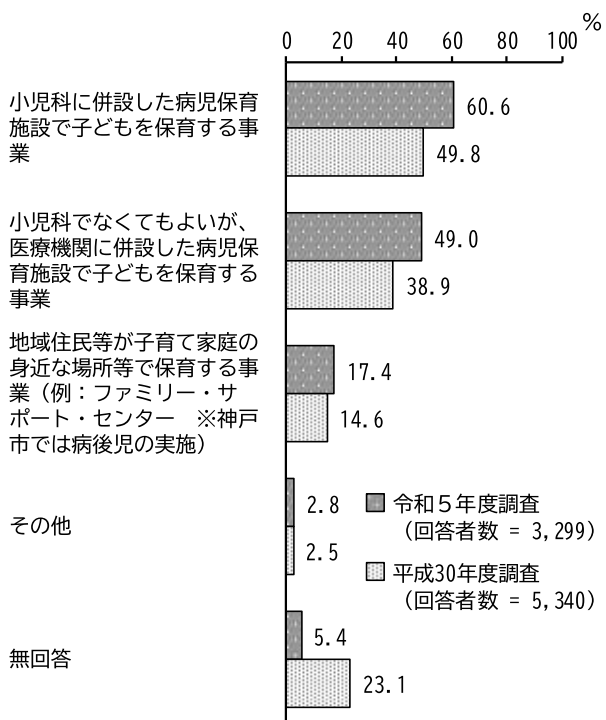
病児保育施設等を利用するにあたっては、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

小学生低学年保護者では、「小児科に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「小児科でなくてもよいが、医療機関に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 49.0%、「地域住民等が子育て家庭の身近な場所等で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター※神戸市では病後児の実施）」の割合が 17.4%となっています。

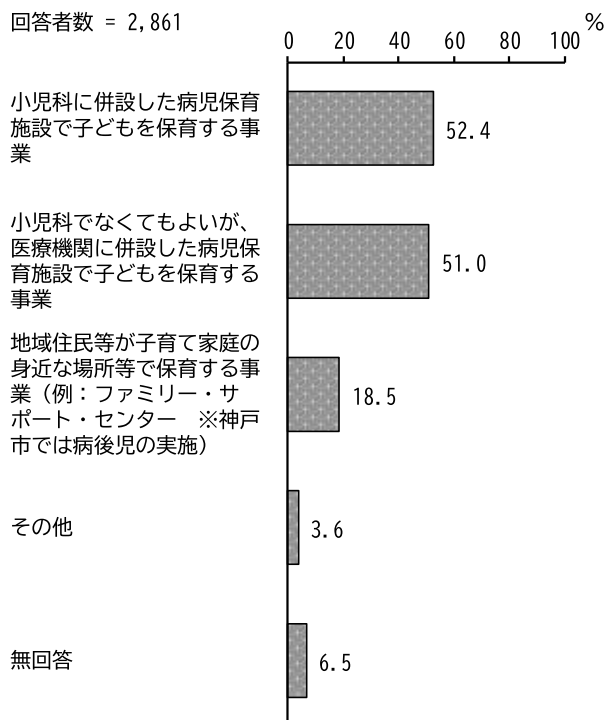
平成 30 年度調査と比較すると、「小児科に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 10.8 ポイント、「小児科でなくてもよいが、医療機関に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 10.1 ポイント増加しています。

小学生高学年保護者では、「小児科に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「小児科でなくてもよいが、医療機関に併設した病児保育施設で子どもを保育する事業」の割合が 51.0%、「地域住民等が子育て家庭の身近な場所等で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター ※神戸市では病後児の実施）」の割合が 18.5%となっています。

【小学生低学年保護者】



【小学生高学年保護者】

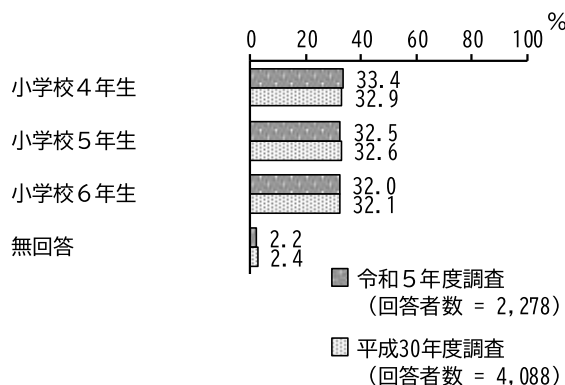


3 小学生高学年本人

(1) あなたや家族のことについて

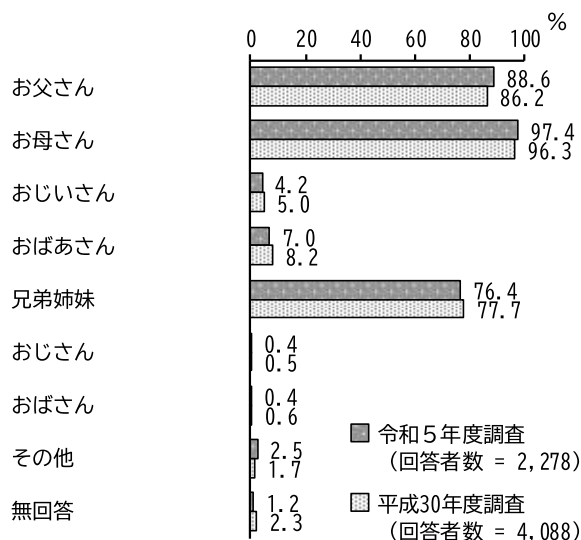
問1 あなたの学年を教えてください（○は1つだけ）。

「小学校4年生」の割合が33.4%と最も高く、次いで「小学校5年生」の割合が32.5%、「小学校6年生」の割合が32.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



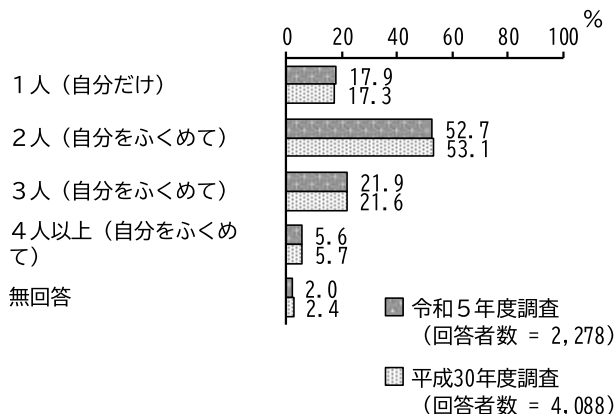
問3 あなたがいっしょに住んでいる人はだれですか（○はあてはまるものすべて）。

「お母さん」の割合が97.4%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が88.6%、「兄弟姉妹」の割合が76.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたのきょうだいは、あなたをふくめて何人ですか（○は1つだけ）。

「2人（自分をふくめて）」の割合が52.7%と最も高く、次いで「3人（自分をふくめて）」の割合が21.9%、「1人（自分だけ）」の割合が17.9%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) あなたの放課後の過ごし方について

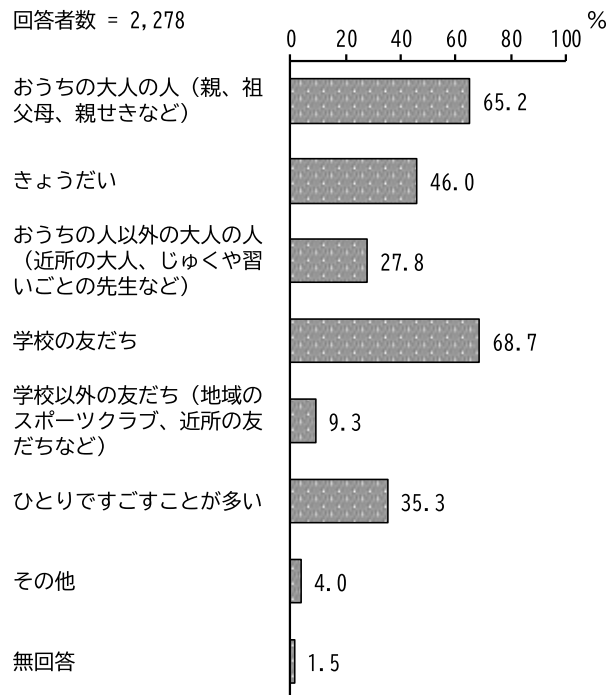
問5 あなたは、月曜日～金曜日の放課後を①だれと、②どこで、過ごすことが多いですか。次の中から、多い順に3つまで選んで、その順番に番号を記入してください（あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません）。

(1) 放課後から午後5時まで

①だれと

「学校の友だち」の割合が68.7%と最も高く、次いで「おうちの大人の人（親、祖父母、親せきなど）」の割合が65.2%、「きょうだい」の割合が46.0%となっています。

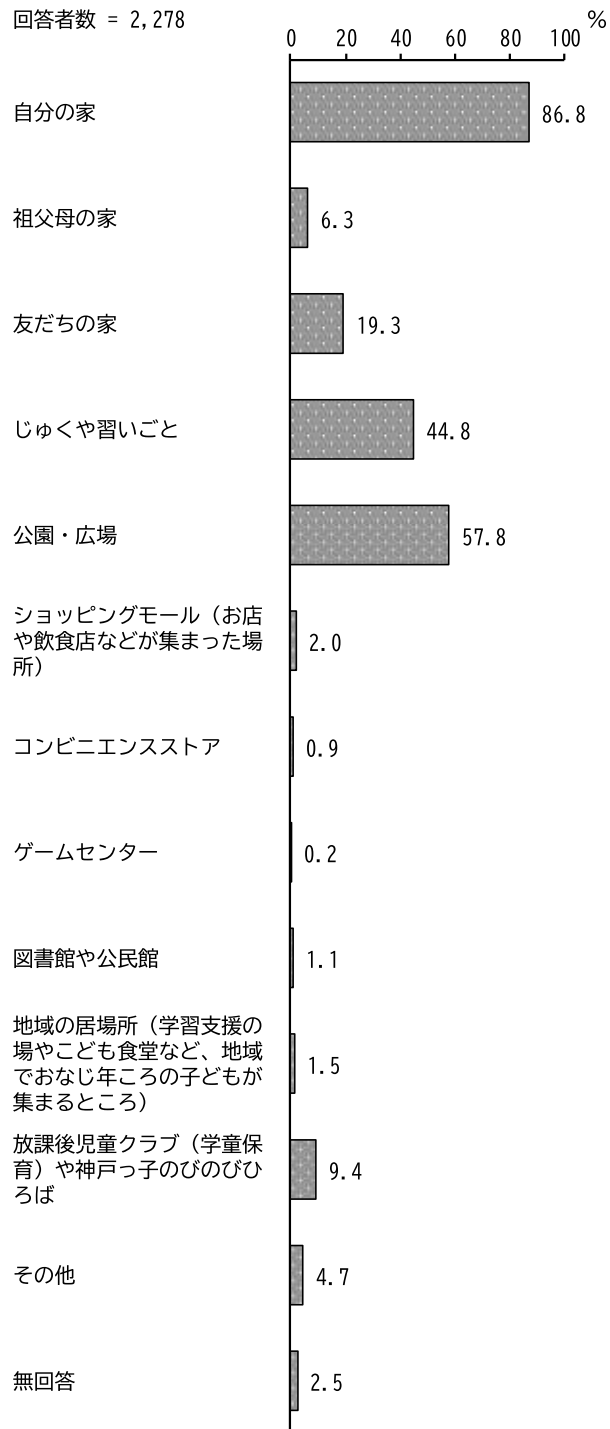
回答者数 = 2,278



②どこで

「自分の家」の割合が86.8%と最も高く、次いで「公園・広場」の割合が57.8%、「じゅくや習いごと」の割合が44.8%となっています。

回答者数 = 2,278



(2) 午後5時から午後6時まで

①だれと

「おうちの大人の人(親、祖父母、親せきなど)」の割合が74.9%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が51.7%、「学校の友だち」の割合が35.4%となっています。

回答者数 = 2,278

おうちの大人の人(親、祖父母、親せきなど)

きょうだい

おうちの人以外の大人の人(近所の大人、じゅくや習いごとの先生など)

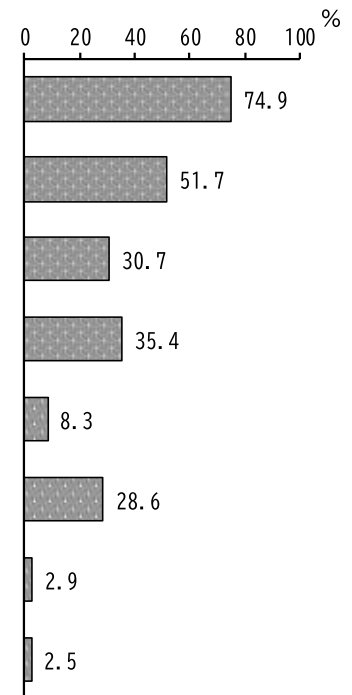
学校の友だち

学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)

ひとりですぐすことが多い

その他

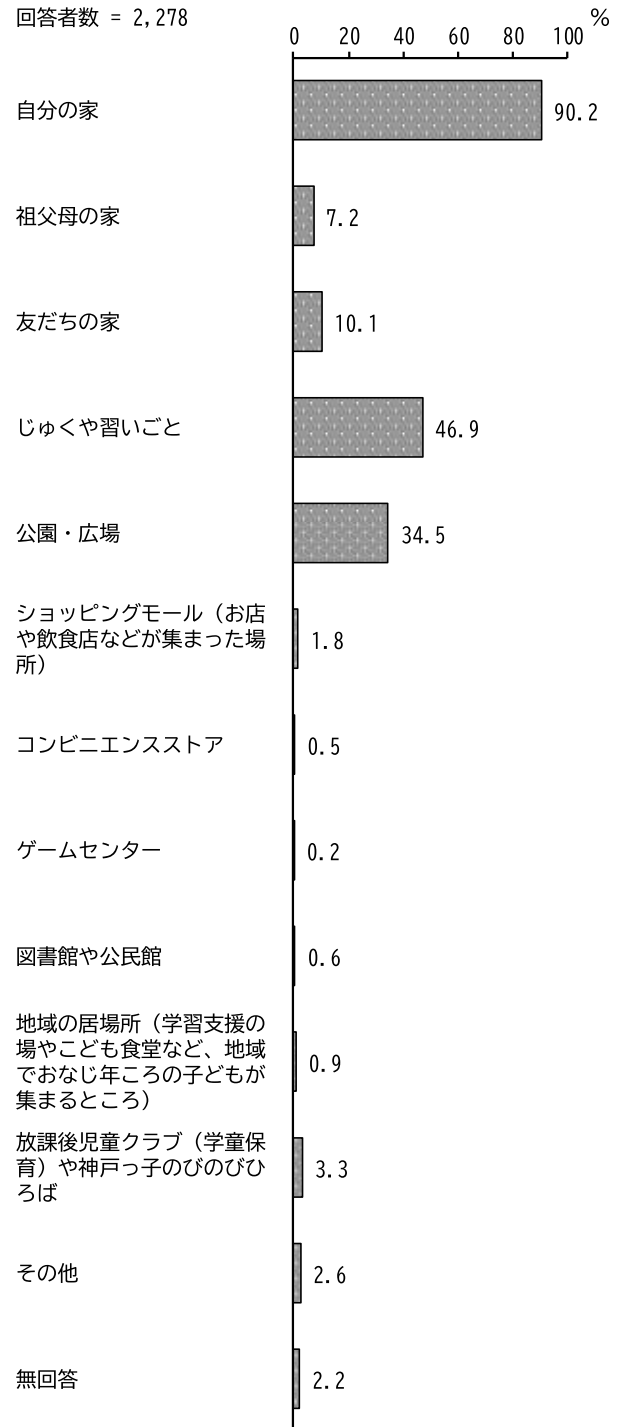
無回答



②どこで

「自分の家」の割合が90.2%と最も高く、次いで「じゅくや習いごと」の割合が46.9%、「公園・広場」の割合が34.5%となっています。

回答者数 = 2,278



(3) 午後6時から午後7時まで

①だれと

「おうちの大人の人(親、祖父母、親せきなど)」の割合が86.4%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が53.9%、「おうちの人以外の大人の人(近所の大人、じゅくや習いごとの先生など)」の割合が24.1%となっています。

回答者数 = 2,278

おうちの大人の人(親、祖父母、親せきなど)

きょうだい

おうちの人以外の大人の人(近所の大人、じゅくや習いごとの先生など)

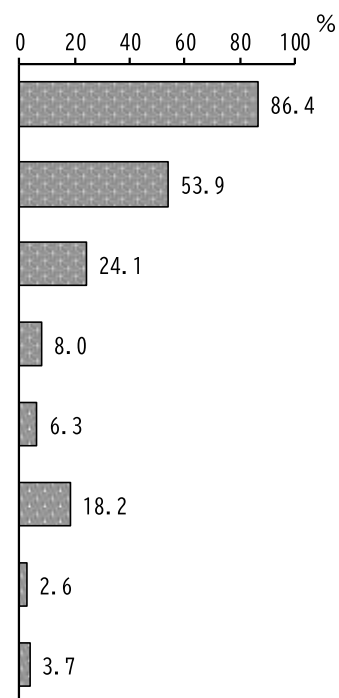
学校の友だち

学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)

ひとりですぐすことが多い

その他

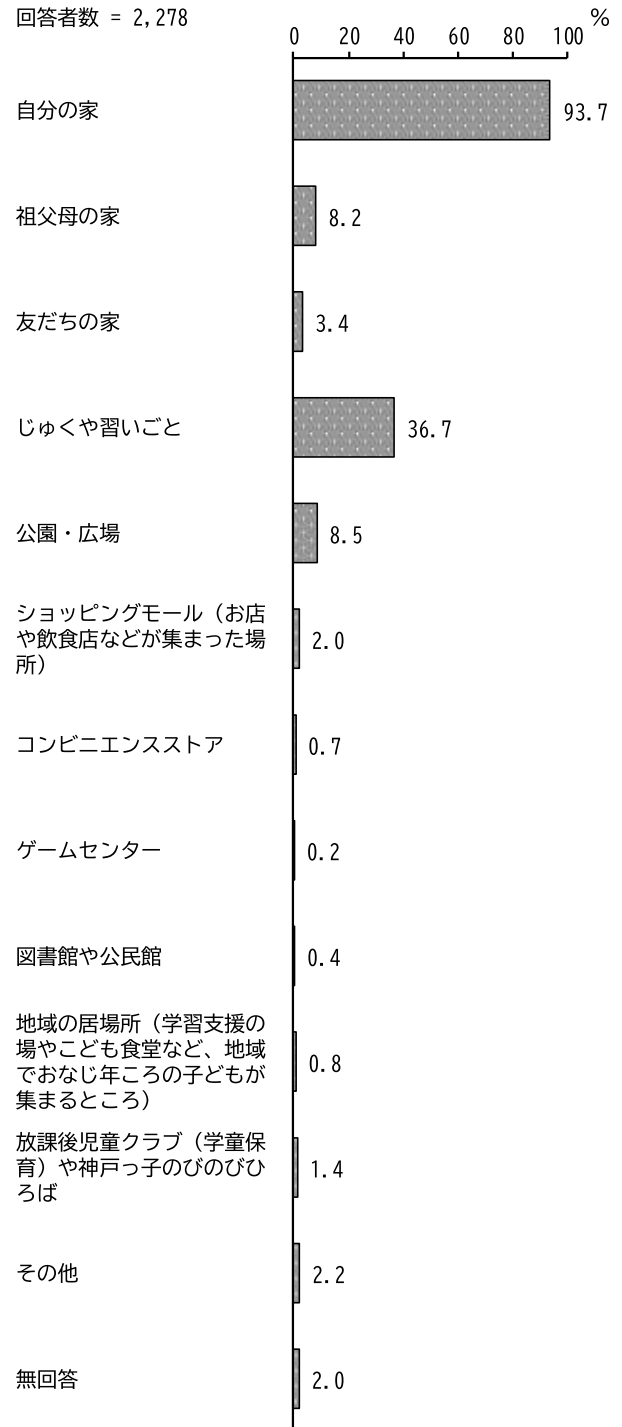
無回答



②どこで

「自分の家」の割合が93.7%と最も高く、次いで「じゅくや習いごと」の割合が36.7%となっています。

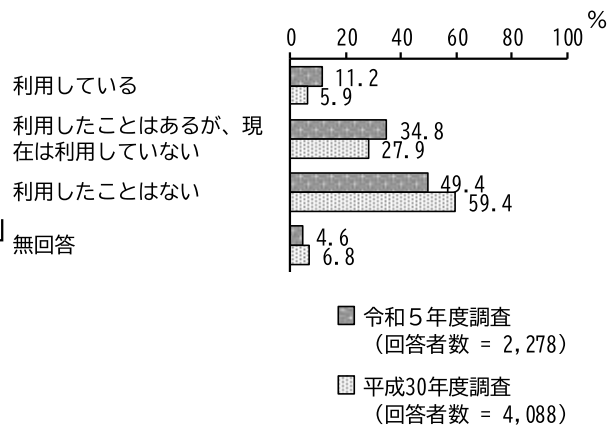
回答者数 = 2,278



問6 あなたは、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したことがありますか（○は1つだけ）。また、利用している方は、来年も利用したいですか。

「利用したことはない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「利用したことはあるが、現在は利用していない」の割合が34.8%、「利用している」の割合が11.2%となっています。

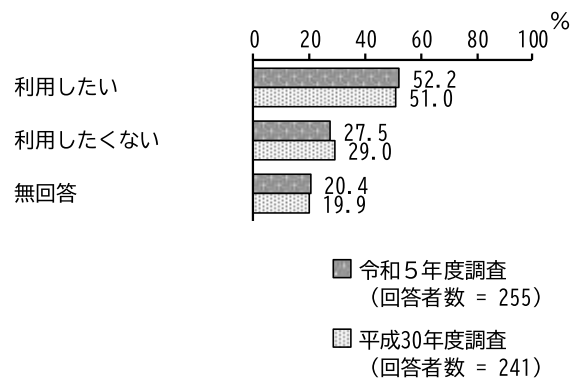
平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が5.3ポイント増加しています。一方、「利用したことはない」の割合が10ポイント減少しています。



来年の利用

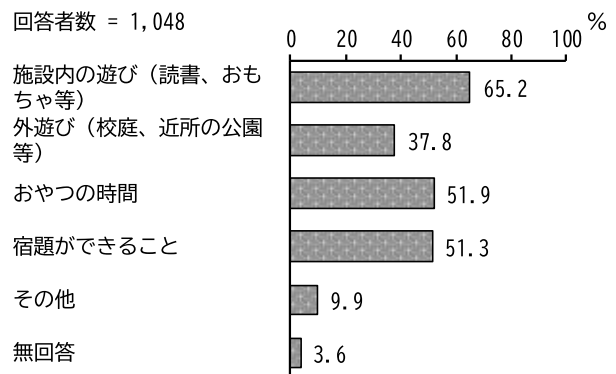
「利用したい」の割合が52.2%、「利用したくない」の割合が27.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



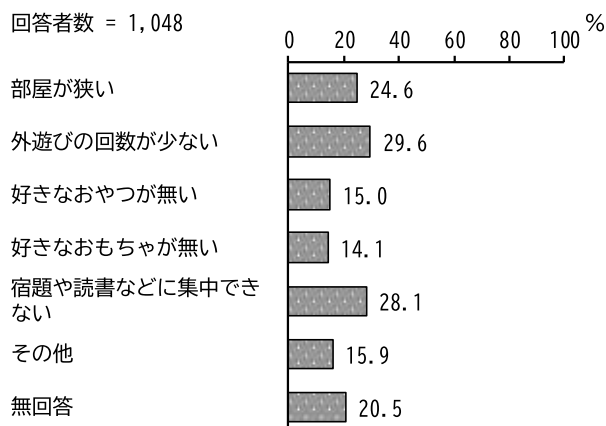
問7 問6で「1. 利用している」「2. 利用したことはあるが、現在は利用していない」と答えた方におたずねします。放課後児童クラブ（学童保育）の活動で良かったことを教えてください（○はあてはまるものすべて）。

「施設内の遊び（読書、おもちゃ等）」の割合が65.2%と最も高く、次いで「おやつ時間」の割合が51.9%、「宿題ができること」の割合が51.3%となっています。



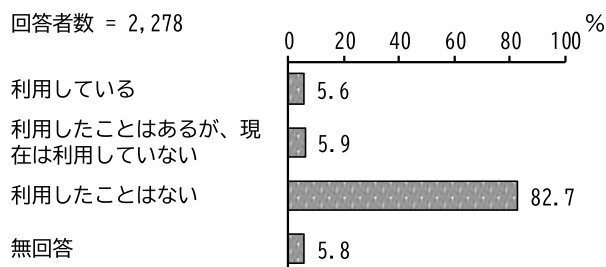
問8 問6で「1. 利用している」「2. 利用したことはあるが、現在は利用していない」と答えた方におたずねします。
放課後児童クラブ（学童保育）に直してほしいことがあれば教えてください
（○はあてはまるものすべて）。

「外遊びの回数が少ない」の割合が29.6%と最も高く、次いで「宿題や読書などに集中できない」の割合が28.1%、「部屋が狭い」の割合が24.6%となっています。



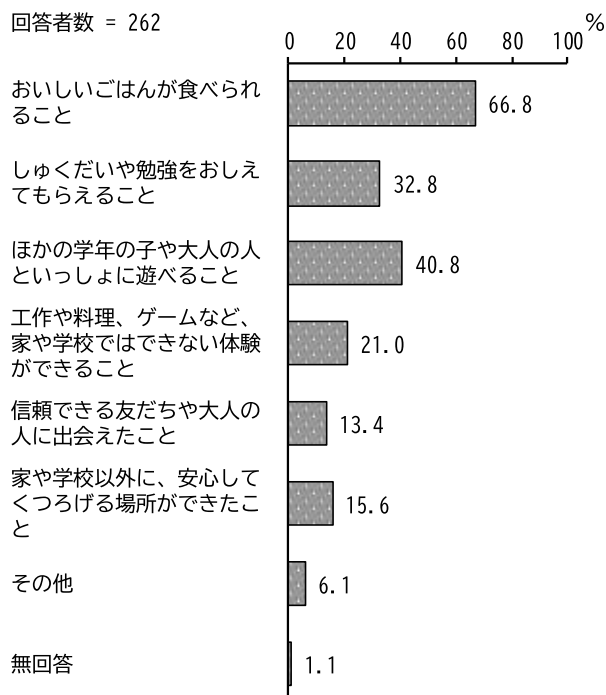
問9 あなたは、地域の方が食事を提供してくれたり（こども食堂）、勉強を教えてください「こどもの居場所」を利用したことがありますか（○は1つだけ）。

「利用したことはない」の割合が82.7%と最も高くなっています。



問10 問9で「1. 利用している」「2. 利用したことはあるが、現在は利用していない」と答えた方におたずねします。
「こどもの居場所」を利用してよかったことを教えてください
（○はあてはまるものすべて）。

「おいしいごはんが食べられること」の割合が66.8%と最も高く、次いで「ほかの学年の子や大人の人といっしょに遊べること」の割合が40.8%、「しゅくだいや勉強をおしえてもらえること」の割合が32.8%となっています。



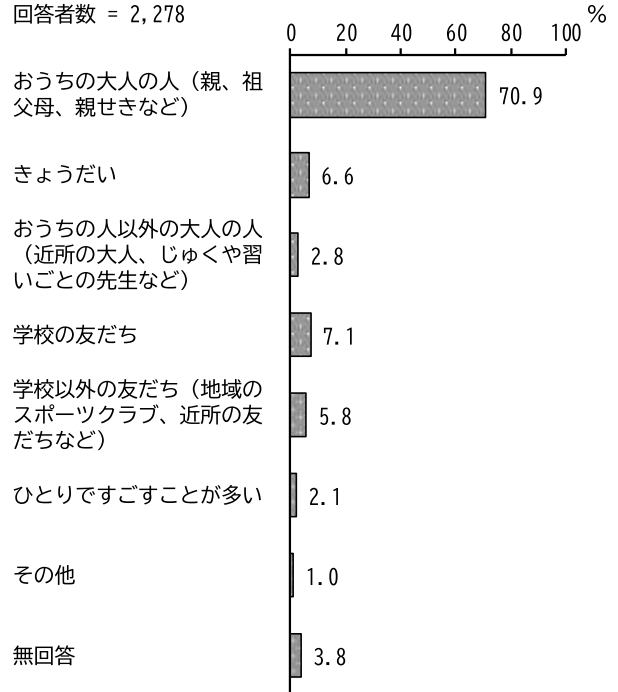
(3) あなたの休みの日の過ごし方について

問11 あなたは、土曜日、日曜日や祝日などの休みの日は、だれといっしょに過ごすことが多いですか。次の中から、多い順に3つまで選んで、その順番に番号を記入してください（あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません）。

1 番目

「おうちの大人の人(親、祖父母、親せきなど)」の割合が70.9%と最も高くなっています。

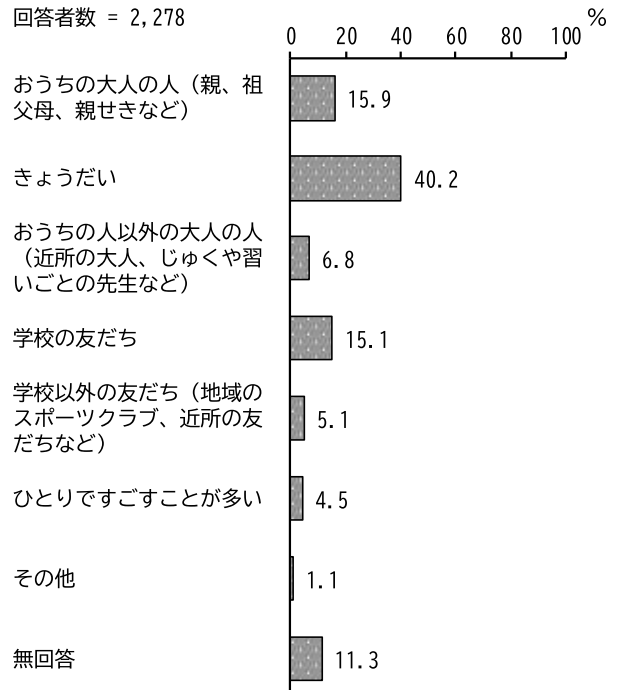
回答者数 = 2,278



2 番目

「きょうだい」の割合が40.2%と最も高く、次いで「おうちの大人の人 (親、祖父母、親せきなど)」の割合が15.9%、「学校の友だち」の割合が15.1%となっています。

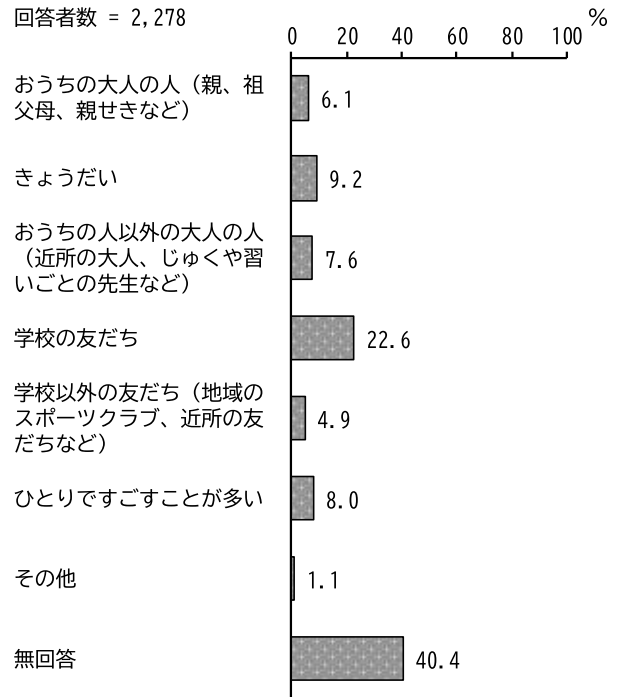
回答者数 = 2,278



3 番目

「学校の友だち」の割合が 22.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,278

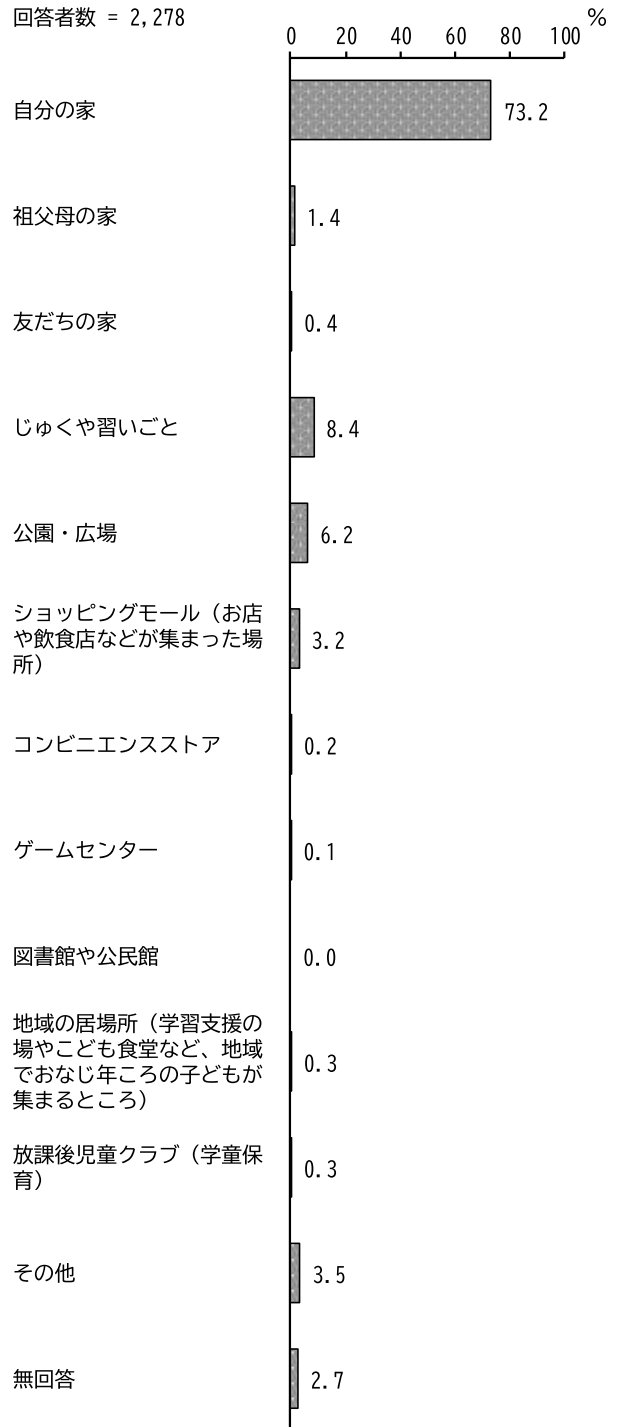


問 12 あなたは、土曜日、日曜日や祝日などの休みの日は、どこですごすことが多いですか。次の中から、多い順に3つまで選んで、その順番に番号を記入してください（あてはまるものが、1つまたは2つだけでもかまいません）。

1 番目

「自分の家」の割合が73.2%と最も高くなっています。

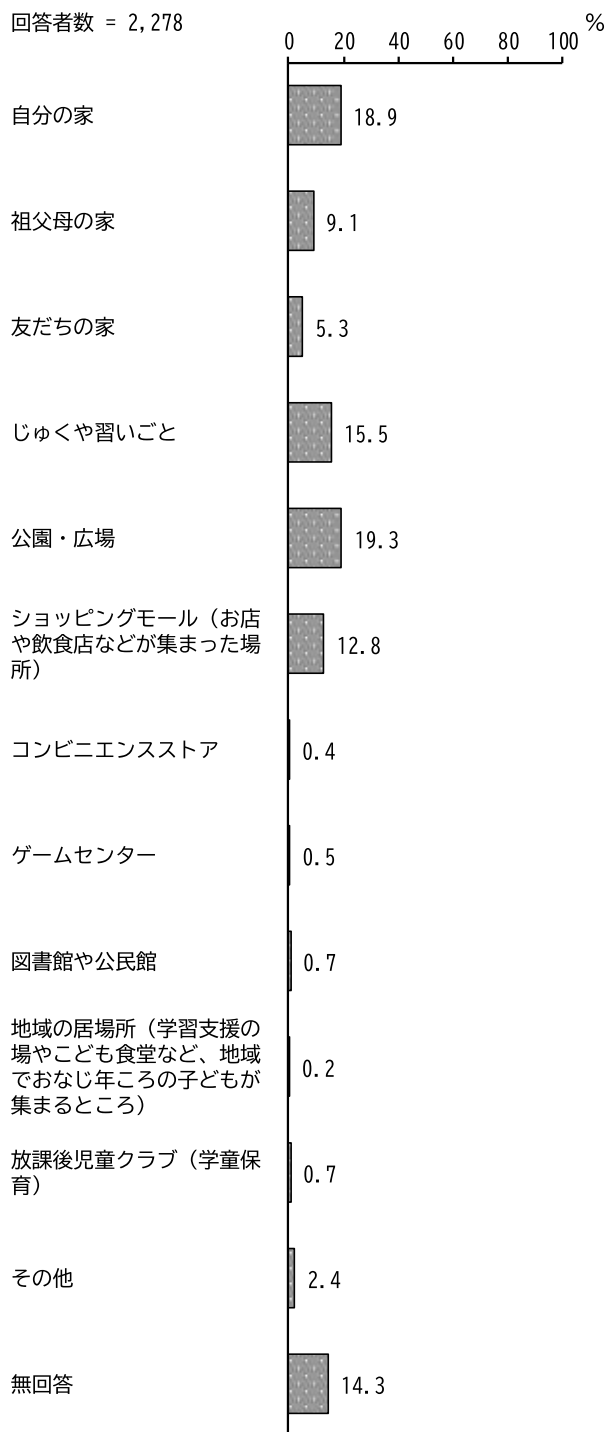
回答者数 = 2,278



2番目

「公園・広場」の割合が19.3%と最も高く、次いで「自分の家」の割合が18.9%、「じゅくや習いごと」の割合が15.5%となっています。

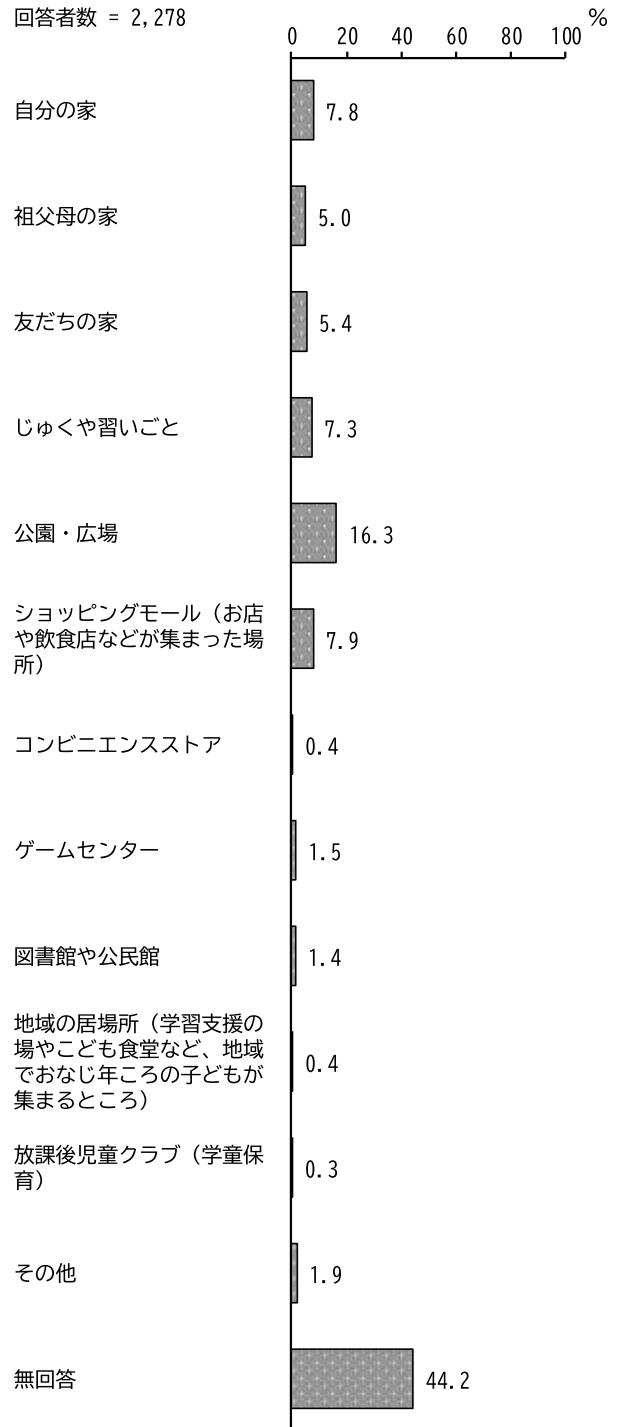
回答者数 = 2,278



3 番目

「公園・広場」の割合が 16.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,278



Ⅲ 自由回答

1 就学前児童保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 4,952 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	1,271
（1）園の受入れについて	371
（2）施設整備について	115
（3）夜間・休日、長期休暇の受け入れ	117
（4）保育料金や条件について	334
（5）保育条件についてのその他	334
2. 小学校就学後の生活について	515
（1）小学校について	111
（2）児童館・学童クラブについて	404
3. 子育て支援全般について	1,349
（1）地域子育てセンター、広場について	228
（2）病児病後児や障がい児支援事業について	369
（3）預かり施設や子育て支援サービスについて	336
（4）子育て支援に関する情報について	236
（5）子育てに関する相談先について	180
4. 子育て環境について	844
（1）公園・遊び場について	194
（2）公共施設等について	112
（3）医療費補助・医療体制について	313
（4）地域との協力について	225
5. 子育て中の保護者の状況について	484
6. その他	452

【分類別の主な意見】

1 幼稚園・保育園・認定こども園について

(1) 園の受け入れについて

- ・ 保育所の入所時期について、単純に点数だけで決めるのもかわいそうかなと思う。
- ・ きょうだい同じ園に必ずいれて頂けるとうれしい。
- ・ 希望する保育所になかなか入れず、競争率には本当に驚いた。オープンにしてほしい。
- ・ 一時保育（リフレッシュ）を受け入れてくれる保育園やこども園が増えるとうれしい。
- ・ 市立の幼稚園が3年保育でないのが時代遅れかなと思う。

(2) 施設整備について

- ・ 老人施設ばかりではなく、保育園やこども園、幼稚園等を増やしてほしい。
- ・ 駐車場のある保育園を増やしてほしい。
- ・ 公立の幼稚園でも給食を提供してほしい。
- ・ 保育園を増やしてほしい。もっと余裕と選択肢のある保活がしたかった。
- ・ 公立保育所を綺麗にしてほしい。

(3) 夜間・休日、長期休暇の受け入れ

- ・ 土、日、祝のカレンダーにかかわらず、いつでも保育が利用出来る場所があると助かる。
- ・ 全ての園において長期休み中に利用できる預り保育の制度があれば嬉しい。
- ・ 家事もあるし土曜の預かりをもっと預けやすくしてほしい。
- ・ 土日、幼稚園が休みの時に、一時保育をしてもらえるサービスがあれば利用したい。
- ・ 一時保育の枠をもっとひろげてほしい。幼稚園のお預かり、夏休みなど、午前中だけのお預かりがあれば利用したいと思う。

(4) 保育料金や条件について

- ・ 3才未満の保育料が高すぎる。
- ・ 延長保育料（18:00～19:00）も無償になれば良いと思う。
- ・ 子供の（兄弟）体調不良で、保育園に全員預けられない。
- ・ 希望の保育園に入るためには、フルタイム共働きが最低条件と区役所の方から言われたため、仕方なくフルタイムで働いている。
- ・ 仕事以外、全て子育てとなるとなかなか大変なので、休み希望以外は基本的に週5日の登園であるとありがたいと思う。

(5) 保育についてのその他

- ・ 保育園等の数の充足はありがたいが、質の向上が子どもの育成には重要。
- ・ 保育園は所得によって金額が変わるので頑張って働いても負担が増えるのでやる気をなくす。
- ・ これから働こうとしている人にサポートがない、もしくはとても少ない。
- ・ 保育園は親が仕事が休みの時は必ず家庭保育をと、かなり厳しめに言われる。親もリフレッシュしたいと切実に思う。
- ・ 保育所で預ってもらえる時間をもっと増やしてほしい。

2 小学校就学後の生活について

(1) 小学校について

- ・ 小学校の公立のトイレを新しくしてほしい。公立の学校にウォーターサーバーをつけてほしい。
- ・ 小学校の登校時間を早めてほしい。放課後の居場所を学童以外にも作ってほしい。
- ・ 父母の出勤のほうが早くなるため、子供が1人で鍵を閉めて登校しなければならない。1年生になりたての慣れない環境の子どもにそれは任せられない。
- ・ 保育園（こども園）は働きながら子育てするには充実しているが、小学校に上がり2年生くらいまでの不安が大きい。
- ・ 小・中学校の部活の民営化。クラブを廃止するのではなく、どうすれば教員の負担なく継続できるのか考えてほしい。

(2) 児童館・学童クラブについて

- ・ 小学校就学を見据えて、近所の学童の情報（利用条件等）を調べられるようにネット等に載せてほしい。
- ・ 長期休み時のみの学童の制度がないのは仕事も続けにくく生活しにくいと感じている。
- ・ 長期休みのみの利用などができるようになってほしい。2ヵ月のみ休会では使いにくい。
- ・ すこやかクラブに通っているが、先生たちの雰囲気やクラブの内容が良過ぎて、毎週楽しみにしている。子どもの成長を見ながら参加出来るのが嬉しく、ママたちとの交流も増えてとてもリフレッシュできる時間になっている。
- ・ 学童の長期休暇中の給食を是非導入してほしい。学童のスタッフさん、いつもよくしてください。給与等みなおし、労働環境等改善してもらえたらうれしい。

3 子育て支援全般について

(1) 地域子育てセンター、広場について

- ・ こべっこは WEB 予約が前日までしかなく、当日は行ってみないと利用できるか分からないのは大変不便。子供を連れて行って、利用できませんでしたというのは不便すぎる。
- ・ こべっこランドで小学生利用不可だと兄弟が年が近いと利用できず困る。結局上の子が利用できない年なので下の子も利用しない。ひとりっ子用のこべっこランドでしかない。
- ・ こべっこあそびひろば、ふらっとひろば、児童館など子育て支援をしていただき助かっている。
- ・ こべっこランドやこべっこひろばを利用したいが行くまでが不便でなかなか利用できない。児童館まで一番近い所でも歩いて 30 分程、駐車場のあるところが無いのは不便。
- ・ 児童館や、おやこふらっとひろば等、遊びに行ける施設があることで、子どもも親もつながりが出来てすごくありがたいなと感じている。

(2) 病児病後児や障がい児支援事業について

- ・ 保育園に入園後風邪等ひくことが多く、病児保育を検討していた。1 日預けると 5 日休まないといけなくなるので利用を諦めた。何か良いサポートがあり、利用できれば嬉しい。
- ・ 病児保育が出来る施設が少ない上に、利用する為の手順が多すぎて、朝に熱が出ていた際にすぐに利用する事が出来ないの、現実的に考えて利用出来ない。
- ・ 病児保育を利用しやすい様にしてほしい。今はハードルが高すぎる意味ない。保育園であずかってほしい。
- ・ 病気の時に病児保育が満室で利用できず、いつも困っている。
- ・ 子どもたちが順に病気になった場合、月の半分が出勤できない。有給休暇もすぐになくなるし、お給料減に直結する。病児保育をもっと気軽に利用できるようにしてほしい。

(3) 預かり施設や子育て支援サービスについて

- ・ 子育て広場が充実していた。一時預かりできる場所もいくつかあり、リフレッシュや通院、用事などに困ることはなかった。一時保育や預かり事業を充実させてほしい。
- ・ 乳児期の子育てをしていて、神戸市では一時預かりの託児所があまりにも少ない。保育所の一時預かりは人気で使えない。一時預かり専門であれば予約もとりやすく使いやすい。
- ・ リフレッシュのための一時預りが土日に気軽にできれば助かる。土日は保育園にあずけることができず、夫は仕事のため、自分の美容院や病院への通院などのために有給をとらなければならない。
- ・ 体調の悪いときに気軽に子供を見てもらえる制度があれば助かる。一時預かりなどは事前登録が必要だったり、費用が高かったりして利用しにくい。
- ・ 学校行事で下の子を頂けたくても、保育園等の一時預かりでは断られる事が多く苦労した。自分が病気で倒れた時子ども達のお世話を考えると不安。ベビーシッターももう少し安く長時間利用できると助かる。

(4) 子育て支援に関する情報について

- ・ 療育施設利用者の声をあつめた情報を紙面にし、そういう物を求めている人に提示してあげてほしい。
- ・ 役所からわかりやすく検診などで説明があれば、サポートなど使いやすかったと思う。書面でも web でもいろいろ情報がほしいと思う。
- ・ 神戸市のHPは、ほしい情報にすぐたどりつけない。インスタとかやってほしい。
- ・ 市への相談となると敷居が高い。1人での育児は孤独感もあり、子育てサークルなどの情報がほしい。
- ・ 園庭開放をよく利用しましたが園まで行かないとわからないのが不便。月ごとに園庭開放の一覧のようなものが送ってほしい。

(5) 子育てに関する相談先について

- ・ 保健師さんのあたりはずれがある。子育て経験ない人に相談しても育児書にかいていることしか言わない。育てたことある人も自論で言ってくる人もいる。
- ・ ファミリーサポートを緊急時利用しようと思うが、事前の申請等手続きがややこしそうでまだ利用した事がない。保育園に助けて頂くことが多い。気軽に相談できる窓口があるといいなと思う。
- ・ もっと気軽に子育て相談ができる場所があればいいなと思う。
- ・ 行政の相談窓口を利用したくても分かりにくく、利用しにくいのもっと分かりやすくしてほしい。
- ・ 年中と1歳の子どもを育てている。保育園入園の申し込みの際、区役所の担当の方に相談し、気持ちによりそった回答を頂けて助かった。今でも十分なサポートがあると思っているので今後も不安な気持ちによりそったサポートが続いていけばうれしい。

4 子育て環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ 上の子は小学生ですが、子どもだけで公園で遊ばせることが少し心配。放課後の公園見守りのようなものがあれば安心だと思う。
- ・ 児童館、公園等の駐車場設置。
- ・ 公園は色々な場所にたくさんあるので助かっている。屋内で未就学児と小学生の遊ぶスペースが分かれている、こべっこランドのような無料施設がもっと近くにあればと思う。
- ・ 公園も多くあるが、遊具が少ないように思う。
- ・ 子育て環境という意味では、公園や自然環境で子どもたちが自然の中で遊ぶ環境を充実させていただきたい。海や山、森での子育てイベントなども嬉しい。

(2) 公共施設等について

- ・ 子どもと一緒に行動する時車移動が多いが、施設利用料より駐車場代がかかるのが気になる。男性トイレにもオムツ交換台を常設、オムツ交換台の向きやトイレの鍵付のこともイスなど配慮してほしい。
- ・ 新しくできる、NEW すますいが身近な施設となるように、料金の工夫をしてほしい。
- ・ 公共施設の入場料無料化など、無料で遊べる施設を増やしてほしい。
- ・ 地域などに気軽に大人と話せる場があると嬉しい。子連れで行きやすい施設があると助かる。
- ・ 子どもを見てもらいながら、食事ができる施設があればうれしい。

(3) 医療費補助・医療体制について

- ・ 医療費の外来分無料の年齢を引き上げてほしい。
- ・ 3才をこえると、医療費がかかるのは、家計負担が多い。無料にしてほしい。せめて中学卒業くらいまで。保育料も高いと感じる。収入と合っていない。
- ・ 医療費を高校生まで無償化にしてほしい。
- ・ 子どもを育てていく上で、せめて医療費は中学生ぐらいまで無料にしてほしい。子どもの健康には変えられないと思う。
- ・ 他の市や県が行っているように、医療費が無料(3才までではなくせめて就学前まで)や、子育て用品がプレゼントされるなど神戸市で子育てしたい、しやすいと思えると嬉しい。

(4) 地域との協力について

- ・ 周囲のサポートをもっと活用し、子育てを終えた方の募集をし、大いに活用して頂きたいと思う。登園、降園のサポート等もあれば助かるのではないかな。
- ・ 保育付きでママを集め意見を募り、市報などで発表、実現するところまで進められる場があればいいと思う。子育てしやすい環境だと感じるが、もっと充実させてほしいと思う。ワーママはとてもしんどい。より子育てしやすいまちになりますように。
- ・ コロナ5類移項をうけて、乳幼児とシニア世代の接点を増やして地域を元気にしていけるとよいと思う。地域に知り合いがいると心強い。
- ・ 夫が出張が多く、ほぼワンオペで育児をしている。地域の方や施設や窓口の職員の方に支えられ、何とかここまでこられた。ただ、体調を崩した時に困る事もある。どこか気軽にお話だけでも聞いて頂ける所があれば嬉しい。
- ・ 成人まで高校生以降も(経済的に)安心して子育てできる地域としてほしい。

5 子育て中の保護者の状況について

- ・ 女性のキャリアと子育てのバランスに関しての悩みが尽きないので、職場からの実務的な働きかけであったり行政の講演であったりがあるとありがたい。
- ・ 父親が育休をとりやすい雰囲気、戻りやすい環境を整えてほしい。妊娠や子育てのママへ対する対応がきつい場面も多くある。育児中、妊婦へ対するお金の面での考慮・ご配慮頂きたい。
- ・ 数時間で良いので自分だけの時間を持ちたかった。そのためには仕事をするしかない。実際子育てをしていなければ分からないこの大変さを世の中が認め優遇される社会、企業が増えることを切に願っている。
- ・ 男性側の会社も、子どもの体調不良に対応できるように休みを取りやすくしてほしい。産後の女性の心と体の変化について学べる機会の必要性を強く感じている。
- ・ 母親がフルタイムで働きながら子育てするのは中々難しい。悩みも多い所ですが、神戸市が対策を親身に考えているのはとても感じている。どのような子育て支援があるのか、どうしたらいいのかその時間すらないのが辛い所。

6 その他

- ・ 子育て支援に関する児童手当等の支給については、親の所得制限なく平等にしてほしい。
- ・ 金銭的サポートをもっとしてほしい。子育て世帯に優しい市になってほしい。神戸市独自の子育て支援を行い、子育て世帯が集まるようにしてほしい。
- ・ 小・中学校に必ず行かないと次のステップに進めないのであれば、なぜ教育費を国が負担しないのか。子育て世帯は税金を国が負担する等、考えた方が子どもたちのためだと思う。
- ・ 共働きでないと生活が苦しい。でも、子どもと過ごす時間が少なくなる。国や行政が本気で子育て支援に力を入れてほしい。
- ・ 子供が多いほど、教育にかかる費用を少なくしてほしい。よその市は子どもの医療費が中3まで無料。子育て世代人を大切にされた政策を求む。

2 小学校低学年保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 2,343 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	82
（1）園の受入れについて	9
（2）施設整備について	15
（3）夜間・休日、長期休暇の受け入れ	4
（4）保育料金や条件について	14
（5）保育条件についてのその他	40
2. 小学校就学後の生活について	738
（1）小学校について	239
（2）児童館・学童クラブについて	499
3. 子育て支援全般について	938
（1）地域子育てセンター、広場について	49
（2）病児病後児や障がい児支援事業について	217
（3）預かり施設子育て支援サービスについて	376
（4）子育て支援に関する情報について	228
（5）子育てに関する相談先について	68
4. 子育て環境について	269
（1）公園・遊び場について	89
（2）公共施設等について	62
（3）医療費補助・医療体制について	72
（4）地域との協力について	47
5. 子育て中の保護者の状況について	197
6. その他	119

【分類別の主な意見】

1 幼稚園・保育園・認定こども園について

(1) 園の受け入れについて

- ・ 市立幼稚園の閉園が進行中であるが、発達に気がかりのある子どもにとって市立園の環境が適している。
- ・ 緊急時の自宅待機などで頼れるシステムの欠如を感じており、気軽に頼れる支援が必要と感じている。
- ・ 神戸市の保育園入園の際の減点制度や相談窓口の対応に不満を感じる。
- ・ 保育士として、長時間保育を利用する子どもが増え、親子の時間が少なくなっている現状に懸念がある。
- ・ 公立幼稚園の閉園に対し、3年保育の導入や預かり保育の充実が必要である。
- ・ 家庭が子育ての主体であるべきであり、保育園への預け過ぎは親子のつながりや情緒の安定を損なう可能性がある。

(2) 施設整備について

- ・ 保育園を増設してほしい。地域によって保育園の入所条件や待機児童の状況に差があり、解消を望む。
- ・ 保育園の送り迎え時の駐車場が不足している。
- ・ 東灘区の保育園不足により、就活中の親が保育園を利用することが難しい。
- ・ 保育所の設備や環境を改善してほしい。

(3) 夜間・休日、長期休暇の受け入れ

- ・ 長期休み中も保育が必要な場合があり、受け入れ先があるとよい。
- ・ 保育園の土曜日や休日、年末年始の開園を希望する
- ・ 土曜日の保育サービス、年末年始の保育など、保護者のニーズに合ったサービスが必要とである。

(4) 保育料金や条件について

- ・ 保育園での点数不足により、3年間1号のまま2号に上がれず、延長料金を支払い続けることに不平等感がある。
- ・ 兄が障害を持つため、妹は介護枠で保育園に入園しており、長期休みは兄と一緒に過ごすのが、保育料が変わらず支払われることに不満を持つ。
- ・ 共働きの家庭が増えている中で、PTA活動の縮小や幼稚園の認定こども園に関する課題が指摘される。
- ・ 保育料の値下げや幼保無償化の拡大を求める。

(5) 保育についてのその他

- ・ 保育園内での習い事参加が仕事後の送迎が大変だったために難しい。
- ・ 職場復帰や就業を検討しているが、職場の雰囲気や環境が不安定である。
- ・ 保育園の先生の対応が厳しい場合があり、改善を求める。

2 小学校就学後の生活について

(1) 小学校について

- ・ 校庭等の開放を週3日程度希望。
- ・ 少人数クラスや教育に特化した支援を提案。
- ・ 放課後の学習支援や自然体験学習の充実を求める。
- ・ 教育現場での性犯罪対策や教員の人格重視の採用を望む。
- ・ 不登校への対応が必要である。
- ・ 教育格差や差別のない環境、地域の支援体制の充実を求める。

(2) 児童館・学童クラブについて

- ・ 長期休暇中のみ学童保育を利用できるサービスがあればありがたい。
- ・ 短時間の延長利用や単発利用の料金制度を導入してほしい。
- ・ 学童保育の質が施設によって差があり、人手不足やトラブル対応に不安がある。
- ・ 学童保育を利用できるのは働いている人に限られており、学童や児童館のサポートが不足している。
- ・ 学校内に学童を設けることが望まれる。
- ・ 学童保育の利用条件や料金体系についての改善が必要である。

3 子育て支援全般について

(1) 地域子育てセンター、広場について

- ・ 子育て支援施設の利用経験があり、そのような施設を増やしてほしい。
- ・ こべっこ遊び広場の年齢制限により上の子が遊ばず、上の子と下の子を同じ場所で遊ばせたい。
- ・ 子ども食堂が近くにあると便利である。
- ・ 子どもが安心して遊べる場所の増加を望む。
- ・ 小学生向けの遊び場やイベントの充実を望む。

(2) 病児病後児や障がい児支援事業について

- ・ 病児保育の利用に関して、施設数が少なく利用しにくい。特に急な休みが必要な際には予約が必要で確実に利用できないことがある。
- ・ 子育て支援に関しては、障害のある子どもやその家族にも十分な情報やサービスが提供されるべきであり、役所や施設による情報共有や支援の改善が求められる。
- ・ 病児保育施設の利用に関して、予約が取りにくく当日の体調不良に対応できない場合があり、利用機会が制限されることがある。
- ・ 障がいのある子どもやその家族は、適切なサービスや支援が必要であり、就労支援や利用できるサービスの拡充が望まれる。

(3) 預かり施設や子育て支援サービスについて

- ・ 習い事の費用が教育支援で最もありがたい。
- ・ 子どもが3人いる家庭で支援が不十分である。

- ・ 兵庫県も私立高校無料化を希望。
- ・ ひとり親家庭や収入が少ない家庭への支援強化を望む。
- ・ 子育て世帯への経済的支援が必要である。

(4) 子育て支援に関する情報について

- ・ 生活や気持ちに余裕のある親は、積極的に子育て支援の情報を手に入れ、活用している。
- ・ 余裕がなく支援が必要な親には情報が届いておらず、支援も受けられていないイメージがある。
- ・ 子育て支援情報が広報不足であり、幅広く知らせる環境が必要である。
- ・ 小学校を通じて子育て支援情報を提供してもらえると助かるという意見がある。
- ・ 広報や冊子などを通じて子育て支援の情報を周知してほしい。
- ・ 子育て支援の情報が得られず、困難な状況にある家庭への支援が不十分である。

(5) 子育てに関する相談先について

- ・ 子育て支援が必要で、信頼できる相談先が欲しい。
- ・ 子どもの発達に関する不安や問題に対する適切な支援が必要。学校や保健センターなど、相談先が明確であり、適切な対応が期待される。
- ・ 育児ストレスや精神的な支援も必要で、気軽に相談できる場所やオンラインサービスがあれば便利である。
- ・ 子どもの不登校や発達障害に関する相談先が不明瞭である。
- ・ 子育て支援は出産後も必要であり、定期的なフォローアップや家庭訪問があれば良い。
- ・ 子育てのストレスや悩みを分かち合える場所や、気軽に相談できる機会が必要である。

4 子育て環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ 子どもの安全な遊び場が必要であり、ボランティアの見守りを受けられる場所があればありがたい。
- ・ 公園での制限が多く、子どもがのびのび遊べない状況に不満がある。
- ・ 室内で遊べる場所が少なく、子どもたちの健全な成長のためにも増やしてほしい。
- ・ 公民館の無料開放など、他県のような施策を神戸市でも導入してほしい。
- ・ 親子で利用できる施設が増えると嬉しい。
- ・ 公園や施設の整備を改善し、子どもが快適に遊べる環境を整えてほしい。

(2) 公共施設等について

- ・ スクールゾーンでの通行禁止を守らない車両への対策が必要であり、PTAのボランティアが不足している。
- ・ 子育て施設の不足や地域格差が大きく、公園や図書館が不足している。
- ・ 子どもども安全を確保するための防犯カメラの設置や通学路の安全確保が必要である。
- ・ 公共施設の老朽化への対策が必要である。
- ・ 図書館の充実やスポーツクラブの身近な設置、公園内のトイレ設置が望む。

(3) 医療費補助・医療体制について

- ・ 小児科の数が不足している。
- ・ 高齢の先生が多く、開院日数も少ないため、医療サービスへのアクセスが難しい状況にある。
- ・ 子どもの医療費の負担が重い、無料化を望む。医療費の無償化を中学生まで拡大してほしい。
- ・ 医療サービスの利用に伴う経済的負担が大きく、特に子どもの医療費については無料化を求める声が多い。子どもの医療費が高額であることによる受診の控えや、経済的な負担が育児を困難にしているとの指摘がある。
- ・ 夜間や休日の小児科の不足や待ち時間の長さが問題である。

(4) 地域との協力について

- ・ 高齢者のボランティア活動や子ども達の居場所の確保に地域全体で協力したい。
- ・ 子育て支援や地域の連携強化に対する行政や地域住民の関心が高まっており、緊密な協力が必要である。
- ・ 子ども達の居場所や遊び場、地域の見守り体制の充実を求める声がある。
- ・ 子育て支援の充実や地域コミュニティの強化によって、子ども達や地域全体の安心・安全を実現したい。

5 子育て中の保護者の状況について

- ・ 勤務時間の短縮を促す社会づくりが必要で、個人での努力だけでは大変。
- ・ 母子家庭への支援が少なく、年収や身近な支援者の考慮が必要。
- ・ 幼児期の保育に様々な選択肢を希望。
- ・ 配偶者の育児参加が求められる。
- ・ 就職活動時のサポートが必要。

6 その他

- ・ アンケートはスマホやネットで行い、集計時間を節約し回収率を上げるべきである。
- ・ ワンオペ育児が多く、父親向けの育児セミナーやモチベーション向上の取り組みが必要である。
- ・ 子育て支援制度の活用や税金の運用に対する透明性が必要である。
- ・ 治安やいじめ対策に関する懸念があり、子どもの安全を求める。

3 小学校高学年保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 1,659 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	47
（1）園の受入れについて	24
（2）施設整備について	1
（3）夜間・休日、長期休暇の受け入れ	4
（4）保育料金や条件について	4
（5）保育条件についてのその他	14
2. 小学校就学後の生活について	377
（1）小学校について	153
（2）児童館・学童クラブについて	224
3. 子育て支援全般について	810
（1）地域子育てセンター、広場について	40
（2）病児病後児や障がい児支援事業について	98
（3）預かり施設子育て支援サービスについて	376
（4）子育て支援に関する情報について	228
（5）子育てに関する相談先について	68
4. 子育て環境について	153
（1）公園・遊び場について	45
（2）公共施設等について	18
（3）医療費補助・医療体制について	43
（4）地域との協力について	47
5. 子育て中の保護者の状況について	113
6. その他	159

【分類別の主な意見】

1 幼稚園・保育園・認定こども園について

(1) 園の受け入れについて

- ・ 少子化により市立幼稚園の閉園が多く、私立園の受け入れに不安を感じる。
- ・ 緊急時に頼れるサポートがほしいが、知人や友人に迷惑をかけたくない気持ちがある。
- ・ 待機児童問題や保育園へのアクセスに関する支援を改善する必要がある。
- ・ 公立幼稚園の充実化を望む。
- ・ 保育士の給料を上げ、保育士を増やすことで、保育園への入所が容易になると考える。
- ・ 保育園の利用に関する制約が多く、柔軟な支援が必要とされる。

(2) 施設整備について

- ・ 公立の幼稚園を残してほしい。

(3) 夜間・休日、長期休暇の受け入れ

- ・ 幼稚園の長時間・長期間の子ども預かりサービスの充実が保護者にとって助かる。
- ・ 保育園の一時保育を利用した経験があり、緊急時に利用する際には制限があるため積極的に活用できない。
- ・ 幼稚園の預かり保育時間が短く、働きたい母親としては時間の延長を希望する。

(4) 保育料金や条件について

- ・ リフレッシュで一時保育を利用する際1日3600円は高いのでもう少し安くなったり無料になるといいと思う。
- ・ 保育料を安くするか無料だと助かる。

(5) 保育についてのその他

- ・ 公立幼稚園や保育所の存続を求め、経験豊富な職員や障害のある子どもへの対応を重視してほしい。
- ・ 子育て支援メニューの充実や保育施設の利用料の高さに懸念がある。
- ・ 子どもの預かりサービスについて、無料での利用や送迎の負担軽減が望まれる。

2 小学校就学後の生活について

(1) 小学校について

- ・ 小学4年生が不登校気味で、オンライン授業の準備が難しく、学習の遅れに対する学校のサポートが不十分と感じられている。
- ・ 不登校児童のための空き教室での勉強支援や、就学援助の利用が難しくなり費用負担が増していることについての懸念がある。
- ・ タブレットの活用について改善の余地がある。
- ・ 学校の教育内容や校庭の狭さ、コロナ禍における課外活動の減少が不満がある。
- ・ 公立中学の学力差や内申点に関する問題点があり、中学受験をする家庭が増えていることに対する懸念がある。

(2) 児童館・学童クラブについて

- ・ 放課後の学校の開放してほしい。
- ・ 長期休み中の子どもの留守番や学童保育の昼食などを望む。

3 子育て支援全般について

(1) 地域子育てセンター、広場について

- ・ 料金がかからず利用できる子育て支援施設の増加や、家事や外出時の子どもの付き添いをサポートしてもらえる場所の提供が望まれる。
- ・ 相談できる場所の増加や、子育て支援事業の周知向上が求められており、子育て支援の充実に期待が寄せられている。
- ・ 教育面において、塾に通わなくても学習できる環境の整備や、公的な塾の代替となる施設の設置が望まれる。

(2) 病児病後児や障がい児支援事業について

- ・ 病児保育の数を増やしてほしい
- ・ 発達遅れを抱える家庭も多く、支援や情報提供が不十分であると感じている。役所や学校、デイサービスを通じて情報提供が行われるべきだと思っている。発達障害の子どもの支援教室を近くの小学校でしてほしいです。

(3) 預かり施設や子育て支援サービスについて

- ・ ファミリー・サポート・センターの活動内容について全く知らなかったが、もっとわかりやすく周知してほしい。料金がかかる場合もあるが、身近で気軽に利用できるものになってほしい。
- ・ ひとり親や低所得者ばかりが支援を受ける傾向にあり、不公平を感じる。また、小中学校の料金をもっと安くしてほしい。
- ・ 休みの日に勉強をしっかりと見てくれるスクールがあれば利用したい

(4) 子育て支援に関する情報について

- ・ 子育て支援の情報提供の充実を望む。
- ・ 子どもの発達に関する相談や情報提供の充実も求める。

(5) 子育てに関する相談先について

- ・ 身近な人や大人と気軽に相談できる場所が欲しい。
- ・ LINEなどで気軽に相談できるシステムがあれば便利である。

4 子育て環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ 公園の整備と増設が必要である。遊具のない公園や遊び場不足の地域で子どもたちが安全に遊べる場所が必要である。

- ・ ボールが使える公園や学校の校庭の開放が少ない。学校の校庭が利用可能になれば、子どもたちの遊び場が増え、地域の活性化につながる。
- ・ 子育て支援施設や屋内施設の充実が望まれる。冬や雨天、猛暑時に子どもたちが安全に遊べる場所が必要である。

(2) 公共施設等について

- ・ 児童館が狭く古く、福祉センターや図書館の施設を子どもにもっと開放してほしい。
- ・ 中高生向けの自習スペースや勉強可能な場所を夕方や土日に利用できるようにしてほしい。
- ・ 家から近く、無料で数時間利用できる勉強スペースや留守番をさせる場所の整備が望まれる。
- ・ 道路の整備や安全な通学路の確保が必要である。

(3) 医療費補助・医療体制について

- ・ 医療費の負担を高校卒業ぐらいまでしてほしいです。
- ・ 子ども医療費を無料にしてほしい。

(4) 地域との協力について

- ・ 地域社会において、他者への見守りや支援の意識が必要である。
- ・ 子どもたちが公園で元気に遊んでいる中で、高齢者からの苦情や不快な言動があることがあり、温かい見守りを求める声がある。
- ・ 子どもたちと高齢者がお互いに優しい関係を築くことで、地域全体が良い環境になると期待される。

5 子育て中の保護者の状況について

- ・ 共働き世帯では、子どもの病気による出席停止や長期休暇が難しい状況があり、子育てに関する支援が求められる。
- ・ 子どもの年齢や家庭の状況に応じた具体的な支援策が必要であり、共働き世帯におけるサービス提供が必要である。

6 その他

- ・ 子どもが小さい頃は積極的に利用していたが、成長に伴い利用しなくなった経験を持つ声もある。子育て世帯のニーズに応じた施策の提供が必要である。
- ・ 税負担の高さや生活の苦しさについて、必要な事業を見極め税負担を下げることを求められる。

4 小学校高学年の本人

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 1,142 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 小学校就学後の生活について	431
（1）教育内容について	24
（2）登下校時の安全確保	14
（3）校舎の改修や整備について	15
（4）周囲の友達との関係について	104
（5）給食について	21
（6）先生について	27
（7）学校生活について	137
（8）勉強について	36
（9）挨拶について	9
（10）小学校就学後の生活についてその他	44
2. 学童・児童館・放課後について	49
3. 遊び場や環境について	235
（1）公園・遊び場について	132
（2）防犯、不審者、外灯について	26
（3）防災（地震、火災、水害等）について	5
（4）公共施設等について	17
（5）道の整備について	20
（6）遊び場や環境についてその他	35
4. 地域との協力、家庭について	153
（1）地域とのつながりについて	63
（2）家庭での過ごし方や親について	27
（3）家族について	55
（4）地域との協力、家庭についてその他	8
5. 現状について	201
（1）遊ぶこと	48
（2）生活	82
（3）今後	22
（4）楽しいこと	49
6. その他	226

【分類別の主な意見】

1 小学校就学後の生活について

(1) 教育内容について

- ・ 学校の授業や取り組みをもっと楽しく、身近に感じられるようにしてほしい。
- ・ タブレットやパソコンの活用や新しい教材導入など、技術や情報に即した取り組みを求める。
- ・ 校外学習や実践的な学びの機会をふやしてほしい。

(2) 登下校時の安全確保

- ・ 安全な通学路を希望する、道路の修繕や安全対策を実施してほしい。
- ・ 地域の人々が見守りやサポートをしてくれることに感謝します。

(3) 校舎の改修や整備について

- ・ 学校の水道の水を冬に温水にしてほしい
- ・ 学校の外観の清掃やトイレ・水道の清潔化を求める。

(4) 周囲の友達との関係について

- ・ 友だちはやさしくて、一緒に遊ぶと楽しいと感じる。
- ・ 友達が多いが、遊ぶ相手がいないと困ることがある。
- ・ 友達関係で心配事がある。

(5) 給食について

- ・ 学校の給食はおいしかったが、もう少し豪華にしてほしい。
- ・ もっと多くの人に好まれる給食にしてほしい。
- ・ 給食の量を増やしてほしい。
- ・ 給食の制限時間をもう少し長くしてほしい。

(6) 先生について

- ・ 学校の一部の先生の口癖や発言が不快で、特に「お前、何様や」という言葉や荒っぽい態度がある。
- ・ 学校の先生の中には、授業が楽しくないと感じさせるものもいるが、全体的には優しく面白い。

(7) 学校生活について

- ・ クラスの仲良さをもっと向上させたい。
- ・ いじめやストレスがなく、みんなが友好的であれば、理想的だと思う。
- ・ 学校でのいたずらや問題行動に悩まされている。
- ・ 学校に友だちが多く、毎日楽しい。

(8) 勉強について

- ・ 学校の課題や自主勉強が量が多くて面倒だと感じている。
- ・ 勉強や授業がつまらなくて眠いと感じている。
- ・ 学校の楽しみは体育や家庭科、学活総合などで、勉強が辛いと感じている。
- ・ 勉強が苦手で不安だが、毎日楽しいと感じている。
- ・ 授業や宿題の難易度に差があることに不満を感じている。

(9) 挨拶について

- ・ 地域の人々はみんなやさしくて、あいさつをしている。
- ・ 毎日のあいさつ隊が「おはよう」と言ってくれて、安全に登校できている。

(10) 小学校就学後の生活についてその他

- ・ 子どもたちは校区内での行動範囲が限られており、校区外の友達との交流ができない。
- ・ 学校内が狭く、自然とふれ合いたい。

2 学童・児童館・放課後について

- ・ 友達と遊べる学童クラブについては楽しい。
- ・ 学校や児童館の施設や遊具の増設を望む。

3 遊び場や環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ 公園が小さく、遊びにくいと感じる。
- ・ 地域の公園に新しい遊具や施設の設置を望む。

(2) 防犯、不審者、外灯について

- ・ 子どもや大人が交通ルールを守らず、道路横断や信号無視が見受けられることが危険だと感じる。
- ・ 夜間の公共施設や通学路の明るさが不足しており、街灯の増設や電灯の点灯を希望する。
- ・ 街路灯の不足や暗さが不安、防犯カメラの設置やパトロールの強化も求める。

(3) 防災（地震、火災、水害等）について

- ・ 地震時に家族が周囲にいない場合に不安を感じている。
- ・ 阪神淡路大震災のような地震が起こると、朝から暗い気持ちになるという感情がある。

(4) 公共施設等について

- ・ 友達と遊ぶための施設や場所が欲しい。
- ・ ボーリング場の設置を望む。
- ・ 近隣にスーパーや電器店、クレーンゲームなどがあり、便利である。

- ・ 図書館がほしい。

(5) 道の整備について

- ・ 道路や歩道が狭くて自転車や歩行者が車に近くて怖い。
- ・ 山道や見通しが悪い道路の改善を望む。
- ・ 信号無視やスピード違反をする車や人が多く、安全な交通環境を求める。

(6) 遊び場や環境についてその他

- ・ 公園にゴミ箱を設置してポイ捨てをなくしたい。
- ・ 坂が多く、通学や遊びに不便を感じる。
- ・ 地域に犬のフンが多く、不快を感じる。

4 地域との協力、家庭について

(1) 地域とのつながりについて

- ・ 住んでいる地域の人々はいつも挨拶を返してくれるため、生活しやすい環境であると感じている。
- ・ 下校中に地域の人が気を配ってくれるなど、地域の人々が優しいと感じている。

(2) 家庭での過ごし方や親について

- ・ 家族の中で、お母さんが働きすぎて家にいる時間が少ないと感じている。
- ・ 家族は、一緒にいる時間を増やしたい。
- ・ 自分から家事や手伝いを進んで行い、お母さんを助けたい。
- ・ 家族全体で遊ぶことが楽しく、兄弟姉妹との時間を大切にしている。

(3) 家族について

- ・ 家族との旅行やお出かけができると嬉しいと思っている。
- ・ 家族との時間を大切にし、兄弟姉妹と遊んだりお手伝いをしたりしている。
- ・ 両親の離婚については聞きたくないと考えており、将来は母親に頼って生活していくつもりで、結婚はしたくないと思っている。
- ・ 家族とのお出かけや休日が楽しく、幸せを感じる。

(4) 地域との協力、家庭についてその他

- ・ 住んでいる地域はとても住みやすく、ずっとこの地域にいたいと思っている。
- ・ 電車が通り、地域がきれいでごみが少ないことが良いと感じている。

5 現状について

(1) 遊ぶこと

- ・ 絵を描きたいという気持ちがあり、外で友達と遊ぶ機会が欲しいと思っている。
- ・ 友達と遊ぶことが楽しいと感じている。
- ・ 友達と遊ぶことが楽しいと感じ、毎日一緒に遊びたいと思っている。

(2) 生活

- ・ ルールを守ることや思いやりのある行動を大切に考えている。
- ・ 学校や家族といることが幸せで、生きていてよかったと感じている。

(3) 今後

- ・ 地域の人や友だちともっと仲良くなりたい。友だちはたくさんいるけれど、知らない人もたくさん仲良くなりたい。
- ・ 小学校6年生まで友だちと仲良く過ごしたい。
- ・ 中学に進学する際に勉強や人間関係など不安がある。

(4) 楽しいこと

- ・ みんな明るくて、とても楽しい。
- ・ 毎日楽しくて幸せです。

6 その他

- ・ 農業が盛んでいいと思う。

神戸市

子ども・子育て支援事業に係る基礎調査報告書

発行年月：令和6年6月

発行：神戸市 こども家庭局 こども未来課

〒650-8570

神戸市中央区加納町6-5-1

電話：078-331-8181